札幌市立大学年報

平成29年度

（2017年度）

札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

目　次

Ⅰ　概要
1　大学の概要 …… 1
2　デザイン学部の概要 …… 4
3　看護学部の概要 …… 5
4　デザイン研究科の概要 …… 6
5　看護学研究科の概要 …… 7
6　助産学専攻科の概要 …… 8
7　平成29年度の特筆すべき事項 …… 9
8　行事 …… 10
Ⅱ　教育活動
1　教育活動概要 …… 11
2　共通教育・連携教育 …… 12
3　デザイン学部 …… 14
4　看護学部 …… 33
5　デザイン研究科 …… 53
6　看護学研究科 …… 61
7　助産学専攻科 …… 70
8　デザインと看護の連携教育 …… 73
Ⅲ　研究活動
1　個人研究費による研究一覧 …… 75
2　学内公募研究課題一覧 …… 78
3　学外からの研究費、研究補助金などの受入状況 …… 79
4　寄附金の受入状況 …… 82
5　その他研究助成 …… 82
6　海外出張記録 …… 83
Ⅳ　社会活動
1　地域貢献諸活動 …… 85
2　公開講座開催実績 …… 99
3　国・自治体審議会等への就任状況 …… 102
4　ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業（COC事業） …… 107
5　専門職支援・セミナー講師等 …… 109
6　国際交流実績 …… 115
7　サテライトキャンパスの利用状況 …… 116
Ⅴ　キャリア支援活動
1　デザイン学部 …… 117
2　看護学部（助産学専攻科含む） …… 122
3　デザイン研究科 …… 125
Ⅵ　平成30年度入学者選抜結果
1　デザイン学部・看護学部 …… 128
2　デザイン研究科・看護学研究科 …… 134
3　助産学専攻科 …… 138

Ⅶ　附属図書館

1　概要 …… 140
2　利用状況 …… 141

Ⅷ　法人・学内運営の概要

1　平成29(2017)年度公立大学法人札幌市立大学　組織図 …… 142
2　役員会及び審議会の審議状況 …… 142
3　役員及び審議会委員名簿 …… 143
4　経営会議 …… 144
5　部局長会議 …… 144
6　企画室 …… 145
7　広報室 …… 145
8　教授会 …… 145
9　地域連携研究センター …… 146
10　附属図書館 …… 147
11　アドミッションセンター …… 147
12　キャリア支援センター …… 148
13　教育支援プロジェクトセンター …… 148
14　学内委員会 …… 148
15　構成員名簿 …… 150
16　FD・SD活動 …… 156

Ⅸ　資料

1　平成29年度年度計画 …… 158
2　平成29年度決算 …… 168
3　教職員数 …… 169
4　管理職一覧表 …… 170
5　学生定員及び学生数 …… 171
6　授業料等 …… 172
7　奨学金貸与・授業料減免実施状況 …… 172
8　学生の入選・受賞 …… 174
9　学生の課外活動 …… 175
10　後援会 …… 176
11　教育・研究刊行物一覧 …… 176
12　施設 …… 177
13　大学へのアクセス …… 181
14　札幌市立大学　大学歌『みらいの手』 …… 182

Ⅹ　教員一覧

1　教員一覧 …… 183
2　教員業績一覧 …… 184

Ⅰ　概要

1　大学の概要

1)　設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず､看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

平成3年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、昭和40年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、平成13年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、平成14年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、平成15年9月に「（仮称）札幌市立大学基本構想」を策定し、平成18年春の札幌市立大学の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、平成15年11月に大学教育の専門家を中心とする「（仮称）札幌市立大学設置 準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、平成16年7月に「（仮称）札幌市立大学基本計画」を策定し、平成17年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、平成18年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、平成21年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、平成22年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、平成23年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書（修士課程を博士課程に変更）を文部科学省に提出、同年10月に認可され、平成24年4月に大学院デザイン研

究科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2)　理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

①　「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

②　「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3)　特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性とする。

①　「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

②　「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4)　目的

①　学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

②　まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。

沿革

昭和40年4月	札幌市立高等看護学院　開校
平成3年4月	札幌市立高等専門学校　開校
平成8年4月	札幌市立高等専門学校専攻科　開設 札幌市立高等専門学校附属研究所　開設
平成13年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
平成14年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
平成15年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
平成15年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
平成16年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
平成17年12月	大学設置認可
平成18年3月	公立大学法人札幌市立大学　設立認可
平成18年4月	札幌市立大学　開学
平成18年10月	サテライトキャンパス　開設
平成19年4月	地域連携研究センター　開設 アドミッションセンター　開設
平成20年3月	札幌市立高等看護学院　閉校
平成20年4月	キャリア支援センター　開設
平成20年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程　開講
平成21年3月	札幌市立高等専門学校本科　閉科
平成21年10月	大学院（修士課程）設置認可
平成21年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
平成22年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科　開設
平成23年3月	札幌市立高等専門学校専攻科　閉校
平成23年10月	大学院（博士課程）変更認可
平成24年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称
平成27年5月	COCキャンパス「まちの学校」開設
平成30年4月	まこまないキャンパスに改称（旧称：COCキャンパス「まちの学校」）

2　デザイン学部の概要

1)　特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2)　教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

①　幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

②　人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③　地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3)　育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

①　多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

②　課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③　デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④　人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤　新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥　企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。

3　看護学部の概要

1)　特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、平成17年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2)　教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

①　的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

②　人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③　地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3)　育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す

ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

①　対人関係形成能力
　豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。

②　権利擁護・安全なケア提供能力
　さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。

③　的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
　緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。

④　医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
　看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。

⑤　課題解決力を高めるための自己研鑽能力
　主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4　デザイン研究科の概要

1)　特色

　デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

　また、平成17年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

【博士前期課程】

①　複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」

②　デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」

③　課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」

④　一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

【博士後期課程】

①　自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」

②　デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」

③　国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」

2)　教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育･研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3)　育成する人材像

【博士前期課程】

①　屋内外の様々な空間を対象とする空間デザイン分野において、人間の生活や自然環境に配慮しつつ、建築デザインや環境デザインに関する高度なデザイン能力を有する人材。

②　人間生活に欠かせない多様な製品並びにそれを支えるインタフェース（操作性）について、人間中心の生活システムとしての製品やそのインタフェースをデザインできる高度なデザイン能力を有する人材。

③　人々の豊かなコミュニケーション活動を支えるコンテンツの制作と、多様なコンテンツのメディア展開を企画・構築し、運営に至るプロセスをプロデュースできる高度なデザイン能力を有する人材。

【博士後期課程】

①　デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材。

②　自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材。

5　看護学研究科の概要

1)　特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、平成17年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

①　正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

②　高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③　他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④　積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

①　看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力

② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進に貢献することを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化を追究し、社会に貢献することを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者の育成（専門看護師を含む）
② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者の育成
③ 地域や在宅においては健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職の育成
④ 看護の学問的基盤をもとに実践知、経験知を統合できる看護研究者の育成
⑤ 次世代の看護教育の中心的担い手としての教育者の育成
⑥ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材の育成
⑦ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材の育成

【博士後期課程】

① 看護学の基礎研究・応用研究に自立的に取り組み、人材育成システムの検証・提言ができる研究者・開発者
② 確かな知識や技術、倫理観を基盤として、看護職者を志す人々に質の高い教育を実現し、さらに新たな教育制度や方法、カリキュラム等の創出に寄与できる教育者
③ 看護現象の分析・評価を通じて、看護システムをグローバルに構築・変革し、自ら行動する高度専門職業人及び看護管理者を養成・指導できる教育者・管理者

6　助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間において培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。

3)　育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

①　助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
②　地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
③　人間性豊かな助産師

7　平成29年度の特筆すべき事項

1)　第二期中期目標期間終了

札幌市が策定した「大学の存在感を高める」及び「目標の重点化」を基本とする第二期中期目標（平成24年度～平成29年度）を受け、札幌市立大学では第二期中期計画を策定し、「少人数教育によるきめ細やかな指導を通じた人材育成の取組」や「専門職業人への継続教育や産・看・学・公の連携等を通じた地域社会への大学の知的資源の還元」等の取組を積極的に進めた。特に大学院においては、博士後期課程を開設することで、より高度な課題に対して、理論及び実践の両面から、長期的な展望に基づく持続的な研究を行うとともに、社会における有為な高度専門職業人及び研究者・教育者の育成に取り組んだ。

なお、第二期中期目標を確実に達成していくために、中期計画及び年度計画においても指標設定を行った上で各事業年度の業務を実施した。

2)　大学評価（認証評価）

学校教育法第109条に規定されている認証評価について、認証評価機関の一つである(公財)大学基準協会の大学評価を受け、「同協会の大学基準に適合している」旨の評価を得た。さらに、「長所として特記すべき事項」として、①デザインと看護の異分野が連携した学部・研究科教育科目の設定、②看護学部における市民と共同した教育体制（OSCE）、③地域連携研究センターの設置による専門性を生かした社会連携・社会貢献について評価を受けた。

3)　COC事業期間終了

平成25年度、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（COC）」に本学の「ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業」が採択され、平成29年度をもって事業期間が終了した。

地方創生に必要不可欠な「地域の担い手の育成」と「協奏型地域社会のウェルネス支援」の取組について、本学の特長である「デザインと看護の連携（D×N）」を生かして推進した。

4)　専門看護師教育課程（38単位に移行、在宅看護分野の追加）認定

看護学研究科博士前期課程の専門看護師コースは、日本看護系大学協議会から、小児看護分野、クリティカルケア看護分野、がん看護分野及び精神看護分野の26単位教育課程の認定を受けているが、日本看護系大学協議会では平成23年6月の総会で38単位教育課程への移行が承認され、平成32年度限りで全ての26単位教育課程が終了し、38単位教育課程へ移行することとなった。

これに対応するため、平成30年度から看護学研究科博士前期課程の専門看護師コースを38単位教育課程へ移行することとし、平成29年7月に上記4分野に在宅看護分野を加えた5分野について38単位教育課程の認定申請をし、平成30年2月に認定を受けた。

5)　認定看護管理者教育課程サードレベル第10期生修了

急速な社会変化に対応する医療・看護サービスの質向上を担う看護管理者育成を目的とした認定看護管理者教育課程サードレベルは、平成19年12月、全国で4番目、北海道では唯一のサードレベ

ル教育機関として公益社団法人日本看護協会から認定を受け、翌年8月に開講し、平成27年には認定更新審査を受け、平成30年1月、第10期生が修了を迎えた。
これまでに164名が修了した。

8　行事

行　　事　　名	月　　日
前期開始	4月1日
入学式・後援会総会	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月5日
前期履修登録期間	4月5日～13日
健康診断	4月10日・12日
第1回オープンキャンパス	6月17日
デザイン学部3年次編入学試験	7月22日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月22日
前期定期試験期間	8月4日～10日
夏季休業	8月11日～9月3日
看護学部3年次編入学試験	9月2日
助産学専攻科入学試験	9月2日
第2回オープンキャンパス	9月16日
大学祭	9月16日・17日・18日
後期ガイダンス	9月22日・28日・29日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般･特別選抜入学試験	9月23日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月23日
後期授業開始	9月25日
前期終了	9月30日
後期開始	10月1日
後期履修登録期間	10月2日～10日
デザイン学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月25日
看護学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月25日
冬季休業	12月23日～1月3日
後期定期試験期間	1月4日～9日・2月6日～20日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月3日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月3日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	3月3日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	3月3日
デザイン学部一般選抜入学試験（後期日程）	3月12日
卒業式・修了式	3月19日
後期終了	3月31日

Ⅱ 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に共通する「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で「より楽しく、誰でもが使えるインタフェースデザイン」、「ランドスケープの夢」といった特別講義を実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、平成24年度（編入学生は26年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通するデザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指して

いる。

看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特論（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4）　助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2　共通教育・連携教育

1）　教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎原　俊彦　町田 佳世子　若林　尚樹 張　浦華　松井　美穂　山田　信博 大島　卓　金　秀敬　矢久保 空遥 川村 三希子　貝谷　敏子　藤井　瑞恵 本田　光　村松　真澄　伊東 健太郎 田中　広美　山本 真由美　石引 かずみ 御厩 美登里　籔谷　祐介
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島　孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮 加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★椿　武愛子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★佐藤　頼子
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	原　俊彦
英語ＩA	演習・30時間	1年次前期	★赤間　荘太　★佐川 萌東子　★清水　香
英語ＩB	演習・30時間	1年次前期	町田 佳世子　松井　美穂　★一瀬　真平 ★白土　淳子
英語ＩC	演習・30時間	1年次前期	★バマイ　モクター　★山田　パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木　正直　★齊田　春菜　★平野　葵 ★安永　立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂　守孝
情報リテラシーⅠ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次前期	大渕　一博
情報リテラシーⅠ（看護学部）	演習・30時間	1年次前期	★杉野　佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀　雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月 由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸　靖亮
動物のくらし	講義・30時間	1年次後期	★桑原　禎知

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
現代社会と家族	講義・30時間	1年次後期	原　俊彦
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤　公彦
統計の世界（看護学部）	講義・30時間	1年次後期	原　俊彦
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子　★赤間　荘太　★佐川 萌東子 ★清水　香
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井　美穂　★一瀬　真平　★白土　淳子
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★バマイ　モクター　★山田　パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田　亘明　矢久保 空遥
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	町田 佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★髙橋　浄
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	◎吉田　和夫　★児玉 潤二郎
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★杉野　佑太
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	矢部　和夫
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次前期	松井　美穂
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★青木　隆直
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原　辰二
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次前期	★山口　司
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期・後期	松井　美穂
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★バマイ　モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	町田 佳世子
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期・後期	★山田　パトリシア
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町　道代
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★照井 はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ　ウラジーミル
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	★光本　滋
生活と文化	講義・30時間	2年次後期	蓮見　孝
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田　信弘
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田　由紀

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

3　デザイン学部

①　1年前期

<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th colspan="2">火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">9:00
～
10:30</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="4">材料加工
理論/
実習Ⅰ</td><td rowspan="4">表現基礎
（描画）</td><td>情報リテラシーⅠ</td><td rowspan="2">体のしくみ</td><td rowspan="2">人間関係を考える</td></tr>
<tr><td>時間表現理論/演習Ⅰ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">10:40
～
12:10</td><td rowspan="2"></td><td>情報リテラシーⅠ</td><td rowspan="2">英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
日本語表現法</td><td rowspan="2">哲学と倫理</td></tr>
<tr><td>時間表現理論/演習Ⅰ</td></tr>
<tr><td>3</td><td>13:10
～
14:40</td><td>デザイン史</td><td colspan="2">デザインと数学</td><td>英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
日本語表現法</td><td>英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
日本語表現法</td><td>札幌を学ぶ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">14:50
～
16:20</td><td rowspan="2">人間空間デザイン論</td><td rowspan="4">材料加工
理論/
実習Ⅰ</td><td rowspan="4">表現基礎
（描画）</td><td>英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
日本語表現法</td><td rowspan="4">スタートアップ演習</td><td>英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
基礎カウンセリング</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自然科学を学ぶ</td><td rowspan="2">英語ⅠA
英語ⅠB
英語ⅠC
基礎カウンセリング</td></tr>
<tr><td>5</td><td>16:30
～
18:00</td><td>人間情報デザイン論</td></tr>
</table>

②　1年後期

<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td>1</td><td>9:00
～
10:30</td><td>情報リテラシーⅡ</td><td>Webデザイン</td><td>芸術と文化</td><td>デザイン工学</td><td>手話</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">10:40
～
12:10</td><td rowspan="2">情報リテラシーⅡ</td><td rowspan="2">Webデザイン</td><td>宗教と思想</td><td>現代社会と家族</td><td rowspan="2">手話</td></tr>
<tr><td>動物のくらし</td><td>心のしくみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">13:10
～
14:40</td><td>表現基礎（製図）</td><td rowspan="4">材料加工理論/実習Ⅱ</td><td rowspan="2">英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC
プレゼンテーション</td><td rowspan="2">英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC
プレゼンテーション</td><td rowspan="2">現代社会と経済</td></tr>
<tr><td>表現基礎（構成）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">14:50
～
16:20</td><td>表現基礎（製図）</td><td rowspan="2">英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC</td><td rowspan="2">英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC</td><td rowspan="2">英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC
対人コミュニケーション</td></tr>
<tr><td>表現基礎（構成）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>16:30
～
18:00</td><td>視覚・色彩心理学</td><td></td><td></td><td>アイデア生成プロセス</td><td>英語ⅡA
英語ⅡB
英語ⅡC
対人コミュニケーション</td></tr>
</table>

③　2年前期

<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th colspan="2">木</th><th>金</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">9:00
～
10:30</td><td rowspan="4" colspan="2">デザイン総合実習Ⅰ</td><td>現代社会と国際関係</td><td rowspan="2">環境心理学</td><td rowspan="2" colspan="2">建築計画論</td><td rowspan="2">デザイン研究法
（人間空間）</td></tr>
<tr><td>日本国憲法を学ぶ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">10:40
～
12:10</td><td>実践英語A</td><td rowspan="2" colspan="2"></td><td colspan="2">建築設計製図</td><td>実践英語B</td></tr>
<tr><td>時間表現理論／演習Ⅱ</td><td colspan="2">プログラミングⅠ</td><td>環境計画論</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">13:10
～
14:40</td><td>デザイン研究法
（人間情報）</td><td>実践英語A</td><td rowspan="2">フィールド
スタディ</td><td rowspan="2" colspan="2">ビジュアライ
ゼーションⅠ</td><td>実践英語B</td></tr>
<tr><td>ビジュアライ
ゼーションⅠ</td><td>時間表現理論／演習Ⅱ</td><td>プロダクト
デザインⅠ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">14:50
～
16:20</td><td>協同デザインⅠ</td><td>環境を考える</td><td rowspan="2">ビジュアライ
ゼーションⅠ</td><td rowspan="4">3DCG実習（表現系）</td><td rowspan="4">建築系
CAD実習</td><td rowspan="2">環境芸術論</td></tr>
<tr><td>コミュニティ
デザイン論</td><td>ジェンダーと文化</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">16:30
～
18:00</td><td>近現代建築史</td><td>グループ・
ダイナミックス</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">学部連携基礎論</td></tr>
<tr><td>情報製品製図</td><td>ボランティア活動
を考える</td></tr>
</table>

④　2年後期

<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td>1</td><td>9:00
～
10:30</td><td>エコロジカル
デザイン</td><td>生活と文化</td><td>コンピュータ
グラフィクス</td><td rowspan="2">3DCG実習
（建築系）</td><td>プログラミングⅡ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">10:40
～
12:10</td><td>空間デザイン史</td><td rowspan="2">韓国語</td><td rowspan="2">ユニバーサル
デザイン論</td><td rowspan="2">情報社会論</td></tr>
<tr><td>プロダクト
デザインⅡ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">13:10
～
14:40</td><td>Webプログラミング</td><td rowspan="3">家具・インテリア
デザイン</td><td rowspan="2">メディア芸術論</td><td>建築デザイン論</td><td rowspan="2">一般構造</td></tr>
<tr><td>空間プロダクト</td><td>協同デザインⅡ</td></tr>
<tr><td>4</td><td>14:50
～
16:20</td><td rowspan="2">製品系CAD実習</td><td></td><td rowspan="2">デザイン総合実習Ⅱ</td><td rowspan="2">教育を考える
※前半7.5週で終了</td></tr>
<tr><td>5</td><td>16:30
～
18:00</td><td>実践英語A</td><td></td></tr>
</table>

⑤　3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	アニメーションⅠ	生涯学習概論		建築計画論 製品計画論	景観デザイン論 インタラクションデザイン 物語デザイン論
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 ※1～8回目 博物館概論 ※9～15回目	博物館情報・ メディア論	メディア文化史	都市計画論	博物館資料論 ※9～15回目
3	13:10 ～ 14:40	コンテンツ制作 システム論	プロトタイプ シミュレーションⅠ	学外実習B （フィールドスタディ）	一般構造 感性情報学	メディア芸術論 環境計画論
4	14:50 ～ 16:20	マルチメディア コンテンツデザイン	学外実習A （インターンシップ）	博物館概論 ※1～8回目	知的財産権論	デザイン総合実習Ⅱ
5	16:30 ～ 18:00	出版メディア デザイン	キャリアガイダンス	博物館教育論 ユニバーサル デザイン都市札幌		

⑥　3年後期

		月	火	水	木		金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	バーチャルリアリティ	建築構法	構造・材料実験	インターネットメディアデザイン メカトロニクス	観光とデザイン
2	10:40 ～ 12:10	博物館経営論	空間デザイン法規 製品デザイン史 アニメーションⅡ デジタルアーカイブ			アートマネジメント論 感性インタラクションデザイン	構造力学 デジタル映像 コンテンツデザイン
3	13:10 ～ 14:40			博物館展示論	建築生産 デジタル映像史		プロトタイプシミュレーションⅡ ブランド構築
4	14:50 ～ 16:20	地場産業振興論	学部連携演習	博物館資料保存論			デザイン総合実習Ⅲ
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス					

⑦　4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		デジタル音響デザイン	デザイン英語		
2	10:40 ～ 12:10		建築設備計画	起業論	コンテンツ流通技術	構造力学Ⅱ ヒューマンケア機器デザイン 放送メディアデザイン
3	13:10 ～ 14:40	博物館実習	住宅論		デザインマネジメント	ロボティクス ネットワークシステムデザイン
4	14:50 ～ 16:20					
5	16:30 ～ 18:00		キャリアガイダンス			

⑧　4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30					
2	10:40 ～ 12:10					
3	13:10 ～ 14:40					
4	14:50 ～ 16:20					
5	16:30 ～ 18:00	キャリアガイダンス				

2）カリキュラム

①　授業科目一覧

平成22～23年度（編入学生は平成24～25年度）入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位	
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上	
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	宗教と思想	講義		2			○								
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	芸術と文化	講義		2			○								
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	環境を考える	講義		2				○							
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	教育を考える	講義		2					○						
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	生活と文化	講義			2				○						
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上	
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	体のしくみ	講義		2		○									
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	ジェンダーを考える	講義		2				○							
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	人間関係を考える	講義		2		○									
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	健康とスポーツ	講義		2				○							
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	自然科学を学ぶ	講義			2	○									
共通教育科目	教養科目	人間に対する理解	動物のくらし	講義			2		○								
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							6単位以上	
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	現代社会と国際関係	講義		2				○							
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	現代社会と経済	講義		2			○								
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	札幌を学ぶ	講義		2		○									
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	ボランティア活動を考える	講義		2				○							
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	統計の世界	講義	2				○								
共通教育科目	教養科目	社会に対する理解	日本国憲法を学ぶ	講義			2			○							
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上	
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠB	演習	1			○									
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠC	演習	1			○									
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅡA	演習	1				○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅡB	演習	1				○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅡC	演習	1				○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	実践英語A	演習		1				○	○						
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	実践英語B	演習		1				○							
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	韓国語	演習		1					○						
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	中国語	演習		1				○							
共通教育科目	コミュニケーション科目	外国語	ロシア語	演習		1				○							
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上	
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	プレゼンテーション	演習	1				○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	基礎カウンセリング	演習		1		○									
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	対人コミュニケーション	演習		1			○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	グループ・ダイナミックス	演習		1				○							
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	手話	演習		1			○								
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	情報リテラシーⅠ	演習	1			○									
共通教育科目	コミュニケーション科目	コミュニケーション・情報技術	情報リテラシーⅡ	演習	1			○									
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○								16単位以上	さらに基本科目から10単位以上
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン史	講義	2			○									
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン方法論	講義	2				○								
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	色彩設計論	講義	2			○									
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	感性科学	講義	2				○								
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	工学基礎	講義		2			○								
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	感性デザイン論	講義	2					○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	ユニバーサルデザイン論	講義	2					○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	創造産業論	講義	2					○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	現代芸術論	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン解析論	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	ヒューマンファクターズ入門	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	近現代建築史	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	設計製図基礎	演習		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	認知科学	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン法規	講義		2				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	エコロジーデザイン論	講義		2					○						
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	情報社会論	講義		2					○						
専門教育科目	基本科目	造形基礎	造形基礎実習Ⅰ	実習	2			○								6単位以上	
専門教育科目	基本科目	造形基礎	表現基礎実習	実習	2			○									
専門教育科目	基本科目	造形基礎	造形基礎実習Ⅱ	実習	2				○								
専門教育科目	基本科目	造形基礎	デザイン材料加工実習Ⅰ	実習		2				○							
専門教育科目	基本科目	造形基礎	デザイン材料加工実習Ⅱ	実習		2					○						
専門教育科目	基本科目	情報基礎	コンピュータ基礎実習Ⅰ	実習	2				○							8単位以上	
専門教育科目	基本科目	情報基礎	コンピュータ基礎実習ⅡA（3D）	実習		2				○							
専門教育科目	基本科目	情報基礎	コンピュータ基礎実習ⅡB（ムービー）	実習		2					○						
専門教育科目	基本科目	情報基礎	コンピュータ基礎実習ⅡC（CAD）	実習		2					○						
専門教育科目	基本科目	情報基礎	プログラミングⅠ	演習	2				○								
専門教育科目	基本科目	情報基礎	プログラミングⅡ	演習		2				○							

区分			授業科目	授業形態	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	配当年次 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	卒業要件単位
専門教育科目	展開科目	空間デザイン系	空間デザイン論	講義		2					○					展開科目から一つの系の全科目を含め34単位以上を修得
			空間デザイン史	講義		2					○					
			景観デザイン論	講義		2						○				
			都市計画論	講義		2						○				
			空間デザイン法規	講義		2							○			
			構造力学	講義+演習		2							○			
			建築構法	講義+演習		2							○			
			構造・材料実験	実習		2							○			
			建築設備計画	講義+演習		2								○		
			建築計画論	講義		2						○				
			環境計画論	講義		2						○				
			家具・インテリアデザイン	講義+演習		2					○					
			住宅論	講義		2								○		
		製品デザイン系	製品デザイン論	講義		2					○					
			製品デザイン史	講義		2							○			
			製品造形論	講義		2					○					
			製品計画論	講義		2						○				
			感性情報学	講義		2						○				
			ヒューマンファクターズ	講義+演習		2					○					
			インタラクションデザイン	講義+演習		2						○				
			メカトロニクス	講義+演習		2							○			
			ロボティクス	講義+演習		2								○		
			感性インタラクションデザイン	演習		2							○			
			プロトタイプシミュレーションⅠ	演習		2						○				
			プロトタイプシミュレーションⅡ	演習		2							○			
			ヒューマンケア機器デザイン	演習		2								○		
		コンテンツデザイン系	コンテンツデザイン論	講義		2					○					
			デジタル映像史	講義		2							○			
			コンテンツ制作システム論	講義		2						○				
			物語デザイン論	講義		2						○				
			バーチャルリアリティ	講義		2							○			
			コンピュータグラフィクス	講義+演習		2					○					
			アニメーションⅠ	講義+演習		2						○				
			アニメーションⅡ	講義+演習		2							○			
			デジタル音響デザイン	講義+演習		2								○		
			ダイナミックオブジェクトデザイン	演習		2					○					
			マルチメディアコンテンツデザイン	演習		2						○				
			デジタル映像コンテンツデザイン	演習		2							○			
			ネットワークシステムデザイン	演習		2								○		
		メディアデザイン系	メディアデザイン論	講義		2					○					
			メディア文化史	講義		2						○				
			知的財産権論	講義		2						○				
			メディア芸術論	講義		2						○				
			アートマネジメント論	講義		2							○			
			広告デザイン	講義+演習		2					○					
			ブランド構築	講義+演習		2							○			
			デジタルアーカイブ	講義+演習		2							○			
			コンテンツ流通技術	講義+演習		2								○		
			メディアビジネス	演習		2					○					
			出版メディアデザイン	演習		2						○				
			インターネットメディアデザイン	演習		2							○			
			放送メディアデザイン	演習		2								○		
	発展科目	デザイン応用	一般構造	講義+演習		2						○				8単位以上
			寒冷地デザイン論	講義		2							○			
			観光とデザイン	演習		2							○			
			地場産業振興論	講義		2							○			
			建築生産	講義+演習		2							○			
			デザインマネジメント	演習		2								○		
			起業論	講義		2								○		
			デザイン英語	演習		2								○		
			構造力学Ⅱ	講義+演習		2								○		
			学外実習A（インターンシップ）	実習		2						◎				
			学外実習B（フィールドスタディ）	実習		2						◎				
		学部連携	学部連携演習	演習	2								○			2単位
		デザイン総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○					6単位
			デザイン総合実習Ⅱ	実習	2							○				
			デザイン総合実習Ⅲ	実習	2								○			
		卒業研究	卒業研究	演習	6									○	○	6単位
自由科目	学芸員課程関連科目 ※この他に共通教育科目の「教育を考える」の単位修得が必要		生涯学習概論	講義			1				○					11単位
			博物館概論	講義			2				○					
			博物館経営論	講義			1					○				
			博物館資料論	講義			2					○				
			博物館情報論	講義			1					○				
			博物館実習	実習			3					◎				
			視聴覚教育メディア論	講義			1				○					

注１）◎は集中開講　注２）展開科目（単位数の網掛け部分）：所属コース系内の各科目は卒業要件単位となるため、すべて履修する必要があります。
注３）平成24～25年度の編入学生の学芸員課程関連科目は、平成24年度以降入学生用の授業科目一覧を参照。

平成24～27年度（編入学生は平成26～29年度）入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位	
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上	
			宗教と思想	講義		2			○								
			芸術と文化	講義		2			○								
			教育を考える	講義		2					○						
			生活と文化	講義		2					○						
			ジェンダーと文化	講義		2				○							
		人間に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上	
			体のしくみ	講義		2		○									
			人間関係を考える	講義		2		○									
			健康とスポーツ	講義		2				○							
			環境を考える	講義		2				○							
			自然科学を学ぶ	講義		2		○									
			動物のくらし	講義		2			○								
		社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							6単位以上	
			現代社会と国際関係	講義		2				○							
			現代社会と経済	講義		2			○								
			札幌を学ぶ	講義		2		○									
			ボランティア活動を考える	講義		2				○							
			統計の世界	講義	2				○								
			日本国憲法を学ぶ	講義		2				○							
	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上	
			英語ⅠB	演習	1			○									
			英語ⅠC	演習	1			○									
			英語ⅡA	演習	1				○								
			英語ⅡB	演習	1				○								
			英語ⅡC	演習	1				○								
			実践英語A	演習		1				○	○						
			実践英語B	演習		1				○							
			韓国語	演習		1					○						
			中国語	演習		1				○							
			ロシア語	演習		1				○							
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上	
			プレゼンテーション	演習	1				○								
			基礎カウンセリング	演習		1		○									
			対人コミュニケーション	演習		1			○								
			グループ・ダイナミックス	演習		1				○							
			手話	演習		1			○								
			情報リテラシーⅠ	演習	1			○									
			情報リテラシーⅡ	演習	1			○									
専門教育科目	基本科目	デザイン基礎	デザイン原論	講義	2			○								16単位以上	さらに基本科目から10単位以上
			デザイン史	講義	2			○									
			デザイン方法論	講義	2				○								
			色彩設計論	講義	2			○									
			感性科学	講義	2				○								
			工学基礎	講義		2			○								
			感性デザイン論	講義	2					○							
			ユニバーサルデザイン論	講義	2					○							
			創造産業論	講義	2					○							
			現代芸術論	講義		2				○							
			デザイン解析論	講義		2				○							
			ヒューマンファクターズ入門	講義		2				○							
			近現代建築史	講義		2				○							
			設計製図基礎	演習		2				○							
			認知科学	講義		2				○							
			デザイン法規	講義		2				○							
			エコロジーデザイン論	講義		2					○						
			情報社会論	講義		2					○						
		造形基礎	造形基礎実習Ⅰ	実習	2			○								6単位以上	
			表現基礎実習	実習	2			○									
			造形基礎実習Ⅱ	実習	2				○								
			デザイン材料加工実習Ⅰ	実習		2				○							
			デザイン材料加工実習Ⅱ	実習		2					○						
		情報基礎	コンピュータ基礎実習Ⅰ	実習	2				○							8単位以上	
			コンピュータ基礎実習ⅡA（3D）	実習		2				○							
			コンピュータ基礎実習ⅡB（ムービー）	実習		2					○						
			コンピュータ基礎実習ⅡC（CAD）	実習		2					○						
			プログラミングⅠ	演習	2				○								
			プログラミングⅡ	演習		2				○							

区分			授業科目	授業形態	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	配当年次 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	卒業要件単位
専門教育科目	展開科目	空間デザイン系	空間デザイン論	講義		2					○					展開科目から一つの系の全科目を含め34単位以上を修得
			空間デザイン史	講義		2					○					
			景観デザイン論	講義		2						○				
			都市計画論	講義		2						○				
			空間デザイン法規	講義		2							○			
			構造力学	講義+演習		2							○			
			建築構法	講義+演習		2							○			
			構造・材料実験	実習		2							○			
			建築設備計画	講義+演習		2								○		
			建築計画論	講義		2						○				
			環境計画論	講義		2						○				
			家具・インテリアデザイン	講義+演習		2					○					
			住宅論	講義		2								○		
		製品デザイン系	製品デザイン論	講義		2					○					
			製品デザイン史	講義		2							○			
			製品造形論	講義		2					○					
			製品計画論	講義		2						○				
			感性情報学	講義		2						○				
			ヒューマンファクターズ	講義+演習		2					○					
			インタラクションデザイン	講義+演習		2						○				
			メカトロニクス	講義+演習		2							○			
			ロボティクス	講義+演習		2								○		
			感性インタラクションデザイン	演習		2							○			
			プロトタイプシミュレーションⅠ	演習		2						○				
			プロトタイプシミュレーションⅡ	演習		2							○			
			ヒューマンケア機器デザイン	演習		2								○		
		コンテンツデザイン系	コンテンツデザイン論	講義		2					○					
			デジタル映像史	講義		2							○			
			コンテンツ制作システム論	講義		2						○				
			物語デザイン論	講義		2						○				
			バーチャルリアリティ	講義		2							○			
			コンピュータグラフィクス	講義+演習		2					○					
			アニメーションⅠ	講義+演習		2						○				
			アニメーションⅡ	講義+演習		2							○			
			デジタル音響デザイン	講義+演習		2								○		
			ダイナミックオブジェクトデザイン	演習		2					○					
			マルチメディアコンテンツデザイン	演習		2						○				
			デジタル映像コンテンツデザイン	演習		2							○			
			ネットワークシステムデザイン	演習		2								○		
		メディアデザイン系	メディアデザイン論	講義		2					○					
			メディア文化史	講義		2						○				
			知的財産権論	講義		2						○				
			メディア芸術論	講義		2						○				
			アートマネジメント論	講義		2							○			
			広告デザイン	講義+演習		2					○					
			ブランド構築	講義+演習		2							○			
			デジタルアーカイブ	講義+演習		2							○			
			コンテンツ流通技術	講義+演習		2								○		
			メディアビジネス	演習		2					○					
			出版メディアデザイン	演習		2						○				
			インターネットメディアデザイン	演習		2							○			
			放送メディアデザイン	演習		2								○		
	発展科目	デザイン応用	一般構造	講義+演習		2						○				8単位以上
			寒冷地デザイン論	講義		2							○			
			観光とデザイン	演習		2							○			
			地場産業振興論	講義		2							○			
			建築生産	講義+演習		2							○			
			デザインマネジメント	演習		2								○		
			起業論	講義		2								○		
			デザイン英語	演習		2								○		
			構造力学Ⅱ	講義+演習		2								○		
			学外実習A（インターンシップ）	実習		2						◎				
			学外実習B（フィールドスタディ）	実習		2						◎				
		学部連携	学部連携演習	演習	2								○			2単位
		デザイン総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○					6単位
			デザイン総合実習Ⅱ	実習	2							○				
			デザイン総合実習Ⅲ	実習	2								○			
		卒業研究	卒業研究	演習	6									○	○	6単位
自由科目	学芸員課程関連科目		生涯学習概論	講義			2					○				19単位
			博物館概論	講義			2					○				
			博物館経営論	講義			2						○			
			博物館資料論	講義			2					○				
			博物館資料保存論	講義			2						○			
			博物館展示論	講義			2						○			
			博物館博物館情報・メディア論	講義			2						○			
			博物館教育論	講義			2					○				
			博物館実習	実習			3							◎		

注１）◎は集中開講　注２）展開科目（単位数の網掛け部分）：所属コース系内の各科目は卒業要件単位となるため、すべて履修する必要があります。

平成28年度（編入学生は平成30年度）入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上
			宗教と思想	講義		2			○							
			芸術と文化	講義		2			○							
			教育を考える	講義		2					○					
			生活と文化	講義		2					○					
			ジェンダーと文化	講義		2				○						
		人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上
			体のしくみ	講義		2		○								
			人間関係を考える	講義		2		○								
			健康とスポーツ	講義		2						○				
			環境を考える	講義		2				○						
			自然科学を学ぶ	講義		2		○								
			動物のくらし	講義		2			○							
		社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							4単位以上
			現代社会と国際関係	講義		2				○						
			現代社会と経済	講義		2			○							
			札幌を学ぶ	講義		2		○								
			ボランティア活動を考える	講義		2				○						
			統計の世界	講義		2							○			
			日本国憲法を学ぶ	講義		2				○						
	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上
			英語ⅠB	演習	1			○								
			英語ⅠC	演習	1			○								
			英語ⅡA	演習	1				○							
			英語ⅡB	演習	1				○							
			英語ⅡC	演習	1				○							
			実践英語A	演習		1				○	○					
			実践英語B	演習		1				○						
			韓国語	演習		1					○					
			中国語	演習		1						○				
			ロシア語	演習		1						○				
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上
			プレゼンテーション	演習	1				○							
			基礎カウンセリング	演習		1		○								
			対人コミュニケーション	演習		1			○							
			グループ・ダイナミックス	演習		1				○						
			手話	演習		1			○							
			情報リテラシーⅠ	演習	1			○								
			情報リテラシーⅡ	演習	1				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○								4単位
			人間情報デザイン論	講義	2			○								
		デザイン理論	デザイン史	講義	2			○								20単位以上
			近現代建築史	講義		2				○						
			情報社会論	講義	2						○					
			エコロジカルデザイン	講義		2					○					
			メディア社会論	講義+演習		2						○				
			知的財産権論	講義		2								○		
			デザインと数学	講義+演習		2		○								
			デザイン工学	講義+演習		2			○							
			コンピュータグラフィックス	講義+演習		2					○					
			アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○							
			デザイン展開プロセス	講義+演習		2							○			
			視覚・色彩心理学	講義	2				○							
			環境心理学	講義		2				○						
			ユニバーサルデザイン論	講義	2						○					
			感性情報学	講義	2							○				
		デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2					○						20単位以上
			デザイン英語	講義+演習		2								○		
			表現基礎（描画）	実習	2			○								
			表現基礎（製図）	講義+演習		2			○							
			表現基礎（構成）	講義+演習		2			○							
			材料加工理論／実習Ⅰ	実習	2			○								
			材料加工理論／実習Ⅱ	実習		2			○							
			建築設計製図	演習		2				○						
			情報製品製図	演習		2				○						
			3DCG実習	実習		2				○						
			建築系CAD実習	実習		2					○					
			製品系CAD実習	実習		2					○					

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	基本科目	デザイン基盤	時間表現理論／演習Ⅰ	講義+演習		2		○								所属するコースから22単位以上／他コースから10単位以上
			時間表現理論／演習Ⅱ	講義+演習		2				○						
			Webデザイン	演習	2				○							
			Webプログラミング	講義+演習		2					○					
	展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義		2					○					
			空間デザイン史	講義		2					○					
			建築計画論	講義		2				○						
			都市計画論	講義		2						○				
			景観デザイン文化論	講義		2								○		
			住宅論	講義		2								○		
			環境計画論	講義+演習		2				○						
			建築設備計画	講義+演習		2						○				
			構造力学Ⅰ	講義+演習		2						○				
			構造力学Ⅱ	講義+演習		2							○			
			一般構造	講義+演習		2					○					
			建築構法	講義+演習		2							○			
			構造・材料実験	実習		2							○			
			建築生産	講義+演習		2							○			
			建築法規	講義		2							○			
			家具・インテリアデザイン	実習		2					○					
			ランドスケープアーキテクチュア	講義		2						○				
			コミュニティデザイン論	講義		2				○						
			メディア芸術論	講義		2					○					
			空間演出デザイン論	講義+演習		2						○				
			地域ブランド構築	講義+演習		2						○				
			観光デザイン論	講義+演習		2								○		
			環境芸術論	講義+演習		2				○						
			空間プロダクト	講義+演習		2					○					
			空間映像表現	演習		2						○				
			寒冷地デザイン論	講義+演習		2							○			
			起業・経営論	講義		2								○		
		人間情報デザインコース	プロダクトデザインⅠ	講義+演習		2				○						
			プロダクトデザインⅡ	講義+演習		2					○					
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義+演習		2						○				
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習		2							○			
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習		2								○		
			プログラミングⅠ	演習		2				○						
			プログラミングⅡ	講義+演習		2					○					
			プログラミングⅢ	演習		2						○				
			ヒューマンインタラクションⅠ	演習		2						○				
			ヒューマンインタラクションⅡ	演習		2							○			
			協同デザインⅠ	講義+演習		2				○						
			協同デザインⅡ	講義+演習		2					○					
			ビジュアライゼーションⅠ	講義+演習		2				○						
			ビジュアライゼーションⅡ	講義+演習		2						○				
			ビジュアライゼーションⅢ	講義+演習		2								○		
	発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2					○						4単位以上
			学部連携演習	演習	2								○			
			地域プロジェクト	演習			2	○	○	○	○	○	○	○	○	
			地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習			2	○	○	○	○					
			地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習			2			○	○	○	○	○	○	
			地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習			2					○	○	○	○	
			ユニバーサルデザイン都市札幌	演習			2					○				
		総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2					○						8単位
			デザイン総合実習Ⅱ	実習	2						○					
			デザイン総合実習Ⅲ	実習	2							○				
			デザイン総合実習Ⅳ	実習	2								○			
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3									○		6単位
			卒業研究Ⅱ	演習	3										○	
		キャリア教育	フィールドスタディ	実習		2				◎						4単位以上
			インターンシップ	実習		2						◎				
			キャリアデザイン	講義		2							○			
自由科目	学芸員課程関連科目		生涯学習概論	講義			2					○				19単位
			博物館概論	講義			2					○				
			博物館経営論	講義			2						○			
			博物館資料論	講義			2					○				
			博物館資料保存論	講義			2						○			
			博物館展示論	講義			2						○			
			博物館情報・メディア論	講義			2					○				
			博物館教育論	講義			2					○				
			博物館実習	実習			3							◎		

平成29年度（編入学生は平成31年度）以降入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上
			宗教と思想	講義		2			○							
			芸術と文化	講義		2			○							
			教育を考える	講義		2					○					
			生活と文化	講義		2					○					
			ジェンダーと文化	講義		2				○						
		人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上
			体のしくみ	講義		2		○								
			人間関係を考える	講義		2		○								
			健康とスポーツ	講義		2						○				
			環境を考える	講義		2				○						
			自然科学を学ぶ	講義		2		○								
			動物のくらし	講義		2			○							
		社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							4単位以上
			現代社会と国際関係	講義		2				○						
			現代社会と経済	講義		2			○							
			札幌を学ぶ	講義		2		○								
			ボランティア活動を考える	講義		2				○						
			統計の世界	講義		2							○			
			日本国憲法を学ぶ	講義		2				○						
	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上
			英語ⅠB	演習	1			○								
			英語ⅠC	演習	1			○								
			英語ⅡA	演習	1				○							
			英語ⅡB	演習	1				○							
			英語ⅡC	演習	1				○							
			実践英語A	演習		1				○	○					
			実践英語B	演習		1				○						
			韓国語	演習		1					○					
			中国語	演習		1						○				
			ロシア語	演習		1						○				
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上
			プレゼンテーション	演習	1				○							
			基礎カウンセリング	演習		1		○								
			対人コミュニケーション	演習		1			○							
			グループ・ダイナミックス	演習		1				○						
			手話	演習		1			○							
			情報リテラシーⅠ	演習	1			○								
			情報リテラシーⅡ	演習	1				○							
専門教育科目	基本科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○								4単位
			人間情報デザイン論	講義	2			○								
		デザイン理論	デザイン史	講義	2			○								20単位以上
			近現代建築史	講義		2				○						
			情報社会論	講義	2						○					
			エコロジカルデザイン	講義		2					○					
			メディア社会論	講義+演習		2						○				
			知的財産権論	講義		2								○		
			デザインと数学	講義+演習		2		○								
			デザイン工学	講義+演習		2			○							
			コンピュータグラフィックス	講義+演習		2					○					
			アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○							
			デザイン展開プロセス	講義+演習		2							○			
			視覚・色彩心理学	講義	2				○							
			環境心理学	講義		2				○						
			ユニバーサルデザイン論	講義	2						○					
			感性情報学	講義	2							○				
		デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2					○						20単位以上
			デザイン英語	講義+演習		2								○		
			表現基礎（描画）	実習	2			○								
			表現基礎（製図）	講義+演習		2			○							
			表現基礎（構成）	講義+演習		2			○							
			材料加工理論／実習Ⅰ	実習	2			○								
			材料加工理論／実習Ⅱ	実習		2			○							
			建築設計製図	演習		2				○						
			情報製品製図	演習		2				○						
			3DCG実習	実習		2				○						
			建築系CAD実習	実習		2					○					
			製品系CAD実習	実習		2					○					

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	基本科目	デザイン基盤	時間表現理論／演習Ⅰ	講義+演習		2		○								所属するコースから22単位以上／他コースから10単位以上
			時間表現理論／演習Ⅱ	講義+演習		2				○						
			Webデザイン	演習	2				○							
			Webプログラミング	講義+演習		2					○					
	展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義		2					○					
			空間デザイン史	講義		2					○					
			建築計画論	講義		2				○						
			都市計画論	講義		2						○				
			景観デザイン文化論	講義		2								○		
			住宅論	講義		2								○		
			環境計画論	講義+演習		2				○						
			建築設備計画	講義+演習		2						○				
			構造力学Ⅰ	講義+演習		2						○				
			構造力学Ⅱ	講義+演習		2							○			
			一般構造	講義+演習		2					○					
			建築構法	講義+演習		2							○			
			構造・材料実験	実習		2							○			
			建築生産	講義+演習		2							○			
			建築法規	講義		2							○			
			家具・インテリアデザイン	実習		2					○					
			ランドスケープアーキテクチュア	講義		2						○				
			コミュニティデザイン論	講義		2				○						
			メディア芸術論	講義		2					○					
			空間演出デザイン論	講義+演習		2						○				
			地域ブランド構築	講義+演習		2						○				
			観光デザイン論	講義+演習		2								○		
			環境芸術論	講義+演習		2				○						
			空間プロダクト	講義+演習		2					○					
			空間映像表現	演習		2						○				
			寒冷地デザイン論	講義+演習		2							○			
			起業・経営論	講義		2								○		
		人間情報デザインコース	プロダクトデザインⅠ	講義+演習		2				○						
			プロダクトデザインⅡ	講義+演習		2					○					
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義+演習		2						○				
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習		2							○			
			ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習		2								○		
			プログラミングⅠ	演習		2				○						
			プログラミングⅡ	講義+演習		2					○					
			プログラミングⅢ	演習		2						○				
			ヒューマンインタラクションⅠ	演習		2						○				
			ヒューマンインタラクションⅡ	演習		2							○			
			協同デザインⅠ	講義+演習		2				○						
			協同デザインⅡ	講義+演習		2					○					
			ビジュアライゼーションⅠ	講義+演習		2				○						
			ビジュアライゼーションⅡ	講義+演習		2						○				
			ビジュアライゼーションⅢ	講義+演習		2								○		
	発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2					○						4単位以上
			学部連携演習	演習	2								○			
			地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習			2	○	○	○	○					
			地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習			2			○	○	○	○	○	○	
			地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習			2					○	○	○	○	
			ユニバーサルデザイン都市札幌	演習			2					○				
			デザイン総合実習Ⅰ	実習	2					○						
		総合実習	デザイン総合実習Ⅱ	実習	2						○					8単位
			デザイン総合実習Ⅲ	実習	2							○				
			デザイン総合実習Ⅳ	実習	2								○			
			卒業研究Ⅰ	演習	3									○		
		卒業研究	卒業研究Ⅱ	演習	3										○	6単位
			フィールドスタディ	実習		2				◎						
		キャリア教育	インターンシップ	実習		2						◎				4単位以上
			キャリアデザイン	講義		2							○			
			生涯学習概論	講義			2					○				
自由科目	学芸員課程関連科目		博物館概論	講義			2					○				19単位
			博物館経営論	講義			2						○			
			博物館資料論	講義			2					○				
			博物館資料保存論	講義			2						○			
			博物館展示論	講義			2						○			
			博物館情報・メディア論	講義			2						○			
			博物館教育論	講義			2					○				
			博物館実習	実習			3							◎		
			博物館実習	実習			3							◎		

② 卒業要件

平成27年度（編入学生は29年度）以前入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	13	15	28
専門教育科目	40	56	96
（基本科目）	(26)	(14)	(40)
（展開科目）	－	(34)	(34)
（発展科目）	(14)	(8)	(22)
合　計	53	71	124

平成28年度（編入学生は30年度）以降入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
（基本科目）	(24)	(20)	(44)
（展開科目）	－	(32)	(32)
（発展科目）	(18)	(4)	(22)
合　計	53	71	124

3)　教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎中原　宏　上遠野　敏　斉藤　雅也 羽深　久夫　矢部　和夫　椎野 亜紀夫 武田　亘明　山田　信博　山田　良 石田　勝也　大島　卓　片山 めぐみ 小宮 加容子　須之内 元洋　金子　晋也
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎城間　祥之　安齋　利典　石井　雅博
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎吉田　和夫　細谷　多聞　金子　晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井　雅博　大渕　一博　松永　康佑
表現基礎（描画）	実習・60時間	1年次前期	◎若林　尚樹　藤木　淳
材料加工理論／実習Ⅰ	実習・60時間	1年次前期	◎上遠野　敏　矢久保 空遥　★川上　理恵
時間表現理論／演習Ⅰ	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内 元洋　石田　勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎斉藤　雅也　細谷　多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次前期	福田　大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次前期	石井　雅博
表現基礎（製図）	講義+演習・30時間	1年次後期	◎金子　晋也　山田　信博
表現基礎（構成）	講義+演習・30時間	1年次後期	◎福田　大年　金　秀敬
材料加工理論／実習Ⅱ	実習・60時間	1年次後期	◎安齋　利典　張　浦華　★山田　祥子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大渕　一博
地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習・60時間	1年次・2年次通年	◎中原　宏　◎定廣 和香子　大渕　一博
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子　晋也　羽深　久夫　山田　良 ★池上　重康　★小澤　丈夫　★武田　明純 ★中渡　憲彦
環境心理学	講義・30時間	2年次前期	片山 めぐみ
デザイン研究法（人間空間デザイン）	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎矢部　和夫　石井　雅博　中原　宏
デザイン研究法（人間情報デザイン）	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎城間　祥之　石井　雅博　張　浦華 金　秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	山田　良
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	柿山 浩一郎
３DCG実習（表現系）	実習60時間	2年次前期	松永　康祐
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	金子　晋也
時間表現理論／演習Ⅱ	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎石田　勝也　須之内 元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎片山 めぐみ　山田　信博
環境計画論	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎斉藤　雅也　矢部　和夫

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎武田　亘明　片山 めぐみ
環境芸術論	講義＋演習・30時間	2年次前期	◎山田　良　上遠野　敏
プロダクトデザインⅠ	講義＋演習・30時間	2年次前期	安齋　利典
プログラミングⅠ	演習・30時間	2年次前期	石井　雅博
協同デザインⅠ	講義＋演習・30時間	2年次前期	福田　大年
ビジュアライゼーションⅠ	講義＋演習・30時間	2年次前期	吉田　和夫
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎細谷　多聞　斉藤　雅也　町田 佳世子 柿山 浩一郎　武田　亘明　◎小田　和美 上村　浩太　古都　昌子　矢野 祐美子 柏倉　大作
デザイン総合実習Ⅰ（建築・環境）	実習・60時間	2年次前期	◎斉藤　雅也　中原　宏　羽深　久夫 矢部　和夫　椎野 亜紀夫　山田　信博 山田　良　大島　卓　片山 めぐみ 金子　晋也
デザイン総合実習Ⅰ（地域コミュニケーション・総合系）	実習・60時間	2年次前期	◎武田　亘明　片山 めぐみ　小宮 加容子
デザイン総合実習Ⅰ（人間情報デザインコース）	実習・60時間	2年次前期	◎安齋　利典　大渕　一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎若林　尚樹　安齋　利典　武田　亘明 石田　勝也　大島　卓　松永　康祐
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田　亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	矢部　和夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・30時間	2年次後期	松永　康祐
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮 加容子
３DCG実習（建築系）	実習・60時間	2年次後期	山田　信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	◎城間　祥之　三谷　篤史
Webプログラミング	講義＋演習・30時間	2年次後期	大渕　一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎山田　良　斉藤　雅也
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	羽深　久夫
一般構造	講義＋演習・30時間	2年次後期	羽深　久夫
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山 めぐみ　★中村　昇　★岸本　幸雄
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内 元洋
空間プロダクト	講義＋演習・30時間	2年次後期	小宮 加容子
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・30時間	2年次後期	三谷　篤史

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
プログラミングⅡ	講義＋演習・30時間	2年次後期	松永　康祐
協同デザインⅡ	講義＋演習・30時間	2年次後期	若林　尚樹
デザイン総合実習Ⅱ（建築・環境）	実習・60時間	2年次後期	◎金子　晋也　斉藤　雅也　中原　宏 矢部　和夫　羽深　久夫　椎野 亜紀夫 山田　信博　山田　良　大島　卓 片山 めぐみ
デザイン総合実習Ⅱ（地域コミュニケーション・総合系）	実習・60時間	2年次後期	◎石田　勝也　山田　良　須之内 元洋
デザイン総合実習Ⅱ（人間情報デザインコース）	実習・60時間	2年次後期	◎張　浦華　矢久保 空遥
地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習・60時間	2年次通年	◎中原　宏　◎定廣 和香子　大渕　一博
景観デザイン論	講義・30時間	3年次前期	椎野 亜紀夫
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	中原　宏
建築計画論	講義・30時間	3年次前期	◎片山 めぐみ　山田　信博
環境計画論	講義・30時間	3年次前期	◎斉藤　雅也　矢部　和夫
製品計画論	講義・30時間	3年次前期	◎柿山 浩一郎　金　秀敬
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	張　浦華
インタラクションデザイン	講義+演習・30時間	3年次前期	柿山 浩一郎
プロトタイプシミュレーションⅠ	演習・30時間	3年次前期	三谷　篤史
コンテンツ制作システム論	講義・30時間	3年次前期	福田　大年
物語デザイン論	講義・30時間	3年次前期	松永　康佑
アニメーションⅠ	講義+演習・30時間	3年次前期	福田　大年
マルチメディアコンテンツデザイン	演習・30時間	3年次前期	細谷　多聞
メディア文化史	講義・30時間	3年次前期	武田　亘明
知的財産権論	講義・30時間	3年次前期	◎★渡邉　泰師　★奥富　圭一　★久保　雅一 ★濱口　英樹　★安河内 正文　★吉田　孝次
メディア芸術論	講義・30時間	3年次前期	須之内 元洋
出版メディアデザイン	演習・30時間	3年次前期	吉田　和夫
一般構造	講義+演習・30時間	3年次前期	羽深　久夫
学外実習A（インターンシップ）	実習・60時間	3年次前期（学外での実習は集中）	◎福田　大年　三谷　篤史　須之内 元洋 金子　晋也
学外実習B（フィールドスタディ）	実習・60時間	3年次前期（学外での研修は集中）	◎安齋　利典　若林　尚樹　武田　亘明 石田　勝也　大島　卓　松永　康祐
デザイン総合実習Ⅱ（空間デザインコース）	実習・60時間	3年次前期	◎金子　晋也　斉藤　雅也　中原　宏 羽深　久夫　矢部　和夫　椎野 亜紀夫 山田　信博　山田　良　大島　卓 片山 めぐみ

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅱ （製品デザインコース）	実習・60時間	3年次前期	◎三谷　篤史　安齋　利典　若林　尚樹 柿山 浩一郎　張　浦華　金　秀敬 小宮 加容子　矢久保 空遥
デザイン総合実習Ⅱ （コンテンツデザインコース）	実習・60時間	3年次前期	◎城間　祥之　松永　康佑
デザイン総合実習Ⅱ （メディアデザインコース）	実習・60時間	3年次前期	◎上遠野　敏　吉田　和夫　須之内 元洋
ユニバーサルデザイン都市札幌	講義＋演習・30時間	3年次前期	◎酒井　正幸　中原　宏　張　浦華 小宮 加容子
空間デザイン法規	講義・30時間	3年次後期	★小林　宏
構造力学	講義+演習・30時間	3年次後期	★石丸　修二
建築構法	講義+演習・30時間	3年次後期	金子　晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	羽深　久夫
製品デザイン史	講義・30時間	3年次後期	安齋　利典
メカトロニクス	講義+演習・30時間	3年次後期	三谷　篤史
感性インタラクションデザイン	演習・30時間	3年次後期	◎三谷　篤史　張　浦華
プロトタイプシミュレーションⅡ	演習・30時間	3年次後期	柿山 浩一郎
デジタル映像史	講義・30時間	3年次後期	石田　勝也
バーチャルリアリティ	講義・30時間	3年次後期	石井　雅博
アニメーションⅡ	講義+演習・30時間	3年次後期	松永　康佑
デジタル映像コンテンツデザイン	演習・30時間	3年次後期	福田　大年
ブランド構築	講義＋演習・30時間	3年次後期	細谷　多聞
アートマネジメント論	講義・30時間	3年次後期	上遠野　敏
デジタルアーカイブ	講義+演習・30時間	3年次後期	須之内 元洋
インターネットメディアデザイン	演習・30時間	3年次後期	須之内 元洋
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎斉藤　雅也　山田　良
観光とデザイン	演習・30時間	3年次後期	大島　卓
地場産業振興論	講義・30時間	3年次後期	★内田　純一
建築生産	講義+演習・30時間	3年次後期	★佐野　天彦
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎石井　雅博　羽深　久夫　吉田　和夫 若林　尚樹　藤木　淳　山田　信博 金　秀敬　福田　大年　金子　晋也 矢久保 空遥　◎猪股 千代子　菊地 ひろみ 大野　夏代　神島　滋子　守村　洋 工藤　京子　小坂 美智代　櫻井　繭子 原井　美佳　檜山　明子　田仲　里江 籔谷　祐介

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅲ（空間デザインコース）	実習・60時間	3年次後期	◎山田　良　斉藤　雅也　中原　宏　羽深　久夫　矢部　和夫　椎野 亜紀夫　山田　信博　大島　卓　片山 めぐみ　金子　晋也
デザイン総合実習Ⅲ（製品デザインコース）	実習・60時間	3年次後期	◎張　浦華　安齋　利典　若林　尚樹　柿山 浩一郎　三谷　篤史　金　秀敬　小宮 加容子　矢久保 空遥
デザイン総合実習Ⅲ（コンテンツデザインコース）	実習・60時間	3年次後期	◎石井　雅博　福田　大年
デザイン総合実習Ⅲ（メディアデザインコース）	実習・60時間	3年次後期	◎上遠野　敏　吉田　和夫　武田　亘明　石田　勝也　須之内 元洋
建築設備計画	講義+演習・30時間	4年次前期	斉藤　雅也
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田　良
ロボティクス	講義+演習・30時間	4年次前期	三谷　篤史
ヒューマンケア機器デザイン	演習・30時間	4年次前期	◎小宮 加容子　安齋　利典　張　浦華
デジタル音響デザイン	講義+演習・30時間	4年次前期	◎★久保　壽光　★伊藤　博之
ネットワークシステムデザイン	演習・30時間	4年次前期	大渕　一博
コンテンツ流通技術	講義+演習・30時間	4年次前期	石田　勝也
放送メディアデザイン	演習・30時間	4年次前期	石田　勝也
デザインマネジメント	演習・30時間	4年次前期	安齋　利典
起業論	講義・30時間	4年次前期	★小林　元
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井　美穂
構造力学Ⅱ	講義+演習・30時間	4年次前期	★石丸　修二
卒業研究（空間デザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎矢部　和夫　斉藤　雅也　中原　宏　羽深　久夫　椎野 亜紀夫　山田　信博　山田　良　大島　卓　片山 めぐみ　金子　晋也
卒業研究（製品デザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎安齋　利典　若林　尚樹　柿山 浩一郎　張　浦華　三谷　篤史　金　秀敬　小宮 加容子　矢久保 空遥
卒業研究（コンテンツデザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎細谷　多聞　城間　祥之　石井　雅博　大渕　一博　福田　大年　松永　康佑
卒業研究（メディアデザインコース）	演習・90時間	4年次通年	◎上遠野　敏　吉田　和夫　武田　亘明　石田　勝也　須之内 元洋
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村　純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎矢部　和夫　★岩﨑　直人　★山田　悟郎
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★岩﨑　直人　★小野　裕子
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田　亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川　健裕

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★佐藤　幸宏
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★福岡　　孝
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★亀谷　　隆
博物館実習	実習・90時間	4年次前期（学外での実習は集中）	◎矢部　和夫　★越前谷 宏紀　★古澤　　仁

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

4　看護学部

1)　平成29年度時間割

①　1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)				
1	9:00 ～ 10:30				情報リテラシーⅠ	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ～ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシーⅠ	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ～ 14:40	形態機能学Ⅰ		形態機能学Ⅱ	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ～ 16:20	形態機能学Ⅰ		形態機能学Ⅱ	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC 日本語表現法	スタートアップ演習	基礎カウンセリング 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC
5	16:30 ～ 18:00	看護学原論	地域保健学概論	人間発達援助論	自然科学を学ぶ		基礎カウンセリング 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅠC

②　1年後期

		月		火		水	木	金
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)			
1	9:00 ～ 10:30	病理病態学		看護過程論		芸術と文化		情報リテラシーⅡ 手話
2	10:40 ～ 12:10	病理病態学		看護理論	看護過程論	宗教と思想 動物のくらし	現代社会と家族 心のしくみ	情報リテラシーⅡ 手話
3	13:10 ～ 14:40	基礎看護技術論		薬理学		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と経済
4	14:50 ～ 16:20	基礎看護技術論		感染予防論		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション
5	16:30 ～ 18:00						統計の世界	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 対人コミュニケーション

③　2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	精神看護学概論	人間工学	現代社会と国際関係 日本国憲法を学ぶ	老年看護学概論			家族社会学		環境保健
2	10:40 ～ 12:10	疾病治療学B		実践英語A 実践英語B	医療情報		成人看護学概論		臨床栄養学	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生学	成人看護援助論	実践英語A 実践英語B	生命科学	社会福祉学	疾病治療学概論		症状マネジメント論	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生学	成人看護援助論	環境を考える ジェンダーと文化	生命倫理	社会福祉学			症状マネジメント論	
5	16:30 ～ 18:00			グループ・ダイナミックス ボランティア活動を考える			疾病治療学A		学部連携基礎論	

④　2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30		精神看護援助論	生活と文化	臨床薬理学		疾病治療学C			
2	10:40 ～ 12:10	母性看護学概論	精神看護援助論		臨床心理学		小児看護学概論	看護倫理学		
3	13:10 ～ 14:40	感染管理論		中国語 ロシア語 実践英語B	健康とスポーツ		老年看護援助論	がん看護学	援助的人間関係論	在宅看護援助論
4	14:50 ～ 16:20	在宅看護学概論		中国語 ロシア語	韓国語		老年看護援助論	がん看護学	援助的人間関係論	在宅看護援助論
5	16:30 ～ 18:00	教育を考える			公衆衛生看護学概論			チーム医療論		

⑤　3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論Ⅰ		保健統計	
2	10:40 ～ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政 論Ⅰ		保健統計	
3	13:10 ～ 14:40			在宅看護 技術論		疫学Ⅰ		リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ～ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーショ ン看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00	小児看護 援助論									

⑥　3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生看護 援助論 (前半Ⅰ/後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
2	10:40 ～ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生看護 援助論 (前半Ⅰ/後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生看護 援助論 (前半Ⅰ/後半Ⅱ)						小児看護 技術論		重症集中ケア	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生看護 援助論 (前半Ⅰ/後半Ⅱ)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ～ 18:00	救急看護学						放射線医 療管理論		母性看護 技術論	

⑦　4年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	国際保健学				看護管理学		卒業研究		ヘルスプロモーション活動論	
2	10:40 ～ 12:10	現代専門職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究		ヘルスプロモーション活動論	
3	13:10 ～ 14:40	公衆衛生看護技術論		医療経営学		パリアティブケア				医療安全管理論	
4	14:50 ～ 16:20	公衆衛生看護技術論		寒冷地医療						ペリネイタルケア	
5	16:30 ～ 18:00			国際看護学						看護情報学	

⑧　4年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)	前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)
1	9:00 ～ 10:30	保健医療福祉行政論Ⅱ				公衆衛生看護管理論		卒業研究			
2	10:40 ～ 12:10	保健医療福祉行政論Ⅱ				公衆衛生看護管理論		卒業研究			
3	13:10 ～ 14:40					疫学Ⅱ					
4	14:50 ～ 16:20										
5	16:30 ～ 18:00										

2)　カリキュラム

①　授業科目一覧

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
					必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上
			宗教と思想	講義		2			○							
			芸術と文化	講義		2			○							
			環境を考える	講義		2				○						
			教育を考える	講義		2					○					
			生活と文化	講義			2			○						
		人間に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上
			体のしくみ	講義		2		○								
			ジェンダーを考える	講義		2				○						
			人間関係を考える	講義		2		○								
			健康とスポーツ	講義		2					○					
			自然科学を学ぶ	講義			2	○								
			動物のくらし	講義			2		○							
		社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							6単位以上
			現代社会と国際関係	講義		2				○						
			現代社会と経済	講義		2			○							
			札幌を学ぶ	講義		2		○								
			ボランティア活動を考える	講義		2				○						
			統計の世界	講義	2				○							
			日本国憲法を学ぶ	講義			2			○						
	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上
			英語ⅠB	演習	1			○								
			英語ⅠC	演習	1			○								
			英語ⅡA	演習	1				○							
			英語ⅡB	演習	1				○							
			英語ⅡC	演習	1				○							
			実践英語A	演習		1				○						
			実践英語B	演習		1				○	○					
			韓国語	演習		1					○					
			中国語	演習		1					○					
			ロシア語	演習		1					○					
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上
			プレゼンテーション	演習		1			○							
			基礎カウンセリング	演習		1		○								
			対人コミュニケーション	演習		1			○							
			グループ・ダイナミックス	演習		1				○						
			手話	演習		1			○							
			情報リテラシーⅠ	演習	1			○								
			情報リテラシーⅡ	演習	1				○							
専門教育科目	専門基礎科目	人間と命	形態機能学Ⅰ	演習	2			○								5単位以上
			形態機能学Ⅱ	演習	2				○							
			生命科学	講義		1				○						
			生命倫理	講義		1				○						
			環境保健	講義		1				○						
			人間工学	講義		1				○						
		健康と健康障害と予防	薬理学	講義	1				○							10単位
			臨床薬理学	演習	1						○					
			臨床栄養学	演習	1					○						
			病理病態学	演習	2				○							
			疾病治療学概論	演習	1					○						
			疾病治療学A	演習	1					○						
			疾病治療学B	演習	1					○						
			疾病治療学C	演習	1						○					
			感染予防論	講義	1				○							
		保健と医療と福祉	公衆衛生学	演習	1					○						7単位以上
			社会福祉学	講義	1					○						
			家族社会学	講義		1				○						
			チーム医療論	講義		1					○					
			感染管理論	講義		1					○					
			臨床心理学	講義		1					○					
			地域保健学概論	講義	1			○								
			保健医療福祉行政論	演習	1							○				
			保健統計	演習	1							○				
			医療情報	演習	1					○						

区分				授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
						必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専門科目	看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	看護学原論	講義	1			○								7単位
				看護理論	講義	1				○							
				援助的人間関係論	演習	1						○					
				人間発達援助論	演習	1			○								
				看護初期実習	実習	1			◎								
				看護倫理学	講義	1						○					
				健康教育指導法	演習	1								○			
			看護の基本的展開	看護過程論	演習	1				○							10単位
				看護観察技術論	演習	1			○								
				症状マネジメント論	演習	2					○						
				基礎看護技術論	演習	2				○							
				基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1				◎							
				基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2					◎						
				研究方法論	演習	1								○			
		健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	小児看護学概論	講義	1						○					5単位
				小児看護援助論	演習	1							○				
				小児看護技術論	演習	1								○			
				小児看護学臨地実習	実習	2								◎			
			母性	母性看護学概論	講義	1						○					5単位
				母性看護援助論	演習	1							○				
				母性看護技術論	演習	1								○			
				母性看護学臨地実習	実習	2								◎			
			成人	成人看護学概論	講義	1					○						8単位
				成人看護援助論	演習	1					○						
				成人看護技術論	演習	1							○				
				成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3						◎					
				成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2							◎				
			老年	老年看護学概論	講義	1					○						6単位
				老年看護援助論	演習	1						○					
				老年看護技術論	演習	1								○			
				老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1							◎				
				老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎			
			精神	精神看護学概論	講義	1					○						5単位
				精神看護援助論	演習	1						○					
				精神看護技術論	演習	1							○				
				精神看護学臨地実習	実習	2							◎				
			在宅	在宅看護学概論	講義	1						○					5単位
				在宅看護援助論	演習	1						○					
				在宅看護技術論	演習	1							○				
				在宅看護学臨地実習	実習	2							◎				
			健康問題への対応	リハビリテーション看護学	演習	1							○				5単位以上
				がん看護学	演習	1						○					
				認知症ケア	演習	1							○				
				透析ケア	講義		1							○			
				重症集中ケア	講義		1							○			
				救急看護学	講義		1							○			
				放射線医療管理論	講義		1							○			
				ペリネイタルケア	講義		1								○		
				パリアティブケア	講義		1								○		
				寒冷地医療	講義		1								○		
		コミュニティケアに関するもの		地域看護学概論	講義	1							○				9単位
				地域看護援助論	演習	2								○			
				地域看護技術論	演習	1									○		
				ヘルスプロモーション活動論	演習	1									○		
				地域看護学臨地実習Ⅰ	実習	2									◎		
				地域看護学臨地実習Ⅱ	実習	2									◎		
		発展・統合に関するもの		看護管理学	演習	1									○		11単位以上
				看護教育学	講義	1								○			
				卒業研究	演習	4									○	○	
				ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎	
				看護情報学	講義		1								○		
				災害看護学	講義		1								○		
				国際看護学	講義		1								○		
				国際保健学	講義		1								○		
				医療経営学	講義		1								○		
				医療安全管理論	講義		1								○		
				現代専門職論	講義		1								○		
		学部連携		学部連携演習	演習	2								○			2単位

注１）◎は集中　注２）自由科目は卒業要件単位に含まれません。

平成24～25年度（編入学生は26～27年度）入学生用

区分			授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
					必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上
			宗教と思想	講義		2			○							
			芸術と文化	講義		2			○							
			教育を考える	講義		2					○					
			生活と文化	講義		2				○						
			ジェンダーと文化	講義		2				○						
		人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上
			体のしくみ	講義		2		○								
			人間関係を考える	講義		2		○								
			健康とスポーツ	講義		2					○					
			環境を考える	講義		2				○						
			自然科学を学ぶ	講義		2		○								
			動物のくらし	講義		2			○							
		社会に対する理解	現代社会と家族	講義		2			○							6単位以上
			現代社会と国際関係	講義		2				○						
			現代社会と経済	講義		2			○							
			札幌を学ぶ	講義		2		○								
			ボランティア活動を考える	講義		2				○						
			統計の世界	講義	2				○							
			日本国憲法を学ぶ	講義		2				○						
	コミュニケーション科目	外国語	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上
			英語ⅠB	演習	1			○								
			英語ⅠC	演習	1			○								
			英語ⅡA	演習	1				○							
			英語ⅡB	演習	1				○							
			英語ⅡC	演習	1				○							
			実践英語A	演習		1				○						
			実践英語B	演習		1				○						
			韓国語	演習		1					○					
			中国語	演習		1					○					
			ロシア語	演習		1					○					
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上
			プレゼンテーション	演習		1			○							
			基礎カウンセリング	演習		1		○								
			対人コミュニケーション	演習		1			○							
			グループ・ダイナミックス	演習		1				○						
			手話	演習		1			○							
			情報リテラシーⅠ	演習	1			○								
			情報リテラシーⅡ	演習	1				○							
専門教育科目	専門基礎科目	人間と命	形態機能学Ⅰ	演習	2			○								5単位以上
			形態機能学Ⅱ	演習	2				○							
			生命科学	講義		1				○						
			生命倫理	講義		1				○						
			環境保健	講義		1				○						
			人間工学	講義		1				○						
		健康と健康障害と予防	薬理学	講義	2			○								12単位
			臨床薬理学	演習	1						○					
			臨床栄養学	演習	1					○						
			病理病態学	演習	2				○							
			疾病治療学概論	演習	1					○						
			疾病治療学A	演習	1					○						
			疾病治療学B	演習	1					○						
			疾病治療学C	演習	1						○					
			感染予防論	講義	2			○								
		保健と医療と福祉	公衆衛生学	演習	1					○						9単位以上(保健師コース11単位以上)
			社会福祉学	講義	1					○						
			家族社会学	講義		1				○						
			チーム医療論	講義		1					○					
			感染管理論	講義		1					○					
			臨床心理学	講義		1					○					
			地域保健学概論	講義	1			○								
			保健医療福祉行政論Ⅰ	演習	1							○				
			保健医療福祉行政論Ⅱ	演習		1									○	
			保健統計	講義	2							○				
			疫学Ⅰ	講義	1							○				
			疫学Ⅱ	講義		1									○	
			医療情報	演習	1					○						

区分				授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
						必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次		
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専門科目	看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	看護学原論	講義	1			○								7単位
				看護理論	講義	1				○							
				援助的人間関係論	演習	1						○					
				人間発達援助論	演習	1			○								
				看護初期実習	実習	1			◎								
				看護倫理学	講義	1						○					
				健康教育指導法	演習	1								○			
			看護の基本的展開	看護過程論	演習	1				○							10単位
				看護観察技術論	演習	1			○								
				症状マネジメント論	演習	2					○						
				基礎看護技術論	演習	2				○							
				基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1				◎							
				基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2					◎						
				研究方法論	演習	1								○			
		健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	小児看護学概論	講義	1						○					5単位
				小児看護援助論	演習	1							○				
				小児看護技術論	演習	1								○			
				小児看護学臨地実習	実習	2								◎			
			母性	母性看護学概論	講義	1						○					5単位
				母性看護援助論	演習	1							○				
				母性看護技術論	演習	1								○			
				母性看護学臨地実習	実習	2								◎			
			成人	成人看護学概論	講義	1					○						8単位
				成人看護援助論	演習	1					○						
				成人看護技術論	演習	1							○				
				成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3						◎					
				成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2							◎				
			老年	老年看護学概論	講義	1					○						6単位
				老年看護援助論	演習	1						○					
				老年看護技術論	演習	1								○			
				老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1							◎				
				老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎			
			精神	精神看護学概論	講義	1					○						5単位
				精神看護援助論	演習	1						○					
				精神看護技術論	演習	1							○				
				精神看護学臨地実習	実習	2							◎				
			在宅	在宅看護学概論	講義	1						○					5単位
				在宅看護援助論	演習	1						○					
				在宅看護技術論	演習	1							○				
				在宅看護学臨地実習	実習	2							◎				
			健康問題への対応	リハビリテーション看護学	演習	1							○				5単位以上
				がん看護学	演習	1						○					
				認知症ケア	演習	1							○				
				透析ケア	講義		1							○			
				重症集中ケア	講義		1							○			
				救急看護学	講義		1							○			
				放射線医療管理論	講義		1							○			
				ペリネイタルケア	講義		1								○		
				パリアティブケア	講義		1								○		
				寒冷地医療	講義		1								○		
		コミュニティケアに関するもの		公衆衛生看護学概論	講義	1						○					2単位以上(保健師コース10単位)
				公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1								○			
				公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習			1						○			
				公衆衛生看護技術論	演習			1							○		
				ヘルスプロモーション活動論	演習		1								○		
				公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習			2							◎		
				公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習			3							◎		
		発展・統合に関するもの		看護管理学	演習	1									○		12単位以上
				看護教育学	講義	1								○			
				卒業研究	演習	4									○	○	
				ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎	
				公衆衛生看護管理論	講義			1								○	
				看護情報学	講義		1								○		
				災害看護学	講義		1								○		
				国際看護学	講義		1								○		
				国際保健学	講義		1								○		
				医療経営学	講義		1								○		
				医療安全管理論	講義		1								○		
				現代専門職論	講義		1								○		
		学部連携		学部連携演習	演習	2								○			2単位

注１）◎は集中　注２）単位数（選択）の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。（保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。）

平成26～27年度（編入学生は28～29年度）入学生用

区分			科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
						必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次		
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		C1A000	スタートアップ演習	演習	2			○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	C1A001	哲学と倫理	講義		2		○								4単位以上
			C1A002	宗教と思想	講義		2			○							
			C1A003	芸術と文化	講義		2			○							
			C2A004	教育を考える	講義		2					○					
			C2A005	生活と文化	講義		2				○						
			C2A006	ジェンダーと文化	講義		2				○						
		人間と自然に対する理解	C1A007	心のしくみ	講義		2			○							4単位以上
			C1A008	体のしくみ	講義		2		○								
			C1A009	人間関係を考える	講義		2		○								
			C2A010	健康とスポーツ	講義		2					○					
			C2A011	環境を考える	講義		2				○						
			C1A012	自然科学を学ぶ	講義		2		○								
			C1A013	動物のくらし	講義		2			○							
		社会に対する理解	C1A014	現代社会と家族	講義		2			○							6単位以上
			C2A015	現代社会と国際関係	講義		2				○						
			C1A016	現代社会と経済	講義		2			○							
			C1A017	札幌を学ぶ	講義		2		○								
			C2A018	ボランティア活動を考える	講義		2				○						
			C1A019	統計の世界	講義	2				○							
			C2A020	日本国憲法を学ぶ	講義		2				○						
	コミュニケーション科目	外国語	C1A101	英語ⅠA	演習	1			○								8単位以上
			C1A102	英語ⅠB	演習	1			○								
			C1A103	英語ⅠC	演習	1			○								
			C1A104	英語ⅡA	演習	1				○							
			C1A105	英語ⅡB	演習	1				○							
			C1A106	英語ⅡC	演習	1				○							
			C2A107	実践英語A	演習		1				○						
			C2A108	実践英語B	演習		1				○						
			C2A109	韓国語	演習		1					○					
			C2A110	中国語	演習		1					○					
			C2A111	ロシア語	演習		1					○					
		コミュニケーション・情報技術	C1A112	日本語表現法	演習		1		○								4単位以上
			C1A113	プレゼンテーション	演習		1			○							
			C1A114	基礎カウンセリング	演習		1		○								
			C1A115	対人コミュニケーション	演習		1			○							
			C2A116	グループ・ダイナミックス	演習		1				○						
			C1A117	手話	演習		1			○							
			C1A118	情報リテラシーⅠ	演習	1			○								
			C1A119	情報リテラシーⅡ	演習	1				○							
専門教育科目	専門基礎科目	人間と命	N1A201	形態機能学Ⅰ	演習	2			○								5単位以上
			N1A202	形態機能学Ⅱ	演習	2			○								
			N2A203	生命科学	講義		1				○						
			N2A204	生命倫理	講義		1				○						
			N2A205	環境保健	講義		1				○						
			N2A206	人間工学	講義		1				○						
		健康と健康障害と予防	N1A207	薬理学	講義	2				○							12単位
			N2A208	臨床薬理学	演習	1						○					
			N2A209	臨床栄養学	演習	1					○						
			N1A210	病理病態学	演習	2				○							
			N2A211	疾病治療学概論	演習	1					○						
			N2A212	疾病治療学A	演習	1					○						
			N2A213	疾病治療学B	演習	1					○						
			N2A214	疾病治療学C	演習	1						○					
			N1A215	感染予防論	講義	2				○							
		保健と医療と福祉	N2A216	公衆衛生学	演習	1					○						9単位以上(保健師コース11単位以上)
			N2A217	社会福祉学	講義	1					○						
			N2A218	家族社会学	講義		1				○						
			N2A219	チーム医療論	講義		1					○					
			N2A220	感染管理論	講義		1					○					
			N2A221	臨床心理学	講義		1					○					
			N1A222	地域保健学概論	講義	1			○								
			N3A223	保健医療福祉行政論Ⅰ	演習	1							○				
			N4A224	保健医療福祉行政論Ⅱ	演習		1									○	
			N3A225	保健統計	講義	2							○				
			N3A226	疫学Ⅰ	講義	1							○				
			N4A227	疫学Ⅱ	講義		1									○	
			N2A228	医療情報	演習	1					○						

区分				科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数 必修	単位数 選択	単位数 保健師コース必修	配当年次（◎は集中で開講） 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	卒業要件単位
専門教育科目	専門科目	看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	N1A301	看護学原論	講義	1			○								7単位
				N1A302	看護理論	講義	1				○							
				N2A303	援助的人間関係論	演習	1						○					
				N1A304	人間発達援助論	演習	1			○								
				N1A305	看護初期実習	実習	1			◎								
				N2A306	看護倫理学	講義	1						○					
				N3A307	健康教育指導法	演習	1								○			
			看護の基本的展開	N1A308	看護過程論	演習	1				○							10単位
				N1A309	看護観察技術論	演習	1			○								
				N2A310	症状マネジメント論	演習	2					○						
				N1A311	基礎看護技術論	演習	2				○							
				N1A312	基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1				◎							
				N2A313	基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2					◎						
				N3A314	研究方法論	演習	1								○			
		健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	N2A315	小児看護学概論	講義	1						○					5単位
				N3A316	小児看護援助論	演習	1							○				
				N3A317	小児看護技術論	演習	1								○			
				N3A318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎			
			母性	N2A319	母性看護学概論	講義	1						○					5単位
				N3A320	母性看護援助論	演習	1							○				
				N3A321	母性看護技術論	演習	1								○			
				N3A322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎			
			成人	N2A323	成人看護学概論	講義	1					○						8単位
				N2A324	成人看護援助論	演習	1					○						
				N3A325	成人看護技術論	演習	1							○				
				N2A326	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3						◎					
				N3A327	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2							◎				
			老年	N2A328	老年看護学概論	講義	1					○						6単位
				N2A329	老年看護援助論	演習	1						○					
				N3A330	老年看護技術論	演習	1								○			
				N3A331	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1							◎				
				N3A332	老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎			
			精神	N2A333	精神看護学概論	講義	1					○						5単位
				N2A334	精神看護援助論	演習	1						○					
				N3A335	精神看護技術論	演習	1							○				
				N3A336	精神看護学臨地実習	実習	2							◎				
			在宅	N2A337	在宅看護学概論	講義	1						○					5単位
				N2A338	在宅看護援助論	演習	1						○					
				N3A339	在宅看護技術論	演習	1							○				
				N3A340	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎				
			健康問題への対応	N3A341	リハビリテーション看護学	演習	1							○				5単位以上
				N2A342	がん看護学	演習	1						○					
				N3A343	認知症ケア	演習	1							○				
				N3A344	透析ケア	講義		1							○			
				N3A345	重症集中ケア	講義		1							○			
				N3A346	救急看護学	講義		1							○			
				N3A347	放射線医療管理論	講義		1							○			
				N4A348	ペリネイタルケア	講義		1								○		
				N4A349	バリアティブケア	講義		1								○		
				N4A350	寒冷地医療	講義		1								○		
		コミュニティケアに関するもの		N2A401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○					2単位以上(保健師コース10単位)
				N3A402	公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1								○			
				N3A403	公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習			1						○			
				N4A404	公衆衛生看護技術論	演習			1							○		
				N4A405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1								○		
				N4A406	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習			2							◎		
				N4A407	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習			3							◎		
		発展・統合に関するもの		N4A408	看護管理学	演習	1									○		12単位以上
				N3A409	看護教育学	講義	1								○			
				N4A410	卒業研究	演習	4									○	○	
				N4A411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎	
				N4A412	公衆衛生看護管理論	講義			1								○	
				N4A413	看護情報学	講義		1								○		
				N4A414	災害看護学	講義		1								○		
				N4A415	国際看護学	講義		1								○		
				N4A416	国際保健学	講義		1								○		
				N4A417	医療経営学	講義		1								○		
				N4A418	医療安全管理論	講義		1								○		
				N4A419	現代専門職論	講義		1								○		
		学部連携		N3A420	学部連携演習	演習	2								○			2単位

注１）◎は集中　注２）単位数（選択）の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。（保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。）

平成28年度（編入学生は30年度）入学生用

区分			科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
						必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
										前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		C1B000	スタートアップ演習	演習	2				○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	C1B001	哲学と倫理	講義		2			○								4単位以上
			C1B002	宗教と思想	講義		2				○							
			C1B003	芸術と文化	講義		2				○							
			C2B004	教育を考える	講義		2						○					
			C2B005	生活と文化	講義		2						○					
			C2B006	ジェンダーと文化	講義		2					○						
		人間と自然に対する理解	C1B007	心のしくみ	講義		2				○							4単位以上
			C1B008	体のしくみ	講義		2			○								
			C1B009	人間関係を考える	講義		2			○								
			C2B010	健康とスポーツ	講義		2						○					
			C2B011	環境を考える	講義		2					○						
			C1B012	自然科学を学ぶ	講義		2			○								
			C1B013	動物のくらし	講義		2				○							
		社会に対する理解	C1B014	現代社会と家族	講義		2				○							4単位以上
			C2B015	現代社会と国際関係	講義		2					○						
			C1B016	現代社会と経済	講義		2				○							
			C1B017	札幌を学ぶ	講義		2			○								
			C2B018	ボランティア活動を考える	講義		2					○						
			C1B019	統計の世界	講義		2				○							
			C2B020	日本国憲法を学ぶ	講義		2					○						
	コミュニケーション科目	外国語	C1B101	英語ⅠA	演習	1				○								8単位以上
			C1B102	英語ⅠB	演習	1				○								
			C1B103	英語ⅠC	演習	1				○								
			C1B104	英語ⅡA	演習	1					○							
			C1B105	英語ⅡB	演習	1					○							
			C1B106	英語ⅡC	演習	1					○							
			C2B107	実践英語A	演習		1					○						
			C2B108	実践英語B	演習		1					○						
			C2B109	韓国語	演習		1						○					
			C2B110	中国語	演習		1						○					
			C2B111	ロシア語	演習		1						○					
		コミュニケーション・情報技術	C1B112	日本語表現法	演習		1			○								4単位以上
			C1B113	プレゼンテーション	演習		1				○							
			C1B114	基礎カウンセリング	演習		1			○								
			C1B115	対人コミュニケーション	演習		1				○							
			C2B116	グループ・ダイナミックス	演習		1					○						
			C1B117	手話	演習		1				○							
			C1B118	情報リテラシーⅠ	演習	1				○								
			C1B119	情報リテラシーⅡ	演習	1					○							
専門教育科目	専門基礎科目	人間と命	N1B201	形態機能学Ⅰ	演習	2				○								5単位以上
			N1B202	形態機能学Ⅱ	演習	2				○								
			N2B203	生命科学	講義		1					○						
			N2B204	生命倫理	講義		1					○						
			N2B205	環境保健	講義		1					○						
			N2B206	人間工学	講義		1					○						
		健康と健康障害と予防	N1B207	薬理学	講義	2					○							12単位
			N2B208	臨床薬理学	演習	1							○					
			N2B209	臨床栄養学	演習	1						○						
			N1B210	病理病態学	演習	2					○							
			N2B211	疾病治療学概論	演習	1						○						
			N2B212	疾病治療学A	演習	1						○						
			N2B213	疾病治療学B	演習	1						○						
			N2B214	疾病治療学C	演習	1							○					
			N1B215	感染予防論	講義	2					○							
		保健と医療と福祉	N2B216	公衆衛生学	演習	1						○						9単位以上(保健師コース11単位以上)
			N2B217	社会福祉学	講義	1						○						
			N2B218	家族社会学	講義		1					○						
			N2B219	チーム医療論	講義		1						○					
			N2B220	感染管理論	講義		1						○					
			N2B221	臨床心理学	講義		1						○					
			N1B222	地域保健学概論	講義	1				○								
			N3B223	保健医療福祉行政論Ⅰ	演習	1								○				
			N4B224	保健医療福祉行政論Ⅱ	演習		1										○	
			N3B225	保健統計	講義	2								○				
			N3B226	疫学Ⅰ	講義	1								○				
			N4B227	疫学Ⅱ	講義		1										○	
			N2B228	医療情報	演習	1						○						

区分				科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
							必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
											前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専門科目	看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	N1B301	看護学原論	講義	1				○								7単位
				N1B302	看護理論	講義	1					○							
				N2B303	援助的人間関係論	演習	1							○					
				N1B304	人間発達援助論	演習	1				○								
				N1B305	看護初期実習	実習	1				◎								
				N2B306	看護倫理学	講義	1							○					
				N3B307	健康教育指導法	演習	1									○			
			看護の基本的展開	N1B308	看護過程論	演習	1					○							10単位
				N1B309	看護観察技術論	演習	1				○								
				N2B310	症状マネジメント論	演習	2						○						
				N1B311	基礎看護技術論	演習	2					○							
				N1B312	基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1					◎							
				N2B313	基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2						◎						
				N3B314	研究方法論	演習	1									○			
		健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	N2B315	小児看護学概論	講義	1							○					5単位
				N3B316	小児看護援助論	演習	1								○				
				N3B317	小児看護技術論	演習	1									○			
				N3B318	小児看護学臨地実習	実習	2									◎			
			母性	N2B319	母性看護学概論	講義	1							○					5単位
				N3B320	母性看護援助論	演習	1								○				
				N3B321	母性看護技術論	演習	1									○			
				N3B322	母性看護学臨地実習	実習	2									◎			
			成人	N2B323	成人看護学概論	講義	1						○						8単位
				N2B324	成人看護援助論	演習	1						○						
				N3B325	成人看護技術論	演習	1								○				
				N2B326	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3							◎					
				N3B327	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎				
			老年	N2B328	老年看護学概論	講義	1						○						6単位
				N2B329	老年看護援助論	演習	1							○					
				N3B330	老年看護技術論	演習	1									○			
				N3B331	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1								◎				
				N3B332	老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2									◎			
			精神	N2B333	精神看護学概論	講義	1						○						5単位
				N2B334	精神看護援助論	演習	1							○					
				N3B335	精神看護技術論	演習	1								○				
				N3B336	精神看護学臨地実習	実習	2								◎				
			在宅	N2B337	在宅看護学概論	講義	1							○					5単位
				N2B338	在宅看護援助論	演習	1							○					
				N3B339	在宅看護技術論	演習	1								○				
				N3B340	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎				
			健康問題への対応	N3B341	リハビリテーション看護学	演習	1								○				5単位以上
				N2B342	がん看護学	演習	1							○					
				N3B343	認知症ケア	演習	1								○				
				N3B344	透析ケア	講義		1								○			
				N3B345	重症集中ケア	講義		1								○			
				N3B346	救急看護学	講義		1								○			
				N3B347	放射線医療管理論	講義		1								○			
				N4B348	ペリネイタルケア	講義		1									○		
				N4B349	パリアティブケア	講義		1									○		
				N4B350	寒冷地医療	講義		1									○		
		コミュニティケアに関するもの		N2B401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○					2単位以上（保健師コース10単位）
				N3B402	公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1									○			
				N3B403	公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習			1							○			
				N4B404	公衆衛生看護技術論	演習			1								○		
				N4B405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1									○		
				N4B406	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習			2								◎		
				N4B407	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習			3								◎		
		発展・統合に関するもの		N4B408	看護管理学	演習	1										○		12単位以上
				N3B409	看護教育学	講義	1									○			
				N4B410	卒業研究	演習	4										○	○	
				N4B411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎	
				N4B412	公衆衛生看護管理論	講義			1									○	
				N4B413	看護情報学	講義		1									○		
				N4B414	災害看護学	講義		1									○		
				N4B415	国際看護学	講義		1									○		
				N4B416	国際保健学	講義		1									○		
				N4B417	医療経営学	講義		1									○		
				N4B418	医療安全管理論	講義		1									○		
				N4B419	現代専門職論	講義		1									○		
				N5B421	地域プロジェクト	演習				2	○	○	○	○	○	○	○	○	
				N5B423	地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習				2	○	○	○	○					
				N5B424	地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習				2			○	○	○	○	○	○	
				N5B425	地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習				2					○	○	○	○	
		学部連携		N2B422	学部連携基礎論	演習	2						○						4単位
				N3B420	学部連携演習	演習	2									○			

注1）◎は集中　注2）自由科目は卒業要件単位に含まれません。
注3）単位数（選択）の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。（保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。）

平成29年度（編入学生は31年度）以降入学生用

区分			科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位
						必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次		
										前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	導入科目		C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○								2単位
共通教育科目	教養科目	文化に対する理解	C1C001	哲学と倫理	講義		2			○								4単位以上
			C1C002	宗教と思想	講義		2				○							
			C1C003	芸術と文化	講義		2				○							
			C2C004	教育を考える	講義		2						○					
			C2C005	生活と文化	講義		2						○					
			C2C006	ジェンダーと文化	講義		2					○						
		人間と自然に対する理解	C1C007	心のしくみ	講義		2				○							4単位以上
			C1C008	体のしくみ	講義		2			○								
			C1C009	人間関係を考える	講義		2			○								
			C2C010	健康とスポーツ	講義		2						○					
			C2C011	環境を考える	講義		2					○						
			C1C012	自然科学を学ぶ	講義		2			○								
			C1C013	動物のくらし	講義		2				○							
		社会に対する理解	C1C014	現代社会と家族	講義		2				○							4単位以上
			C2C015	現代社会と国際関係	講義		2					○						
			C1C016	現代社会と経済	講義		2				○							
			C1C017	札幌を学ぶ	講義		2			○								
			C2C018	ボランティア活動を考える	講義		2					○						
			C1C019	統計の世界	講義		2				○							
			C2C020	日本国憲法を学ぶ	講義		2					○						
	コミュニケーション科目	外国語	C1C101	英語ⅠA	演習	1				○								8単位以上
			C1C102	英語ⅠB	演習	1				○								
			C1C103	英語ⅠC	演習	1				○								
			C1C104	英語ⅡA	演習	1					○							
			C1C105	英語ⅡB	演習	1					○							
			C1C106	英語ⅡC	演習	1					○							
			C2C107	実践英語A	演習		1					○						
			C2C108	実践英語B	演習		1					○						
			C2C109	韓国語	演習		1						○					
			C2C110	中国語	演習		1						○					
			C2C111	ロシア語	演習		1						○					
		コミュニケーション・情報技術	C1C112	日本語表現法	演習		1			○								4単位以上
			C1C113	プレゼンテーション	演習		1				○							
			C1C114	基礎カウンセリング	演習		1			○								
			C1C115	対人コミュニケーション	演習		1				○							
			C2C116	グループ・ダイナミックス	演習		1					○						
			C1C117	手話	演習		1				○							
			C1C118	情報リテラシーⅠ	演習	1				○								
			C1C119	情報リテラシーⅡ	演習	1					○							
専門教育科目	専門基礎科目	人間と命	N1C201	形態機能学Ⅰ	演習	2				○								5単位以上
			N1C202	形態機能学Ⅱ	演習	2				○								
			N2C203	生命科学	講義		1					○						
			N2C204	生命倫理	講義		1					○						
			N2C205	環境保健	講義		1					○						
			N2C206	人間工学	講義		1					○						
		健康と健康障害と予防	N1C207	薬理学	講義	2					○							12単位
			N2C208	臨床薬理学	演習	1							○					
			N2C209	臨床栄養学	演習	1						○						
			N1C210	病理病態学	演習	2					○							
			N2C211	疾病治療学概論	演習	1						○						
			N2C212	疾病治療学A	演習	1						○						
			N2C213	疾病治療学B	演習	1						○						
			N2C214	疾病治療学C	演習	1							○					
			N1C215	感染予防論	講義	2					○							
		保健と医療と福祉	N2C216	公衆衛生学	演習	1						○						9単位以上(保健師コース11単位以上)
			N2C217	社会福祉学	講義	1						○						
			N2C218	家族社会学	講義		1					○						
			N2C219	チーム医療論	講義		1						○					
			N2C220	感染管理論	講義		1						○					
			N2C221	臨床心理学	講義		1						○					
			N1C222	地域保健学概論	講義	1				○								
			N3C223	保健医療福祉行政論Ⅰ	演習	1								○				
			N4C224	保健医療福祉行政論Ⅱ	演習		1										○	
			N3C225	保健統計	講義	2								○				
			N3C226	疫学Ⅰ	講義	1								○				
			N4C227	疫学Ⅱ	講義		1										○	
			N2C228	医療情報	演習	1						○						

区分				科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数 必修	選択	保健師コース必修	自由	配当年次（◎は集中で開講） 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	卒業要件単位
専門教育科目	専門科目	看護の基盤となるもの	ヒューマンケアの基本	N1C301	看護学原論	講義	1				○								7単位
				N1C302	看護理論	講義	1					○							
				N2C303	援助的人間関係論	演習	1							○					
				N1C304	人間発達援助論	演習	1				○								
				N1C305	看護初期実習	実習	1				◎								
				N2C306	看護倫理学	講義	1							○					
				N3C307	健康教育指導法	演習	1									○			
			看護の基本的展開	N1C308	看護過程論	演習	1					○							10単位
				N1C309	看護観察技術論	演習	1				○								
				N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○						
				N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○							
				N1C312	基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1					◎							
				N2C313	基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2						◎						
				N3C314	研究方法論	演習	1									○			
		健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	N2C315	小児看護学概論	講義	1							○					5単位
				N3C316	小児看護援助論	演習	1								○				
				N3C317	小児看護技術論	演習	1									○			
				N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2									◎			
			母性	N2C319	母性看護学概論	講義	1							○					5単位
				N3C320	母性看護援助論	演習	1								○				
				N3C321	母性看護技術論	演習	1									○			
				N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2									◎			
			成人	N2C323	成人看護学概論	講義	1						○						8単位
				N2C324	成人看護援助論	演習	1						○						
				N3C325	成人看護技術論	演習	1								○				
				N2C326	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3							◎					
				N3C327	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎				
			老年	N2C328	老年看護学概論	講義	1						○						6単位
				N2C329	老年看護援助論	演習	1							○					
				N3C330	老年看護技術論	演習	1									○			
				N3C331	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1								◎				
				N3C332	老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2									◎			
			精神	N2C333	精神看護学概論	講義	1						○						5単位
				N2C334	精神看護援助論	演習	1							○					
				N3C335	精神看護技術論	演習	1								○				
				N3C336	精神看護学臨地実習	実習	2								◎				
			在宅	N2C337	在宅看護学概論	講義	1							○					5単位
				N2C338	在宅看護援助論	演習	1							○					
				N3C339	在宅看護技術論	演習	1								○				
				N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎				
			健康問題への対応	N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1								○				5単位以上
				N2C342	がん看護学	演習	1							○					
				N3C343	認知症ケア	演習	1								○				
				N3C344	透析ケア	講義		1								○			
				N3C345	重症集中ケア	講義		1								○			
				N3C346	救急看護学	講義		1								○			
				N3C347	放射線医療管理論	講義		1								○			
				N4C348	ペリネイタルケア	講義		1									○		
				N4C349	パリアティブケア	講義		1									○		
				N4C350	寒冷地医療	講義		1									○		
		コミュニティケアに関するもの		N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○					2単位以上(保健師コース10単位)
				N3C402	公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習	1									○			
				N3C403	公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習			1							○			
				N4C404	公衆衛生看護技術論	演習			1								○		
				N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1									○		
				N4C406	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習			2								◎		
				N4C407	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習			3								◎		
		発展・統合に関するもの		N4C408	看護管理学	演習	1										○		12単位以上
				N3C409	看護教育学	講義	1									○			
				N4C410	卒業研究	演習	4										○	○	
				N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎	
				N4C412	公衆衛生看護管理論	講義			1									○	
				N4C413	看護情報学	講義		1									○		
				N4C414	災害看護学	講義		1									○		
				N4C415	国際看護学	講義		1									○		
				N4C416	国際保健学	講義		1									○		
				N4C417	医療経営学	講義		1									○		
				N4C418	医療安全管理論	講義		1									○		
				N4C419	現代専門職論	講義		1									○		
				N5C423	地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習				2	○	○	○	○					
				N5C424	地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習				2			○	○	○	○	○	○	
				N5C425	地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習				2					○	○	○	○	
		学部連携		N2C422	学部連携基礎論	演習	2						○						4単位
				N3C420	学部連携演習	演習	2									○			

注1）◎は集中　注2）自由科目は卒業要件単位に含まれません。
注3）単位数（選択）の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。（保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。）

② 卒業要件

平成21～23年度（編入学生は23～25年度）入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	94	6	100
（専門基礎科目）	(20)	(2)	(22)
（専門科目）	(74)	(4)	(78)
合　計	106	22	128

平成24～27年度（編入学生は26～29年度）入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	91	7	98
（専門基礎科目）	(24)	(2)	(26)
（専門科目）	(67)	(5)	(72)
合　計	103	23	126

平成28年度（編入学生は30年度）以降入学生

（単位）

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
（専門基礎科目）	(24)	(2)	(26)
（専門科目）	(69)	(5)	(74)
合　計	103	23	126

3） 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野　廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野　廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多　歳子　本田　光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣 和香子　猪股 千代子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎宮﨑 みち子　小田　和美　松浦　和代 村松　真澄　守村　洋

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎貝谷　敏子　上村　浩太　大野　夏代 神島　滋子　菅原　美樹　藤井　瑞恵 古都　昌子　本田　光　村松　真澄 守村　洋　伊東 健太郎　工藤　京子 小坂 美智代　櫻井　繭子　田中　広美 原井　美佳　三上　智子　矢野 祐美子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎田中　広美　大野　夏代　檜山　明子
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本 真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越　俊彦　★廣橋　良彦　★塚原　智英 ★金関　貴幸　★中津川 宗秀　★久保　輝文
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂　敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣 和香子　檜山　明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎古都　昌子　大野　夏代　田中　広美 檜山　明子
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎田中　広美　樋之津 淳子　大野　夏代 檜山　明子　矢野 祐美子
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	1年次後期	◎古都　昌子　樋之津 淳子　定廣 和香子 大野　夏代　田中　広美　檜山　明子 石引 かずみ　柏倉　大作　近藤　圭子 田仲　里江　御厩 美登里　大友　舞 渋谷　友紀　中田 亜由美　星　幸江
地域プロジェクトⅠ（基礎編）	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣 和香子　◎中原　宏　大渕　一博
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★山田　惠子
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上　友一
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤　健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山　明子　樋之津 淳子　★佐藤　秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野　良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野　廣子　★伊東　義忠
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★甲谷　哲郎　★秋江　研志　★和田　典男
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	★永坂　敦
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋　恭子　★築島　恵理
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★大内　高雄
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎原　俊彦　小田　和美　松浦　和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎★小笠原 克彦　★遠藤　晃　★谷　祐児 ★辻　真太朗
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎藤井　瑞恵　貝谷　敏子　神島　滋子 菅原　美樹　村松　真澄　工藤　京子 小坂 美智代　柏倉　大作
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎大野　夏代　定廣 和香子　樋之津 淳子 古都　昌子　田中　広美　檜山　明子 石引 かずみ　柏倉　大作　近藤　圭子 田仲　里江　御厩 美登里　大友　舞 渋谷　友紀　中田 亜由美　星　幸江

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎川村 三希子　小田　和美
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎神島　滋子　貝谷　敏子　菅原　美樹 藤井　瑞恵　工藤　京子　小坂 美智代 柏倉　大作
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	村松　真澄
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村　洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎小田　和美　上村　浩太　古都　昌子 矢野 祐美子　柏倉　大作　◎細谷　多聞 町田 佳世子　柿山 浩一郎　斉藤　雅也 武田　亘明
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★唯野　貢司　★後藤　仁和
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	★三澤　一仁
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野 祐美子　猪股 千代子
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎★ｽｰﾃﾞｨ神崎 和代　★土佐 理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村　洋　★菊池　浩光
援助的人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村　洋　藤井　瑞恵　古都　昌子 伊東 健太郎
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎宮﨑 みち子　古都　昌子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦　和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	宮﨑 みち子
成人看護学臨地実習Ⅰ	実習・135時間	2年次後期	◎小坂 美智代　小田　和美　川村 三希子 貝谷　敏子　神島　滋子　菅原　美樹 藤井　瑞恵　工藤　京子　檜山　明子 石引 かずみ　柏倉　大作　御厩 美登里 大友　舞　渋谷　友紀　中田 亜由美 星　幸江
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松　真澄　原井　美佳　★前沢　政次
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東 健太郎　守村　洋　★佐々木　史 ★松原　良次
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地 ひろみ
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎菊地 ひろみ　御厩 美登里　★石﨑　剛 ★石谷　夕子　★松田　諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村 三希子　松浦　和代　小坂 美智代
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多　歳子　本田　光
地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習・60時間	2・3・4年次通年	◎定廣 和香子　◎中原　宏　大渕　一博
保健医療福祉行政論Ⅰ	演習・30時間	3年次前期	◎櫻井　繭子　本田　光　守村　洋 近藤　圭子　田仲　里江　★清水　光子
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★片倉　洋子　★槙　洋一
疫学Ⅰ	講義・15時間	3年次前期	喜多　歳子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎上村　浩太　松浦　和代　三上　智子 ★川村　信明

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本 真由美　渡邉 由加利　石引 かずみ ★菅原　照夫
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎貝谷　敏子　小田　和美　川村 三希子 神島　滋子　菅原　美樹　藤井　瑞恵 工藤　京子　小坂 美智代　柏倉　大作
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎工藤　京子　小田　和美　川村 三希子 貝谷　敏子　神島　滋子　菅原　美樹 藤井　瑞恵　小坂 美智代　柏倉　大作
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井　美佳　村松　真澄　中田 亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎守村　洋　伊東 健太郎
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎守村　洋　伊東 健太郎　星　幸江
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎御厩 美登里　菊地 ひろみ
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎菊地 ひろみ　御厩 美登里
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島　滋子　柏倉　大作　★山中　康裕 ★石井　陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松　真澄　原井　美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲　里江　本田　光　櫻井　繭子 近藤　圭子
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎貝谷　敏子　松浦　和代　神島　滋子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎三上　智子　松浦　和代　上村　浩太
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎三上　智子　松浦　和代
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引 かずみ　渡邉 由加利　山本 真由美
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本 真由美　宮﨑 みち子　渡邉 由加利 石引 かずみ　大友　舞
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井　美佳　村松　真澄
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎村松　真澄　原井　美佳　中田 亜由美
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井　瑞恵　★木村　剛
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎菅原　美樹　★高橋　正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原　美樹　★三上　剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田　光　★神島　保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎櫻井　繭子　近藤　圭子　田仲　里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田　光　櫻井　繭子　近藤　圭子 田仲　里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣 和香子　田中　広美
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎小田　和美　菊地 ひろみ　大野　夏代 神島　滋子　守村　洋　工藤　京子 小坂 美智代　櫻井　繭子　原井　美佳 檜山　明子　田仲　里江　◎石井　正博 羽深　久夫　吉田　和夫　若林　尚樹 藤木　淳　山田　信博　金　秀敬 福田　大年　金子　晋也　矢久保 空遥 籔谷　祐介

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎三上　智子　渡邉 由加利　田仲　里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村 三希子　小坂 美智代　★石垣　靖子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井　美佳　★前沢　政次
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤　圭子　櫻井　繭子　田仲　里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田　光　小田　和美　菊地 ひろみ 守村　洋　渡邉 由加利　櫻井　繭子 近藤　圭子　田仲　里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎櫻井　繭子　喜多　歳子　本田　光 近藤　圭子　田仲　里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・135時間	4年次前期	◎本田　光　喜多　歳子　櫻井　繭子 近藤　圭子　田仲　里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎猪股 千代子　矢野 祐美子
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	★佐藤 ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎矢野 祐美子　★浅井　康文　★太田　晴美
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	大野　夏代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★玉城　英彦
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子　矢野 祐美子
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎猪股 千代子　古都　昌子　檜山　明子 矢野 祐美子
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	樋之津 淳子
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田　光　櫻井　繭子　近藤　圭子 田仲　里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多　歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎矢野 祐美子　猪股 千代子　上村　浩太 大野　夏代　貝谷　敏子　神島　滋子 菅原　美樹　藤井　瑞恵　古都　昌子 村松　真澄　守村　洋　伊東 健太郎 工藤　京子　小坂 美智代　田中　広美 原井　美佳　三上　智子
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎喜多　歳子　本田　光　櫻井　繭子
卒業研究	演習・120時間	4年次通年	◎大野　夏代　猪股 千代子　小田　和美 川村 三希子　菊地 ひろみ　喜多　歳子 定廣 和香子　松浦　和代　上村　浩太 貝谷　敏子　神島　滋子　菅原　美樹 藤井　瑞恵　古都　昌子　本田　光 村松　真澄　守村　洋　渡邉 由加利 伊東 健太郎　工藤　京子　小坂 美智代 櫻井　繭子　田中　広美　原井　美佳 檜山　明子　三上　智子　矢野 祐美子 山本 真由美　石引 かずみ　柏倉　大作 近藤　圭子　田仲　里江　御厩 美登里

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

4）　実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	平成29年6月7日～9日	医療機関	108名
		老人福祉センター	84名
		健診センター、その他	66名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	平成29年10月16日～19日	医療機関	328名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	平成29年5月22日～6月2日	医療機関	850名
成人看護学臨地実習Ⅰ	平成29年10月30日～11月16日	医療機関	1,105名
老年看護学臨地実習Ⅰ	平成29年5月9日～11日	老人福祉センター	243名
成人看護学臨地実習Ⅱ	平成29年6月19日～7月28日	医療機関	782名
精神看護学臨地実習	平成29年6月19日～7月27日	医療機関	469名
		社会福祉施設	160名
在宅看護学臨地実習	平成29年6月19日～7月28日	医療機関	14名
		訪問看護ステーション	332名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	282名
母性看護学臨地実習	平成29年11月20日～平成30年2月1日	医療機関	737名
小児看護学臨地実習	平成29年11月20日～平成30年2月2日	医療機関	483名
		保育所	246名
老年看護学臨地実習Ⅱ	平成29年11月21日～平成30年2月1日	医療機関	273名
		介護老人保健施設	281名
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	平成29年6月12日～7月27日	保健所・保健センター	591名
		事業所	68名
		教育機関	66名
ヘルスケアマネジメント実習	平成29年9月25日～10月12日	医療機関	1,105名
		介護老人保健施設	52名

5　デザイン研究科

1)　平成29年度時間割

①　前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30								国際関係特論
2	10:40 ～ 12:10	環境マネジメント特論		メカトロニクス特論		製品造形特論			コミュニケーション特論
3	13:10 ～ 14:40	建築計画特論				形状情報処理特論		景観デザイン特論	少子高齢社会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境共生デザイン特論		インターンシップⅠ（事前講義） インターンシップⅡ（事前講義）		インタラクションデザイン特論			連携プロジェクト演習
5	16:30 ～ 18:00			ビジュアルデザイン特論	建築構造デザイン特論	地域創成デザイン特別セミナーA			
6	18:10 ～ 19:40	デザイン特論	人間空間デザイン研究法 人間情報デザイン研究法		メディアプロデュース特論		地域プロジェクト演習	デザイン研究法	
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

②　後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期１年生	博士後期課程	博士前期１年生	博士前期１年生	博士前期１年生		博士前期１年生	博士前期１年生
1	9:00 ～ 10:30			建築環境学特論					健康福祉政策特論
2	10:40 ～ 12:10			製品評価特論				デザインマネジメント特論	地域経済政策特論
3	13:10 ～ 14:40	地域ブランド構築特論		認知・感性科学特論		インタフェースデザイン特論	映像デザイン特論	製品デザイン特論	ヒューマニティ特論
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史特論				感性価値特論		地域創成デザイン特別セミナーB	連携プロジェクト演習
5	16:30 ～ 18:00	地域環境評価特論							
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デザイン特講 人間情報デザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								

2)　カリキュラム

①　授業科目一覧・履修モデル

＜博士前期課程＞

平成24～26年度入学生用

科目区分		授業科目の名称	配当年次（時期）	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野		備考
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開	
研究科連携科目		国際関係特論	1・2　前		2					△		△	
		少子高齢社会特論	1・2　前		2			△					
		健康福祉政策特論	1・2　後		2		△						
		地域経済政策特論	1・2　後		2			△	△			△	
		ヒューマニティ特論	1・2　後		2						△		
		コミュニケーション特論	1・2　前		2					△	△		
		連携プロジェクト演習	1　通		2		△		△				
		小計（7科目）	－	－	14	－	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目	基本科目	デザイン特論	1　前	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		デザイン研究法	1　前		2			△		△	△		
		デザインマネジメント特論	1　後		2		△		△			△	
		小計（3科目）	－	2	4	－	4	4	4	4	4	4	4単位以上
	展開科目	建築計画特論	1・2　前		2		△■						
		建築環境学特論	1・2　後		2		△■						
		建築構造デザイン特論	1・2　前		2		△■						
		構法デザイン特論 ※H27年度以降開講なし	1・2　前		2		△■						
		日本建築史特論	1・2　後		2		△						
		景観デザイン特論	1・2　前		2			△					
		地域環境評価特論	1・2　後		2			△					
		環境共生デザイン特論	1・2　前		2			△					
		環境マネジメント特論	1・2　前		2			△	△				
		製品造形特論	1・2　前		2				△				
		ソシオデザイン特論	1・2　前		2				△	△			
		製品評価特論	1・2　後		2				△	△			
		メカトロニクス特論	1・2　後		2				△	△			
		インタフェースデザイン特論	1・2　後		2					△			
		認知・感性科学特論	1・2　後		2					△	△		
		インタラクションデザイン特論	1・2　前		2						△		
		形状情報処理特論	1・2　前		2						△		
		造形表現特論	1・2　後		2						△		
		映像デザイン特論	1・2　後		2						△	△	
		ビジュアルデザイン特論	1・2　前		2							△	
		現代芸術特論	1・2　後		2							△	
		メディアプロデュース特論	1・2　前		2							△	
		地域ブランド構築特論	1・2　後		2			△				△	
		デザイン特別演習	1　前･後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（24科目）	－	2	46	－	12	12	12	12	12	12	12単位以上
	実践科目	地域プロジェクト演習	2　前	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		地域創成デザイン特別セミナーA	1・2　前		2							△	
		地域創成デザイン特別セミナーB	1・2　後		2					△	△		
		インターンシップⅠ	1・2　集中		2		△■	△	△				
		インターンシップⅡ	1・2　集中			4	△■						
		小計（5科目）	－	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上
	研究修了	特別研究	1～2　通	6	－	－	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（1科目）	－	6	－	－	6	6	6	6	6	6	6単位
合計（40科目）			－	12	70	4	34	30	30	30	30	30	

◎：必修科目　△：選択科目

■は一級建築士受験の実務経験１年とみなすための認定科目（８科目・18単位からインターンシップⅡを含む16単位以上の履修が必要となります）

※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験１年と見なすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

平成27年度入学生用

科目区分		授業科目の名称	配当年次（時期）	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野	
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開
研究科連携科目		国際関係特論	1・2　前期		2					△		△
		少子高齢社会特論	1・2　前期		2			△				
		健康福祉政策特論	1・2　後期		2		△					
		地域経済政策特論	1・2　後期		2			△	△			△
		ヒューマニティ特論	1・2　後期		2						△	
		コミュニケーション特論	1・2　前期		2					△	△	
		連携プロジェクト演習	1　通年		2		△		△			
		小計（7科目）	－	－	14	－	4	4	4	4	4	4
専門教育科目	基本科目	デザイン特論	1　前期	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎
		デザイン研究法	1　前期		2			△		△	△	
		デザインマネジメント特論	1　後期		2		△		△			△
		小計（3科目）	－	2	4	－	4	4	4	4	4	4
	展開科目	建築計画特論	1・2　前期		2		△■					
		建築環境学特論	1・2　後期		2		△■					
		建築構造デザイン特論	1・2　前期		2		△■					
		日本建築史特論	1・2　後期		2		△					
		景観デザイン特論	1・2　前期		2			△				
		地域環境評価特論	1・2　後期		2			△				
		環境共生デザイン特論	1・2　前期		2		△■	△				
		環境マネジメント特論	1・2　前期		2			△	△			
		製品造形特論	1・2　前期		2				△			
		製品評価特論	1・2　後期		2				△	△		
		メカトロニクス特論	1・2　後期		2				△	△		
		インタフェースデザイン特論	1・2　後期		2				△	△		
		認知・感性科学特論	1・2　後期		2					△	△	
		インタラクションデザイン特論	1・2　前期		2					△	△	
		形状情報処理特論	1・2　前期		2						△	
		造形表現特論	1・2　後期		2						△	
		映像デザイン特論	1・2　後期		2						△	△
		ビジュアルデザイン特論	1・2　前期		2							△
		現代芸術特論	1・2　後期		2							△
		メディアプロデュース特論	1・2　前期		2							△
		地域ブランド構築特論	1・2　後期		2			△				△
		デザイン特別演習	1　前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎
		小計（22科目）	－	2	42	－	12	12	12	12	12	12
	実践科目	地域プロジェクト演習	2　前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎
		地域創成デザイン特別セミナーA	1・2　前期		2							△
		地域創成デザイン特別セミナーB	1・2　後期		2					△	△	
		インターンシップⅠ	1・2　集中		2		△■	△	△			
		インターンシップⅡ	1・2　集中			4	△■					
		小計（5科目）	－	2	6	4	8	4	4	4	4	4
	研究修了	特別研究	1～2　通年	6	－	－	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		小計（1科目）	－	6	－	－	6	6	6	6	6	6
合計（38科目）				12	66	4	34	30	30	30	30	30

◎：必修科目　△：選択科目
■は一級建築士受験の実務経験１年とみなすために必要な指定科目（８科目・18単位からインターンシップⅡを含む16単位以上の履修が必要）
※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験１年と見なすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

平成28年度入学生用

科目区分		授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次（時期）	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	空間デザイン分野 建築デザイン	空間デザイン分野 環境デザイン	製品デザイン分野 プロダクトデザイン	製品デザイン分野 インタフェースデザイン	コンテンツ・メディアデザイン分野 コンテンツ制作	コンテンツ・メディアデザイン分野 メディア展開	備考
研究科連携科目		国際関係特論	C5A701	1・2　前期		2					△		△	
		少子高齢社会特論	C5A702	1・2　前期		2			△					
		健康福祉政策特論	C5A703	1・2　後期		2		△						
		地域経済政策特論	C5A704	1・2　後期		2			△	△			△	
		ヒューマニティ特論	C5A705	1・2　後期		2						△		
		コミュニケーション特論	C5A706	1・2　前期		2					△	△		
		連携プロジェクト演習	C1A701	1　通年		2		△		△				
		小計（7科目）		－	－	14	－	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目	基本科目	デザイン特論	D1A801	1　前期	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		デザイン研究法	D1A802	1　前期		2			△		△	△		
		デザインマネジメント特論	D1A803	1　前期		2		△		△			△	
		小計（3科目）		－	2	4	－	4	4	4	4	4	4	4単位以上
	展開科目	建築計画特論	D5A801	1・2　前期		2		△■						
		建築環境学特論	D5A802	1・2　後期		2		△■						
		建築構造デザイン特論	D5A803	1・2　前期		2		△■						
		日本建築史特論	D5A804	1・2　後期		2		△						
		景観デザイン特論	D5A805	1・2　前期		2			△					
		地域環境評価特論	D5A806	1・2　後期		2			△					
		環境共生デザイン特論	D5A807	1・2　前期		2		△■	△					
		環境マネジメント特論	D5A808	1・2　前期		2			△	△				
		製品造形特論	D5A831	1・2　前期		2				△				
		製品評価特論	D5A832	1・2　後期		2				△	△			
		メカトロニクス特論	D5A833	1・2　後期		2				△	△			
		インタフェースデザイン特論	D5A834	1・2　後期		2					△			
		製品デザイン特論	D5A835	1・2　後期		2				△				
		認知・感性科学特論	D5A861	1・2　後期		2					△	△		
		インタラクションデザイン特論	D5A862	1・2　前期		2					△	△		
		形状情報処理特論	D5A863	1・2　前期		2						△		
		造形表現特論※H29年度以降開講なし	D5A864	1・2　後期		2						△		
		映像デザイン特論	D5A865	1・2　後期		2						△	△	
		ビジュアルデザイン特論	D5A866	1・2　前期		2							△	
		現代芸術特論	D5A867	1・2　後期		2							△	
		メディアプロデュース特論	D5A868	1・2　前期		2							△	
		地域ブランド構築特論	D5A869	1・2　後期		2			△				△	
		デザイン特別演習	D1A804	1　前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（23科目）		－	2	44	－	12	12	12	12	12	12	12単位以上
	実践科目	地域プロジェクト演習	D2A801	2　前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		地域創成デザイン特別セミナーA	D5A891	1・2　前期		2							△	
		地域創成デザイン特別セミナーB	D5A892	1・2　後期		2					△	△		
		インターンシップⅠ	D5A893	1・2　集中		2		△■	△	△				
		インターンシップⅡ	D5A894	1・2　集中			4	△■						
		小計（5科目）		－	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上
	研究修了	特別研究	D5A899	1～2　通年	6	－	－	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（1科目）		－	6	－	－	6	6	6	6	6	6	6単位
合計（39科目）				－	12	68	4	34	30	30	30	30	30	

◎：必修科目　△：選択科目
■は一級建築士受験の実務経験１年とみなすために必要な認定科目（８科目・18単位）
※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験１年と見なすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

平成29年度入学生用

科目区分		授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次（時期）	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	空間デザイン分野 建築デザイン	空間デザイン分野 環境デザイン	製品デザイン分野 プロダクトデザイン	製品デザイン分野 インタフェースデザイン	コンテンツ・メディアデザイン分野 コンテンツ制作	コンテンツ・メディアデザイン分野 メディア展開	備考
研究科連携科目		国際関係特論	C5B701	1・2　前期		2					△		△	
		少子高齢社会特論	C5B702	1・2　前期		2			△					
		健康福祉政策特論	C5B703	1・2　後期		2		△						
		地域経済政策特論	C5B704	1・2　後期		2			△	△			△	
		ヒューマニティ特論	C5B705	1・2　後期		2						△		
		コミュニケーション特論	C5B706	1・2　前期		2					△	△		
		連携プロジェクト演習	C1B701	1　通年		2		△		△				
		小計（7科目）		―	-	14	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目	基本科目	デザイン特論	D1B801	1　前期	2			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		デザイン研究法	D1B802	1　前期		2			△		△	△		
		デザインマネジメント特論	D1B803	1　前期		2		△		△			△	
		小計（3科目）		―	2	4	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
	展開科目	建築計画特論	D5B801	1・2　前期		2		△■						
		建築環境学特論	D5B802	1・2　後期		2		△■						
		建築構造デザイン特論	D5B803	1・2　前期		2		△■						
		日本建築史特論	D5B804	1・2　後期		2		△						
		景観デザイン特論	D5B805	1・2　前期		2			△					
		地域環境評価特論	D5B806	1・2　後期		2			△					
		環境共生デザイン特論	D5B807	1・2　前期		2		△■	△					
		環境マネジメント特論	D5B808	1・2　前期		2			△	△				
		製品造形特論	D5B831	1・2　前期		2				△				
		製品評価特論	D5B832	1・2　後期		2				△	△			
		メカトロニクス特論	D5B833	1・2　前期		2				△	△			
		インタフェースデザイン特論	D5B834	1・2　後期		2					△			
		製品デザイン特論	D5B835	1・2　後期		2				△				
		感性価値特論	D5B836	1・2　後期		2					△			
		認知・感性科学特論	D5B861	1・2　後期		2					△	△		
		インタラクションデザイン特論	D5B862	1・2　前期		2						△		
		形状情報処理特論	D5B863	1・2　前期		2						△		
		映像デザイン特論	D5B864	1・2　後期		2						△	△	
		ビジュアルデザイン特論	D5B865	1・2　前期		2						△	△	
		現代芸術特論	D5B866	1・2　後期		2							△	
		メディアプロデュース特論	D5B867	1・2　前期		2							△	
		地域ブランド構築特論	D5B868	1・2　後期		2			△				△	
		デザイン特別演習	D1B804	1　前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（23科目）		―	2	44	-	12	12	12	12	12	12	12単位以上
	実践科目	地域プロジェクト演習	D2B801	2　前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
		地域創成デザイン特別セミナーA	D5B891	1・2　前期		2							△	
		地域創成デザイン特別セミナーB	D5B892	1・2　後期		2					△	△		
		インターンシップⅠ	D5B893	1・2　集中		2		△■	△	△				
		インターンシップⅡ	D5B894	1・2　集中			4	△■						
		小計（5科目）		―	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上
	研究修了	特別研究	D5B899	1～2　通年	6	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		小計（1科目）		―	6	-	-	6	6	6	6	6	6	6単位
合計（39科目）				―	12	68	4	34	30	30	30	30	30	

◎：必修科目　　△：選択科目
■は一級建築士受験の実務経験１年とみなすために必要な指定科目（8科目・18単位からインターンシップⅡを含む16単位以上の履修が必要となります）
※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

＜博士後期課程＞

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期		2		○		
	小計（3科目）	―	2	4	0	―		
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期	2				○	
	小計（3科目）	―	2	4	0	―		
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2				○	
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2				○	
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4				○	
	小計（3科目）	―	8	0	0	―		
合計（9科目）		―	12	8	0			

② 修了要件

＜博士前期課程＞

科目区分			修了要件
研究科連携科目			4単位以上
専門教育科目	基本科目		4単位以上
	展開科目	空間デザイン分野 製品デザイン分野 コンテンツ・メディアデザイン分野	12単位以上
	実践科目		4単位以上
	修了研究		6単位
合計			30単位以上

「研究科連携科目」から 4 単位以上、「基本科目」から 4 単位以上（必修 2 単位を含む）、「展開科目」から 12 単位以上（必修 2 単位を含む）、「実践科目」から 4 単位以上（必修 2 単位を含む）、「特別研究」を 6 単位、合計 30 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

＜博士後期課程＞

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から 4 単位以上（必修 2 単位を含む）、「展開科目」から 4 単位以上（必修 2 単位を含む）、「研究指導科目」から 8 単位、合計 16 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

3） 教育活動

＜博士前期課程＞

研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎 和代　城間　祥之　石井　雅博 大野　夏代　★玉城　英彦
少子高齢社会論	講義・30時間	1・2年次前期	原　俊彦
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村　洋　★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★佐藤　孝一
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井　美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎城間　祥之　三谷　篤史　片山 めぐみ 松永　康祐　◎宮﨑 みち子　上村　浩太 藤井　瑞恵

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎蓮見　孝　石井　雅博
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎中原　宏　矢部　和夫　柿山 浩一郎
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	★近藤　公彦
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田　信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	斉藤　雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★渡邊　和之
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	羽深　久夫
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★吉田　惠介
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎中原　宏　矢部　和夫
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎山田　良　★上田　裕文
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎片山 めぐみ　★上田　裕文
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎　友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	柿山 浩一郎
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次後期	三谷　篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	酒井　正幸
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	安齋　利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金　秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次後期	石井　雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	細谷　多聞
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	城間　祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永　康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	吉田　和夫
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	上遠野　敏
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保　俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	★内田　純一
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎城間　祥之　蓮見　孝　細谷　多聞 上遠野　敏　安齋　利典　石井　雅博 斉藤　雅也　中原　宏　羽深　久夫 矢部　和夫　吉田　和夫　柿山 浩一郎 三谷　篤史　山田　信博　山田　良 片山 めぐみ　金　秀敬　松永　康佑
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎城間　祥之　石井　雅博　羽深　久夫 柿山 浩一郎　三谷　篤史　山田　良 片山 めぐみ　松永　康佑
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎羽深　久夫　斉藤　雅也　中原　宏 山田　良
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次後期	安齋　利典

インターンシップⅠ	実習・60時間	1・2年次集中	◎中原　宏　斉藤　雅也　羽深　久夫 矢部　和夫　山田　信博　山田　良 片山 めぐみ
インターンシップⅡ	実習・120時間	1・2年次集中	◎羽深　久夫　斉藤　雅也　中原　宏 山田　良　片山 めぐみ
特別研究	演習・90時間	1～2年次通年	◎城間　祥之　蓮見　孝　細谷　多聞 上遠野　敏　安齋　利典　石井　雅博 斉藤　雅也　中原　宏　羽深　久夫 矢部　和夫　柿山 浩一郎　三谷　篤史 山田　信博　山田　良　金　秀敬

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

＜博士後期課程＞

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎中原　宏　石井　雅博　羽深　久夫 矢部　和夫
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎城間　祥之　細谷　多聞　石井　雅博
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎斉藤　雅也　石井　雅博　町田 佳世子 矢部　和夫　柿山 浩一郎　山田　信博 山田　良
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎羽深　久夫　斉藤　雅也　中原　宏 矢部　和夫　山田　信博　山田　良
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎城間　祥之　細谷　多聞　酒井　正幸 石井　雅博
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	細谷　多聞　城間　祥之　安齋　利典 石井　雅博　斉藤　雅也　中原　宏 羽深　久夫　矢部　和夫　柿山 浩一郎 三谷　篤史　山田　信博　山田　良
博士特別研究Ⅰ	演習・30時間	1年次通年	細谷　多聞　城間　祥之　安齋　利典 石井　雅博　斉藤　雅也　中原　宏 羽深　久夫　矢部　和夫　柿山 浩一郎 三谷　篤史　山田　信博　山田　良
博士特別研究Ⅱ	演習・30時間	2年次通年	細谷　多聞　城間　祥之　安齋　利典 石井　雅博　斉藤　雅也　中原　宏 羽深　久夫　矢部　和夫　柿山 浩一郎 三谷　篤史　山田　信博　山田　良
博士特別研究Ⅲ	演習・30時間	3年次通年	細谷　多聞　城間　祥之　安齋　利典 石井　雅博　斉藤　雅也　中原　宏 羽深　久夫　矢部　和夫　柿山 浩一郎 三谷　篤史　山田　信博　山田　良

6　看護学研究科

1）　平成29年度時間割

＜博士前期課程＞

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20	看護理論特論	看護コンサルテーション特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援看護学特論	看護専門職教育特論 クリティカルケア看護学特論 小児看護学特論D がん看護学・緩和ケア特論 精神看護学特論Ⅳ	がん看護学・緩和ケア援助特論 クリティカル精神看護学演習
5	16:30 ～ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論Ⅰ 看護技術学特論Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 急性期看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論Ⅱ 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護管理学特論	家族看護学特論	看護倫理学特論	継続教育特論
6	18:10 ～ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論Ⅰ 看護技術学特論Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 小児看護学特論B 急性期看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論Ⅱ 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援看護学特論	看護専門職教育特論 クリティカルケア看護学特論 小児看護学特論D がん看護学・緩和ケア特論 精神看護学特論Ⅳ	がん看護学・緩和ケア援助特論 クリティカル精神看護学演習
7	19:50 ～ 21:20	看護理論特論	看護コンサルテーション特論	看護管理学特論	家族看護学特論	看護倫理学特論	継続教育特論

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				国際関係特論	健康福祉政策特論
				コミュニケーション特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習Ⅰ 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習		特別研究 課題研究		連携プロジェクト演習	
	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 小児看護学演習A 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 がん看護学演習Ⅰ 精神看護学演習Ⅱ・Ⅲ 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	臨床哲学特論 小児看護学特論A アドバンスト・フィジカルアセスメント 看護学演習 腫瘍学特論 精神看護学特論Ⅵ	小児看護学特論C 急性期病態管理学特論 病態治療特論 精神看護学特論Ⅴ	リハビリテーション 精神看護学演習 精神看護学特論Ⅲ	
				小児看護学演習B クリティカルケア看護学演習 がん看護学演習Ⅱ	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習Ⅰ 看護技術学演習Ⅰ 看護教育・看護マネジメント学演習		臨床哲学特論 小児看護学特論A アドバンスト・フィジカルアセスメント 看護学演習 腫瘍学特論 精神看護学特論Ⅵ	小児看護学特論C 急性期病態管理学特論 病態治療特論 精神看護学特論Ⅴ		
	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 小児看護学演習A 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 がん看護学演習Ⅰ 精神看護学演習Ⅱ・Ⅲ 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	特別研究 課題研究			

＜博士後期課程＞

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20			後期特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
5	16:30 ～ 18:00			（横断型連携特別演習）			
6	18:10 ～ 19:40			後期特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
7	19:50 ～ 21:20			（横断型連携特別演習）			

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					

2）カリキュラム

①　授業科目一覧

＜博士前期課程＞

科目区分				科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	修了要件	
研究科連携科目				C5A701	国際関係特論	1･2　前		2		○			4単位以上	研究科連携科目及び専門教育科目のうちから2単位以上
				C5A702	少子高齢社会特論	1･2　前		2		○				
				C5A703	健康福祉政策特論	1･2　後		2		○				
				C5A704	地域経済政策特論	1･2　後		2		○				
				C5A705	ヒューマニティ特論	1･2　後		2		○				
				C5A706	コミュニケーション特論	1･2　前		2		○				
				C1A701	連携プロジェクト演習	1　通		2			○			
専門教育科目	専門基礎科目			N1A801	看護理論特論	1　前	2			○			8単位以上	
				N1A802	看護研究法特論	1　前	2			○				
				N1A803	看護倫理学特論	1　前		2		○				
				N1A804	看護管理学特論	1　前		2		○				
				N1A805	臨床哲学特論	1　後		2		○				
				N1A806	看護コンサルテーション特論	1　後		2		○				
				N1A807	看護専門職教育特論	1　前		2		○				
				N1A808	継続教育特論	1　後		2		○				
				N1A809	寒冷地生活支援看護学特論	1　後		2		○				
				N1A810	家族看護学特論	1　後		2		○				
	専門科目	実践看護学分野	地域生活看護学領域	N1A821	地域生活看護学特論	1　前		2		○			1つの領域から8単位以上（専門看護師認定希望者16単位以上）	
				N5A821	老年看護学特論	1･2　後		2		○				
				N5A822	在宅看護学特論	1･2　後		2		○				
				N5A823	地域看護学特論	1･2　後		2		○				
				N1A822	地域生活看護学演習	1　通		2			○			
				N5A824	老年看護学演習	1･2　通		2			○			
				N5A825	在宅看護学演習	1･2　通		2			○			
				N5A826	地域看護学演習	1･2　通		2			○			
			母子看護学領域	N1A831	母子看護学特論	1　前		2		○				
				N5A831	母性看護学特論	1･2　後		2		○				
				N1A832	小児看護学特論A	1　前		2		○				
				N1A833	小児看護学特論B	1　後		2		○				
				N1A834	小児看護学特論C	1　後		1		○				
				N2A831	小児看護学特論D	2　前		1		○				
				N1A835	母子看護学演習	1　通		2			○			
				N5A832	母性看護学演習	1･2　通		2			○			
				N1A836	小児看護学演習A	1　通		2			○			
				N5A833	小児看護学演習B	1･2　通		2			○			
				N5A834	小児看護学実習Ⅰ	1･2　通		4				○		
				N5A835	小児看護学実習Ⅱ	1･2　通		2				○		
			成人看護学領域	N1A841	成人看護学特論	1　前		2		○				
				N5A841	急性期看護学特論	1･2　後		2		○				
				N5A842	慢性期看護学特論	1･2　後		2		○				
				N5A843	がん看護学特論	1･2　後		2		○				
				N5A844	急性期病態管理学特論	1･2　後		2		○				
				N1A842	クリティカルケア看護学特論	1　前		1		○				
				N1A843	がん看護学・緩和ケア特論	1　前		1		○				
				N1A844	がん看護学・緩和ケア援助特論	1　後		1		○				
				N1A845	腫瘍学特論	1　前		2		○				
				N1A846	病態治療特論	1　後		2		○				
				N1A847	成人看護学演習	1　通		2			○			
				N5A845	急性期看護学演習	1･2　通		2			○			
				N1A848	アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	1　前		1			○			
				N1A849	クリティカルケア看護学演習	1　通		2			○			
				N5A846	慢性期看護学演習	1･2　通		2			○			
				N5A847	がん看護学演習Ⅰ	1･2　通		2			○			
				N2A841	がん看護学演習Ⅱ	2　通		2			○			
				N5A848	急性期看護学実習	1･2　通		6				○		
				N1A850	がん看護学実習Ⅰ	1　後		2				○		
				N2A842	がん看護学実習Ⅱ	2　通		4				○		
			精神看護学領域	N1A861	精神看護学特論Ⅰ	1　前		2		○				
				N5A861	精神看護学特論Ⅱ	1･2　後		2		○				
				N5A862	精神看護学特論Ⅲ	1･2　前		2		○				
				N5A863	精神看護学特論Ⅳ	1･2　前		1		○				
				N1A862	精神看護学特論Ⅴ	1　後		2		○				
				N2A861	精神看護学特論Ⅵ	2　前		2		○				
				N1A863	精神看護学演習Ⅰ	1　通		2			○			
				N5A864	精神看護学演習Ⅱ	1･2　通		2			○			
				N5A865	精神看護学演習Ⅲ	1･2　通		2			○			
				N1A864	クリティカル精神看護学演習	1　後		1			○			
				N2A862	リハビリテーション精神看護学演習	2　前		1			○			
				N1A865	精神看護学実習Ⅰ	1　後		2				○		
				N2A863	精神看護学実習Ⅱ	2　通		4				○		
			看護技術学領域	N1A871	看護技術学特論Ⅰ	1　前		2		○				
				N5A871	看護技術学特論Ⅱ	1･2　後		2		○				
				N1A872	看護技術学演習Ⅰ	1　通		2			○			
				N5A872	看護技術学演習Ⅱ	1･2　通		2			○			
専門教育科目	専門科目	看護マネジメント学分野	看護教育・管理学領域	N1A881	看護教育・看護マネジメント学特論	1　前		2		○				
				N5A881	看護教育学特論	1･2　後		2		○				
				N5A882	看護マネジメント学特論	1･2　後		2		○				
				N1A882	看護教育・看護マネジメント学演習	1　通		2			○			
				N5A883	看護教育学演習	1･2　通		2			○			
				N5A884	看護マネジメント学演習	1･2　通		2			○			
		研究		N5A891	特別研究	1～2　通		8			○		8単位（専門看護師認定希望者4単位）	
				N5A892	課題研究	1～2　通		4			○			

＜博士後期課程＞

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	修了要件
博士後期連携科目	N1A901	横断型連携特別演習	1　通	2				○		2単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	1　前	2			○			4単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1　通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1　通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1　通		2			○		
博士後期研究指導科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	1　通	2				○		8単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	2　通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	3　通	4				○		

② 修了要件

＜博士前期課程＞

※修士論文コース

（単位）

区分	必修科目	選択科目		自由科目	合　計	
研究科連携科目	―	4	2	―	4	2
専門教育科目	4	20		―	24	
専門基礎科目	4	4		―	8	
専門科目	―	16		―	16	
選択する領域・分野から	―	8		―	8	
研究	―	8		―	8	
合　計	4	26		―	30	

※専門看護師コース

（単位）

区分	必修科目	選択科目		自由科目	合　計	
研究科連携科目	―	4	2	―	4	2
専門教育科目	4	24		―	28	
専門基礎科目	4	4		―	8	
専門科目	―	20		―	20	
選択する領域・分野から	―	16		―	16	
研究	―	4		―	4	
合　計	4	30		―	34	

＜博士後期課程＞

（単位）

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	－	－	2
博士後期専門科目	2	2	－	4
博士後期研究指導科目	8	－	－	8
合計	12	2	－	14

3）　教育活動

＜博士前期課程＞

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎　和代　城間　祥之　石井　雅博 大野　夏代　★玉城　英彦
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	原　俊彦
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村　洋　★大久保 一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★佐藤　孝一　★町野　和夫　★平本　健太 ★吉野　忠男
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井　美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	町田 佳世子
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎宮﨑 みち子　上村　浩太　藤井　瑞恵 ◎城間　祥之　三谷　篤史　片山 めぐみ 松永　康佑
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎中村　惠子　菅原　美樹　★黒田　裕子
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦　和代　菊地 ひろみ　貝谷　敏子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎宮﨑 みち子　川村 三希子　古都　昌子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎猪股 千代子　中村　惠子
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形　敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎猪股 千代子　古都　昌子　★藤野　智子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣 和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎古都　昌子　★舟島 なをみ　★中山 登志子
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松　真澄　★池田　貴夫　★前沢　政次 ★鈴木　英樹
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田　和美　菊地 ひろみ　★柳原　清子 ★吉川 由希子
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地 ひろみ　喜多　歳子　村松　真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎村松　真澄　★樋渡 ひとみ　★大久保 抄織
在宅看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	菊地 ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	喜多　歳子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎村松　真澄　菊地 ひろみ　喜多　歳子 本田　光
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	村松　真澄

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
在宅看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	菊地 ひろみ
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎喜多　歳子　本田　光
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦　和代　宮﨑 みち子
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	宮﨑 みち子
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦　和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦　和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦　和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦　和代
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎宮﨑 みち子　松浦　和代　上村　浩太 渡邉 由加利　三上　智子　山内 まゆみ
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎宮﨑 みち子　渡邉 由加利　山内 まゆみ
小児看護学演習Ａ	演習・60時間	1年次通年	◎松浦　和代　上村　浩太　三上　智子
小児看護学演習Ｂ	演習・60時間	1・2年次通年	◎松浦　和代　上村　浩太
小児看護学実習Ⅰ	実習・180時間	1・2年次通年	◎松浦　和代　上村　浩太　三上　智子
小児看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1・2年次通年	◎松浦　和代　上村　浩太　三上　智子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田　和美　川村 三希子　中村　惠子
急性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎中村　惠子　菅原　美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田　和美
がん看護特論	講義・30時間	1・2年次後期	川村 三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★田中　秀治　★浅井　康文　★山口　芳裕
クリティカルケア看護学特論	講義・15時間	1年次前期	◎中村　惠子　菅原　美樹
がん看護学・緩和ケア特論	講義・15時間	1年次前期	川村 三希子
がん看護学・緩和ケア援助特論	講義・15時間	1年次後期	◎川村 三希子　★荒尾　晴惠
腫瘍学特論	講義・30時間	1年次前期	★小林　正伸
病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林　正伸　★鈴木 恵士郎　★福原　敬
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田　和美　川村 三希子　貝谷　敏子 神島　滋子　菅原　美樹　藤井　瑞恵 小坂 美智代
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原　美樹　中村　惠子　神島　滋子 ★伊藤　伸子　★平尾　明美　★藤野　智子
アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	演習・30時間	1年次前期	◎菅原　美樹　神島　滋子　★小川　謙 ★木村　禎
クリティカルケア看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菅原　美樹　中村　惠子
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田　和美　貝谷　敏子　藤井　瑞恵
がん看護学演習Ⅰ	演習・60時間	1・2年次通年	◎川村 三希子　小坂 美智代
がん看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎川村 三希子　小坂 美智代　★田村　恵子 ★石岡　明子　★持田　直子
急性期看護学実習	実習・270時間	1・2年次通年	◎菅原　美樹　★藤野　智子　★小川　謙

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎川村 三希子　小坂 美智代　★田中 いずみ ★持田　直子
がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎川村 三希子　小坂 美智代　★田中 いずみ ★持田　直子
精神看護学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	◎★山本　勝則　守村　洋　★阿保　順子
精神看護学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎★山本　勝則　守村　洋
精神看護学特論Ⅲ	講義・30時間	1・2年次前期	◎★山本　勝則　守村　洋
精神看護学特論Ⅳ	講義・15時間	1・2年次前期	◎守村　洋　★山本　勝則
精神看護学特論Ⅴ	講義・30時間	1年次後期	◎★山本　勝則　守村　洋
精神看護学特論Ⅵ	講義・30時間	2年次前期	◎★山本　勝則　守村　洋
精神看護学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎守村　洋　★山本　勝則
精神看護学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎守村　洋　★山本　勝則
精神看護学演習Ⅲ	演習・60時間	1・2年次通年	◎守村　洋　★山本　勝則
クリティカル精神看護学演習	演習・30時間	1年次後期	◎守村　洋　★山本　勝則
リハビリテーション精神看護学演習	演習・30時間	2年次前期	◎守村　洋　★山本　勝則
精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村　洋　伊東 健太郎　★山本　勝則
精神看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎守村　洋　伊東 健太郎　★山本　勝則
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津 淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津 淳子　大野　夏代
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津 淳子　大野　夏代　★山内　豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎大野　夏代　樋之津 淳子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣 和香子　猪股 千代子
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣 和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	猪股 千代子
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣 和香子　猪股 千代子　古都　昌子
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣 和香子　古都　昌子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	猪股 千代子
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎松浦　和代　猪股 千代子　小田　和美 川村 三希子　菊地 ひろみ　喜多　歳子 定廣 和香子　中村　惠子　樋之津 淳子 宮﨑 みち子　貝谷　敏子　菅原　美樹 古都　昌子　村松　真澄　守村　洋 上村　浩太　大野　夏代　神島　滋子 藤井　瑞恵　本田　光　渡邉 由加利 山内 まゆみ
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎松浦　和代　川村 三希子　中村　惠子 菅原　美樹　守村　洋　上村　浩太 小坂 美智代

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

＜博士後期課程＞

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎松浦　和代　川村 三希子　菊地 ひろみ 喜多　歳子　定廣 和香子　樋之津 淳子 宮﨑 みち子
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎松浦　和代　喜多　歳子　中村　惠子 ★真田　弘美　★木村　純　★スーディ神崎 和代
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津　淳子　村松　真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦　和代　中村　惠子　川村 三希子 菊地 ひろみ　宮﨑 みち子　村松　真澄 守村　洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣 和香子　喜多　歳子
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎松浦　和代　菊地 ひろみ　定廣 和香子 中村　惠子　樋之津 淳子　宮﨑 みち子 川村 三希子　喜多　歳子　村松　真澄 守村　洋
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎松浦　和代　菊地 ひろみ　定廣 和香子 中村　惠子　樋之津 淳子　宮﨑 みち子 川村 三希子　喜多　歳子　村松　真澄 守村　洋
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎松浦　和代　菊地 ひろみ　定廣 和香子 中村　惠子　樋之津 淳子　宮﨑 みち子 川村 三希子　喜多　歳子　村松　真澄 守村　洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

7　助産学専攻科

1）　平成29年度時間割

①　前期

		月		火		水		木		金	
		前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）
1	9:00～10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40～12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10～14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50～16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30～18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

②　後期

		月		火		水		木		金	
		前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）	前半（第1～7.5週）	後半（第7.5～15週）
1	9:00～10:30	助産学演習									
2	10:40～12:10	助産学演習									
3	13:10～14:40	助産学課題研究									
4	14:50～16:20	助産学課題研究									
5	16:30～18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

2)　カリキュラム

①　授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 （全科目：必修）
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

②　修了要件
30単位（全科目必修）

3)　教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎宮﨑 みち子　渡邉 由加利　山内 まゆみ 山本 真由美　森川　由紀
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山内 まゆみ　山本 真由美　森川　由紀 ★堀本　江美　★高野　良子　★唯野　貢司 ★西　　基　★森川　　守　★渡利　道子
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎渡邉 由加利　石引 かずみ　★小林　正樹 ★渡辺　大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山内 まゆみ　石引 かずみ
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎森川　由紀　渡邉 由加利　山内 まゆみ 山本 真由美　石引 かずみ　★森川　　守
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本 真由美　渡邉 由加利

助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎山内 まゆみ　石引 かずみ
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎★平山　恵美　★荒木　英司　★鈴木　伸和 ★紅粉　睦男　★佐野　敬夫　★野呂　歩 ★塩野　展子　★山田　俊　★石田　桐代 ★城戸 真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎渡邉 由加利　大野　夏代　★斉藤 そのみ
助産管理論	講義・15時間	前期	◎宮﨑 みち子　★山原　和恵　★水野　栄子 ★宮下 美代子
助産学実習Ⅰ	実習・135時間	通年	◎山内 まゆみ　渡邉 由加利　山本 真由美 森川　由紀　石引 かずみ　大友　舞
助産学実習Ⅱ	実習・135時間	通年	◎森川　由紀　渡邉 由加利　山内 まゆみ 山本 真由美　石引 かずみ　大友　舞
助産学実習Ⅲ	実習・135時間	通年	◎山内 まゆみ　渡邉 由加利　山本 真由美 森川　由紀　石引 かずみ　大友　舞
助産学実習Ⅳ	実習・90時間	後期	◎渡邉 由加利　宮﨑 みち子　山内 まゆみ 山本 真由美　森川　由紀　石引 かずみ 大友　舞
助産学実習Ⅴ	実習・45時間	後期	◎山本 真由美　宮﨑 みち子　渡邉 由加利 山内 まゆみ　森川　由紀　石引 かずみ 大友　舞
助産学演習	演習・60時間	通年	◎渡邉 由加利　宮﨑 みち子　山内 まゆみ 山本 真由美　森川　由紀　石引 かずみ 羽深　久夫　金子　晋也
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎宮﨑 みち子　山内 まゆみ　森川　由紀

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）
★印：非常勤講師

4)　実習概要

（単位：名）

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	平成29年6月5日～平成30年2月23日	医療機関	548
	平成29年9月4日～12月15日	母子健康センター	20

8　デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気の授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

平成29年度（2017年度）「スタートアップ演習」

テーマ	チーム名
ヘンゼルとグレーテルは糖尿病にならなかったのか	Melting Pot
BBQ～Best Byouin Quality～	BBQ
ぼくのにゅういんDiary	rucola.net
Forest Zoo SAPPORO～動物に癒しを、人へやすらぎを。～	KAPPA
いつでも誰でも石山緑地	チャン・タナカ
Makomanai Dream Park	Michelia champaca
まこまっぷ	氏まっちゃ
石山緑地を変える～人にやさしい公園づくり～	dix-neuf
足湯の名は。～冷やさない…浸かるの…（with J）～	筋肉パンチ
ゴっカン～五感を使って楽しもう～	P&A

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や実践方法など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市南区の各地域について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。

平成29年度（2017年度）「学部連携演習」

地区	テーマ	チーム名
真駒内	ツリーを作ろう！～世代間交流を通して～	ひげめがね.com
芸術の森	地域振興を目的とした芸術に対する意識調査及び効果的な広報の提案	森のゆかいな仲間たち
澄川	ボランティア団体『SeeD』	クリアリバー～clear～
	ポケットボランティア～気軽にはじめるボランティア～	river

藻岩下	駄菓子屋で作る地域の“わ” 多世代交流の場と第二の学びの場の創出	たわしいも
藻岩	八垂別の滝ランドマーク化計画～インスタレーションを用いた効果的な話題性の獲得～	チーム滝
	藻岩地区に密着したバス停の提案～ホワイトボードを利用した看護的視点を取り入れた繋がりのデザインと試作～	藻岩人間チーム
南沢	南沢地区の子育て環境の実態について	南坂20
石山	わたしたちの石山	イシニアン～高齢者天国～
	わたしたちのオリパラ	
藤野	ふじのでイ・食・住プロジェクト	ふじのっこ
簾舞	今あるみすまいの良さを活かす簾舞地区	みすみすまいまいみすまいまい
定山渓	「ピタッとジョーザン！」～新しい情報発信法の提案～、癒しに着目した新たなレスパイト方法の提案	マイケル・ジョーザン

Ⅲ　研究活動

1　個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見　孝	ウェルネスに着目したアート&デザインによる地域創生
細谷　多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
城間　祥之	テキストマイニング分析手法による潜在知識抽出に関する研究
上遠野　敏	現代美術創作研究
酒井　正幸	自然環境を活用した地域創生デザイン研究
安齋　利典	HCDとデザインマネジメントに関する研究 HCDとデザインプロセスに関する研究 観察を中心としたデザインの初期教育の研究
石井　雅博	知覚認知・感性の解明とそのデザイン応用に関する研究
斉藤　雅也	ヒトの想像温度と能動的快適性に関する研究
中原　宏	地域の多様性とコミュニティデザインに関する研究
羽深　久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（中国・韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原　俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究（継続） 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン（継続） 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究（継続）
町田　佳世子	複数の分析手法を適用した質的データの読解き（2016年度から継続）
矢部　和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田　和夫	組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
若林　尚樹	主観的印象評価の研究
柿山　浩一郎	情報プロダクトデザインにおける基本的な設計図作図手法教育の為の説明教材の検討
椎野　亜紀夫	幼児の発達段階に対応した都市公園機能の計画的分散
武田　亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張　浦華	高齢化社会に対応した生活道具の提案とユーザ調査
藤木　淳	人間の視覚体験を拡張する表現手法の研究 群ロボットによる環境変化に長期適応可能なディスプレイ表現の基礎研究 数式・アルゴリズムベースで波形データを出力することによるサウンド生成の方法論の研究
松井　美穂	アメリカ南部文学研究
三谷　篤史	口腔ケアシミュレータの改良
山田　信博	公共施設のファシリティマネージメントに関する研究
山田　良	公共空間のデザイン（欧州の事例調査を通じて）
石田　勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大島　卓	歴史的農畜産業施設の空間特性及び形成過程の解明
大渕　一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証

教員名	研究課題
片山　めぐみ	社会福祉分野におけるコミュニティデザインの役割
金　　秀敬	「情報干渉」に着目した、複数知覚情報の検証と応用方法に関する研究
小宮　加容子	ユニバーサルな参加・蓄積型の遊びにおける遊びのデザインに関する研究
須之内　元洋	環境音データベースを活用した応用研究
福田　　大年	身の回りのモノ・コト・ヒトとの相互作用による協創の場づくりを促進させるための手技法の構築に関する基礎的研究
松永　　康佑	全天球全天周映像コンテンツに関する研究
金子　　晋也	住宅建築における空間のポテンシャルに関する研究
矢久保　空遥	「柔らかさ」をもたらす刺激の定量化

看護学部

教員名	研究課題
樋之津　淳子	針刺し切創の要因分析と針刺し事故防止教育プログラムの開発
松浦　　和代	西モンゴル地域における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価
宮﨑　みち子	性暴力被害女性の健康保護と関連法の動向
中村　　惠子	大学院における高度実践看護に関する研究（継続）
猪股　千代子	自然治癒力を惹起させる時空間・コミュニティの設計に関する研究
小田　　和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究（継続）
川村　三希子	がん疼痛を体験している高齢がん患者の取り組みと影響要因
菊地　ひろみ	在宅看護分野における新人看護師教育体制づくりの試み 難病法施行後の在宅難病療養者の生活実態
喜多　　歳子	貧困世帯で生活する乳幼児の発達成長に与える影響とその媒介要因に関する文献研究
定廣　和香子	実習安全に向けたFDプログラムの開発
上村　　浩太	死に至った小児がん患者・家族への死後ケアの実態
大野　　夏代	マッサージなど触れることにより患者の力を引き出す看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動な人材育成に関する研究
貝谷　　敏子	介護保険施設における褥瘡管理の実態とケアの質調査
神島　　滋子	現任教育に関与する教員の活動による効果 リハビリテーション看護に関連した研究についての文献検討
菅原　　美樹	クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシーに関する研究
藤井　　瑞恵	コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の実施・効果検証
古都　　昌子	看護学生および看護職のキャリア発達支援に関連した研究 看護学生の実習環境の改善に向けた検討に関連した研究
本田　　光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発 Ⅰ型糖尿病患児の暮らしとセルフケアを支える地域支援 母子保健領域における地域アセスメントガイドの開発 子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究
村松　　真澄	地域包括ケアの中で先駆的に実施されている質のよい高齢者・障害者、認知症の人の支援に関する基礎調査

教員名	研究課題
守村　　洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
渡邉　由加利	周産期にある夫婦のwell-beingの実態と支援
伊東　健太郎	精神看護学シミュレーション教育の効果と質の向上
工藤　　京子	呼吸器疾患患者のネット環境状態と新しい患者交流への取組み
小坂　美智代	がん免疫療法における看護実践の実態と課題
櫻井　　繭子	産業保健活動の連携システム構築に関する研究
田中　　広美	看護師のセルフモニタリングに関する研究
原井　　美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
高橋　　奈美	ALS患者の病気の発症と進行が家族の生活にもたらす影響
檜山　　明子	転倒予防に向けた看護実践に関する研究
三上　　智子	北海道における新生児集中ケア認定看護師の地域ネットワーク活動に関する調査
森川　　由紀	生殖補助医療によって出産した女性の育児への適応を促す要因と適応を困難にしている要因を明らかにすること
矢野　祐美子	中小規模病院の看護管理者のネットワーク
山内　まゆみ	助産師の継続教育に役立つ教育プログラムの開発
山本　真由美	混合病棟における周産期の安全と質保証を担保するための看護人員配置に関する研究
石引　かずみ	わが国の正常出産におけるマタニティケアシステムの違いによる経済効率の比較－助産師主導の院内助産と医師主導の医療施設に焦点をあてて－
柏倉　　大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築 動画を活用した自己学習支援型の注射のシミュレーション教育に関する研究
近藤　　圭子	高齢者のadvanced care planningに関する研究
田仲　　里江	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する研究
御厩　美登里	訪問看護業務中の交通事故の実態に関する調査 在宅死を可能にする在宅ケア基盤づくりの方略
大友　　舞	新人看護教員の自己教育力向上へ向けた研究
渋谷　　友紀	看護師養成所における研究の教育の現状と教育に対する認識
高橋　　葉子	NICUに勤務する看護職の看護技術について
鬼塚　　美玲	「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果 特別養護老人ホームにおける介護職員のリーダー教育の効果
出水　美菜子	精神看護学シミュレーション教育を受けた看護学生の感情変化について
中田　亜由美	札幌市南区における高齢者の外出困難要因の明確化
星　　幸江	精神科病院長期入院患者の地域移行・地域定着支援に向けた看護師の連携のあり方

2　学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
椎野　亜紀夫	幼児利用に適合する「アドホック型」都市公園再整備手法の開発
藤木　　淳	新規的立体質感創成のための高速回転鏡モジュールの開発
大島　　卓	近代化産業遺産としての評価・保全に向けた歴史的農畜産業施設の地域特性および空間特性の解明
定廣　和香子	空間的療養効果を重視したArt in Hospitalモデルの構築
檜山　　明子	活動性と安全性を保つ転倒予防看護の構築 - 介護施設における転倒リスク行動アセスメントツールの使用と評価 -

共同研究

教員名	研究課題
◎斉藤　雅也、樋之津　淳子 中村　惠子、石田　勝也 檜山　明子	患者・スタッフのウェルネス向上のための療養・診療施設の環境とヒトの感覚・適応行動に関する調査研究
◎張　浦華、小宮　加容子	お弁当文化の向上、新しい食事スタイルの提案－配食サービスのための食器の提案－
◎三谷　篤史、村松　真澄	食事介護トレーニング用シミュレーションモデルの開発
◎山田　信博、中田　亜由美	高齢化地域における地域福祉拠点整備に関する研究
◎山田　良	北方圏寒冷地におけるパビリオン（東屋）デザインに関する基礎的研究－フィンランド・ラップランド大学と札幌市立大学との国際交流学生間ワークショップを通じて－
◎松永　康佑、村松　真澄	摂食・嚥下支援における手技動作の教育用映像コンテンツ制作に関する研究
◎古都　昌子、樋之津　淳子 中村　惠子、藤井　瑞恵 森川　由紀、矢野　祐美子	大学と地方の病院をつなぐ遠隔授業による中堅看護師研修の企画・実施と効果検証－看護コンソーシアム構築に向けたモデルトライアル－

田村ICT基金

教員名	研究課題
◎松浦　和代、安齋　利典 三上　智子、矢久保　空遙	モンゴル国におけるICT活用による保護者向け自己学習教材「先天性股関節脱臼の予防ケア」の制作とその評価－言語の壁を越えて使用可能な健康教材の開発－

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
7	5	10	7	2	1	19	13

3　学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
定廣　和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発	基盤研究（C）	1,040,000
菊地　ひろみ	多発性硬化症患者に対する認知行動療法の導入およびアウトカム評価	基盤研究（C）	804,374
石田　勝也	地域の精密な環境情報を使用したデータビジュアライズの公共空間への応用	基盤研究（C）	1,170,000
田中　広美	看護職者の職務遂行困難状況に対するレジリエンス向上支援の研究	基盤研究（C）	390,000
原　俊彦	北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応-地域人口分析システムの構築	基盤研究（C）	650,000
三上　智子	小児看護OSCEにおける課題のピアレビューとネットワークの構築	基盤研究（C）	1,040,000
檜山　明子	患者の活動を妨げない転倒予防看護－転倒リスク行動アセスメントツールの有用性検証－	若手研究（B）	650,000
柏倉　大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築	若手研究（B）	650,000
本田　光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発	若手研究（B）	1,300,000
田仲　里江	市町村保健師との協働によるタブレット型保健指導教材システムのプロトタイプ開発	若手研究（B）	1,170,000
藤木　淳	非現実的な実写映像生成のための方法論の研究	若手研究（A）	1,820,000
金　秀敬	知覚情報間「干渉構造」に着目した「マルチモーダル評価モデル」提案に関する実証研究	研究活動スタート支援	1,430,000
城間　祥之	テキストマイニング分析手法による「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究	基盤研究（C）	1,170,000
町田　佳世子	専門家による知の伝達ー双方向的な解説手法の確立と検証	基盤研究（C）	1,170,000
椎野　亜紀夫	三世代調査による時系列自然遊び・自然資源GISデータベース構築と環境教材の開発	基盤研究（C）	650,000
矢部　和夫	農地からの養分・塩類負荷がボックのミズゴケ類の生育に及ぼす影響の解析	基盤研究（C）	1,690,000
山本　真由美	看護実績能力を向上させるための教材開発と評価ー装着型産褥子宮モデル	基盤研究（C）	520,000
貝谷　敏子	介護保険施設における効率性の高い褥瘡管理体制の構築と評価	基盤研究（C）	910,000
菅原　美樹	クリティカルケア看護における専門看護師の直接的ケアコンピテンシーと到達度	基盤研究（C）	390,000
松浦　和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価	基盤研究（C）	1,950,000
金子　晋也	寒冷地の住宅建築の活用実態と変容過程に関する研究	若手研究（B）	1,430,000
村松　真澄	高齢者の口腔看護データベースシステムの開発に関する基礎研究	基盤研究（B）	8,450,000

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
松永　　康佑	顔の三次元データ活用のための顔認識手法の研究	基盤研究（C）	2,730,000
福田　　大年	協創促進手法「クルクルスケッチ」のプロセスのデジタル化とその応用に関する研究	基盤研究（C）	1,820,000
若林　　尚樹	体験の共有のための図的表現による視覚的対話手法の開発	基盤研究（C）	1,430,000
原井　　美佳	後期高齢者の女性の尿失禁リスク要因解明と対処行動促進に関する研究	基盤研究（C）	780,000
古都　　昌子	看護学実習環境を標準化するための基準作成と検証	基盤研究（C）	1,170,000
工藤　　京子	北海道の中高層住宅で暮らす避難行動要支援者の安全な在宅避難生活システムの確立	基盤研究（C）	1,430,000
小坂　美智代	経口抗がん薬治療を受ける外来患者のセルフマネジメントを支える外来看護モデルの検討	基盤研究（C）	910,000
川村　三希子	認知症を伴う高齢がん患者の疼痛マネジメント教育プログラム-看護師用の開発	基盤研究（C）	2,080,000
菊地　ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンスの概念化と看護支援	基盤研究（C）	520,000
喜多　　歳子	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究	基盤研究（C）	780,000
籔谷　　祐介	団地における移住者のコミュニティ形成を目的としたセルフリノベーションの有効性	若手研究（B）	2,470,000
中田　亜由美	傾聴、聞き書きによる高齢者相互の健康支援基盤構築に関するアクションリサーチ	若手研究（B）	1,820,000

※課題番号順

科学研究費助成事業基盤研究A（科研A）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
蓮見　　孝	「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究	基盤研究（A）	18,460,000

①概要

周辺過疎市町村の自律的な活性化を促し、同時に大学における教育効果を高めるためには、どのような課題を解決し、どのようなプロセスを経るべきかを解明することを目的に、平成29年度は来道外国人旅行者の中心である台湾の学生と日本の学生による国際ワークショップを洞爺湖地区で開催し、新たな体験型観光プログラムの検討を行った。

具体的には【サイトシーング型】【ツーリズム型】【アートプロジェクト型】と定義した観光客向け「ツーリズム」提案をテーマとした総参加学生数54名（札幌18名、東京10名、台湾26名）の「WS（Workshop）型学び」を実施し「教育プログラム」および「観光の型」の比較を行った。結果、「教育」という大学が有する固有の機能を活用することにより、たとえ既存の観光プログラムであっても魅力的な滞在型の観光プログラムへ発展しうる。観光プログラムの内容については、サイトシーング型は、チャレンジ性の高い観光を期待する観光客には適切ではない。ツーリズム型は新しい発見を期待する観光客には適切でない、等との知見を得た。

また、各型の参加意識の変化抽出を目的とした調査手法の検討/実施、エゴグラムによる教育プログラム毎の学生への影響分析手法の検討/実施、スマホアンケートによる参加学生の心理状態の変動把握手法の検討/実施、カメラ付きGPSロガーによる対象物／場所／心理を紐付けた観光地評価手法の検討/実施を行った。

なお、初年度より追加した「フィールドワーク型学び」も継続して実施し、過疎市町村の継続的ビジネスモデルの先進事例調査を、地域住民を参加者として実施した。具体的には、1. 地域資源を活用した体験型プログラム、2. 過疎市町村における持続的ビジネスモデル、を視察し地域の自律を促す知見を得ることを目指した。

②実施体制
研究代表者：蓮見　孝
研究分担者：細谷　多聞、城間　祥之、酒井　正幸、原　　俊彦、柿山浩一郎、斉藤　雅也、山田　　良、
片山めぐみ、金　　秀敬、矢久保空遥、上田　裕文
研究補助員：南部　麻子、姉帯美保子

③研究組織
統括、教育体系、地域貢献体系、基礎研究体系、事務局

④主な事業実績

年月日	事業実績
平成29年4月25日	ACP地域創生研究セミナー 『野生児全員集合！「洞爺湖地域をキャンパスとした体験型環境教育」のお話』（加藤康大氏　NPO法人いきものいんく代表） @サテライトキャンパス（参加者：11名）
平成29年9月18日～23日	ACP国際ワークショップ @洞爺湖周辺地域（参加者（学生）：54名（札幌18名、東京10名、台湾26名）
平成29年12月16日	ACP研究プロジェクト成果報告会 「日本×台湾 学生デザインワークショップから地域創生を考える（その1）」 @道の駅「そうべつ情報館i」（参加者：39名）
平成30年3月2日～5日	フィールドワーク型学び実施「地域創生の先進事例調査」 @高知県（参加者：9名）
平成30年3月20日	ACP研究プロジェクト成果報告会 「日本×台湾 学生デザインワークショップから地域創生を考える（その2）」 @アスティ45（参加者：22名）

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
松浦　　和代	北海道産針葉樹材を活用した新規木質部材開発	㈱ハルキ	500,000
酒井　　正幸	動物園の森ビオトープの総合デザイン研究	札幌市（環境局）	500,000
矢部　　和夫	キウシト湿原植生調査研究	登別市	200,000
斉藤　　雅也	外断熱建築の熱性能評価と住まい手行動の研究	㈱アーブ建築研究所	350,000
	飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究－北方圏ゾーンのグランドデザインと園内施設のサインデザインの監修－	札幌市（環境局）	750,000
三谷　　篤史	防水性・防汚性コーティングを活用したクッションの製品化に向けた検討	フィールド・クラブ㈱	439,934
吉田　　和夫	ユニバーサルデザイン視点からの円山動物園におけるアプローチデザイン研究～地下鉄円山公園駅からの誘導サインデザイン·正門前広場デザイン～	札幌市（環境局）	750,000

片山　めぐみ	安平町における住民参加による観光まちづくり	㈱道新サービスセンター	570,000
金子　　晋也	地域資源を活用した都市空間におけるストリートファニチャーの研究と計画―西2丁目地下歩道の賑わいを目的としたストリートファニチャー	札幌市（建設局）	993,600

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
安齋　　利典	非開示	三菱電機㈱	非開示
山田　　信博	非開示	共和コンクリート工業㈱	非開示

4　寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
矢部　　和夫	平成29年度　美々川自然再生に関する調査研究「ウトナイ湖北西岸における湿生草原の再生手法検討」に対する研究助成	㈱ドーコン	800,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	JA北海道厚生連札幌厚生病院	210,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	㈶北海道勤労者医療協会	100,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	宮﨑　みち子	500,000

5　その他研究助成

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
古都　昌子	基礎看護学実習における物理的環境の指標設定、効果的な教育環境の調整に向けて	東京女子医科大学看護学会研究助成	100,000
原井　美佳	北海道の過疎地診療所におけるプライマリ・ケアの課題についての質的研究	(公財)在宅医療助成勇美記念財団	815,000

6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成29年5月18日～26日	石井　雅博	アメリカ合衆国	第17回Vision Sciences Society大会参加
平成29年5月26日～6月1日	宮﨑　みち子	スペイン	2017国際看護師協会4年毎大会出席、発表
平成29年6月6日～11日	張　浦華	中国	中国・武漢理工大学芸術設計学院訪問、“現代アジアデザイン教育新理念国際学術フォーラム”出席・招待講演
平成29年6月18日～24日	宮﨑　みち子	カナダ	第30回国際助産師協会3年毎大会参加、発表
平成29年7月2日～9日	三谷　篤史	ドイツ	国際会議AIM2017への参加・発表
平成29年7月8日～15日	宮﨑　みち子	アゼルバイジャン	第23回世界医事法学会参加、発表
平成29年7月12日～16日	金　秀敬	シンガポール	国際会議Design Engineering and Product Innovation参加
平成29年7月13日～18日	松井　美穂	イタリア	Carson McCullers in the World: A Centenary Conference参加
平成29年7月27日～8月2日	定廣　和香子	アイルランド	Sigma Theta Tau International 28th International Congless 研究発表
平成29年7月30日～8月5日	松浦　和代	モンゴル	第4回専門技術研修「モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク児への育児指導をその評価」の西モンゴル地域ホブト県での開催、打ち合わせ
平成29年8月9日～9月3日	山田　良	フランス、香港	ル・コルビュジエの建築群、およびロマネスク建築群現地調査
平成29年8月12日～18日	片山　めぐみ	インド	ニルマルヒルダイ（療養施設）及びチタガール（ハンセン氏病施設）における取り組みと建築の視察、調査
平成29年9月3日～9日	原井　美佳	デンマーク	デンマークの社会福祉・ペタゴキック研修、保育統合施設・認知症グループホーム・地域看護クリニック視察
平成29年9月4日～10日	三谷　篤史	ノルウェー	国際会議（EPDE2017）参加・発表
平成29年9月4日～8日	村松　真澄	デンマーク	認知症ケア視察
平成29年9月5日～10日	檜山　明子	イタリア	6th World Congress of Clinical Safety 参加
平成29年9月6日～14日	斉藤　雅也	ベトナム	科研費による海外調査研究用務（ベトナムの居住環境調査）
平成29年9月9日～15日	金子　晋也	オーストラリア	ストリートファニチャーの事例調査
平成29年9月16日～23日	神島　滋子	クロアチア	12th Quadrennial Congress of the World Federation of Neuroscience Nurses（WFNN）参加
平成29年9月19日～24日	近藤　圭子	南アフリカ共和国	2017 国際地域看護学会参加、発表
平成29年9月19日～24日	本田　光	南アフリカ共和国	国際地域看護学会（ICCHNR 2017)において研究成果発表
平成29年9月19日～24日	田仲　里江	南アフリカ共和国	7th INTERNATIONAL CONFERENCE COMMUNITY HEALTH（ICCHNR）

期間	教員名	目的国	目的
平成29年10月14日～22日	金　秀敬	カナダ	国際会議 World Design Summit参加
平成29年10月20日～23日	村松　真澄	タイ	TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017
平成29年10月28日～11月4日	安齋　利典	アメリカ合衆国	IASDR2017参加
平成29年11月6日～13日	須之内　元洋	エクアドル	国際会議22nd World Orchid Conferenceでのポスター発表、聴講およびナーセリーEcuagenera見学会参加
平成29年11月25日～30日	山田　良	ベトナム	ホイアン市　旧市街地　建築計画・町並み保存・アートプロジェクト調査
平成29年11月26日～12月1日	藤木　淳	タイ	国際学会ACM Siggraph ASIAにおける成果発表
平成30年1月10日～12日	石引　かずみ	韓国	21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences 参加
平成30年1月10日～12日	大友　舞	韓国	第21回東アジア看護学研究者フォーラム、第11回国際看護会議にてポスター発表
平成30年1月10日～13日	田中　広美	韓国	第21回　EAFONS　発表
平成30年1月10日～13日	山内　まゆみ	韓国	第21回東アジア看護フォーラム及び第11回国際看護学会での成果発表
平成30年1月10日～13日	渡邉　由加利	韓国	第21回東アジア看護学者フォーラム及び第11回国際看護学会　発表
平成30年2月4日～11日	須之内　元洋	デンマーク	アートコミュニティ・公共空間デザイン・美術展の視察、調査
平成30年2月23日～28日	山田　良	ノルウェー	建築デザインに関するワークショップ
平成30年3月19日～22日	金　秀敬	マレーシア	国際学会KEER参加
平成30年3月24日～30日	藤井　瑞恵	イギリス	先進的口腔ケアの視察
平成30年3月24日～30日	三谷　篤史	イギリス	食事介護や口腔ケアに関する調査
平成30年3月24日～30日	村松　真澄	イギリス	口腔ケアシステムについての視察
平成30年3月27日～31日	山田　良	フィンランド	研究打ち合わせ、およびパビリオン（東屋）事例調査と空間デザイン作品視察

Ⅳ 社会活動

1 地域貢献諸活動

1） 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
地域資源を活用した都市空間におけるストリートファニチャーの研究と計画 ―西2丁目地下歩道の賑わいを目的としたストリートファニチャー	平成29年4月13日～ 平成30年2月28日	西2丁目地下歩道の整備により、札幌市民がよりアクセスしやすくなった市民交流プラザ及び市役所本庁舎等の立地を生かし、文化芸術意識の醸成と市民交流の拠点としての当地区の価値創造に資するような、地域資源を顕在化させた空間及びストリートファニチャーのデザイン研究を実施した。	札幌市 （建設局）
安平町における住民参加による観光まちづくり	平成29年5月25日～ 平成30年3月20日	安平町は2年後の道の駅オープンを皮切りにインバウンドを含めた観光客誘致を目指している。本研究は、地域資源発掘のまち歩きや観光マップづくりを通して、いかに住民参加型の観光まちづくりを効果的に推進できるか実践的研究を行った。	㈱道新サービスセンター
防水性・防汚性コーティングを活用したクッションの製品化に向けた検討	平成29年5月29日～ 平成29年9月30日	スポンジやウレタンへの防水性・防汚性コーティング技術を生かしたクッションについて、製品化に向けたデザインを検討し、実モデルを開発するとともに展示会などを通してそれらを公表した。	フィールド・クラブ㈱
キウシト湿原植生調査研究	平成29年6月22日～ 平成30年3月9日	希少な動植物の生息地である「キウシト湿原」の植生状況等の調査を行い、原状を把握するとともに、過去の調査データと比較し考察することにより、当湿原を適正に保全するための方法を検討することを目的とした。	登別市
動物園の森ビオトープの総合デザイン研究	平成29年7月13日～ 平成30年2月28日	札幌市円山動物園の森ビオトープの一般公開を目的とした以下の調査研究を実施した。 ・森内昆虫、植物の現状調査と記録 ・来園者とガイド間のコミュニケーションを支援するビジュアルツールの試作提案 ・ガイドボランティアのガイド技術向上のための講習会開催 ・アドバイザリースタッフとして動物園の森運営会議への出席	札幌市 （環境局）
飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究 －北方圏ゾーンのグランドデザインと園内施設のサインデザインの監修－	平成29年7月13日～ 平成30年3月30日	札幌市円山動物園の基本構想に基づいて、飼育動物とその生息環境の特徴をひきだす展示デザインの研究を行うため、以下を実施した。 ・北方圏ゾーンの再整備にむけたグランドデザインの監修 ・新施設のサインデザインの監修（ゾウ舎・ホッキョクグマ舎を主として）	札幌市 （環境局）
ユニバーサルデザイン視点からの円山動物園におけるアプローチデザイン研究 ～地下鉄円山公園駅からの誘導サインデザイン·正門前広場デザイン～	平成29年7月13日～ 平成30年2月28日	札幌市円山動物園入園までのわくわく感創出を目的として以下の調査・デザイン研究を実施した。 ・地下鉄円山公園駅から円山動物園までの木道等における誘導サイン ・円山動物園正門前広場のモニュメント製作含めた総合デザイン	札幌市 （環境局）

北海道産針葉樹材を活用した新規木質部材開発	平成29年8月25日～平成30年3月15日	昨年度行った木質病室ユニットのサンプル評価における課題を踏まえた製品の改良を共同で行った。本学は、主に木質ユニットを設置する際の課題、運用上の問題（看護師等医療従事者対象）について担当した。	㈱ハルキ
外断熱建築の熱性能評価と住まい手行動の研究	平成29年12月21日～平成30年2月28日	外断熱建築の高い熱性能をひき出す住まい手の環境調整行動を季節別に明らかにすることを目的とし、具体的には、①室内温熱環境の実測調査・解析、②住まい手の窓まわりの環境調整行動による放射環境・快適性の違いを明らかにした。	㈱アーブ建築研究所

2） 共同研究（学外との連携）一覧

事業名	期間	概要	担当教員	共同研究者
2件実施（詳細は非公表）				

3） 受託事業一覧

事業名	期間	概要	担当教員	委　託　者
該当なし				

4） 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
札幌国際芸術祭2017NMAライブ・ビデオアーカイブ	札幌国際芸術祭実行委員会	須之内 元洋
南区まちナカアート（じょうてつバス車体のアート装飾）	札幌市（南区）	吉田　和夫 大渕　一博
南区まちナカアート（地下鉄真駒内駅ホーム転落防止柵のアート装飾）	札幌市（南区）	吉田　和夫 大渕　一博
三吉神社例大祭	札幌大通まちづくり㈱	上遠野　敏
モビリティを活用した「賑わい創出プロジェクト」の為の車両開発	特定非営利活動法人エコ・モビリティ　サッポロ	籔谷　祐介
南区の魅力をPRする啓発品製作事業	札幌市（南区）	大渕　一博
10周年記念イベント用オープニング映像作成	視覚科学技術コンソーシアム	石井　雅博 石田　勝也
Connekid! in そらのガーデン　子ども向けイベント	札幌駅総合開発㈱	小宮 加容子
もりの仲間のさわやかクラブ「介護予防－健康測定会－」	芸術の森地区社会福祉協議会	原井　美佳

事業名	依頼元	担当教員
スマイルクラブ	常盤団地社会福祉推進委員会	本田　光
円山動物園の園内サインの分析と試作	円山動物園	福田　大年
円山動物園の印象マップによる観覧者の行動分析	円山動物園	若林　尚樹
南区アート自販機事業（国営滝野すずらん丘陵公園）	札幌市（南区）	大渕　一博
南区オリジナルうちわの制作事業	札幌市（南区）	大渕　一博
もいわ自由学校「走れ！ロボットカー！」	札幌市もいわ地区センター	三谷　篤史
まちゼミ「まこまない盆踊を「おおう」大風呂敷をつくろう」	真駒内団地商店街振興会	片山 めぐみ 矢野 祐美子 籔谷　祐介
ベーカリーショップななかまど オリジナルパッケージ作成事業	㈶白老宏友会多機能型事業所ポプリ	大渕　一博
ゴムを素材とする北海道土産品の開発	㈱アドバンス・フーズ	矢久保 空遥
燃料電池自動車（FCV）ラッピングデザイン作成	札幌市（環境局）	山田　良
札幌事業所デザインコンテスト	SCSKサービスウェア㈱	山田　信博
南区まちナカアートプロジェクト（じょうてつバス車内のアート装飾及び南区事業紹介ポスター掲示）	札幌市（南区）	吉田　和夫 大渕　一博
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大渕　一博
若年層へのDV予防啓発講座プログラム作成事業	北海道シェルターネット事務局	吉田　和夫
地域振興課職員用IDカード製作事業	札幌市（南区）	大渕　一博
北海道アールブリュットフォーラム in 岩見沢 2017	㈶ゆうゆう北海道アールブリュットネットワーク協議会	小宮 加容子
財団施設配布物のフッターデザインの制作業務	(一財)さっぽろ健康スポーツ財団	福田　大年
第8回ミニ大通お散歩まつり	ミニ大通お散歩まつり実行委員会	村松　真澄
けんこうフェスタ 2017inちゅうおう	札幌市（中央区）	渡邉 由加利 柏倉　大作
生き活き健康教室	石山地区まちづくり協議会会長	本田　光
海外客向け土産品テーブルランプデザイン	清水勧業㈱	三谷　篤史
藻岩地区健康づくりふれあい交流会	藻岩地区社会福祉協議会	小坂 美智代
手造通（てあるとおり）プロジェクト2017	札幌市西区市民部	山田　良
セイコーマートデジタルサイネージ北海道遺産PR事業	NPO法人北海道遺産協議会	須之内 元洋
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大渕　一博
第23回　芸術の森地区文化祭（ポスター協力）	芸術の森地区連合会	羽深　久夫
第23回　芸術の森地区文化祭（出展協力）	芸術の森地区連合会	羽深　久夫
株式会社及びデイサービスのロゴ作成	㈱メルシー	村松　真澄
「オーラルケア事業創出プロジェクトにおけるリサーチおよびサービスプロトタイピング業務」にかかるリサーチ分析業務	㈱アイ・エム・ジェイ	福田　大年
藤野地区コミュニティデザインへのアドバイス	cafe日和	片山 めぐみ

事業名	依頼元	担当教員
南消防団員入団促進ポスターコンペ	札幌市南消防団	籔谷　祐介
株式会社AIRDO CIマニュアル改定	㈱AIRDO	安齋　利典 若林　尚樹
あなたの街でけんしん＆健康チェック会～まちけんin定山渓～	札幌市	伊東 健太郎 菊地 ひろみ
アクティブラーニング用什器開発	㈱イチムラ	矢久保 空遥
paseo creators camp vol.4	札幌駅総合開発㈱	石田　勝也
平成29年度平取町文化的景観自然的環境等調査業務	㈱ノーザンクロス	椎野 亜紀夫
鵡川・沙流川 WAKUWAKU 協議会　流域特産品開発	㈱ノーザンクロス	椎野 亜紀夫
子育て未来フェスタさっぽろ2017	未来を守ろうプロジェクト	小宮 加容子
株式会社AIRDO　就航20周年「叶える翼」ステッカー	㈱AIRDO	安齋　利典 若林　尚樹
自主事業におけるマーケティング支援業務	(一財)さっぽろ健康スポーツ財団	福田　大年
札幌市ワーク・ライフ・バランスplus 企業認証制度に係る認証マークデザインの作成	札幌市（市民文化局）	吉田　和夫
ユニバーサル製品開発	(一社)旭川ウェルビーイング・コンソーシアム	安齋　利典 小宮 加容子
千歳レラ＊コタンの冬まつり（小さな東屋の村）	千歳アウトレットモール・レラ	山田　　良
創造都市さっぽろWAON　新デザイン募集	イオン北海道㈱	若林　尚樹
HBCアナウンサー絵本朗読会～よみドキッ！～	北海道放送㈱	石田　勝也
ピンクリボン啓発グッズデザイン制作事業	北海道コカ・コーラボトリング㈱	大渕　一博
OTO TO TABI 2018	おととたび	小宮 加容子
簾舞まちづくり協議会のロゴマーク作成　事業	簾舞まちづくり協議会	金子　晋也

5） 高大連携

① デザイン学部 第10回高大連携公開講座

開催日	高校名	受講生徒数	テーマ・科目名	担当教員
平成29年9月18日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌大通高等学校	28名	体験しよう3Dのものづくり	三谷 篤史

② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数		テーマ・科目名	担当教員
平成29年4月10日～ 平成30年2月1日	北海道札幌旭丘高等学校 北海道札幌清田高等学校 北海道札幌新川高等学校 北海道札幌藻岩高等学校 北海道札幌平岸高等学校 北海道札幌大通高等学校	28名	7名	看護学原論 （講義・15時間）	◎定廣 和香子 猪股 千代子
			5名	地域保健学概論 （講義・15時間）	◎喜多 歳子 本田 光
			3名	人間発達援助論 （演習・30時間）	◎宮﨑 みち子 小田 和美 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋
			6名	チーム医療論 （講義・15時間）	◎矢野 祐美子 猪股 千代子
			7名	国際看護学 （講義・15時間）	◎大野 夏代

◎印：科目責任者（オムニバス形式などの場合）

6） 高校出前講義

デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成29年8月29日	北海道旭川北高等学校	人がつながる仕組みづくり＝『コミュニティデザイン』	片山 めぐみ
平成29年11月7日	市立札幌旭丘高等学校	遊びのデザイン	小宮 加容子
平成29年11月8日	市立札幌新川高等学校	デザインを学問として学ぶと、◎◎な人材になれます。	柿山 浩一郎
平成29年11月8日	市立札幌清田高等学校	のりものの未来	蓮見 孝
平成29年12月7日 平成29年12月14日 平成30年1月18日 平成30年1月25日	北海道札幌手稲高等学校	新しいスマホをデザインしてみよう！	柿山 浩一郎

看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
平成29年6月19日	北海道札幌厚別高等学校	人間にとっての排泄および排泄援助を考える－看護職として大切にしたいこと－	古都　昌子
平成29年7月13日	北海道室蘭清水丘高等学校	看護管理学について	矢野 祐美子
平成29年9月1日	北海道札幌新川高等学校	家庭看護・医療	松浦　和代
平成29年10月10日	北海道伊達緑丘高等学校	女性の健康－妊産婦死亡の予防	宮﨑 みち子
平成29年10月27日	北海道札幌藻岩高等学校	母性看護学：妊産婦死亡	宮﨑 みち子
平成29年11月2日	北海道大麻高等学校	母性看護学 「女性の健康－妊産婦死亡－」	宮﨑 みち子
平成29年11月8日	北海道札幌新川高等学校	在日外国人の健康の課題	大野　夏代

7）　その他の地域貢献諸活動

デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
城間　祥之	理事として、IT事業の普及事業等の選定・決定	NPO法人「札幌ITフロント」		平成29年6月30日
	講演会参加／運営	札幌なにかかができる経済人ネットワーク	5名	平成29年12月6日
上遠野　敏	炭鉱の記憶推進事業団運営委員	NPO炭鉱の記憶推進事業団		平成29年4月 ～平成30年3月
	レトロスペース坂会館の継続を支援や講演会など小企画 世話人	レトロスペース応援隊		平成29年4月 ～平成30年3月
斉藤　雅也	オレンジリビングベース内覧会　記念講演　オレンジリビングベースのクリマデザイン	オレンジホームケアクリニック（福井県福井市）		平成29年4月22日
	「いきいき健康塾」講座　講師（住まいの温熱環境と住まい方調査の結果報告）	幌加内町（保健福祉課）	7名	平成29年10月29日
羽深　久夫	札幌市南区定山渓地区まちづくり協議会委員	札幌市南区定山渓地区まちづくり協議会		
	札幌市南区芸術の森地区まちづり推進会議特別委員	札幌市南区芸術の森地区まちづり推進会議		
	札幌市南区芸術の森地区「雪明かりの祭典」実行委員会委員	札幌市南区芸術の森地区「雪明かりの祭典」実行委員会		
	札幌市南区「こまおか夏祭り」実行委員会委員	札幌市南区「こまおか夏祭り」実行委員会		
	札幌市南区石山地区まちづくり協議会委員（石山商店街振興組合理事として）	札幌市南区石山地区まちづくり協議会		
	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会会員	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会		
	札幌市南区芸術の森地区文化祭実行委員会委員	札幌市南区芸術の森連合町内会		

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
羽深　久夫	北海道中小企業家同友会札幌支部南地区会会員	北海道中小企業家同友会		
	札幌市南区商店街連絡協議会会員	札幌市南区商店街連絡協議会		
	改訂版　南区花マップの作成（10,000部印刷し、南区小中高校に配布）7月発行	札幌市南区花のよるまちづくり連絡会		
町田佳世子	女性の人権と社会的地位向上のための講演会等開催	BPW札幌クラブ		
矢部　和夫	湿原再生のアドバイザーとしての役割	NPOフラット南幌	1名	平成29年4月～平成30年3月
	道内の自然を守る活動（常務理事）	NPO北海道自然保護協会		平成29年4月～平成30年3月
	湿原植生のアドバイザーとしての役割	NPOキウシト湿原の会	1名	平成29年4月～平成30年3月
	湿原を守る活動（副理事長）	一般社団法人湿原研究所	5名	平成29年4月～平成30年3月
	陶芸を中心とする物づくり体験、自然体験や食育に関する事業を行う（理事）	特定非営利活動法人　風の村学舎		平成29年4月～平成30年3月
武田　亘明	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	情報と教育フォーラム「オンコの木」		平成29年4月～平成30年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ハイパー風土記札幌InterCityOroppas運営委員会	6名	平成29年4月～平成30年3月
	web・ドメイン・サーバ管理、運営・外部対応などに関する活動	ネットワークコミュニティフォーラム事務局		平成29年4月～平成30年3月
	理事会運営に関する活動	北海道高齢者ハートフル共同住宅・地域ケア協議会		平成29年4月～平成30年3月
	副会長、北海道支部長。web・ドメイン管理およびメディア教育に関する情報交流	教育とコンピュータ利用研究会		平成29年4月～平成30年3月
	代表。障害者就労支援、人材育成支援およびメディア戦略検討プロジェクト等の主催	北海道企画デザイン研究会	2名	平成29年4月～平成30年3月
三谷　篤史	道内大学生対象のロボコン「ロボット・トライアスロン」の実施運営	ロボット・トライアスロン実行委員会	2名	平成29年9月24日
	ロボット講習会および競技会の実施運営，ポスター・横断幕の提供	北海道ロボット教育推進会	2名	平成29年4月～平成30年3月
山田　信博	団地自治会と共同で団地コミュニティ再生の活動を実施	URあけぼの団地自治会	3名	平成30年3月24日
山田　　良	クラフト通り企画・運営・ディレクション	発寒商店街		
	ゆきあかりイベント・ディレクション	芸術の森地区		
石田　勝也	広報活動支援（ウェブ）	簾舞まちづくりセンター		平成29年3月～平成30年3月
大渕　一博	ベーカリーショップななかまどオリジナルパッケージ制作	社会福祉法人白老宏友会多機能型事業所ポプリ	6名	平成29年7月～9月

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
大渕　一博	南区PRグッズ（うちわ・職員証・マステ）／広報さっぽろ南区版ページのデザイン制作	札幌市南区役所	延べ8名	平成29年6月～平成30年3月（4日間）
	ピンクリボン啓発グッズデザイン制作事業	北海道コカ・コーラボトリング㈱	20名程度	平成30年2月～継続中
片山めぐみ	藤野地区コミュニティデザインへのアドバイス（研究協力、大学への依頼有り）	cafe日和　飯田くるみ	1名	平成29年10月2日～平成30年3月31日
小宮加容子	協力依頼：アートワークショップの実施	北海道アール・ブリュットネットワーク協議会	4名	平成29年9月9日～10日
	協力依頼：子ども向けワークショップの企画および材料制作	未来を守ろうプロジェクト	8名	平成29年12月16日
	子ども向けワークショップを企画、実施（共同開催）	キンダーリープ	8名	平成29年12月16日
	協力依頼：ユニバーサルデザイン製品の提案	一般社団法人　旭川ウェルビーイング・コンソーシアム	8名	平成29年12月20日～平成30年3月31日
	子ども向けワークショップを企画、実施	サイエンスリンクin 北海道	9名	平成30年2月11日
	協力依頼：OTO TO TABI 2018内のキッズスペースの企画・実施	OTO TO TABI 2018	7名	平成30年3月3日
福田　大年	厚真町PRグッズ企画制作ワークショップ	厚真町		平成29年10月～12月
金子　晋也	SCUまちの先生から展開した市民の民謡サークル活動の支援	まこまない楽団		平成29年12月～平成30年3月
	バスルートを活用したまちづくりに関する支援体制アドバイス	簾舞まちづくり協議会		平成30年2月

看護学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
宮﨑みち子	ボランティア	COC:まちの健康応援室		平成29年11月23日
	運営委員	性暴力被害者支援センター北海道SACRACH		平成29年4月～平成30年3月
猪股千代子	「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修のアウトカム」研究打ち合わせ	「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修のアウトカム」研究代表者		平成29年8月1日～11月1日（4日間）
	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽＆看護療法研究会		平成29年5月19日
	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽＆看護療法研究会		平成29年6月2日
	全人的健康と統合医療ケアの理論と実践法の学習	北海道統合医療研究会		平成29年6月4日
	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽＆看護療法研究会		平成29年7月14日
	全人的健康と統合医療ケアの理論と実践法の学習	北海道統合医療研究会		平成29年9月10日

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
猪股千代子	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽＆看護療法研究会		平成29年9月22日
	全人的健康と統合医療ケアの理論と実践法の学習	北海道統合医療研究会		平成29年11月19日
	難病患者と家族のための統合医療ケア	ハマナス音楽＆看護療法研究会		平成29年12月1日
	全人的健康と統合医療ケアの理論と実践法の学習	北海道統合医療研究会		平成30年3月4日
川村三希子	街なかちえのカフェ　がんと暮らしの知恵いろいろ企画・運営	市民と共に創るホスピスケアの会		平成29年8月20日
	リンパ浮腫ケア支援	市民と共に創るホスピスケアの会		平成29年7月14日
	緩和ケア病棟見学会	市民と共に創るホスピスケアの会		平成29年7月1日
菊地ひろみ	幹事	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク		
	藻岩地区健康づくりふれあい交流会	藻岩地区社会福祉協議会		平成29年10月25日
	出張！あなたの街でけんしん＆健康チェック会	まちの健康応援室		
	そうえん健康茶話会講師	桑園交流ネットワーク		
	ご近所先生講師	桑園交流ネットワーク		
大野　夏代	看護師によるマッサージボランティア活動	手稲渓仁会病院ボランティア		平成29年4月7日～平成30年3月16日（22回）
	医療通訳	特定非営利活動法人エスニコ		平成29年4月4月15日～平成30年2月24日（7回）
貝谷　敏子	ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会	札幌医科大学		平成29年11月27日
	ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会	札幌医科大学		平成30年2月7日
神島　滋子	統計に関する勉強会を主催、広く興味のある多職種で実施	札幌統計初心者勉強会	5名	年3回程度
藤井　瑞恵	ミニ大通りお散歩まつり講演「生活習慣病を予防しよう」	モロオ		平成29年9月11日
	南区健康祭りに参加「ロコモでクッキング」	南区役所		平成29年9月27日
	協議会主催のシンポジウム当日開催協力（学生と共に）	北海道腎臓病患者協議会		平成29年11月5日
	食育ネットワーク委員	札幌市中央区保健福祉局		
古都　昌子	看護コンソーシアム事業としての中堅看護師研修	教育実践プロジェクトセンター		平成29年9月～平成30年3月
本田　　光	常盤地区スマイルクラブにて健康相談	南区第１地域包括支援センター、介護予防センター	2名	平成29年7月8日
	みんなでみに区る健康まつりにて健康相談	札幌市南区役所保健福祉部	2名	平成29年9月27日
	生き活き健康教室にて健康相談	石山地区まちづくり協議会		平成29年10月19日

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
本田　　光	餅つき会（桑園児童会館）に協力	桑園地区青少年育成委員会、桑園児童会館子ども運営委員会	14名	平成29年12月16日
村松　真澄	地区会議にて企画	桑園交流ネット		平成29年3月21日
	actの学生と外出レクのボランティア	西円山病院	5名	平成29年8月25日
	2017年度の調査報告（依頼にてポスター展示）	根室市・根室保健所		平成29年9月3日
	こころとからだの健康のお話に耳を傾けてみませんか？、と子ども達への歯の健康のクイズや人形劇	ミニ大通りお散歩まつり実行委員会	12名	平成29年9月10日
	オレンジカフェのお手伝い	サン・グレイス	8名	平成29年9月10日他
	企画・運営に学生とボランティア参加	桑園医療懇話会	延べ10名	平成29年9月23日他
	みんなでみに区る健康まつり　健康セミナー、3つのブースを設け、生協の宅配食展示や栄養補助食品・介護食の展示、健口体操の指導	南区健康まつり	4名	平成29年9月27日
渡邉由加利	性暴力被害者支援センター北海道　運営委員	NPO法人ゆいネット北海道		平成24年～
	妊娠中のご夫婦向け両親学級　夫婦会議で夫婦の強みを発見	個人	8名	平成29年5月21日
	けんこうフェスタ in ちゅうおう	札幌市中央区保健センター		平成29年9月8日～18日
	ミニ出張講座「ママのからだと心の声」聴いていますか？伝えていますか？	ちあふる・みなみ		平成29年10月
	ワークショップ「メディカルギャップを考える」	NPO法人ゆいネット北海道	4名	平成29年12月2日
伊東健太郎	北海道当事者研究　小樽大会運営	北海道当事者研究ネットワーク		平成29年9月2日～3日
工藤　京子	役員会出席、医療講演会の企画と運営、会報誌発行の補助、総会の司会、関係者への挨拶まわり	北海道低肺の会（患者団体）		年間を通じて
小坂美智代	「藻岩地区健康づくりふれあい交流会」骨密度測定・血圧測定、健康相談	藻岩地区社会福祉協議会		平成29年10月25日
原井　美佳	もりの仲間のさわやかクラブ「介護予防 - 健康測定会 - 」	芸術の森地区社会福祉協議会	4名	平成29年7月28日
三上　智子	小学校での絵本の読み聞かせ	札幌市立大学絵本サークルしゃぼんだま	8名	平成29年8月24日
森川　由紀	健康相談	COCまちの健康応援室		平成29年6月
	夏の乳幼児の感染症予防と対策の講和	まこまる育児講和		平成29年6月
	冬の乳幼児の感染症予防と対策の講和	まこまる育児講和		平成29年12月
	健康相談	COCまちの健康応援室		平成29年12月
山本真由美	助産師、看護師として対象者の健康相談	COCまちの健康応援室		
柏倉　大作	けんこうフェスタin ちゅうおうに「助産師とお父さん看護師による赤ちゃん体験コーナー」を出展	札幌市中央区保健福祉部		平成29年9月18日

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
近藤　圭子	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（大縄跳び大会）	桑園地区連合町内会	8名	平成29年8月
	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援（文化祭）	桑園地区連合町内会	14名	平成29年10月
田仲　里江	桑園まちづくりセンターでの文化祭に学生と参加	桑園地区文化祭	9名	平成29年10月22日

教育支援プロジェクトセンター

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
籔谷　祐介	モビリティを活用した「賑わい創出プロジェクト」の為の車両開発プロジェクト委員	NPO法人エコ・モビリティ サッポロ		平成29年4月1日～平成30年3月31日
	まちゼミ「まこまない盆踊を「おおう」大風呂敷をつくろう」	真駒内団地商店街振興会		平成29年6月20日～8月1日
	南消防団員入団促進ポスターコンペ	札幌市南消防団	3名	平成29年10月16日～11月30日

8) マスメディアへの掲載

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
蓮見　孝	新聞論説「時論」2回	茨城新聞	
上遠野　敏	まちなかエリア 企画チーム 上遠野敏さん	ontona(北海道新聞)	平成29年7月5日
	札幌国際芸術祭2017 ここが見どころ！2 上遠野敏 私のお薦めレトロスペース坂会館別館	北海道新聞	平成29年7月7日
	札幌へアートの旅	美術手帖	平成29年8月15日
	リレーエッセイ バンドメンバー 上遠野敏さん	o.tone	平成29年8月15日
	芸術で伝承 炭鉱の記憶 今日から赤平で「アートプロジェクト」	北海道新聞	平成29年9月16日
斉藤　雅也	環境を考える11 多様性を評価し、選択できる環境や空間をつくる	KENCHIKU Spring 2017 建報社	平成29年4月
	テレビ：寝苦しい夜 快適に寝るには	みんなのテレビ（UHB 北海道文化放送）	平成29年7月10日
	ウェブ記事：[びお考]赤ちゃんにやさしい家 建築環境と助産のマリアージュ	住まいマガジン びお	平成29年10月1日～8日
	記事：第１回パッシブシステム・市民セミナー開催される／超高性能住宅のこれから“宇宙船型”と“民家型”、2つの方向	北海道住宅新聞	平成29年10月15日
	記事：住まいマガジンびお（ダイジェスト版）「赤ちゃんにやさしい家」	住まいマガジン びお	平成29年11月15日
羽深　久夫	HBC 今日ドキッ 元気街道230プロジェクト	HBC	平成29年10月30日
原　俊彦	人口逆転へ　4位 釧路 水産業低迷　5位 苫小牧 車産業が集積	北海道新聞	平成29年5月5日
	道内人口減　深刻	北海道新聞	平成29年7月6日
	管内人口　初の50万人割れ（上川管内）減少 3千500人ペース	北海道新聞	平成29年9月15日
	変わるマチの輪郭 札幌圏 時代映す人の流れ	北海道新聞	平成29年11月11日
	空知人口 30万人割れ	北海道新聞	平成30年1月24日
柿山浩一郎	雪道用車いす 学生が作る 自身の体験元に製品化目指す	北海道新聞	平成29年4月3日
	ユニバーサル 深まる理解	北海道新聞	平成29年4月4日
	雪道を走れ！夢の原点	UHB	平成30年3月8日
武田　亘明	講演 札幌市立大学武田亘明准教授「地域連携必須事項に」	教育家庭新聞	平成30年4月2日
藤木　淳	じゃぴあ 2017 初夏号、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳 個展－」に関する掲載	雑誌	平成29年5月
	HOT PEPPER 2017 5月号、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳 個展－」に関する掲載	雑誌	平成29年5月
	藤木淳、西日本新聞、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳 個展－」に関する報道	新聞	平成29年5月2日
	藤木淳、宮崎日日新聞、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳 個展－」に関する報道	新聞	平成29年5月9日～20日（4回）

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
藤木　淳	藤木淳、朝日新聞、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳 個展－」に関する報道	新聞	平成29年5月9日、25日（2回）
	デザイナーズFILE 2018、株式会社ボーンデジタル、pp.160-161	書籍	平成29年7月
三谷　篤史	ロボットづくり講習会の記事においてインタビューの内容が掲載された	北海道新聞朝刊	平成29年5月30日
	ロボットづくり講習会のWRO2017札幌大会の記事が掲載された	北海道新聞朝刊	平成29年8月13日
	イノベーション・ジャパン2017にて展示した口腔シミュレータのプロトタイプ	日本歯科新聞	平成29年9月12日
	フィールド・クラブと共同開発したクッションに関するインタビュー記事	介護新聞	平成30年2月20日
	安田君を紹介するテレビ番組において、インタビューを受けた	UHB「ドキュメント2018」	平成30年3月8日
山田　良	北海道リハビリテーション病院／桑園ヴィレッジ	北海道新聞	
石田　勝也	SIAFラボ企画「垂氷まつり」広報	NHK	平成30年2月6日
大渕　一博	南区をPRするタオルデザイン	北海道新聞	平成29年5月29日
	じょうてつバスラッピング	北海道新聞	平成29年6月20日
	特殊詐欺防止啓発ポスターデザイン	北海道新聞	平成29年8月8日
	じょうてつバス車内広告・バス内装飾	札幌市南区Webサイト	平成29年8月9日
	滝野すずらん丘陵公園アート自販機デザイン	札幌市南区Webサイト	平成29年8月31日
	札幌市長グリーティングカード制作	札幌市Webサイト	平成29年12月12日
金　秀敬	日台の大学生間の国際交流による新しい観光提案	北海道新聞・室蘭版	平成30年1月
小宮加容子	市立札幌病院内の壁面のデザイン提案	「大學新聞」第145・146合併	平成29年7月11日
	公開講座として子ども向けイベントの企画・実施	「螢雪ジャーナル」11月号	平成29年11月1日
	OTO TO TABI 2018内のキッズスペースの企画・実施	アルキタ3月12日号	平成30年3月12日
	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当	三角山放送局	毎月第一火曜日
福田　大年	広告時評	アドどうしん	平成29年5月～平成30年4月
	建設コンサルタンツ協会道支部“防災勇者”使い意識高揚 稚内の小学校で出前授業（防災勇者）	北海道通信	平成29年9月28日
	厚真町の強み考え、ＰＲグッズ制作 デザインセミナー開講	苫小牧民報（Webみんぽう）	平成29年10月14日
	指以外のタブレット操作で遊べる体験を＊札幌市立大生 デジタル競作＊自由な発想 授業で市民に発表	北海道新聞朝刊地方（札幌市内）	平成30年2月13日
	「ほっとニュース北海道」地元の特産品を手軽にアピール	TV放送(NHK)	平成30年3月27日

教　員　名	内容	掲載媒体	掲載日
松永　康佑	WBS トレンドたまご	テレビ東京	平成29年4月7日
	FRaU 2017_No.514 p112 徹学のススメ	雑誌	
	日本経済新聞夕刊3面	日本経済新聞	平成29年5月6日
矢久保空遥	ミツウマ株式会社からの協力依頼	新聞	

看護学部

教　員　名	内容	掲載媒体	掲載日
松浦　和代	先天性股関節脱臼を予防するための研修会 ホブト県で開催	モンゴル国ホブト県営テレビチャンネル6	平成29年8月1日
川村三希子	がんの苦しみ相談を 札幌で緩和ケアセミナー	北海道新聞	平成29年5月30日
貝谷　敏子	北海道医療新聞「顔」に掲載	北海道医療新聞	平成30年2月23日
菅原　美樹	第24回看護・教養図書ガイドの道内著者インタビューで著書について紹介された	ベストナース　11月号	平成29年10月20日
古都　昌子	インフォームドコンセントに関連した公開講座の紹介	北海道新聞	平成29年12月20日
村松　真澄	国際福祉機器展での「口腔ケアシミュレータ」の紹介	日本歯科新聞	平成29年9月12日
	南区健康まつりでの札幌市南区歯科医師会とのコラボレーション活動	札幌市歯科医師会広報だより第437号	平成29年10月号
	札幌市立大とフィールドクラブが産学連携で開発車いす用クッション「コテマリ」	介護新聞	平成30年2月22日
	車いす用クッションと肘掛の開発	ベストナース	平成30年3月号
	車いす用クッションと肘掛の開発	ケア	平成30年3月号
	日本口腔看護研究会第4回セミナー	ベストナース	平成30年4月号
大友　　舞	「赤ちゃんにやさしい家」をテーマに工務店のスタッフ、デザイン学部の教員と対談をした。	住まいマガジンびお	平成29年10月1日

2　公開講座開催実績

1）　札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師／企画	受講者数(名)
平成29年4月30日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会①	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	20
平成29年5月28日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会②	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	20
平成29年6月3日	訪問看護スキルアップ講座　2017①	大友　宣（医療法人財団老蘇会　静明館診療所　医師）	71
平成29年6月18日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会③	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	29
平成29年7月1日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 メカトロ教室「走れ！ロボットカー」	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	28
平成29年7月15日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 昆虫のデザイン	酒井　正幸（デザイン学部　特任教授）	18
平成29年7月23日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会④	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	20
平成29年7月23日	「クリエイティブコーディングスクール札幌2017 札幌国際芸術祭編」Sonic Piでライブコーディング	金田　謙一（ネオス㈱札幌開発センター） 小町谷　圭（札幌大谷大学芸術学部講師） 石田　勝也（デザイン学部　講師）	15
平成29年7月30日	『Connekid！in そらのガーデン2017「わくわくひろがる星の子たんけんたい」』	小宮 加容子（デザイン学部　講師）	246
平成29年8月4日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 まちの健康応援室①	石引 かずみ（看護学部　助教）	8
平成29年8月5日、6日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑤	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	13
平成29年8月10日～12日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑥	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	22
平成29年8月23日	「気持ち良い体験」をしよう～呼吸法・マッサージによる医療者のセルフケアのススメ～	大野　夏代（看護学部　准教授） 鶴木　恭子（天使大学　講師）	22
平成29年8月24日	看護師のための英会話研修（初級）～外国人患者さんと英語で話してみよう	大野　夏代（看護学部　准教授） 町田 佳世子（デザイン学部　教授） 松井　美穂（デザイン学部　准教授） 山田 パトリシア（非常勤講師）	29
平成29年9月8日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ナースが推奨する自然療法の活用 「アロマセラピー」	猪股 千代子（看護学部　教授） 矢野 祐美子（看護学部　講師） 小端　裕美	9
平成29年9月13日	ナースだって癒されたい－自分を大切にする心のケア体験研修	猪股 千代子（看護学部　教授） 大野　夏代（看護学部　准教授） 矢野 祐美子（看護学部　講師） 大瀧　真美（桑園メンタルクリニック看護師、ヨーガ療法士） 山出　誓子（市立札幌病院　係長） 鬼塚　美玲（札幌保健医療大学　助手）	14
平成29年9月21日	市民と共につくる看護学教育―看護教育における模擬患者参加型演習―	樋之津 淳子（看護学部　教授）	10

開催日	タイトル	講師／企画	受講者数(名)
平成29年10月1日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑦	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	16
平成29年10月5日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 まちの健康応援室②	渡邉 由加利（看護学部　准教授）	4
平成29年10月14日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 健康情報学-健康・医療の情報を賢く判断し選ぶために-	喜多　歳子（看護学部　教授）	23
平成29年10月14日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 こどもの描くスケッチから「まちの未来」を考える	椎野 亜紀夫（デザイン学部　准教授）	21
平成29年10月29日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑧	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	7
平成29年11月5日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑨	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	15
平成29年11月11日	訪問看護スキルアップ講座　2017②	岡部　美保（高崎健康福祉大学訪問看護ステーション・皮膚・排泄ケア認定看護師）	47
平成29年11月12日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑩	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	13
平成29年11月19日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑪	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	18
平成29年11月20日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 メンタルヘルス講話とストレスチェック	伊東 健太郎（看護学部　講師）	21
平成29年12月8日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 まちの健康応援室③	森川　由紀（看護学部　講師）	13
平成29年12月17日	フォーラム「北海道写真とアーカイブ」	須之内 元洋（デザイン学部　助教） 大日方 欣一（九州産業大学芸術学部教授） 倉石　信乃（明治大学理工学部　教授）	49
平成29年12月22日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 話を聴いてもらっていますか・話せていますか－患者として主体的に治療に参加するため－	古都　昌子（看護学部　准教授）	13
平成30年1月6日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 冬のメカトロ講座「ロボットカーをはしらせよう」	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	9
平成30年1月23日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 話し合い上手になるために～地域の集まりを楽しむコツ～	町田 佳世子（デザイン学部　教授）	14
平成30年2月6日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 牧場の歴史ものがたり	大島　卓（デザイン学部　教授）	11
平成30年2月13日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 まちの健康応援室④	大友　舞（看護学部　助手）	7
平成30年2月16日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 地域住民のこころを掴むコミュニティレストランの運営	片山 めぐみ（デザイン学部　講師）	24
平成30年2月18日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑫	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	10
平成30年2月18日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑬	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	9
平成30年2月23日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 アートの中のゲーム、ゲームの中のアート	藤木　　淳（デザイン学部　准教授）	6

開催日	タイトル	講師／企画	受講者数(名)
平成30年3月2日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 Evening Lectures – 欧州の暮らしとデザイン① ②	安齋　利典（デザイン学部　教授）	16
平成30年3月9日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 Evening Lectures – 欧州の暮らしとデザイン②	山田　　良（デザイン学部　准教授）	40
平成30年3月9日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 昭和のデザイン	細谷　多聞（デザイン学部　教授）	11
平成30年3月17日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 動物園をデザインする　～円山動物園×札幌市立大学の12年間の歩み と これから～	酒井　正幸（デザイン学部　特任教授） 矢部　和夫（デザイン学部　教授） 福田　大年（デザイン学部　講師） 若林　尚樹（デザイン学部　教授）	18
平成30年3月18日	COC事業・SCUまちの教室公開講座 ロボットづくり講習会⑭	三谷　篤史（デザイン学部　准教授）	14

2）　共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師／企画	受講者数(名)
平成29年6月13日	札幌市の文化財をたどる＜夏＞～中島公園の今むかし～	羽深　久夫（デザイン学部　教授） 松岡　洋一（札幌市市民文化局文化部文化財課文化財　保護指導員）	23
平成29年6月20日	札幌市の文化財をたどる＜夏＞～中島公園の今むかし～	羽深　久夫（デザイン学部　教授） 松岡　洋一（札幌市市民文化局文化部文化財課文化財　保護指導員）	23
平成29年9月5日	札幌の文化財をたどる＜秋＞～円山公園の今むかし～	羽深　久夫（デザイン学部　教授） 松岡　洋一（札幌市市民文化局文化部文化財課文化財　保護指導員）	31
平成30年2月27日	札幌の歴史的建造物をたどる＜冬＞～札幌神社と北海道神宮～	羽深　久夫（デザイン学部　教授） 松岡　洋一（札幌市市民文化局文化部文化財課文化財　保護指導員）	32
平成30年3月6日	札幌の歴史的建造物をたどる＜冬＞～札幌神社と北海道神宮～	羽深　久夫（デザイン学部　教授） 松岡　洋一（札幌市市民文化局文化部文化財課文化財　保護指導員）	25

3）　共催講座：「知活（ちいき）ゼミナール」

開催日	タイトル	講師／企画	受講者数(名)
平成29年10月28日	札幌市立大学・道総研共同セミナー 『知（ち）活（いき）ゼミナール2017』 「かたるべの森」木工製品のデザイン提案で製品化した作品（小宮） インタラクティブ作品「Heart☆full」（石田） 健聴者の手話学習を誘因させるゲーム「サイニズム」（松永・三上）	石田　勝也（デザイン学部　講師） 松永　康佑（デザイン学部　講師） 三上　拓哉（デザイン研究科2年） ※小宮加容子（デザイン学部　講師）展示のみ	1,687

3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
蓮見　孝	第86回土浦全国花火競技大会／審査委員	土浦全国花火競技大会実行委員会
	地域スポーツ資源活用検討調査事業の勉強会／顧問	茨城県
	「いばらきデザインセレクション2017（デザインセレクション部門、テーマセレクション部門）」／審査委員	茨城県
	りんりんスクエア土浦指定管理者選定委員会／委員	茨城県
	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトゼネラルマネージャー選考／審査員	佐野市スポーツ立市推進課
細谷　多聞	「札幌スタイル認証審査委員会」／委員	札幌市（経済観光局）
	札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員	札幌市（経済観光局）
城間　祥之	「札幌市都市計画情報等閲覧システム構築業務」／アドバイザー	札幌市（まちづくり政策局）
	ＩＴ産業海外展開支援事業ローカライズ支援補助金審査会／委員	札幌市（経済観光局）
	地方自治法施行令第167条の10の2第4項に基づく意見聴取／アドバイザー	札幌市（総務局）
	総合評価一般競争入札における落札決定基準に係る学識経験者／アドバイザー	札幌市（交通局）
	日本感性工学会／理事	日本感性工学会
上遠野　敏	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	そらち『炭鉱（やま）の記憶』で地域づくり推進会議／委員	北海道空知総合振興局
安齋　利典	一般社団法人芸術工学会役員／委員	(一社)学術工学会
斉藤　雅也	BIS認定事業に係る試験講習委員会／委員	(一社)北海道建築技術協会
	平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業）に係る審査委員会／委員	(公財)北海道立近代美術館
	熱環境運営員会・バイオクライマティックデザイン小委員会・環境ライフスタイル普及小委員会／委員	(一社)日本建築学会
	札幌市資料館保全等整備計画検討会議／委員	札幌市（市民文化局）
中原　宏	北海道住宅対策審議会／委員	北海道
羽深　久夫	「（仮称）札幌市歴史的資産保存活用推進方針検討委員会」／委員	札幌市（市民文化局）
	平成29年度北海道赤レンガ建築賞審査委員会／委員	北海道
	社会福祉法人藻岩この実会／理事	社会福祉法人藻岩この実会
	平成29年度札幌市保養センター駒岡運営協議会／委員	社会福祉法人札幌市社会福祉協議会札幌市保養センター駒岡
	厚真町都市計画審議会専門委員／委員	厚真町（まちづくり推進課）
	北海道建築審査会委員／委員	北海道
	芸術の森地区文化祭実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
	札幌市芸術文化財団芸術の森事業部美術館専門委員会／委員	公益財団法人札幌市芸術文化財団

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
羽深　　久夫	「札幌市歴史文化基本構想策定委員会」／委員	札幌市（市民文化局）
原　　俊彦	国立社会保障・人口問題研究所研究評価委員会／委員	国立社会保障・人口問題研究所
	厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業に係る事前企画評価委員会及び中間・事後評価委員会／委員	厚生労働省
	てしかが・まち・ひと・しごと創生戦略意見交換会／アドバイザー	弟子屈町（まちづくり政策課）
町田　佳世子	北海道立近代美術館協議会／委員	北海道立近代美術館
矢部　　和夫	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会／委員	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会
	「石狩川下流幌向地区自然再生調査検討業務」／アドバイザー	株式会社ドーコン
	日本造園学会北海道支部運営委員の委嘱について／委員	日本造園学会北海道支部
	札幌芸術の森運営協議会／委員	㈶札幌市芸術文化財団
	平成29年度自然環境保全基礎調査植生調査に係る北海道ブロック調査会議／委員	㈱地域環境計画
	美々川自然再生技術検討委員会アクションプログラムワーキンググループ／委員	北海道
	美々川環境整備事業にかかる美々川及びウトナイ湖周辺の環境変化要因とその対策についての助言／専門員	北海道
	「平成29年度国立公園等における再生可能エネルギーの効率的導入促進のための植生図作成及び自然環境等インベントリ整備推進委託業務（大雪山国立公園）」のうち、植生図作成業務に係る北海道ブロック調査会議／委員	㈱エコニクス
吉田　　和夫	第70回広告電通賞選考委員／委員	広告電通賞審議会
	とくとく健診ＰＲポスター図案選考委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	コーポレートデザイン制作業務に伴うプロポーザルの企画提案選考委員／委員	北海道中小企業団体中央会
若林　　尚樹	教育推進委員会／委員長・協会委員	㈶画像情報教育振興協会
	信州大学教育学部教員人事に関する外部評価／評価者	信州大学
	ADADA　JAPAN／理事	ADADA　JAPAN
	第4回ADADAJapan学術大会における実行委員会／委員	アジアデジタルアートアンドデザイン学会
椎野　亜紀夫	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	岩見沢市都市計画審議会／委員	岩見沢市（建設部都市計画課）
	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道
	日本造園学会北海道支部／委員	日本造園学会北海道支部
	札幌市の設置する都市後援の指定管理者選定に伴う選定委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道広域緑地計画見直しに関する懇談会／委員	北海道
武田　　亘明	北海道立生涯学習推進センター業務委託契約に係る総合評価審査会／アドバイザー	北海道立生涯学習センター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
藤木　　淳	第4回ADADAJapan学術大会における実行委員会	アジアデジタルアートアンドデザイン学会
山田　　信博	平成29年度地域活動の場整備支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	（仮）真駒内プロジェクト会議準備会／委員	㈱エコ・モビリティサッポロ
山田　　良	「500m美術館専門委員会」／委員	札幌市（市民文化局）
	「第2回手造通クラフト作品コンテスト」／審査委員長	札幌市（西区役所地域振興課）
石田　　勝也	第4回ADADAJapan学術大会における実行委員会／委員	アジアデジタルアートアンドデザイン学会
大島　　卓	日本造園学会北海道支部運営委員	日本造園学会北海道支部
	水戸市植物公園リニューアル基本構想・基本計画策定業務／研究員	公益財団法人国際科学振興財団
片山　めぐみ	札幌市資料館保全等整備計画検討会議／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	平成29年度町内会加入促進啓発事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	平成29年度地域活動の場整備支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	シニア層が活躍する地域づくりに関する調査研究会／調査員	㈶北海市町村振興協会
	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	安平町未来創生委員会／アドバイザー	安平町（企画財政課）
福田　　大年	札幌スタイルブランドマネジメント委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	札幌スタイル認証審査委員会／委員	札幌市（経済観光局）
	食のまち・さっぽろフェストinチ・カ・ホ2018企画運営業務に係る企画競争実施委員会／委員	札幌市保健所
松永　　康佑	ADADA　JAPAN／理事	ADADA　JAPAN
	第4回ADADAJapan学術大会における実行委員会／委員	アジアデジタルアートアンドデザイン学会

看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
樋之津　淳子	日本看護技術学会／評議員	日本看護技術学会
	日本看護科学会誌／専任査読委員	㈶日本看護科学会
	北海道看護協会継続教育のあり方検討委員会／委員	㈳北海道看護協会
	日本看護研究学会北海道地方会／役員	㈳日本看護研究学会北海道地方会
	日本看護研究学会／評議員	㈳日本看護研究学会
	科学研究費委員会／専門委員	㈱日本学術振興会
	人間工学会看護人間工学部会／総務	人間工学会看護人間工学部会
	日本看護研究学会／臨時査読委員	㈳日本看護研究学会
	日本看護科学学会／和文誌専任査読委員	㈳日本看護科学学会
	看護理工学会／評議員	看護理工学会

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
松浦　和代	日本小児看護学会誌／専任査読者	(一社) 日本小児看護学会
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市
	第52回北海道学校保健学会／代表者	北海道学校保健学会
	日本小児看護学会学術集会／会長	(一社) 日本小児看護学会
	日本小児看護学会学術集会／企画委員	(一社) 日本小児看護学会
川村　三希子	北海道がん対策推進委員会／委員	北海道
	日本がん看護学会学会誌／査読委員	(一社) 日本がん看護学会
	看護師教育支援委員会／委員	(特非) 日本ホスピス緩和ケア協会
	北海道地区FD・SD推進協議会／監事	北海道地区FD・SD推進協議会
	日本緩和医療学会／理事	(特非) 日本緩和医療学会
中村　惠子	日本看護科学学会／代議員	(公社) 日本看護科学学会
	救急業務検討委員会／委員	札幌市（消防局）
	日本看護管理学会／評議員	(一社) 日本看護管理学会
	プロトコール専門委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	専門看護師認定委員会／委員	(公社) 日本看護協会
	専門看護師認定実行委員会／委員	(公社) 日本看護協会
	日本看護管理学会／役員	(一社) 日本看護管理学会
猪股　千代子	日本看護管理学会／評議員	(一社) 日本看護管理学会
	日本看護学会―看護管理―学術集会抄録選考委員会／委員	(公社) 日本看護協会
	北海道地区FD・SD推進協議会／監事	北海道地区FD・SD推進協議会
菊地　ひろみ	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会
喜多　歳子	北海道公衆衛生協会及び北海道公衆衛生学会／理事	北海道公衆衛生協会
	北海道建築審査会／委員	北海道
大野　夏代	日本看護科学学会国際活動推進委員会／委員	(公社) 日本看護科学学会
貝谷　敏子	ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会／委員	札幌医科大学
菅原　美樹	日本クリティカルケア看護学会将来構想検討委員会／委員	(一社) 日本クリティカルケア看護学会
	日本救急看護学会／理事	(一社) 日本救急看護学会
	日本救急看護学会医療政策委員会／担当理事	(一社) 日本救急看護学会
神島　滋子	日本脳神経看護研究学会／理事、評議員	日本脳神経看護研究学会
	日本看護研究学会北海道地方会／役員	日本脳神経看護研究学会北海道部会
藤井　瑞恵	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会
	中央区食育ネットワーク会議の委員	札幌市中央区保健福祉部
古都　昌子	北海道看護教育施設協議会役員	北海道看護教育施設協議会
	日本看護学会―看護管理―学術集会抄録選考委員会／委員	(公社) 日本看護協会
	日本看護学教育学会教育活動委員会／委員	(一社) 日本看護学教育学会

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
本田　光	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会
三上　智子	第52回北海道学校保健学会／事務局長	第52回北海道学校保健学会
村松　真澄	日本摂食嚥下リハビリテーション学会／評議員	(一社)日本摂食嚥下リハビリテーション学会
	日本老年看護学会／代議員	(一社)日本老年看護学会
	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	旭川口腔ケア普及研究会／幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
守村　洋	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	権利擁護審査会／委員	(福)札幌市社会福祉協議会
	北海道精神医療審査会／委員	北海道
	日本精神保健看護学会学術集会／企画委員	日本精神保健看護学会
	北海道精神保健福祉審議会／臨時的委員	北海道
	札幌市自殺対策実務担当者意見交換会／委員	札幌市精神保健福祉センター
伊東　健太郎	日本精神保健看護学会学術集会／実行委員	日本精神保健看護学会第27回学術集会
	みんなでみに区る　健康まつり実行委員会／委員	札幌市南区保健福祉部
櫻井　繭子	日本産業衛生学会産業看護部会／幹事	(公社)日本産業衛生学会
	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会
原井　美佳	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生協会
森川　由紀	北海道看護協会推薦委員会／委員	(公社)北海道看護協会
矢野　祐美子	日本看護学会―看護管理―学術集会抄録選考委員会／委員	(公社)北海道看護協会
田仲　里江	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会
御厩　美登里	北海道公衆衛生学会／評議員	北海道公衆衛生学会

教育支援プロジェクトセンター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
籔谷　祐介	モビリティを活用した「賑わい創出プロジェクト」の為の車両開発プロジェクト委員会／委員	(特非)エコ・モビリティサッポロ
	みんなでみに区る　健康まつり実行委員会／委員	札幌市南区保健福祉部
	平成29年度「南消防団員入団促進ポスターコンペ」審査委員／委員	札幌市南消防団

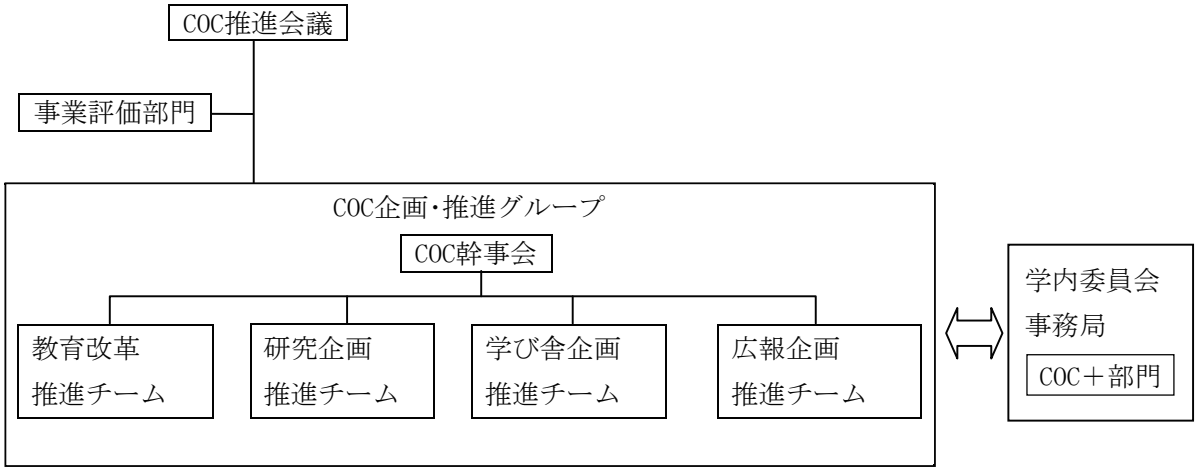
4　ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業（COC事業）

1）　概要

平成25年度、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（COC）」（平成27年度から「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に包含）に、本学の「ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成『学び舎』事業」が採択された（事業期間：平成25～29年度）。

本事業は、地域住民や札幌市などと連携して地域を「学び舎」とした「地域志向のカリキュラム」を展開し、デザインと看護の専門性を活かした協奏型地域社会のウェルネス支援、地域の活性に貢献する人材の育成を実施。各取組は、廃校となった旧真駒内緑小学校の跡施設「まこまる」内に設置した「COCキャンパス」を中心に展開した。

2）　実施体制



3）　平成29年度の主な事業実績

【教育】

・1年次前期に「スタートアップ演習」を開講し、「D×N（デザインと看護の連携）」をテーマに、南区各地にて学生・教員チームが調査を行い、「D×N連携」を活かしたプロジェクト活動を企画・実施した。

・2年次前期に「学部連携基礎論」を開講し、地域調査の手法や南区の特徴・課題について学ぶなど、3年次後期開講の「学部連携演習」の基礎となる講義を展開した。

・3年次後期に「学部連携演習」を開講し、南区の10地区を対象とした演習授業を行い、「デザインと看護の連携」及び「地域課題の発見と提案」を目指したプロジェクト学習を行った。

・自由科目の「地域プロジェクトⅠ（基礎編）」「地域プロジェクトⅡ（応用編）」を開講した。年間を通して26件のプロジェクトを教員から提示し、各々を受講する学生に適切な指導を行った。

【研究】

・COC共同研究の公募を実施し、応募があった1件について審査した結果、1件を採択した。

・COC事業ウェブサイトにCOC共同研究の成果報告書を掲載した。

【地域貢献】

・COCキャンパスを中心に公開講座（合計17企画、34回）・授業公開（2科目、13回）を実施した。

・COCキャンパス内に「まちの談話室」を開設し、図書室・談話室の運営、ばくりっこ掲示板の運営、展示企画、地域住民の交流を促す企画などを実施した。

・市民が講師となる「まちの先生」について、連続講座・サークル活動を含め全39回開講した。

・COCキャンパス内に「まちの健康応援室」を開設し、登録している有資格ボランティア（看護

師、保健師、薬剤師、管理栄養士、健康運動指導士）のうち、19名が看護学部教員とともに血圧・骨密度・体組成測定などの健康チェックと健康相談を月7～10日、継続的に実施した。また、地域の健康イベント等に出向いて健康相談・健康チェックを行うアウトリーチ活動を14回（出張活動7回、公開講座1回、ちあふる・みなみミニ出張活動6回）実施した。

【その他】

・まこまる入居者による合同イベント「きて！みて！まこまる2017」に併せて、COCキャンパスにおいて展示、講座、学生企画などを実施し、本学関連イベントとして327名、イベント全体で445名の来場があった。

・外部委員を含むCOC評価部門会議を開催し、本事業について評価を受けた。

・本事業の活動を広くPRするため、COCウェブサイトを運用したほか、「まちの学校新聞」の発行やメールマガジンの配信などを行った。

5　専門職支援・セミナー講師等

1)　専門職支援

①認定看護管理者教育課程サードレベル

平成29年度受講者19名（修了者18名）

開催期間	教科目/時間	単元	授業形態・時数	講師
第Ⅰ期（12日間） 平成29年8月23日 ～9月7日 第Ⅱ期（14日間） 平成29年10月30日 ～11月17日 第Ⅲ期（12日間） 平成30年1月9日 ～1月24日	保健医療福祉政策論/36時間	1.社会保障の概念	講義（3）	★天田　孝
		2.諸外国の保健医療福祉	講義（3）	★スーディ神崎 和代
		3.保健医療福祉政策	講義（6）	★伊藤　智
		4.看護制度・政策	講義（6）	★齋藤　訓子
		5.制度・政策に影響を及ぼす看護管理者	講義（3）	★齋藤　訓子
		6.保健医療福祉政策演習	演習（9）	★北村　和宏 ★工藤　昭子 ★須田　倫子 ★立花 枝美子 ★仁木 恵美子 ★本間　美恵 猪股 千代子 古都　昌子
		7.小論文プレゼンテーション	演習（6）	中村　惠子 猪股 千代子 古都　昌子
	保健医療福祉組織論/30時間	1.保健医療福祉サービスのマーケティング	講義（6）	★松下　博宣
		2.組織デザイン論	講義（6）	★永池　京子
		3.ヘルスケアサービスの創造	講義（6）	★砂山　圭子 ★スーディ神崎 和代
		4.保健医療福祉組織論統括演習	演習（12）	★勝見　真澄 ★小澄　悦子 ★高橋 久美子 ★孰賀　愛子 ★土井　正子 ★中村　敦子 猪股 千代子 古都　昌子

第Ⅰ期（12日間） 平成29年8月23日 ～9月7日 第Ⅱ期（14日間） 平成29年10月30日 ～11月17日 第Ⅲ期（12日間） 平成30年1月9日 ～1月24日	経営管理論/60時間	1.医療福祉と経済論	講義（6）	★高橋　　泰
		2.医療福祉経営	講義（6）	★工藤　　高
		3.財務管理	講義（6）	★玉川　真弓
		4.経営分析	講義（6）	★富永　　誠
		5.ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性	講義（9）	★児玉 真利子 ★須田　倫子 ★宮城　領子
		6.看護経営の今後のあり方	講義（6）	★齋竹　一子 ★深澤　優子
		7.労務管理	講義（6）	★櫛引　久丸 ★和田　昌代
		8.人材フローのマネジメント	講義（3）	★樋口　春美
		9.危機管理	講義（3）	★加藤　久美子
		10.経営管理論演習	演習（9）	★佐藤 ひとみ ★田所　亮一 ★田中 いずみ ★中野　和美 ★萩原　直美 ★樋渡 ひとみ 猪股 千代子 古都　昌子
	看護経営者論/51時間	1.経営者論	講義（6）	中村　惠子
		2.管理者の倫理的意思決定	講義（6）	★近藤 ときえ 中村　惠子
		3.看護事業の開発と起業	講義（6）	★鈴木　英樹 ★原田　典子
		4.実習	実習（27）	猪股 千代子 古都　昌子
		5.特別講義	演習（6）	★坂本　すが
	総合演習/15時間	1.統合演習	演習（15）	★伊藤　リカ ★加藤 久美子 ★近藤 ときえ ★齋藤 香奈恵 ★渋谷　洋子 ★中山 日登美 ★的場 由紀子 ★山谷　敦子 猪股 千代子 古都　昌子

★印：非常勤講師等

2）　セミナー講師等

①　デザイン学部

教　員　名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
蓮見　　孝	平成29年5月11日	第947回市立札幌病院学術研修会／講師	市立札幌病院
	平成29年7月26日	文化のまちづくりセミナー特別プログラム「芸術がひらく未来」第2弾「アートとまちづくり（仮題）」／講師	㈱武豊文化創造協会
	平成29年8月26日	『低炭素コミュニティ創造@真駒内に向けたプレ・アクションプログラム』のラウンミーティング「ショップモビリティと真駒内（仮題）」／講師	㈱エコ・モビリティサッポロ
	平成29年10月24日	「渓仁会グループ　職員合同研修会」／講師	医療法人渓仁会
	平成29年10月25日	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト連続講座／講師	㈱Waisportsジャパン
	平成30年1月13日	新春教育講演会／講師	北海道茗渓会
	平成30年1月16日	ユニバーサルデザインに関する講演／講師	㈳旭川ウェルビー・コンソーシアム
	平成30年2月16日	地域創生フォーラムin茨城／講師	㈶地域活性化センター振興部
	平成30年3月2日	ユニバーサルデザインに関する講演／講師	㈳旭川ウェルビー・コンソーシアム
細谷　　多聞	平成29年8月28日	第7回ものづくり研修会／講師	札幌商工会議所産業部
酒井　　正幸	平成30年1月29日	地域経済分析システム（RESAS:リーサス）を活用した政策立案ワークショップ／アドバイザー	経済産業省北海道経済産業局
安齋　　利典	平成29年10月～12月に5回開催	厚真町ＰＲグッズ企画制作ワークショップ／講師	厚真町（まちづくり推進課）
	平成30年1月17日	産学官連携研究会HoPE 1月例会／講師	㈳北海道中小企業家同友会
斉藤　　雅也	平成29年11月8日	産学官連携研究会HoPE 11月例会／講師	㈳北海道中小企業家同友会
	平成29年12月14日	エコナイトカフェ／講師	パシフィックコンサルタンツ㈱北海道支社
	平成30年2月16日	平成29年度北海道旭川西高等学校「SSH特別講座」	北海道旭川西高等学校
羽深　　久夫	平成29年6月13日・20日	「さっぽろ市民カレッジ2017春・夏期講座」／講師	札幌市生涯学習センター
	平成29年9月 5.日・12日	「さっぽろ市民カレッジ2017秋期講座」／講師	札幌市生涯学習センター
	平成29年11月8日	豊平館に関する歴史・建築文化講座／講師	㈱NTTファシリティーズ北海道
	平成30年1月27日	開拓開始まもなく北海道鎮護のため建設された札幌神社・北海道神宮の歴史について／講師	アジア招提
	平成30年2月27日・3月6日	さっぽろ市民カレッジ2018冬期講座／講師	札幌市生涯学習センター

教　員　名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
原　　俊彦	平成29年6月5日	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート運営代表者会議全体会議／講師	札幌市南区役所地域振興課
	平成29年10月18日	GISコミュニティフォーラム／講師	ESRIジャパンユーザ会
	平成29年10月28日	札幌における人口の現状と、少子化を踏まえたうえでの継続的で魅力的な街づくりについて／講師	アジア招提
矢部　　和夫	平成29年6月18日	観察会「ひらおか春の湿性植物観察ツアー」／講師	㈶札幌市公園緑化協会
	平成29年10月8日	2017年度「湖水地方講座」／講師	㈠湿原研究所
	平成29年10月14日	平岡公園人工湿地・人工池環境調査報告会／発表者	㈶札幌市公園緑化協会
	平成29年11月19日	勇払原野を学ぶ会／講師	㈶日本野鳥の会 ウトナイ湖サンクチュアリ
武田　　亘明	平成29年7月20日	平成29年度地域を見守る住民の集い／講師	苫前町教育委員会
藤木　　淳	平成29年5月12日～13日・26日～27日	不可思議の体験展藤木淳個展	みやざきアートセンター
	平成29年7月28日～8月4日・21日（計3回）	学童クラス「放課後の学び場/夏休みプログラミングクラス」／講師	Cocoon parents square
	平成29年10月14日	MOTサテライト2017秋むすぶ風景／講師	東京都現代美術館
三谷　　篤史	平成30年2月19日～3月31日	SSH課題研究・研究協力／講師	札幌日本大学高等学校
山田　　信博	平成29年10月21日・22日	「Low Carbon Forum」「真駒内まちづくりジンポジウム」／パネリスト	㈱非エコ・モビリティサッポロ
山田　　良	平成29年10月28日	㈠北海道建築士会景観まちづくり塾／講師	㈠北海道建築士会
片山　めぐみ	平成30年1月31日	「シニア層が活躍する地域づくり」市町村職員研修会におけるパネルディスカッション／コーディネーター	㈶北海道市町村振興協会
	平成30年2月8日	経営者モーニングセミナー／講師	札幌市倫理法人会
福田　　大年	平成29年10月～12月に5回開催	厚真町ＰＲグッズ企画制作ワークショップ／講師	厚真町（まちづくり推進課）

② 看護学部

教　員　名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
松浦　　和代	平成29年10月25日	第947回市立札幌病院学術研修会／講師	市立札幌病院
	平成29年11月13日	手稲渓仁会病院小児看護研修	㈹渓仁会手稲渓仁会病院
川村　三希子	平成29年5月27日	JORTC市民公開セミナー「緩和ケアを知ろう！～あなたに伝えたい、緩和ケアの今～」の講師	㈱非JORTC
	平成29年7月29日	「渓仁会グループ　職員合同研修会」／講師	医療法人渓仁会
	平成29年7月30日	「ELNEC-J高齢者プログラム研修会」ファシリテーター及び協力員	㈶北海道看護協会

教　員　名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
川村　三希子	平成29年8月4日	第18回ELNEC-J（End-of-Life Nursing Education Consortium Japan)コアカリキュラム指導者養成プログラムの講師	㈱日本緩和医療学会
中村　　惠子	平成29年9月5日	旭川医科大学病院看護部「副看護師長研修」の講師	旭川医科大学病院
猪股　千代子	平成29年10月20日	旭川厚生病院看護師会講演会の講師「日常ケアに活かせるスピリチュアルの視点」	JA北海道厚生連旭川厚生病院
菊地　ひろみ	平成29年5月29日 平成29年7月1日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入講義の講師及び看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
定廣　和香子	平成29年7月3日 平成29年7月7日 平成29年7月14日	平成29年度北海道専任教員養成講習会の講師「看護論」	㈳北海道看護協会
大野　　夏代	平成29年7月8日	エスニコ医療通訳研修2017第1回の講師「感染症に関する基礎知識」	㈱エスニコ
	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日	勤医協札幌病院看護研究指導者	北海道勤医協本部看護部
神島　　滋子	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日	北海道済生会小樽病院看護部の看護指導講師	北海道済生会小樽病院
	平成29年7月4日	平成29年度看護職員研修「看護研究　量的講義」の講師	市立札幌病院
	平成29年11月11日	NPO法人日本リハビリテーション看護学会第29回学術大会「ワークショップ」のファシリテーター	NPO法人日本リハビリテーション看護学会
菅原　　美樹	平成30年2月16日	教員対象研修会「OSCE実施に向けての取り組みと運営の実際」の講師	日本赤十字九州国際看護大学
藤井　　瑞恵	平成29年7月1日 ～平成30年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
古都　　昌子	平成29年5月1日	平成29年度看護職員研修「臨床指導者研修Ⅰ」の講師	市立札幌病院
	平成29年7月18日 ～平成29年9月14日	平成29年度北海道専任教員養成講習会の演習助言者「研究方法演習」	㈳北海道看護協会
	平成29年9月15日	看護管理者研修の講師「管理者の倫理的意志決定」の講師	札幌徳洲会病院
	平成29年10月24日	苫小牧市立病院中堅看護師研修の講師	苫小牧市立病院
	平成30年2月26日	平成29年度卒業記念講演の講師	北海道社会事業協会帯広看護専門学校
本田　　光	平成29年9月1日	平成29年度第1回新任保健師学習会の講師「今だから分かる地区診断～考えてみよう事業とのつながり～」	札幌市新任保健師学習会
三上　　智子	平成29年7月18日	健康講話の講師「高校生としての性への対応について」	札幌平岸高等学校
	平成29年9月27日	健康教育講話の講師	小樽市立最上小学校
	平成29年10月21日	第52回北海道学校保健学会シンポジウム「10代の生と性を考える」の講師	北海道学校保健学会
村松　　真澄	平成29年6月17日	第14回北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野同門会学術講演会の講師	北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野凌雲碩學の会

教　員　名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
村松　　真澄	平成29年7月9日	第32回日本歯科産業学会学術講演会特別講演会の講師「超高齢社会へ向けての口腔ケアの実際と教育」	第32回日本歯科産業学会
	平成29年7月28日	第15回日本臨床腫瘍学会学術集会の講師	第15回日本臨床腫瘍学会学術集会
	平成29年9月21日	講演「お口の健康を考えてみませんか～お口の健康は全身の健康につながります」の講師	芸術の森地区社会福祉協議会・福祉のまち推進センター
	平成29年10月1日	日本老年看護学会平成29年度認知症看護対応力向上研修の講師	(一社)日本老年看護学会
	平成29年10月3日	デイサービスSUN DAY講演会の講師『「口腔ケアの重要性」～誤嚥性肺炎との関係性～』	(社福)愛全会高齢者総合福祉施設サン・グレイス
	平成29年10月13日	2017年度日本デザイン学会第1支部大会討論会「ガクガク連携」の講師	日本デザイン学会第一支部
	平成29年10月25日	施設内研修の講師「高齢者の口腔ケアの基本理解と実践主義のポイント」	(社福)札幌明啓院　特別養護老人ホームフローラルさつなえ
	平成29年11月11日	平成29（2017）年度第3回そうえん健康茶話会の講師「健康を支える口腔ケア」	桑園交流ネットワーク桑園医療ケアプロジェクト
	平成29年11月14日	平成29（2017）年度桑園ご近所先生講座の講師「高齢者のお口の健康のために」	桑園交流ネットワーク
	平成30年3月9日	地域公開講座の講師「知っておきたい口腔の知識と口腔ケア」	(公社)北海道勤労者医療協会勤医協中央病院
	平成30年3月12日	「口腔ケアの知識と技術の講師」	(公社)愛全会高齢者総合福祉施設サン・グレイス
守村　　洋	平成29年7月25日 平成29年12月14日 平成30年3月7日	平成29年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師	札幌市社会福祉協議会
	平成29年11月19日	メンタルケア・スペシャリスト養成講座の講師「精神保健」	(一財)メンタルケア協会
	平成30年2月16日	平成29年度厚別区自殺対策事業講演会「『こころのサイン　見逃さないで！』～ゲートキーパーの役割と援助の方法について～」の講師	札幌市厚別区保健福祉部
檜山　　明子	平成29年9月	札幌徳洲会病院医療安全研修「転倒転落のアセスメント」の講師	札幌徳洲会病院
	平成30年2月	いとう整形外科病院看護職学習会の講師	いとう整形外科病院
矢野　祐美子	平成29年7月1日 ～平成30年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
山内　まゆみ	平成29年8月4日	母乳育児のアセスメントに関する学習会の講師「母乳育児のアセスメントと支援方法」	札幌市（南区）
鬼塚　　美玲	平成29年11月 ～平成30年3月	特別養護老人ホームへいわの郷施設内研修会の講師「リーダー研修（中間管理職の役割を通して）」	(社福)博栄会特別養護老人ホームへいわの郷

6　国際交流実績

年月日	内容	
平成29年4月13日	報告	スタートアップ演習での国際交流事業報告会を実施
平成29年4月17日	受入	台中科技大学の教員2名が交流促進のため来学
平成29年5月16日	受入	国立雲林科学大学の教員3名、学生13名が見学のため来学
平成29年5月30日	受入	台湾康寧大学の学長が来学
平成29年6月9日 ～6月11日	派遣	中国・武漢理工大学芸術設計学院（現代アジアデザイン教育新理念国際学術フォーラム）に学長、教員1名、名誉教授1名が講演者として出席
平成29年8月1日	受入	ラップランド応用科学大学の教員2名が来学
平成29年8月5日 ～8月8日	派遣	康寧大学主催国際シンポジウムに招聘され、教員（発表者1名、随行者1名）の2名を派遣。康寧大学視察見学、研究交流を実施
平成29年8月16日 ～8月20日	受入	承徳医学院の教員１名を日本看護学教育学会第27回学術集会参加のため招請
平成29年9月3日 ～9月9日	派遣	承徳医学院での短期派遣プログラムに看護学部5名、教員1名を派遣
平成29年9月8日 ～9月18日	派遣	ラップランド大学での国際交流学生デザインワークショップに学生10名、教員1名を派遣
平成29年9月18日 ～9月25日	受入	華梵大学の学生11名、教員3名、台中科技大学の学生10名、教員2名、雲林科技大学の学生5名、教員2名をデザイン合同ワークショップに受入（本学学生15名、教員4名参加）
平成29年10月19日	受入	公益社団法人青年海外協力協会（JOCA）「JENESYS2.0」2017年度中国高校生訪日団　短期招聘事業により、中国高校生訪日31名を受入
平成29年10月19日 ～10月25日	受入	マレーシアKPJUC大学から海外研修として学生4名、教員2名を受入
平成29年11月2日 ～11月4日	派遣	台中科技大学へ教員2名を交流促進可能性検討のため派遣
平成29年11月17日 ～11月19日	受入	ラップランド大の教員2名、特別聴講学生2名を受入 トナカイワークショップ実施（本学学生2名、教員2名参加）
平成28年10月	受入	華梵大学から特別聴講学生1名を1年間受入（平成29年9月まで）
平成29年10月	受入	華梵大学から特別聴講学生2名を1年間受入（平成30年9月まで）
平成29年10月	受入	ラップランド大学から特別聴講学生（札幌大学留学生で、本学の特別聴講学生）2名を1年間受入（平成30年3月まで）

7　サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	学内利用件数
セミナー	29
会議	※内訳 会議（学内者のみ）41 産学連携・会議（学外者を含む）95 136
学会	104
その他	0
合計	269

V　キャリア支援活動

1　デザイン学部

1）　概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で平成20年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生への支援方法、学生の就業意欲向上、企業理解につながるための取組等を協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

平成20年4月には、キャリア支援室を開設し、教職員による就職相談体制を開始した。また、キャリア支援室は、後援会からの支援により、就職関連図書や什器などの備品・設備を整備した。平成21年5月からは就職相談員1名を配置し、きめ細かく個別指導できる体制を整備している。活動実績の詳細については、下記のとおりである。

学部4年生への支援	・個別指導（就職相談、面接・履歴書・エントリーシート対策など） （平成29年4月～） ・学内企業説明会（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	・キャリアガイダンス（平成29年4月～平成30年2月） ・就職活動ハンドブックの配布（平成29年4月） ・進路希望調査（平成29年10月） ・ビジネスEXPOへの参加（平成29年11月） ・学内業界セミナー（平成29年10月～平成30年3月） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	・スケッチ講習会（平成29年11月） ・ワークショップ型インターンシップ体験（平成29年11月）
後援会からの支援	・模擬面接（平成29年4月） ・エントリーシート個別相談会（平成29年11月） ・履歴書用証明写真撮影補助（平成29年11月～）

2）　支援体制

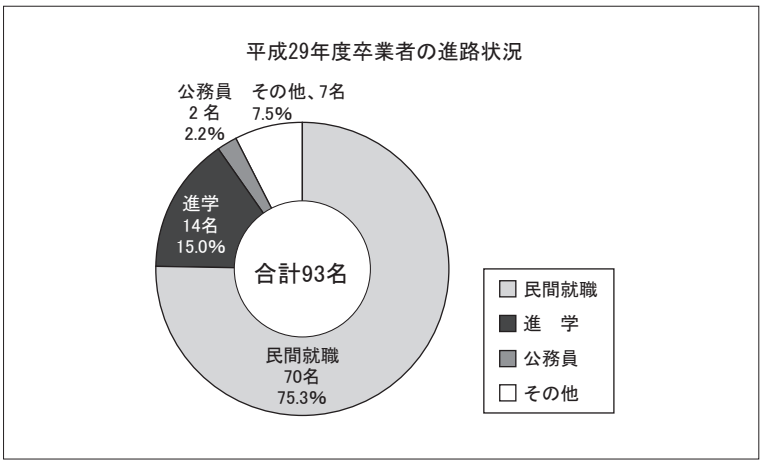
デザイン学部のキャリア支援は、本委員会の委員、4コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち専門分野に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。

3）　就職・進学結果
（9期生）平成29年度卒業生

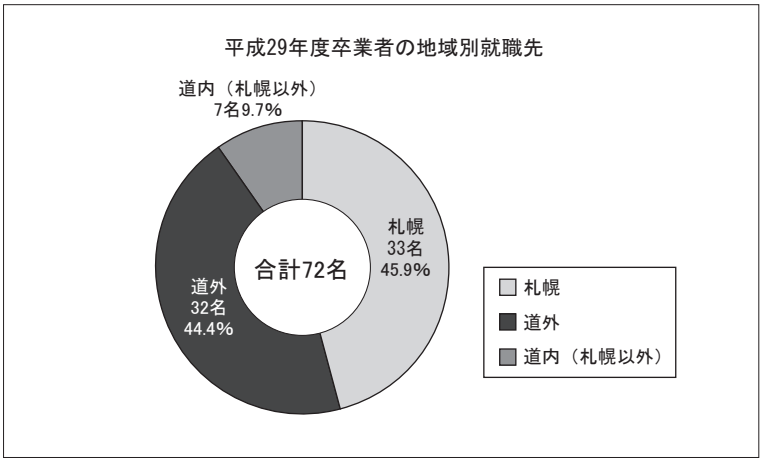
就職先	■建設業 ARIGATO COMPANY㈱/㈲ZO設計室/㈱一条工務店/㈱オープンハウス/静岡セキスイハイムエクステリア㈱/須藤建設㈱/大鎮キムラ建設㈱/ミサワホーム北海道㈱/㈱リペアハウス
	■製造業 川嶋印刷㈱/㈱カンディハウス/クリナップ㈱/㈱工芸カラサワ/㈱コスモ設計/㈱ザボ/サンスター文具㈱/㈱ロイズコンフェクト
	■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） ㈲3KG /Klab㈱/㈱NDPマーケティング/㈱NTTデータMSE/㈱OZ/㈱アイ・エム・ジェイ/㈲カイカイキキ（スタジオポンコタン）/㈱カヤック/クリプトン・フューチャー・メディア㈱/㈱ジャパンテクニカルソフトウェア/㈱セラク/ダイヤモンドヘッド㈱/㈱ティー・ワイ・オー/㈱トップ・クリエーション/トランスコスモス㈱/㈱ホープス/㈱メンバーズ/ヤフー㈱/起業（アプリ開発）
	■卸売業・小売業 ㈱FUJI/㈲ウィズ/カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱/佐藤水産㈱/シンコール㈱/㈱セコマ/㈱手紙社/㈱ビックカメラ/㈱ヨシモト
	■不動産業 ㈱札幌ドーム/新千歳空港ターミナルビルディング㈱/スミタス㈱
	■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） EDP graphic works㈱/㈱インプロバイド/㈱ウツワニウム/㈲クォーターパッククリエイティブ/㈲三景スタジオ/㈱ソフトスケープ/㈱ニトリパブリック/㈱ベガコーポレーション/起業（楽曲提供）
	■宿泊サービス業 UNTAPPED HOSTEL
	■生活・娯楽業 四季㈱
	■教育・学習支援業 ㈱ブレストインキュベーション
	■サービス業 ㈱アルトナー/㈱エイジェック/(一社) 北海道中小企業家同友会
	■公務 札幌市役所（消防士）/北海道警察
進学先	札幌市立大学大学院/静岡文化芸術大学大学院/首都大学東京大学院/信州大学大学院//北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院/Tallinn University of Technology

（9期生）
札幌市立大学デザイン学部 平成29年度卒業者 就職状況（平成30年7月1日現在）

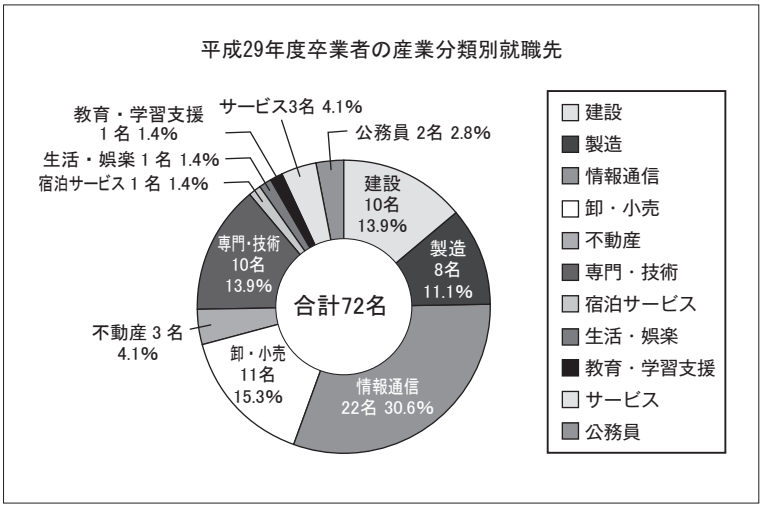
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	70	75.3
進学	14	15.0
公務員	2	2.2
その他	7	7.5
合計	93	―



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	33	45.9
道外	32	44.4
道内（札幌以外）	7	9.7
合計	72	―



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	10	13.9
製造	8	11.1
情報通信	22	30.6
卸・小売	11	15.3
不動産	3	4.1
専門・技術	10	13.9
宿泊サービス	1	1.4
生活・娯楽	1	1.4
教育・学習支援	1	1.4
サービス	3	4.1
公務員	2	2.8
その他	0	0.0
合計	72	―



4)　コース別概要

（9期生）平成29年度卒業者（平成30年7月1日現在）

1.コース別進路状況

（単位：名）

コース	卒業生数①	1. 就職希望者		就職者（起業含）		2. 進学希望者		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	⑥※2
空　間	29	16	1	15	1	11	10	2
製　品	9	9	1	9	1	0	0	0
コンテンツ	25	22	0	21	0	2	2	1
メディア	30	28	0	27	0	2	2	0
合　計	93	75	2	72	2	15	14	3
割　合		80.6%	2.7%	96.0%	2.8%	16.1%	93%	3.2%
		②÷①		③÷② ※1		④÷①	⑤÷④ ※3	⑥÷①

（備考）
※1：就職希望者に対する就職者の割合
※2：就職希望・進学希望以外の者（アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの）
※3：進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳（市内30社33名、道内6社7名、道外30社32名）

コース		道内企業（札幌市内含む）	道外企業
空間	市内	㈱工芸カラサワ〔製造：製造職〕 札幌市〔公務：消防士〕 ㈱札幌ドーム〔不動産：施設保全職〕 スミタス㈱〔不動産：営業職〕 ミサワホーム北海道㈱〔建設：営業職〕 ㈱リペアハウス〔建設：設計職〕	㈲ZO設計室 〔建設：設計職〕 ㈱一条工務店 〔建設：設計職〕 ㈱オープンハウス〔建設：技術職〕 カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱ 〔卸・小売：企画職〕 静岡セキスイハイムエクステリア㈱ 〔建設：設計職〕 シンコール㈱〔卸・小売：営業職〕
	道内	須藤建設㈱〔建設：設計職〕 大鎮キムラ建設㈱〔建設：設計職〕	
製品	市内	㈱OZ〔情報通信：Webデザイナー〕 ㈱コスモ設計〔製造：設計職〕 佐藤水産㈱〔卸・小売：総合職〕 北海道警察〔公務：警察官〕	ARIGATO COMPANY㈱〔建設：総合職〕 ㈱アルトナー〔サービス：エンジニア〕 クリナップ㈱〔製造：企画職〕
	道内	㈱カンディハウス〔製造：製造スタッフ〕 ㈱ヨシモト〔卸・小売：総合職〕	

コース		道内企業（札幌市内含む）	道外企業
コンテンツ	市内	㈱FUJI〔卸・小売：企画職〕 ㈲ウィズ〔卸・小売：販売職〕 クリプトン・フューチャー・メディア㈱〔情報通信：デザイナー〕 ㈱ジャパンテクニカルソフトウェア〔情報通信：SE〕 ㈱セコマ〔卸・小売：デザイナー〕 ㈱ホープス〔情報通信：SE〕 ㈱ロイズコンフェクト〔製造：総合職〕 起業（アプリ開発）〔情報通信：エンジニア〕	Klab㈱〔情報通信：デザイナー〕 ㈱NTTデータMSE〔情報通信：SE〕 ㈱アイ・エム・ジェイ〔情報通信：ディレクター〕 ㈱エイジェック〔サービス：オフィスワーク職〕 ㈲カイカイキキ（スタジオポンコタン）〔情報通信：デザイナー〕 ㈱ティー・ワイ・オー〔情報通信：制作アシスタント〕 ㈱ビックカメラ〔卸・小売：総合職〕 ㈱メンバーズ〔情報通信：デザイナー〕 起業（楽曲提供）〔専門・技術：作曲家〕
	道内		
メディア	市内	㈲3KG〔情報通信：デザイナー〕 ㈱NDPマーケティング〔情報通信：コンサルティングアシスタント〕 UNTAPPED HOSTEL〔飲食・宿泊：スタッフ〕 ㈱インプロバイド〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱ウツワニウム〔専門・技術：デザイナー職〕 ㈲クォーターパッククリエイティブ〔専門・技術：コピーライター〕 ㈱ザボ〔製造：デザイナー〕 ㈱ソフトスケープ〔専門・技術：企画・調査職〕 ㈱トップ・クリエーション〔情報通信：制作職〕 ㈱ニトリパブリック〔専門・技術：総合職〕 ㈱ベガコーポレーション〔専門・技術：Webデザイナー〕 ㈳北海道中小企業家同友会〔サービス：総合職〕	EDP graphic works㈱〔専門・技術：モーショングラフィックデザイナー〕 川嶋印刷㈱〔製造：総合職〕 ㈱カヤック〔情報通信：デザイナー〕 サンスター文具㈱〔製造：企画職〕 四季㈱〔生活・娯楽：総合職〕 ㈱セラク〔情報通信：技術職〕 ダイヤモンドヘッド㈱〔情報通信：デザイナー〕 ㈱手紙社〔卸・小売：販売職〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：アドクリエイティブ職〕 ㈱ブレストインキュベーション〔教育・学習支援：総合職〕 ㈱メンバーズ〔情報通信：デザイナー〕 ヤフー㈱〔情報通信：デザイナー〕
	道内	㈲三景スタジオ〔専門・技術：フォトグラファー〕 新千歳空港ターミナルビルディング㈱〔不動産：総合職〕	
小　計		36社　40名	30社　32名
合　計		66社　72名	

3. 進学状況（大学院12名）

コース		進学先
空　間	大学院	札幌市立大学大学院 7名、静岡文化芸術大学大学院 1名、首都大学東京大学院 1名、信州大学大学院 1名
	研究生	
	その他	
製　品	大学院	
	研究生	
	その他	
コンテンツ	大学院	札幌市立大学大学院 2名
	研究生	
	その他	
メディア	大学院	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 1名、Tallinn University of Technology 1名
	研究生	
	その他	
合計		大学院　13名　　研究生　0名　　その他　1名

2　看護学部（助産学専攻科含む）

1）概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を追加実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに適う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2）支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査	キャリアハンドブック配布（編入生）
5月		
6月	模試①（看護師） 模擬面接①	
7月	模擬面接②③④⑤	
8月	再学修セミナー（5回）	
9月	後期ガイダンス	
	模試②（保健師）	進路活動ガイダンス
10月	模試③（看護師） 模試④（助産師） シャトル研修（札幌）	国家試験対策自主ゼミ結成
11月	模試⑤（保健師） 国家試験説明会	
12月		
1月	模試⑥（看護師） 模試⑦（助産師） 模試⑧（保健師）	進路希望調査
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング	特別講義（就職活動準備） 学内キャリア説明会 低学年用国家試験模試
3月	特別講義（労務支援） 卒業・修了前ガイダンス	

3）　就職・進学結果

①　進路状況

（単位：名）

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数（b）	内定率（%） (b/a)
看護学部	89	79	8	78	98.7
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0

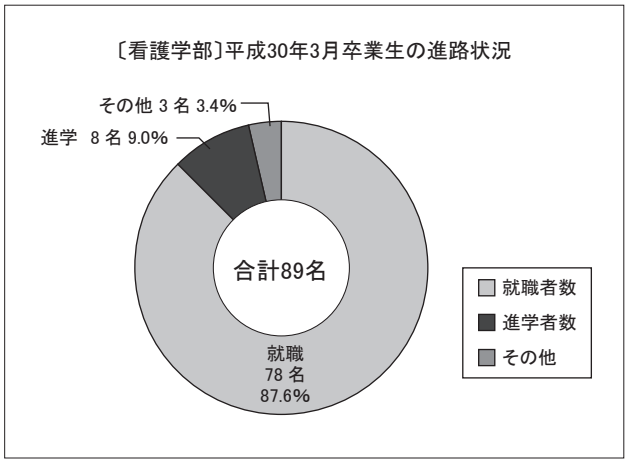
②　就職者の職種

（単位：名）

看護師	70
保健師	7
助産師	9
その他	1
合計	87

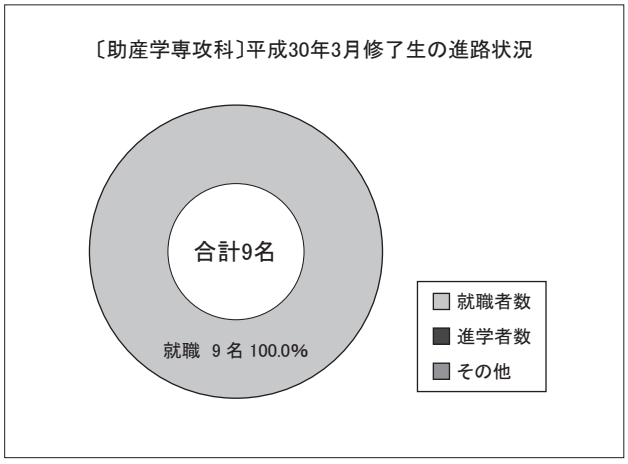
平成30年3月卒業生・修了生
看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	78	87.6
進学	8	9.0
その他	3	3.4
合計	89	－



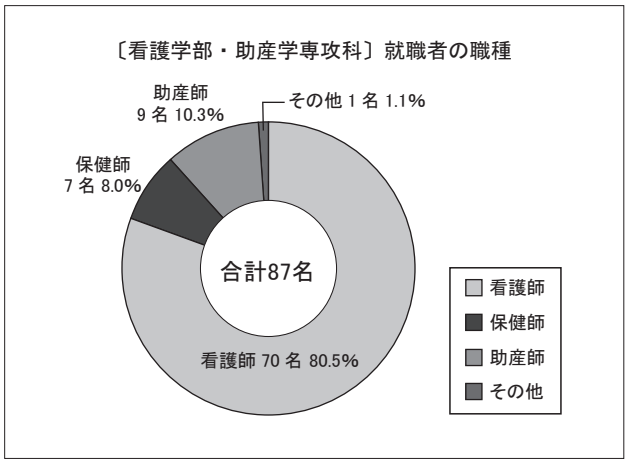
助産学専攻科

地域別就職先	人数(名)	割合(%)
就職	9	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	9	－



看護学部・助産学専攻科

職種	人数(名)	割合(%)
看護師	70	80.5
保健師	7	8.0
助産師	9	10.3
その他	1	1.1
合計	87	－



4)　国家試験の結果

（単位：名）

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率（%）
看護師	80	80	80	100.0
保健師	32	32	30	93.7
助産師	9	9	9	100.0

3　デザイン研究科

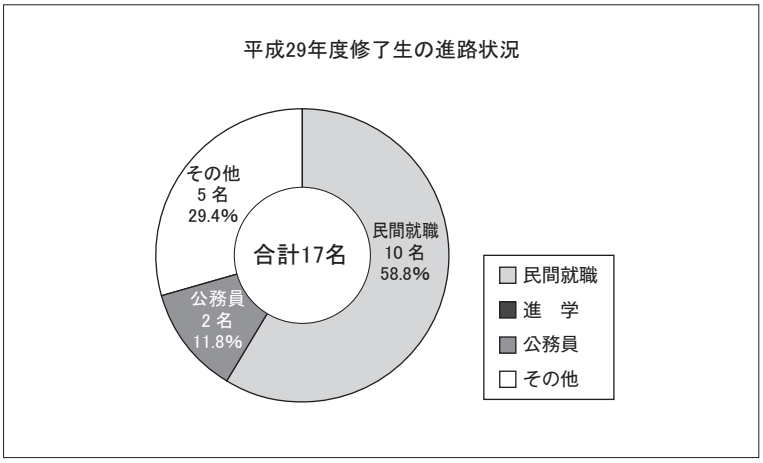
1）　就職・進学結果

（7期生）博士前期課程　平成29年度修了生

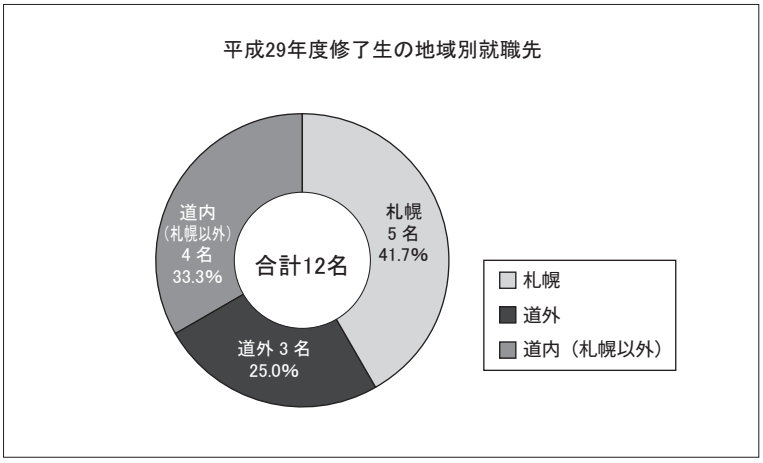
就職先	■建設業 ㈱スペース/㈱平成建設
	■製造業 ㈱イチムラ/㈱カンディハウス
	■情報通信業 ㈱イメージナビ/㈱ファイバーゲート
	■学術研究・専門・技術 ㈱インプロバイド/㈱トータルデザインサービス/㈱北海道立総合研究機構
	■医療・福祉 ㈱クピド・フェア
	■公務 石狩市（技術職：建築）、当別町（技術職：建築）

（7期生）博士前期課程　平成29年度修了生

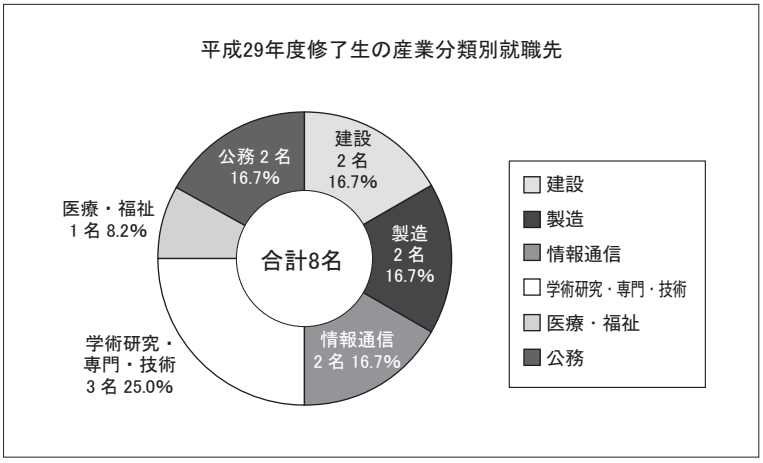
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	10	58.8
進学	0	0.0
公務員	2	11.8
その他	5	29.4
合計	17	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	5	41.7
道外	3	25.0
道内（札幌以外）	4	33.3
合計	12	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	2	16.7
製造	2	16.7
情報通信	2	16.7
学術研究・専門・技術	3	25.0
医療・福祉	1	8.2
公務	2	16.7
合計	12	—



2）　進路決定状況概要

1.進路状況

（7期生）博士前期課程　平成29年度修了生　（単位：名）

	修了生数①	1．就職希望		就職者（起業含）※1		2．進学希望		3．その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人　数	17	12	2	12	2	1	0	4
割　合	100.0%	70.6%	16.7%	100.0%	16.7%	5.9%	0.0%	23.5%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

（4期生）博士後期課程　平成29年度修了生　（単位：名）

	修了生数①	1．就職希望		就職者（起業含）※1		2．進学希望		3．その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人　数	1	0	0	0	0	0	0	1
割　合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

（備考）
※1：就職希望者に対する就職者の割合
※2：就職希望・進学希望以外の者（アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの。また、社会人学生も含む。）
※3：進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳（市内5社5名、道内4社4名、道外3社3名）

専攻		道内企業（札幌市内含む）	道外企業
デザイン専攻	市内	㈱イチムラ〔製造：制作職〕 ㈱イメージナビ〔情報通信：Webデザイナー〕 ㈱インプロバイド〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱トータルデザインサービス〔専門・技術：設計職〕 ㈱北海道立総合研究機構〔学術研究：研究職〕	㈱スペース〔建設：設計職〕 ㈱ファイバーゲート〔情報通信：総合職〕 ㈱平成建設〔建設：技術職〕
	道内	石狩市〔公務：建築職〕 ㈱カンディハウス〔製造：営業職〕 ㈶クピド・フェア〔医療・福祉：設計職〕 当別町〔公務：建築職〕	
小　計		9社　9名	3社　3名
合　計		12社　12名	

3. 進学状況

課　程		進学先（名）	小計(名)
博士前期課程	大学院		
	研究生		
	その他		
合計		大学院博士後期課程　0名　研究生　0名　その他　0名	0

Ⅵ　平成30年度入学者選抜結果

1　デザイン学部・看護学部

1)　入学者選抜要項

①　アドミッション・ポリシー

＜教育研究の理念＞

本学は、デザイン学と看護学を教育研究の対象とします。デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる幅広い教養と豊かな人間性を有する職業人を育成します。市民の負託にこたえ、「市民に開かれた大学」「市民の力になる大学」「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果していくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追求します。

＜教育研究の特長＞

デザイン学と看護学それぞれの専門性を極める教育を行うとともに、幅広くデザインと看護の連携を目指します。また、市民、産業界、公的機関などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開します。

＜デザイン学部の求める学生像＞

1　人間尊重・人間重視の姿勢を持ち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢を持った人
2　豊かな感性と見識を持って、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
3　デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志を持った人

このため、入学者には、日ごろから、人間及びその生活を豊かにするデザインに興味・関心を持ち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学習の中で幅広い基礎学力・思考力・発想力を身につけるとともに、多くの人々と協働するためのコミュニケーション能力を備え、新しい分野に挑戦し、学ぶ意欲があることが求められます。

また、高等学校における次のような学習が必要になります。「国語」・「英語」で基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。「数学」・「理科」で理論的な思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。「社会」で人間と社会の諸問題に関心を持つこと。「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等で、美や文化を理解する感性を育むこと。

入学試験では、高等学校の主要科目をバランスよく学修しているか、読解力、表現力、感性、実社会への興味関心などを有しているかを基準に選抜します。

＜看護学部の求める学生像＞

1　人々の健康・心・暮らしに関心を持ち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢を持った人
2　豊かな感性と探究心を持って、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
3　他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志を備えた人

そのためには、高等学校における国語、英語、数学、理科などの基礎的な学力、及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

②　平成30年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員　（単位：名）

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜		特別選抜		
		前期日程	後期日程	推薦入学	社会人	私費外国人留学生
デザイン学部 デザイン学科	85	59	14	12	若干名	若干名
看護学部 看護学科	80	48	－	32	若干名	－

選抜日程

選抜区分		出願期間	試験日	合格発表等
特別選抜	推薦入学 社会人	平成29年11月1日 ～11月6日	平成29年11月25日	平成29年12月11日 【入学手続期間】 平成29年12月11日 ～12月18日
	私費外国人留学生（※）	平成30年1月22日 ～1月31日	平成30年2月25日	平成30年3月8日 【入学手続期間】 平成30年3月8日 ～3月15日
一般選抜	前期日程	平成30年1月22日 ～1月31日	平成30年2月25日	平成30年3月8日 【入学手続期間】 平成30年3月8日 ～3月15日
	後期日程（※）	平成30年1月22日 ～1月31日	平成30年3月12日	平成30年3月20日 【入学手続期間】 平成30年3月20日 ～3月26日

（※）は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス

選抜方法

選抜区分		学部・学科名	選抜方法
特別選抜	推薦入学	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	小論文（看護を学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力を見る。）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	社会人	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	総合問題（国語、英語、自然科学、論述）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	私費外国人留学生	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接、日本留学試験及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
一般選抜		デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	

一般選抜試験の大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等
		教科	科目名等	科目名等
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国　語	「国」（古文・漢文を含む。）	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」のいずれかを選択
		地　歴 公　民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数　学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理　科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	
	後期日程	国　語	「国」（古文・漢文を含む。）	
		数　学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	
看護学部 看護学科	前期日程	国　語	「国」（古文・漢文を含む。）	面　接
		数　学	「数Ⅰ・数A」	
		理　科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	

注1）【デザイン学部（前期日程）】
- 地歴・公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。
- 「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（100点満点）（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

注2）【看護学部（前期日程）】
- 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）2科目を選択せずに、「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）2科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」2科目のかわりに「基礎を付していない科目」2科目の合計得点（200点満点）を利用します。

注3）【全試験区分共通】
- 外国語について、「英語」の筆記及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入試センター試験の受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③平成29年度3年次編入学者選抜概要

募集人員　（単位：名）

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	10
看護学部看護学科	10

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	平成29年6月23日 ～6月30日	平成29年7月22日	芸術の森キャンパス	平成29年8月3日
看護学部 看護学科	平成29年8月2日 ～8月8日	平成29年9月2日	桑園キャンパス	平成29年9月19日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、本学が実施する小論文（課題解決型の論述問題）、英語、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学部 看護学科	入学者の選抜は、本学が実施する論述試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2)　選抜状況

①　入学者選抜状況

a.　選抜・入学状況

デザイン学部　（単位：名）

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	59	134	132	63	61
	後期日程	14	138	63	15	13
特別選抜	推薦入学	12	33	33	12	12
	社 会 人	若干名	1	1	1	1
	私費外国人留学生	若干名	4	3	1	0

看護学部　（単位：名）

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	48	98	96	48	46
特別選抜	推薦入学	32	79	79	33	33
	社 会 人	若干名	17	15	3	3

b.　入学者の内訳　（単位：名）

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	87	41	35	11	17	70
看護学部	82	35	39	8	4	78
合計	169	76	74	19	21	148

②　編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況　（単位：名）

学部		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	人間空間デザイン	10	12	11	6	6
	人間情報デザイン		2	2	2	2
	計	10	14	13	8	8
看護学部		10	14	13	6	5

b.　入学者の内訳　（単位：名）

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	8	3	2	3	4	4
看護学部	5	3	2	0	0	5
合計	13	6	4	3	4	9

2　デザイン研究科・看護学研究科

1)　博士前期課程

i　入学者選抜要項

①　アドミッション・ポリシー

【デザイン研究科】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

1　デザインに関する基礎的知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人

2　各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人

3　デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

1　看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人

2　柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人

3　高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

②　平成30年度入学者選抜概要

募集人員　（単位：名）

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜（社会人）	特別選抜（私費外国人留学生）
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻		18（一般選抜、特別選抜を含む）		

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は推薦選抜及び一般選抜の合計18名に含む。

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	平成29年6月23日 ～6月30日	平成29年7月22日	平成29年8月3日 【入学手続期間】 平成29年8月3日～8月9日
	一般選抜	平成29年8月25日 ～9月1日	平成29年9月23日	平成29年10月10日 【入学手続期間】 平成29年10月10日～10月17日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成30年2月2日 ～2月9日	平成30年3月3日	平成30年3月13日 【入学手続期間】 平成30年3月13日～3月20日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成29年8月15日 ～8月21日	平成29年9月23日	平成29年10月10日 【入学手続期間】 平成29年10月10日～10月17日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	平成30年1月5日 ～1月11日	平成30年2月3日	平成30年2月20日 【入学手続期間】 平成30年2月20日～2月27日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	本学大学院が実施する面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEICのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語、専門科目）、面接（口頭試問含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	

ii　選抜状況

①　入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科【第1次・第2次募集合計】　（単位：名）

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	7	7	7	7
一般選抜	9	5	5	5	3
特別選抜（社会人）	若干名	0	0	0	0
特別選抜（私費外国人留学生）	若干名	11	10	5	5

看護学研究科【第1次・第2次募集合計】　（単位：名）

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	18	15	14	10	10
特別選抜（社会人）					

b. 入学者の内訳　（単位：名）

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	15	9	3	3	8	7
看護学研究科	10	6	3	1	4	6
合計	25	15	6	4	12	13

2）博士後期課程

i　入学者選抜要項

①　アドミッション・ポリシー

【デザイン研究科博士後期課程】

＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中枢機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見い出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

1　柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人

2　豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に

貢献しようとする意識を有する人
3　既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科博士後期課程】
本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。
＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞
1　柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
2　保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
3　卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

② 平成30年度入学者選抜概要

募集人員　（単位：名）

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程　（単位：名）

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	平成30年2月2日 ～2月9日	平成30年3月3日	平成30年3月13日 【入学手続期間】 平成30年3月13日～3月20日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	平成30年1月5日 ～1月11日	平成30年2月3日	平成30年2月20日 【入学手続期間】 平成30年2月20日～2月27日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	本学大学院が実施する面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語）、面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii　選抜状況

①　入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科　（単位：名）

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	0	0	0	0

看護学研究科　（単位：名）

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	3	3	3	3

b．入学者の内訳　（単位：名）

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	0	0	0	0	0	0
看護学研究科	3	2	1	0	1	2
合計	3	2	1	0	1	2

3　助産学専攻科

1)　入学者選抜要項

①　アドミッション・ポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

＜助産学専攻科が求める学生像＞

1　「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
2　看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
3　広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

② 平成30年度入学者選抜概要

募集人員　（単位：名）

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
平成29年8月2日 ～8月8日	平成29年9月2日	平成29年9月19日 【入学手続期間】 平成29年9月19日～9月26日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	入学者の選抜は、本学専攻科が実施する筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2） 選抜状況

a. 選抜・入学状況　（単位：名）

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	53	51	17	10

b. 入学者の内訳　（単位：名）

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	5	1	4	－	10

Ⅶ　附属図書館

1　概要

1)　施設規模
芸術の森キャンパス図書館　　延べ床面積／1,500㎡
桑園キャンパス図書館　延べ床面積／500㎡

2)　図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数　（平成30年3月31日現在）

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子ジャーナル
芸術の森キャンパス図書館	71,679	9,621	3,628	84,928	389	57	266
桑　園キャンパス図書館	39,689	1,865	1,343	42,897	418	9	1,670
合計	111,368	11,486	4,971	127,825	807	66	1,936

3)　平成29年度年間受入状況

区分			和	洋	計
芸術の森キャンパス図書館	図書（冊）	購入	1,603	175	1,778
		寄贈	139	7	146
		計	1,742	182	1,924
	雑誌（種）	購入	31	3	34
		寄贈	51	0	51
		計	82	3	85
桑園キャンパス図書館	図書（冊）	購入	1,283	127	1,410
		寄贈	112	10	122
		計	1,395	137	1,532
	雑誌（種）	購入	73	4	77
		寄贈	90	1	91
		計	163	5	168

2　利用状況

1）　開館時間・休館日

開館時間	平　日：午前9時～午後10時 土曜日：午前10時～午後4時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時（平日）
休 館 日	日曜・祝日・年末年始

2）　利用資格

18歳以上の方

3）　貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 （科目等履修生を含む）	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

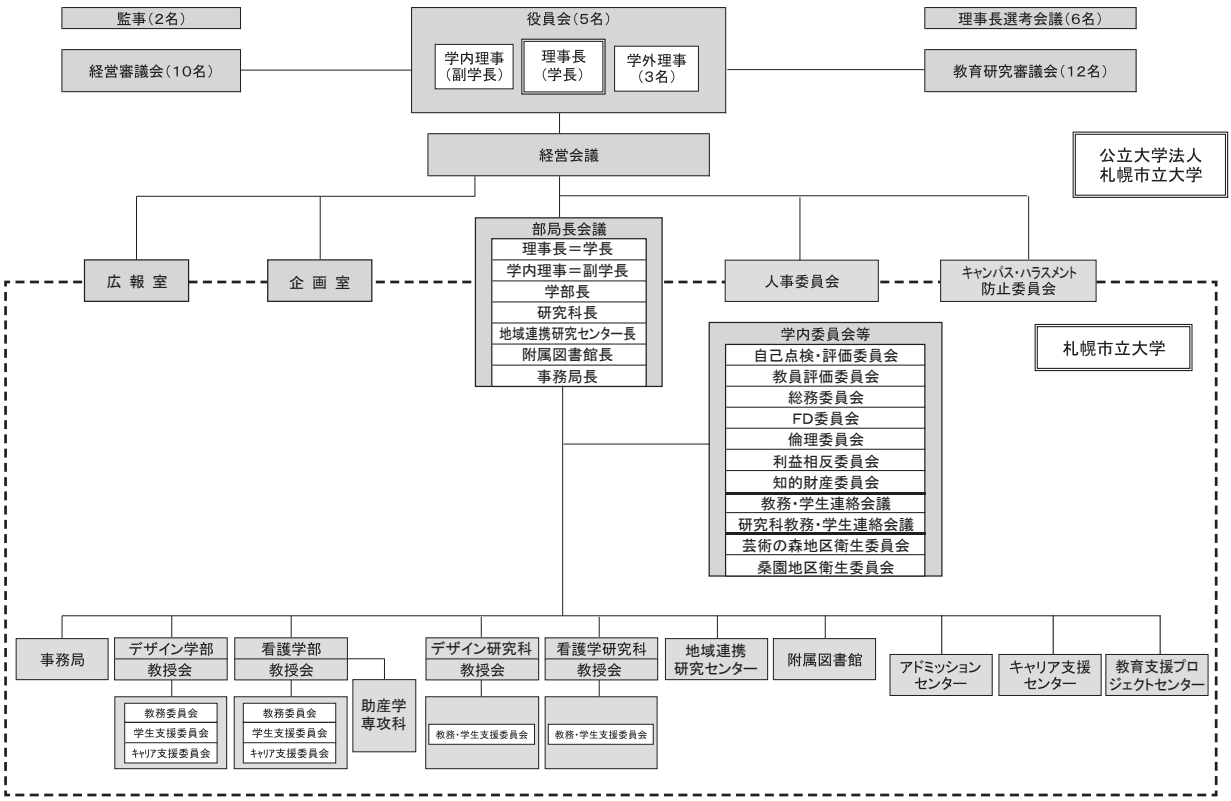
4）　年間利用者数・貸出冊数等

図書館の名称	利用者	開館日数	入館者数	貸出人数	貸出冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森キャンパス・ライブラリー	学生・教職員	271	11,999	3,299	7,477	15	49
	市民等学外者	271	2,048	432	902	-	-
桑園キャンパス・ライブラリー	学生・教職員	272	21,993	5,938	13,578	306	1,057
	市民等学外者	272	1,827	442	955	-	-
合計		―	37,857	10,111	22,912	321	1,106

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）

Ⅷ　法人・学内運営の概要

1　平成29（2017）年度公立大学法人札幌市立大学　組織図



2　役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	⑴　平成28年度事業報告及び決算について ⑵　平成28事業年度業務の実績に関する報告について ⑶　公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	⑴　平成28年度事業報告及び決算について ⑵　平成28事業年度業務の実績に関する報告について ⑶　公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	⑴　平成28年度事業報告及び決算について ⑵　平成28事業年度業務の実績に関する報告について
第2回	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について
第3回	⑴　平成30年度予算編成方針について ⑵　教員の再任について	⑴　平成30年度予算編成方針について ⑵　教員の再任について	⑴　平成30年度予算編成方針について
第4回	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について ⑵　「大学評価結果（委員会案）」に対する意見申立について	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について ⑵　「大学評価結果（委員会案）」に対する意見申立について	⑴　公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第5回	⑴　平成30年度計画及び予算について ⑵　3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について ⑶　学則等の改正について ⑷　看護学研究科入学者選抜方法の変更について	⑴　平成30年度計画及び予算について ⑵　3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について ⑶　学則等の改正について ⑷　看護学研究科入学者選抜方法の変更について	⑴　平成30年度計画及び予算について ⑵　3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について

3　役員及び審議会委員名簿（平成29年4月1日現在）

1）　役員

役職	氏名	現職
理　事　長	蓮見　孝	札幌市立大学　学長
理事（常　勤）	樋之津　淳子	札幌市立大学　副学長　兼　看護学部長
理事（非常勤）	恩村　裕之	北電興業株式会社　代表取締役社長
理事（非常勤）	山岸　正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
理事（非常勤）	橋本　道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団　副理事長
監事（非常勤）	橋場　弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口　雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2）　経営審議会委員

役職	氏名	現職
理 事 長	蓮見　孝	
理　事	樋之津　淳子	
理　事	恩村　裕之	北電興業株式会社　代表取締役社長
理　事	橋本　道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団　副理事長
事務局長	川上　佳津仁	
学外委員	菊嶋　明廣	札幌商工会議所　専務理事
学外委員	酒井　裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団　専務理事
学外委員	秋野　豊明	渓仁会グループ　会長
学外委員	花井　秀勝	フュージョン株式会社　代表取締役会長
学外委員	町野　和夫	北海道大学大学院経済学研究科　教授

3)　教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学　　長	蓮見　　孝	
理　　事	樋之津　淳子	
理　　事	山岸　　正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
デザイン学部長	細谷　　多聞	
デザイン研究科長	城間　　祥之	
看護学研究科長	松浦　　和代	
附属研究所長	上遠野　　敏	
附属図書館長	宮﨑　みち子	
事務局長	川上　佳津仁	
学外委員	池田　　官司	札幌市教育委員会委員
学外委員	上田　　順子	公益社団法人北海道看護協会　会長
学外委員	石垣　　靖子	北海道医療大学　名誉教授

任期：平成31年3月31日まで

4　経営会議

平成29年度は14回の会議を開催した。
会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5　部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	なし
第2回	4月18日	⑴　第三期中期計画　計画予算見積調書に係る第一次提出の修正及び第二次提出について ⑵　第三期中期計画の各項目（案）について
第3回	5月11日	⑴　高度実践看護師教育課程　専門看護師（CNS）コース38単位申請について
第4回	5月31日	⑴　平成29年度前期授業料減額免除について ⑵　平成28年度年度計画の実績報告に係る点検状況について ⑶　平成28年度決算について
第5回	7月4日	⑴　第三期中期計画（各項目案）について
第6回	7月5日	⑴　第三期中期計画（各項目案）について
第7回	7月18日	⑴　平成28事業年度実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第8回	8月9日	⑴　札幌市法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第9回	9月4日	⑴　第三期中期目標（案）に対する意見の有無について ⑵　第三期中期計画（案）について
第10回	9月6日	⑴　第三期中期計画（案）について
第11回	10月3日	⑴　第三期中期計画（案）について

回数	開催日	議題
第12回	10月4日	⑴　第三期中期計画（案）について
第13回	10月30日	⑴　第三期中期計画（案）について
第14回	11月1日	なし
第15回	12月6日	⑴　学部・研究科　成績評価に係る標語の変更について ⑵　第三期中期計画（案）について
第16回	12月22日	⑴　大学評価結果（委員会案）に対する意見申立について
第17回	1月11日	⑴　平成30年度入学式及び卒業式・修了式の日程について
第18回	2月7日	⑴　授業料減額免除に係る規則改正について ⑵　承徳医学院との学術交流協定の更新について ⑶　情報セキュリティポリシー対策基準及び実施手順について
第19回	2月26日	⑴　平成30年度年度計画（案）について
第20回	3月7日	⑴　学則・規則等の改正について ⑵　大学評価及び自己点検・評価を踏まえた今後の対応について ⑶　情報セキュリティポリシー対策基準及び実施手順について ⑷　平成30年度主要会議予定表について ⑸　平成30年度学内委員会等について
第21回	3月16日	⑴　学則・規則等の改正について ⑵　平成30年度学内委員会等の編成について ⑶　平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について ⑷　平成33年度以降の市立大入学者選抜試験の変更について

6　企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織であり、平成29年度は「全学ポリシー策定部門」及び「教育改革部門」を設置した。平成29年度の会議の開催数は、企画室が1回、両部門会議が10回（同時開催）であった。

主な活動として、障害者差別解消法に伴う教職員の対応要領の策定に向けた検討、同窓の絆支援の方針策定に向けた検討、各学部3ポリシーの見直しを行った。

7　広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管しており、平成29年度は広報室の運営効率化を図るため、広報室内に制作実務を担当する「広報制作チーム」を設置した。平成29年度の会議の開催数は、広報室が2回、広報制作チームが10回であった。

主な活動として、2018年度版大学パンフレットの発行及び2019年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や道新プラザDO-BOXにおける教員の研究成果展示会等のメディア展開を行った。

8　教授会

1)　デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成29年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2）　看護学部教授会

看護学部教授会は、平成29年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3）　デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成29年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を11回開催した。

4）　看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成29年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9　地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、紀要編集委員会の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、国際交流活動、研究活動推進に関する活動を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

＜公開講座＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした29コース49コマ（うちCOC関連17コース34コマ）の講座を、延べ1,177名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として5コマ134名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。様々な研究や技術支援の成果の一部を、見て触って体験できる展示等で紹介し、1,687名の方の目に触れることができた。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部4コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

＜地域・産学連携＞

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

＜国際交流＞

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

「学生の国際化」

本学主催の日台デザイン合同ワークショップを壮瞥町で開催し、華梵大学、台中科技大学、雲林科技大学の学生との交流を図った。また、承徳医学院での短期派遣プログラムやラップランド大学での国際交流学生デザインワークショップへの学生派遣、KPJ Healthcare University College （KPJ）の学生受入れを実施した。KPJの学生受入れにおいては、本学学生による主体的な交流企画により、積極的な交流を図った。さらに、華梵大学からの特別聴講学生の受入れ、ラップランド大学からの特別聴講学生の受入れを行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

ラップランド大学とのトナカイワークショップを実施したほか、清華大学主催のデザインコンペに学生が応募し、同大学でのワークショップに招待されるなどの交流を行った。また、華梵大学、承徳医学院大学と学生の相互派遣を例年通り実施した。

「海外とのネットワーク化」

将来的な提携可能性の検討、交流促進等を目的として、Pacific Northwest Collage of Art（PNCA）、台中科技大学へ教員を派遣した他、康寧大学主催の国際シンポジウムへ教員が参加した。

＜紀要編集＞

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第11巻」を平成29年7月に発行した。また、第12巻を平成30年7月に発行することとし、投稿論文の査読を行った。

＜研究推進＞

地域や産業界等から依頼された受託研究9件、共同研究2件、寄附金4件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を改善した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10　附属図書館

平成29年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館利用の活性化、図書館予算、データベース・電子ジャーナルの契約方針、購読雑誌の契約検討、長期休業期間の長期貸出、寄贈受入れ、督促フローの修正、等であった。

芸術の森キャンパス・ライブラリ部会では、芸術の森キャンパス・ライブラリーの利用活性化のため、新着図書案内（立体的な展示、メールマガジンの配信）や芸術の森図書館情報誌「ほんわか」の発行、ほんわか掲載お薦め本展示コーナーの設置、春期・夏期休業期間の長期貸出、デジタルサイネージの設置、飲食コーナーの試行を行った。

この他、北海道地区大学図書館協議会相互利用促進事業運営委員会の委員館をつとめた。

芸術の森図書館では、アートブックフェアへ参加（11月6日～12月2日）、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（1月15日～2月23日）した。

11　アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成29年度は計11回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

さらに、アドミッションポリシーの変更について検討したほか、高大接続改革に係る平成33年度入試変更についての検討も開始した。

12　キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援の改善･充実を目的として、平成20年4月に設置され、両学部のキャリア支援委員会において、各学部の特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

13　教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に係わるプロジェクト等を所管しており、「COC＋部門」「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14　学内委員会

1)　自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、平成29年度は12回開催した。

平成29年度の主な活動として、認証評価に係る実地調査への対応準備や平成28年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成29年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

2)　教員評価委員会

平成29年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、平成29年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

3)　総務委員会

平成29年度は9回の委員会を開催した。

委員会では、キャンパス活用等に関するプラン案を策定し、バリアフリー化を推進した。また、情報セキュリティポリシー対策基準の見直しを行った。

なお、昨年に引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4)　FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を9回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて内容を検討し、実施した。

5)　倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

平成29年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。

平成24年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っている。

年間の審査申請総数は49件であり、1回当たり平均4.1件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、平成23年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

平成26年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、平成27年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、他大学の大学教授1名を追加で委嘱した（平成29年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6）利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、平成28年度に設置された。

平成29年度は委員会を2回開催し、利益相反自己申告書2件について審議を行った。この他、川嶋史絵氏（東北大学利益相反マネジメント事務室長）を招き、FDとして「利益相反マネジメント研修会」を開催した。

7）知的財産委員会

知的財産委員会は、平成29年度に5回開催し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。また、「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」へ「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」として参加した。当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、外部企業との特許共同出願1件、専用実施権契約の締結及びこれに伴う特許の審査請求1件、既に専用実施権契約を締結している案件の製品化に向けた検討1件等の活動を行った。

8）教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成29年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、授業評価アンケートの見直し、成績評価状況の確認等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

9）研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成29年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習の効果検証、院生研究支援費、シラバスや履修の手引き等に関する事項について審議した。

15　構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎蓮見　孝	理事長
		樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
		川上　佳津仁	事務局長
	部局長会議	◎蓮見　孝	理事長
		樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		城間　祥之	デザイン研究科長
		松浦　和代	看護学研究科長
		上遠野　敏	地域連携研究センター長
		宮﨑　みち子	附属図書館長
		川上　佳津仁	事務局長
	企画室	◎蓮見　孝	理事長
		樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		城間　祥之	デザイン研究科長
		松浦　和代	看護学研究科長
		宮﨑　みち子	附属図書館長
		川上　佳津仁	事務局長
	広報室	◎蓮見　孝	理事長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		上遠野　敏	地域連携研究センター長
		川村　三希子	看護学部教授
		安齋　利典	デザイン学部教授
		菅原　美樹	看護学部准教授
		本田　光	看護学部准教授
		石田　勝也	デザイン学部講師
		福田　大年	デザイン学部講師
		森川　由紀	看護学部講師
		川上　佳津仁	事務局長
		阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
	人事委員会	◎蓮見　孝	学長
		樋之津　淳子	副学長 兼 看護学部長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		城間　祥之	デザイン研究科長
		松浦　和代	看護学研究科長
		川上　佳津仁	事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎蓮見　孝	学長
		樋之津　淳子	副学長 兼 看護学部長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		城間　祥之	デザイン研究科長
		松浦　和代	看護学研究科長
		川上　佳津仁	事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野　敏	地域連携研究センター長
		原　俊彦	デザイン学部教授

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	小田　和美	看護学部教授
		椎野　亜紀夫	デザイン学部准教授
		張　浦華	デザイン学部准教授
		古都　昌子	看護学部准教授
		大野　夏代	看護学部准教授
		渡邉　由加利	看護学部准教授
		小宮　加容子	デザイン学部講師
		福田　大年	デザイン学部講師
		大島　卓	デザイン学部講師
		小坂　美智代	看護学部講師
		三上　智子	看護学部講師
		柏倉　大作	看護学部助教
		阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
		上田　理子	事務局地域連携課長
	図書館	◎宮崎　みち子	附属図書館長 兼 助産学専攻科長
		町田　佳世子	デザイン学部教授
		武田　亘明	デザイン学部准教授
		松井　美穂	デザイン学部准教授
		藤木　淳	デザイン学部准教授
		神島　滋子	看護学部准教授
		伊東　健太郎	看護学部講師
		檜山　明子	看護学部講師
		上田　理子	事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎蓮見　孝	理事長
		樋之津　淳子	副学長 兼 看護学部長
		中原　宏	デザイン学部教授
		猪股　千代子	看護学部教授
		川上　佳津仁	事務局長
	アドミッションセンター	◎樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
		細谷　多聞	デザイン学部長
		宮崎　みち子	附属図書館長 兼 助産学専攻科長
		羽深　久夫	デザイン学部教授
		斉藤　雅也	デザイン学部教授
		上村　浩太	看護学部准教授
		大渕　一博	デザイン学部講師
		須之内　元洋	デザイン学部講師
		工藤　京子	看護学部講師
		矢野　祐美子	看護学部講師
		福原　啓祐	事務局学生課長
		布廣　成規	事務局桑園担当課長
	キャリア支援センター	樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
		◎細谷　多聞	デザイン学部長
		安齋　利典	デザイン学部教授
		小田　和美	看護学部教授
		阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
			細谷　多聞	デザイン学部長
			◎松浦　和代	看護学研究科長
			城間　祥之	デザイン研究科長
			宮﨑　みち子	附属図書館長　兼　助産学専攻科長
			斉藤　雅也	デザイン学部教授
			阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
		教員評価委員会	◎蓮見　孝	学長
			樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
			細谷　多聞	デザイン学部長
			城間　祥之	デザイン研究科長
			松浦　和代	看護学研究科長
			石井　雅博	デザイン学部教授
			定廣　和香子	看護学部教授
			川上　佳津仁	事務局長
		総務委員会	若林　尚樹	デザイン学部教授
			猪股　千代子	看護学部教授
			山田　良	デザイン学部准教授
			髙井　真希子	デザイン学部准教授
			菅原　美樹	看護学部准教授
			山本　真由美	看護学部講師
			金子　晋也	デザイン学部助教
			◎川上　佳津仁	事務局長
		FD委員会	◎上遠野　敏	地域連携研究センター長
			羽深　久夫	デザイン学部教授
			猪股　千代子	看護学部教授
			張　浦華	デザイン学部准教授
			渡邉　由加利	看護学部准教授
			片山　めぐみ	デザイン学部講師
			原井　美佳	看護学部講師
			櫻井　繭子	看護学部講師
			福原　啓祐	事務局学生課長
			布廣　成規	事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎宮﨑　みち子	附属図書館長　兼　助産学専攻科長
			原　俊彦	デザイン学部教授
			矢部　和夫	デザイン学部教授
			喜多　歳子	看護学部教授
			武田　亘明	デザイン学部准教授
			藤井　瑞恵	看護学部准教授
			田中　広美	看護学部講師
			上田　理子	事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎蓮　見　孝	理事長
			樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
			川上　佳津仁	事務局長
		知的財産委員会	◎上遠野　敏	地域連携研究センター長
			原　俊彦	デザイン学部教授

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	知的財産委員会	小田　和美	看護学部教授
			椎野　亜紀夫	デザイン学部准教授
			古都　昌子	看護学部准教授
			阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
			上田　理子	事務局地域連携課長
連絡調整会議	学部間	教務・学生連絡会議	樋之津　淳子	副学長　兼　看護学部長
			◎細谷　多聞	デザイン学部長
			中原　宏	デザイン学部教授
			原　俊彦	デザイン学部教授
			吉田　和夫	デザイン学部教授
			定廣　和香子	看護学部教授
			川村　三希子	看護学部教授
			福原　啓祐	事務局学生課長
			布廣　成規	事務局桑園担当課長
	研究科間	研究科教務・学生連絡会議	◎城間　祥之	デザイン研究科長
			松浦　和代	看護学研究科長
			石井　雅博	デザイン学部教授
			猪股　千代子	看護学部教授
			福原　啓祐	事務局学生課長
			布廣　成規	事務局桑園担当課長
衛生委員会		芸術の森地区衛生委員会	柿山　浩一郎	デザイン学部准教授
			金　秀敬	デザイン学部講師
			◎阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
		桑園地区衛生委員会	本田　光	看護学部准教授
			近藤　圭子	看護学部助教
			田仲　里江	看護学部助教
			◎阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎中原　宏	デザイン学部教授
			若林　尚樹	デザイン学部教授
			柿山　浩一郎	デザイン学部准教授
			松井　美穂	デザイン学部准教授
			山田　良	デザイン学部准教授
			石田　勝也	デザイン学部講師
			松永　康佑	デザイン学部講師
			矢久保　空遥	デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎吉田　和夫	デザイン学部教授
			武田　亘明	デザイン学部准教授
			三谷　篤史	デザイン学部准教授
			山田　信博	デザイン学部准教授
			藤木　淳	デザイン学部准教授
			髙井　真希子	デザイン学部准教授
			大島　卓	デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎安齋　利典	デザイン学部教授
			椎野　亜紀夫	デザイン学部准教授
			大渕　一博	デザイン学部講師

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	キャリア支援委員会	金　秀敬	デザイン学部講師
			小宮　加容子	デザイン学部講師
			須之内　元洋	デザイン学部講師
			金子　晋也	デザイン学部助教
	看護学部	教務委員会	◎定廣　和香子	看護学部教授
			喜多　歳子	看護学部教授
			上村　浩太	看護学部准教授
			大野　夏代	看護学部准教授
			神島　滋子	看護学部准教授
			伊東　健太郎	看護学部講師
			小坂　美智代	看護学部講師
			檜山　明子	看護学部講師
			矢野　祐美子	看護学部講師
			山内　まゆみ	看護学部講師
			石引　かずみ	看護学部助教
			柏倉　大作	看護学部助教
			中田　亜由美	看護学部助手
			渋谷　友紀	看護学部助手
		学生支援委員会	◎川村　三希子	看護学部教授
			古都　昌子	看護学部准教授
			本田　光	看護学部准教授
			村松　真澄	看護学部准教授
			守村　洋	看護学部准教授
			工藤　京子	看護学部講師
			三上　智子	看護学部講師
			山本　真由美	看護学部講師
			近藤　圭子	看護学部助教
			御厩　美登里	看護学部助教
		キャリア支援委員会	◎小田　和美	看護学部教授
			貝谷　敏子	看護学部准教授
			櫻井　繭子	看護学部講師
			田中　広美	看護学部講師
			原井　美佳	看護学部講師
			森川　由紀	看護学部講師
			田仲　里江	看護学部講師
			大友　舞	看護学部助手
			星　幸江	看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎石井　雅博	デザイン学部教授
			上遠野　敏	デザイン学部教授
			安齋　利典	デザイン学部教授
			町田　佳世子	デザイン学部教授
			斉藤　雅也	デザイン学部教授
			山田　信博	デザイン学部准教授
			三谷　篤史	デザイン学部准教授
			松永　康佑	デザイン学部講師

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科	研究科倫理審査会	◎矢部　和夫	デザイン学部教授
			原　俊彦	デザイン学部教授
			片山　めぐみ	デザイン学部講師
			金　秀敬	デザイン学部講師
			阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長
	看護研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股　千代子	看護学部教授
			菊地　ひろみ	看護学部教授
			村松　真澄	看護学部准教授
			守村　洋	看護学部准教授
			貝谷　敏子	看護学部准教授
		研究科倫理審査会	◎菊地　ひろみ	看護学部教授
			藤井　瑞恵	看護学部准教授
			山内　まゆみ	看護学部講師
			阿部　大	事務局次長　兼　桑園事務室長

◎印：所管部局長等

16　FD・SD活動

FD活動　年間活動概要　（単位：名）

全学FD・SD		研修会名	場所	参加者数
5月15日・23日	FD	新任教員を対象とした本学COC事業概要に係る研修	COCキャンパスまこまる2階B室	8
8月29日	FD/SD	2017年度札幌市立大学研究交流会	芸術の森キャンパス	79
2月8日	FD/SD	利益相反マネジメントについて	芸森:大講義室桑園:大会議室	34

（単位：名）

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
4月4日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて	芸森: 大学院棟1階	19
6月21日	FD/SD	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討	芸森:大会議室	32
9月15日	FD/SD	デザイン基盤科目の教育内容と成果	芸森:大会議室	32
9月20日	FD/SD	デザイン学部への入学実績の多い高等学校における進路指導の状況	芸森:大会議室	27
10月18日	FD/SD	小樽商科大学における地域連携PBLの事例報告	芸森:大会議室	35
3月22日	FD/SD	図書館へ行こう！?図書館の授業等での利活用の意義と勧め?	芸森:大会議室	21

（単位：名）

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
5月12日	FD	これからの看護学研究を担う若手研究者、大学院生へ向けて～学際的な調査研究を通して学んだこと	桑園:大学院棟1階大講義室	36
10月18日	FD/SD	役立つ！学生のメンタルヘルス～学外FD伝達研修	桑園:大会議室	40
12月21日	FD	模擬患者養成についての今後を考える	桑園:大会議室	33
1月17日	FD/SD	看護学教育モデル・コア・カリキュラムと看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標（案）の考え方	桑園:大会議室	36
2月27日	FD/SD	SCU看護キャリアデータベースの現状と今後の展望	桑園:講義室4	27
3月8日	FD/SD	模擬患者参画型演習の教育効果を共有しよう	桑園：講義室5	26
3月22日	FD/SD	看護研究支援活動を通じた病院との関係構築の取り組みの成果と課題	桑園: 大会議室	30

（単位：名）

SD	研修名	形態	受講者数
4月6日	新採用職員研修	札幌市立大学総務課	2
5月12日	公立大学に関する基礎研修	外部	1
5月25日	旅費事務研修	外部	1
6月9日	アンガーマネジメント研修	外部	1
6月13日、14日	契約事務研修（基礎編）	外部	7
6月13日、14日	契約事務研修（物品編）	外部	4
6月23日、27日	契約事務研修（役務編）	外部	3
6月23日、27日	契約事務研修（役職者編）	外部	4
6月29日	若手・中堅社員のためのヒューマンスキル向上講座	外部	1
7月4日	伝わるビジネス文書・使える報連相	外部	1
7月7日	ロジカルプレゼンテーションセミナー	外部	1
7月10日～12日	公立大学職員セミナー	外部	1
7月11日	段取り研修	外部	2
7月13日	タイムマネジメント研修	外部	1
7月20日	施設管理研修	外部	1
7月28日	予算決算事務研修	外部	14
8月24日	ビジネスに活かす「コーチングコミュニケーション」	外部	1
8月29日	若手社員を育てる効果的な仕事の伝え方	外部	1
9月11日～13日	公立大学法人会計セミナー	外部	1
9月19日～20日	公立大学中堅職員研修	外部	1
10月26日	新たな課題にチャレンジするための業務効率化セッション	外部	1
12月13日～15日	国立大学法人等実務担当者向け財務会計研修	外部	1

Ⅸ　資料

1　平成29年度年度計画

Ⅰ　大学の教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

1　教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置

ア　特色ある教育の実施

・　平成28年度に導入した新カリキュラムを旧カリキュラムとともに着実に実行する。

※　指標　共通教育科目の効果検証の実施

・　平成28年度までの効果検証、授業実施状況から抽出した学部及び研究科ごとの課題を踏まえ、横断型連携教育を実施するとともに、公開発表会のアンケート等による効果検証を継続して行う。

・　博士前期課程における研究科連携科目について、授業評価アンケート等を用いて検証を行う。

※　指標　学部及び研究科における横断型連携教育の効果検証の実施

・　博士後期課程について、設置認可申請に基づいた教育を引き続き展開する。

※　指標　博士後期課程研究計画書の提出：各研究科１件以上

・　博士前期課程を修了する学生に対するアンケートを実施し、博士前期課程教育の検証を引き続き行う。

・　平成28年度からグローバルな人材育成教育に係る授業内容を含めることとした科目以外についても、異文化への理解と関心を高めるという本学のグローバル人材育成方針に基づき、授業内容について検討を行い、既存の科目の中から対象となる科目の拡充を目指す。

※　指標　グローバルな人材育成教育に係る授業内容を含める科目数：6以上
（共通教育科目2、デザイン学部専門科目2、看護学部専門科目2）

イ　時代に即した教育課程の編成

・　全学部共通のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）及びアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を踏まえて各学部の3ポリシーの見直しを検討する。

・　各学部及び研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、学生の理解を深めるためガイダンスで説明するとともに、引き続きシラバス及び本学ウェブサイトで周知する。

・　卒業時の教育評価アンケート等に基づき、学部生の卒業時の学習到達度の検証を継続して実施する。

※　指標　学部教育への満足度（回答平均値の下限）：7.0（10段階評価）

・　科目ナンバリング[1]導入効果を検証する仕組みを検討する。

ウ　入学者選抜方法の検証と見直し

・　各入学者選抜方法を検証するため、志願状況（小論文又は実技の科目選択状況を含む。）及び入学者アンケート結果について多角的な視点から分析を行うとともに、平成19～28年度入学者の入学後の成績等を基に、追跡調査を引き続き行う。また、3年次編入学生も対象として調査を行う。

※　指標　入学者アンケートや入学後の成績追跡調査を活用して、入学者選抜方法の変更案を立案する。

・　高校生、保護者等へ本学の活動内容を周知するため、オープンキャンパスの開催、進学相談会、出前授業等への参加により多様な機会を設けるとともに、高等学校の教員を対象とする大学説明会を継続して実施する。また、必要に応じて、各種広報活動の内容や参加について見直しの検討を行う。

※　指標　オープンキャンパスの実施：2回

1　科目ナンバリング
授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み

進学相談会及び出前授業への参加：40件

・　本学に関心をもってもらうため、各学部において中学生を対象とした模擬授業や大学見学などの広報活動を継続して実施する。

※　指標　受入れ学校数：延べ5校（両学部合計）

エ　教育方法の改善等

・　平成25年度に導入した、1年次における半期ごとの登録単位の上限の適切性について、学生の履修状況及び単位修得状況を継続して調査する。

※　指標　平成25年度以降入学生の履修単位数に対する取得単位数の割合：80％以上

・　各学期で実施しているGPA[2]制度を活用した履修指導について、継続して実施する。

※　指標　GPAによる履修指導対象：デザイン学部1.5未満、看護学部2.0未満の学生

・　公平かつ適切な成績評価を実施するため、各科目における成績評価基準や成績評価の状況を検証する。また、併せてルーブリック[3]の導入に向け、適用試行科目を拡大するとともに、成績評価の妥当性について検討を継続する。

・　学部連携演習の評価基準及び評価方法について、継続して運用し、その運用状況を検証する。また、スタートアップ演習での活用も検討する。

※　指標　成績評価の検証

(2) 教育の実施体制に関する目標を達成するための措置

・　授業評価アンケートを継続して実施するとともに、卒業時の教育評価アンケートを実施し、その結果を教員へフィードバックする。

※　指標　授業評価アンケートの実施：学期ごとに1回
卒業時の学生に対するアンケートの実施：年1回

・　教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、平成28年度までに開催したFD[4]研修会及びFDマップを基に、平成29年度FD研修会実施計画を策定し、本学の実情に即して成績評価・授業方法等の改善に資するFD研修会を計画的に実施し検証を行う。

※　指標　FD研修会の開催：10回以上
FD研修会の参加者数：計500人以上

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

・　「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」によるコンソーシアム[5]構築を通じて培われた産業界とのつながりを活用し、適切に連携しながらインターンシップ推進を含めたキャリア支援を継続する。

・　デザイン学部においては、新カリキュラムにおけるキャリア教育科目の講義内容を確定する。

※　指標　デザイン学部　学外団体（中小企業家同友会等）と連携した取組の実施：2回
看護学部　地元医療機関と連携した取組の実施：2回

・　通年のキャリアガイダンスを継続し、各学部の特性・特徴や学生のニーズに合ったキャリア支援の取組を行う。

※　指標　デザイン学部　キャリアガイダンスの開催：前期・後期各10回
看護学部　キャリア意識を高めるガイダンスの開催：年8回

2　GPA（Grade Point Average）
授業科目ごとの成績評価に対して、GP（グレードポイント）を付し（例えば、5段階（A、B、C、D、E）の成績評価に対し、4、3、2、1、0のGP）、この単位当たりの平均を算定し、その一定水準を卒業などの要件とする制度

3　ルーブリック（Rubric）
米国で開発された学修評価の基準の作成方法であり、評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」で構成される。記述により達成水準等が明確化されることにより、他の手段では困難なパフォーマンス等の定性的な評価に向くとされ、評価者・被評価者の認識の共有、複数の評価者による評価の標準化等のメリットがある。

4　FD（ファカルティディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称

5　コンソーシアム
2つ以上の個人、企業、団体、地方公共団体等（あるいはこれらの任意の組合せ）から成る団体で、共同で何らかの目的に沿った活動を行うために結成されるもの。

・　平成27年度に本格導入したポータルシステム[6]の学生への情報伝達状況について検証する。
　※　指標　学生生活アンケートのポータルシステム利用率に関する問いで、「大変利用している」「利用している」と回答する人数の割合（4学年平均値の下限）：50%
・　留学生を対象にしたチューター[7]制度を継続して実施するとともに、留学生及びチューターとなった学生からの意見聴取等によって得られた課題に基づき、支援内容の充実を図る。
　※　指標　希望する留学生にチューターを配置する。

2　研究に関する目標を達成するための措置
(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置
・　ウェルネス[8]等のデザイン分野と看護分野が連携した研究など、分野横断的な研究を推進する。
　※　指標　デザイン分野と看護分野が連携した研究数：6件
・　ウェルネスに関わる研究について、更なる深化とネットワークの充実に取り組む。
・　今後の分野横断型連携を視野に入れながら、科学研究費助成事業[9]申請率向上に向けた支援策を検討、実施する。
　※　指標　科学研究費助成金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率：80%
・　分野横断型連携を進めながら質の高い研究を推進するため、利益相反や研究倫理について意識向上を図る。
　※　指標　利益相反に関するFDの開催：１回
　　研究倫理に関するeラーニング教育（日本学術振興会eL CoRE）の対象者の受講率：100%
・　学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」を継続し、教員の研究成果を評価の高い学術誌や著書、国際学会・国際展示会等に積極的に発表することを促進する。
　※　指標　国際学会等における発表：8件以上
・　「学術論文掲載料等補助」の制度について、従来の「採択課題への支援」から、採択の可否を問わず「応募」を補助対象とする「投稿支援」に改正したことを周知徹底し、国際学会誌への発表を促進する。
(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置
ア　地域連携の強化
・　産学官の出会いの場となる展示会や交流会への出展・発表を支援し、本学のPR活動、産学官連携活動を促進する。
　※　指標　共同研究・受託研究の数（研究支援目的の寄附金を含む）：14件
・　「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」を継続して発刊し、地域連携の強化へ向け活用する。
・　産学連携・社会貢献の促進、研究・教育の実践を進めるための外部機関や他大学等との連携の場として、サテライトキャンパスを活用する。
　※　指標　地域連携研究センター等による、外部機関や他大学等との連携の場としての活用：150件、900人

6　ポータルシステム
　メールや掲示板のみならず、レポート提出、呼出等の伝言、教室変更の連絡など、従来事務の窓口や掲示板で行われた様々なサービスを一元的にパソコン上で取扱う専用のウェブサイト
7　チューター
　入学後間もない外国人留学生に教育面、研究面、生活面の様々な助言を行う者
8　ウェルネス
　世界保健機関（WHO）が国際的に提示した「健康」の定義をより踏み込んで、そして広範囲な視点から見た健康観を意味する。
9　科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）
　人文･社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする文部科学省の「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うもの。

Ⅱ　地域貢献、国際化、大学間連携に関する目標を達成するための措置

1　地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 札幌市等のまちづくりへの貢献に関する目標を達成するための措置

・　学内の地域貢献に関わる情報の集約と発信に積極的に取り組む。その際、本学の地域貢献の事例を分かりやすく学外に発信する。

※　指標　地域産学連携協力依頼：33件

・　産業界とのネットワークを活用し、産学連携等に関わる情報を入手し、学内に発信する。

・　札幌市の地域課題の取組（オリンピック・パラリンピックや札幌国際芸術祭など）に協力する。また、周辺市町村と連携し、地域創生に向けた諸活動に取り組む。

・　看護系大学教員や臨床看護師との研究を推進するとともに、看護コンソーシアム共同研究拠点の整備について検討を継続する。

・　学内のシーズ[10]発掘に取り組むとともに、教員の研究成果の公表等、ネットワークづくりに向けた取組を進める。

・　北海道立総合研究機構等と連携して研究に取り組むとともに、セミナーや講演会等を開催する。

※　指標　まちづくりに貢献した事例数：100件以上

(2) 市民への学習機会の提供に関する目標を達成するための措置

・　公開講座の充実を図り、受講者の満足度をアンケート等で確認する。

※　指標　公開講座の受講者満足度：4.3（5段階評価）
　　公開講座の実施：28件

・　COC事業[11]として実施する公開講座と連携する。併せて、公開講座の対象者別の実施状況を検討し、地域連携研究センター主催企画の内容を充実させ、大学の知的資源の地域への還元に取り組む。

※　指標　公開講座の受講者数：930人

・　COC事業と連携し、デザイン及び看護の専門職向けの公開講座の継続的な実施を行う。また、認定看護管理者教育課程サードレベル[12]等の専門職業人を対象とした支援講座等を実施する。

※　指標　専門職業人支援講座等の開催：225時間以上

2　国際化に関する目標を達成するための措置

・　国際化に関する方針で掲げた4つの戦略である「学生の国際化」、「教職員の国際化」、「提携校との交流の活性化」、「海外とのネットワーク化」を推進する。

・　海外提携校との交流活動を引き続き推進する。

※　指標　海外提携校との交流活動：各1件

・　海外提携校を中心とした学生及び教員の海外への派遣と受入れを実施する。

・　承徳医学院（中国）との短期研修プログラム派遣の実施、華梵大学（台湾）・台中科技大学（台湾）とのデザイン合同ワークショップ受入、清華大学（中国）主催の「ワークショップ」への派遣等、提携校との交流を推進する。

・　ラップランド大学（フィンランド）との具体的な交流プログラムを実施する。

・　PNCA[13]（パシフィックノースカレッジオブアート）との交流の方向性を検討する。

※　指標　教員・学生派遣受入れ：20人以上

10　シーズ
ビジネスの「種」のこと。企業がもつ「技術や材料、アイデア、探究心」など。

11　COC 事業（地（知）の拠点整備事業。COC ＝ Center of Community）
自治体と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援する文部科学省の事業。
本学の「ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成『学び舎』事業」が平成 25 年度に採択された。

12　認定看護管理者教育課程サードレベル
日本看護協会は、認定看護管理者に必要な教育課程を、ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの 3 課程と定めている。認定看護管理者の水準を均質にするため、認定看護管理者の育成にふさわしい条件を備えた教育機関を認定看護管理者教育機関として認定している。

13　PNCA（パシフィックノースカレッジオブアート）
1909 年に創立されたアメリカオレゴン州の私立大学

・　共同研究費募集の際に、海外提携校及び提携の可能性がある機関との取組について積極的に募集する。
※　指標　海外機関との連携による共同研究費への応募：1件

3　大学間連携に関する目標を達成するための措置
・　これまでの「地（知）の拠点整備事業」や「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」において連携した大学や、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」により連携協定を締結した大学を中心に引き続き連携し、大学間ネットワークの形成を進める。
※　指標　連携協定締結大学によるシンポジウム等への参加

Ⅲ　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

1　運営体制・手法に関する目標を達成するための措置

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置
・　平成25年度に策定した実行プログラムを踏まえ、第二期経営戦略の計画的な推進に継続して取り組む。
・　経営会議や企画室を機動的に開催・運営し、理事長（学長）のリーダーシップが適切に発揮できるよう引き続き取り組む

(2) 教職員の配置・定員の適正化に関する目標を達成するための措置
ア　教職員配置の適正化
・　次期中期計画期間の定員計画について札幌市と必要な協議・確認を行うとともに、計画的な採用及び適正な教員配置を行う。
イ　職員の育成
・　平成29年4月1日付で1名、市派遣職員を減員しプロパー職員[14]を補充採用する。
※　指標　札幌市派遣職員の引揚げ：1名
・　各職員の研修受講歴を考慮しつつ、人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供する。
・　プロパー職員が、直接、札幌市所管部局職員との事務折衝や情報・意見交換を行う機会を増やしていくことなどを通して、市派遣職員の減員に応じたプロパー職員の育成に努める。

(3) 教員評価制度に関する目標を達成するための措置
・　前年度における教員評価制度の見直し事項を踏まえ、適切に評価を実施する。
・　次年度に向けて、必要に応じて制度や運用の見直し・改善を行う。

2　事務の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置
・　効率的な事務執行に向けて、人事業務の増加に伴う派遣スタッフの配置を継続するとともに、適宜、職員配置の見直し等を行う。
・　新たに、週１回のノー残業デイ(繁忙期を除く）の導入を検討するほか、時間外労働を削減するための取組を継続し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
※　指標　超過勤務時間の削減：28年度比減

3　広報の充実に関する目標を達成するための措置
・　大学ウェブサイトを適切に管理・運営するとともに、コンテンツ・マネジメント・システム[15]（CMS）を活用するなど積極的な情報発信を行う。また、学内情報の共有促進や学内外への戦略的な情報発信力の強化など、広報戦略に基づき広報活動の充実に引き続き取り組む。
※　指標　大学ウェブサイトアクセス数：30万アクセス

14　プロパー職員
当法人が採用し、雇用する正職員

15　コンテンツ・マネジメント・システム（CMS）
ウェブコンテンツを構成するテキストや画像などのデジタルコンテンツを統合・体系的に管理し、配信など必要な処理を行うシステムの総称。記事を簡単に作成できる。

Ⅳ　財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1　自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

・　外部資金の募集情報について、e-Radなどの情報提供サービスを用いて教員に周知する。

※　指標　教員向け情報提供：3回

・　科学研究費助成金（科研費）の申請支援の強化策として、引き続き、以下の支援策を展開する。

①　科研費採択者の了承を得た申請書の公開

②　原則全教員が参加する教員会議の場等を活用した申請の促進

③　事務局内の科研費申請支援担当者による申請書の確認

④　科研費獲得に向けたセミナーの実施

※　指標　申請支援強化策（①～④）の実施：各1件

・　修学支援基金[16]（開学10周年記念基金）について、ウェブサイト等により寄附の募集活動を展開する。

・　「KANAえる基金[17]」の適切かつ効果的な運用を図るため、実情に応じて実施要領等の見直しを適宜行う。

2　経費の抑制に関する目標を達成するための措置

・　戦略的な経費の確保に向けて、施設管理経費、印刷製本費等の削減を図る。

・　決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

Ⅴ　自己点検・評価に関する目標を達成するための措置

・　PDCAサイクル[18]に基づく自己点検・評価を実施し、半期（中期計画大項目第4、第5、第7に係る計画は四半期）ごとの年度計画の進捗管理を行うとともに、学内に適時適切なフィードバックを行う。

※　指標　年度計画の進捗管理：半期ごと（中期計画大項目第4、第5、第7に係る計画は四半期ごと）

・　札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果を踏まえ、改善が必要な事項については、適宜大学運営に反映する。

・　認証評価を受審し、評価機関からの質問事項や実地調査等に対して適切に対応する。

※　指標　大学基準の「適合」認定

Ⅵ　その他業務運営に関する目標を達成するための措置

1　施設・設備の整備・維持管理に関する目標を達成するための措置

（1）教育研究環境の充実に関する目標

・　施設整備費補助金による芸術の森キャンパスG・H棟外壁ほか改修工事を適正に実施する。

・　芸術の森キャンパスA・B・図書館棟外壁ほか改修工事実施設計及び芸術の森G・H棟空調設備更新工事実施設計を適正に実施する。

・　平成30年度施設整備費補助金の予算要求を行う。

・　次期中期計画と保全計画の整合性を図る。

・　年間2,000冊程度の図書を整備し、図書館の蔵書の充実を図る。

※　指標　図書整備：2000冊

・　平成29年度の教育研究備品整備費（10,000千円）の活用について、検討・協議を行い、効果的に整備を進める。

16　修学支援基金

本学に在籍する学生のうち、災害や事件、事故など不測の事態のため修学の継続が一時的に困難な者に対し、修学継続のための支援を行うことを目的とした基金

17　KANAえる基金

本学の看護学に係る教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献を図ることを目的とした基金。

18　PDCAサイクル

計画（plan）、実施（do）、点検（check）、処置（act）のサイクルを確実かつ継続的に行うことによって、プロセスのレベルアップを図るという考え方

・　平成30年度予算編成に向けて、次期中期計画期間における教育研究備品整備費の取扱いに関し札幌市と協議を進める。
・　学内利用者に対する文献検索ガイダンス等を実施し、図書館利用に関する情報提供の機会を設ける。
・　利用者サービス向上のための各種方策の実施及び検証を通して、図書館の利用を活性化する。
※　指標　文献検索ガイダンスの実施：学部生、大学院生、教員各１回以上

(2) キャンパスの活用に関する目標を達成するための措置
・　キャンパス活用等に関するプラン（プラン期間：平成29年度～38年度）に基づき整備に取り組む。

2　安全管理等に関する目標を達成するための措置
(1) 安全管理の徹底に関する目標を達成するための措置
・　感染症集団発生対応マニュアルについて、新任教職員に対する周知のほか、市内でインフルエンザやノロウィルス等の集団感染の兆しが出たタイミングで、改めて全教職員へ周知することにより、適切なリスク管理対応を徹底する。
・　キャンパスハラスメントの防止に向けた周知、啓発等を行う。
・　キャンパスハラスメントに関する相談や申し出があった場合には適切に対応し、防止に向けた改善策を実施する。

(2) 災害時の対応に関する目標を達成するための措置
・　学内や通学途中に大地震が発生した際の行動・対処の留意点等をコンパクトにまとめたポケット版「学生用大地震対応マニュアル（平成28年末制作）」及びそのPDFデータを学生ガイダンス等の機会に配布・配信し、学生個々が日頃から地震への正しい心構えを身につけ、いざというときに落ち着いて行動できるようサポートする。
・　当該マニュアルを活用した事前訓練を検討する。

3　環境に関する目標を達成するための措置
・　施設管理支援システム[19]（CAFM）を活用し、施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発を行うなど、省エネルギー対策の取組を継続する。
※　指標　エネルギー消費量：前年度比減

Ⅶ　予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙参照

Ⅷ　短期借入金の限度額
1　短期借入金の限度額
2億円

2　想定される理由
運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

Ⅸ　重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし。

Ⅹ　剰余金の使途
決算において剰余金が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

19　施設管理支援システム（CAFM）
電気及び空調設備における建物付帯設備の適正な運用維持管理を支援するシステム

Ⅺ　施設及び設備に関する計画

・　経常的修繕　9,215千円
・　芸術の森キャンパスG・H棟外壁等保全工事　78,414千円
・　芸術の森キャンパスA・B・図書館棟外壁等保全工事実施設計　2,335千円
・　芸術の森キャンパスG・H棟冷房設備更新工事実施設計　1,251千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

Ⅻ　人事に関する計画

1　教職員配置の適正化

・　教員定員計画に基づき、計画的な採用及び適正な教員配置を行うとともに検証を行う。（再掲）

2　職員の育成

・　平成28年度末に、市派遣職員を1名減員し、プロパー職員1名を採用する。（再掲）

3　研修の充実

・　各職員の研修受講歴を考慮しつつ、人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供する。（再掲）
・　プロパー職員が、直接、市所管部局職員との事務折衝や情報・意見交換を行う機会を増やしていくことなどを通して、市派遣職員の減員に応じたプロパー職員の育成に努める。（再掲）

別紙　予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1．予算　（単位：百万円）

区　　分	金　　額
収入	
運営費交付金	1,462
施設整備費補助金	82
授業料等収入	470
受託研究等収入及び寄附金収入	29
補助金収入	30
その他収入	24
目的積立金取崩	75
計	2,172
支出	
教育研究経費	437
受託研究等経費及び寄附金事業費等	29
人件費	1,258
一般管理費	336
施設整備費	82
補助金事業費	30
計	2,172

2. 収支計画

（単位：百万円）

区　　分	金　　額
費用の部	
経常費用	2,137
教育研究経費	419
受託研究等費	26
人件費	1,258
一般管理費	307
財務費用	2
減価償却費	125
収益の部	
経常収益	2,062
運営費交付金収益	1,439
授業料等収益	491
受託研究等収益	26
寄付金収益	3
補助金収益	30
資産見返運営費交付金戻入	39
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	6
資産見返補助金戻入	1
雑益	24
その他収益	24
純利益（純損失）	△75
目的積立金取崩益	75
総利益（総損失）	0

3. 資金計画

（単位：百万円）

区　　分	金　　額
資金支出	2,546
業務活動による支出	1,989
投資活動による支出	105
財務活動による支出	77
翌年度への繰越金	374
資金収入	2,546
業務活動による収入	2,015
運営費交付金による収入	1,462
授業料及び入学金検定料による収入	470
受託研究等による収入	26
補助金等による収入	30
寄付金による収入	3
その他収入	24
投資活動による収入	82
施設費による収入	82
前年度よりの繰越金	449

2　平成29年度決算

（単位：百万円）

区　分	予算額	決算額	差額（決算－予算）	備　考
収入				
運営費交付金	1,462	1,462	－	
施設整備費補助金	82	81	△ 1	
授業料等収入	470	469	△ 1	
受託研究等収入及び寄附金収入	29	10	△19	（注1）
補助金収入	30	20	△ 10	（注2）
その他収入	24	25	1	
目的積立金取崩	75	75	0	
前中期目標期間繰越積立金取崩	－	42	42	（注3）
計	2,172	2,184	12	
支出				
教育研究経費	437	406	△ 31	（注4）
受託研究等経費及び寄附金事業費等	29	10	△ 19	（注1）
人件費	1,258	1,273	15	（注5）
一般管理費	336	313	△ 23	（注4）
施設整備費	82	81	△ 1	
補助金事業費	30	19	△ 11	（注2）
計	2,172	2,102	△ 70	
収入－支出	－	82	82	

○　予算と決算の差異について

（注1）　受託研究の契約額が減少しました。

（注2）　COC（地（知）の拠点整備事業）の補助金が減少しました。

（注3）　退職手当の増加分を前中期目標期間繰越積立金から取崩しました。

（注4）　業務の効率的運営（リース契約の見直し等）により減少しました。

（注5）　退職手当の支給により増加しました。

3　教職員数（平成30年3月31日現在）

1）　学部別教員数

（単位：名）

学長	1
副学長	1
デザイン学部	35
看護学部	43
教育支援プロジェクトセンター	1
合計	81

2）　職位別教員数

（単位：名）

		教授（特任教授を含む）	准教授	講師	助教（特任助教を含む）	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	14	7	6	2	0	29	22
	女	1	3	3	0	0	7	9
看護学部	男	0	2	1	1	0	4	43
	女	10	8	12	4	6	40	23
教育支援プロジェクトセンター	男	0	0	0	1	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		25	20	22	8	6	81	97

3）　職員数

（単位：名）

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	24	2	0	0	0	26
女	47	2	0	0	0	49
合計	71	4	0	0	0	75

4　管理職一覧表（平成30年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	蓮見　　孝
副学長 兼 看護学部長	樋之津　淳子
デザイン学部長	細谷　　多聞
看護学研究科長	松浦　　和代
デザイン研究科長	城間　　祥之
地域連携研究センター長	上遠野　　敏
附属図書館長	宮﨑　みち子
事務局長	川上　佳津仁
事務局次長 兼 桑園事務室長	阿部　　大
事務局総務課長	石原　　荘史
事務局地域連携課長	上田　　理子
事務局学生課長	福原　　啓祐
事務局桑園担当課長	布廣　　成規

5　学生定員及び学生数（平成29年5月1日現在）

1）　学生定員

（単位：名）

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	360
看護学部	80	10	340
合計	165	20	700

2）　学生数

（単位：名）

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	24	64	88
	2学年	29	69	98
	3学年	29	59	88
	4学年	32	74	106
看護学部	1学年	3	81	84
	2学年	8	78	86
	3学年	8	82	90
	4学年	5	90	95
助産学専攻科		0	11	11
合計		138	608	746

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科博士前期課程	1学年	6	10	16
	2学年	11	10	21
看護学研究科博士前期課程	1学年	5	7	12
	2学年	3	26	29
合計		25	53	78

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科博士後期課程	1学年	1	1	2
	2学年	2	1	3
	3学年	5	2	7
看護学研究科博士後期課程	1学年	0	1	1
	2学年	0	1	1
	3学年	1	4	5
合計		9	10	19

3）　科目等履修生・聴講生・研究生　（単位：名）

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	0	0	0
看護学部	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	9	9
看護学研究科	2	0	1	3
合計	2	0	10	12

6　授業料等

（単位：円）

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7　奨学金貸与・授業料減免実施状況（平成30年3月31日現在）

奨学金利用状況（単位：名）　（単位：名）

学年	日本学生支援機構			その他	計
	第1種	第2種	給付		
学部1年生	49	32	1	3	85
学部2年生	55	42	0	0	97
学部3年生	42	31	0	5	78
学部4年生	52	57	0	3	112
助産学専攻科	2	2	0	0	4
研究科（博士前期）1年生	4	3	0	2	9
研究科（博士前期）2年生	7	2	0	1	10
研究科（博士後期）1年生	0	0	0	0	0
研究科（博士後期）2年生	2	0	0	0	2
研究科（博士後期）3年生	1	0	0	0	1
合計	214	169	1	14	398

授業料減免実施状況　（単位：名）

学年	学期	全額減免者	半額減免者	学長の定める額免除者	計
学部1年生	前期	0	7	0	7
	後期	0	13	1	14
学部2年生	前期	0	19	4	23
	後期	0	19	0	19
学部3年生	前期	0	22	6	28
	後期	0	23	3	26
学部4年生	前期	0	17	5	22
	後期	0	16	5	21
助産学専攻科	前期	0	1	0	1
	後期	0	0	0	0
研究科（博士前期）1年生	前期	0	0	0	0
	後期	0	0	0	0
研究科（博士前期）2年生	前期	0	3	1	4
	後期	0	3	0	3
合計	前期	0	69	16	85
	後期	0	74	9	83

8　学生の入選・受賞（デザイン学部・デザイン研究科）

年月	氏名	内容	主催者
平成29年5月	佐野　萌夏	第69回北海道学生陸上競技対校選手権大会 女子棒高跳優勝、女子走高跳第5位入賞	北海道学生陸上競技連盟
平成29年6月	森　　瑞紀	第4回東京吉岡株式会社主催ブランドラベルコンテスト優秀賞受賞	東京吉岡株式会社
平成29年8月	原　　大介	「日本建築学会設計競技」佳作受賞（全国312作品中11作品）、タジマ奨励賞受賞（優秀な作品への表彰）	日本建築学会
平成29年9月	柴野　未郷	「さっぽろ健康スポーツ財団」で使用する公式書類に掲載されるフッターの制作	さっぽろ健康スポーツ財団
平成29年10月	安田　　創	“No Maps NEDO Dream Pitch” with 北海道起業家万博　NEDO TCP賞受賞、東京での最終審査会への参加権獲得	経済産業省北海道経済局国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
平成29年11月	三上　拓哉 （倉持　　歩、 昆野　照美、 姚　　李蒞、 乾　　結、 大久保未央、 松野千代美） （口頭発表）	ADADA Japan 2017研究奨励賞受賞「高齢者のロコモ予防を目的としたトレーニングゲームの開発」	ADADA学会（Asia Digital Art and Design Association）
平成29年11月	吉田　香織 （口頭作品発表）	ADADA Japan 2017研究奨励賞受賞「二次元セルアニメにおける要素を付帯した三次元ＣＧ表現」、「2.5次元空間」	ADADA学会（Asia Digital Art and Design Association）
平成29年11月	増井　洋輝 （ポスター発表）	ADADA Japan 2017研究奨励賞受賞「物理挙動を付加した巨大な人型ロボットのキャラクターアクション」	ADADA学会（Asia Digital Art and Design Association）
平成29年11月	森　　瑞紀	日本茶輸出促進協議会「日本茶輸出用ロゴマーク」のデザイン採用	日本茶輸出促進協議会
平成29年12月	秋山　倫瑠 松岡　弥生	北海道遺産をPRする学生制作サイネージ番組の放送（道内のセイコーマート全店で放映）	NPO法人北海道遺産協議会
平成29年12月	布施　晴香	視覚科学技術コンソーシアム（Vision Science & Technology: VSAT）の10周年記念イベント開会式ムービー制作	視覚科学技術コンソーシアム
平成30年1月	小熊　　凛	「株式会社メルシー」、デイサービス「みんなの家」のロゴ制作	「株式会社メルシー」、デイサービス「みんなの家」、札幌市立大学
平成30年2月 ～3月	田邊　和音	ゲンビ「広島ブランド」デザイン公募展2017入選	広島市現代美術館
平成30年3月	あそびlab『オヘソ』 猪股　祐衣、 江口　怜南、 木村はるな、 佐藤　花映、 園部　　唯、 佐竹　希里、 宮浦　志穂、	「OTO TO TABI 2018」キッズスペース制作	札幌市芸術文化財団　サッポロ・シティ・ジャズ実行委員
平成30年3月	塩田茉利衣	「第12回TOHOシネマズ学生映画祭」最終選考ノミネート	TOHOシネマズ株式会社

9 学生の課外活動

	公認団体
1	バスケットボール部
2	軽音楽部「halo」
3	美術部「noumenon」
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
5	デザイン部「GNING」
6	服飾制作部「Alice」
7	写真映像部「SEED」
8	演劇部「デンコラ」
9	茶道部「Cha部」
10	野球部「ウップス！」
11	バレーボール部
12	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
13	フットサルサークル「SCUギャラクシー」
14	創作活動サークル「創-KIZ-」
15	ダンスサークル「VOLUME」
16	バドミントンサークル
17	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
18	スポーツサークル「すぽさ」
19	アウトドアサークル「PEAK」
20	バドミントンサークル
21	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
22	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
23	国際協力／ボランティアを考える同好会「AMIGO」
24	地域交流ボランティア同好会「act」
25	SCUテニス同好会
26	空間作品制作同好会「The Global Workshop」
27	備災同好会「EZO学さいぼー」
28	バレーボール同好会
29	SCUスイーツ同好会「スイ研」
30	総合スポーツ同好会「Force」
31	アナログゲーム同好会「OFF」
32	ものづくり組（もの組）
33	SCUトレーニング同好会「金肉」

10　後援会

後援会（平成19年2月発足）は、学生の福利厚生の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

（平成29年度）

役員	（会　長）藤島　健志 （副会長）佐々木　佳造 （理　事）蛯谷　勝浩、大西　和恵、滝波　武仁、勝俣　信俊、宇佐美　晴己、河波　秀旭 江渡　政恵、橋本　和幸 （監　事）宮浦　哲也、高橋　節子
主な事業	・課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・就職対策（就職試験対策、就職講話、資格取得支援、国家試験対策）支援 ・後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学者は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11　教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
平成29年4月	平成29年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
平成29年4月	平成29年度学生生活ハンドブック
平成29年4月	2018大学案内
平成29年5月	平成30年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
平成29年5月	平成30年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
平成29年5月	平成30年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
平成29年5月	平成30年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
平成29年6月	平成30年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
平成29年6月	平成30年度看護学部3年次編入学学生募集要項
平成29年6月	平成30年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
平成29年6月	平成30年度学生募集要項（助産学専攻科）
平成29年6月	札幌市立大学研究・活動事例集2017
平成29年7月	札幌市立大学教員研究紹介2017
平成29年7月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2017 札幌市立大学研究論文集第11巻第1号
平成29年7月	平成30年度学生募集要項（看護学研究科　博士後期課程）
平成29年8月	平成30年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 特別選抜）
平成29年10月	平成30年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
平成29年10月	平成30年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成29年11月	平成30年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成30年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第11号
平成30年3月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2018　図録）
平成30年3月	平成29年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書
平成30年3月	札幌市立大学後援会 会報2018（SSA　NEWS）

12　施設

1）　校地・校舎、講義室・演習室等の面積

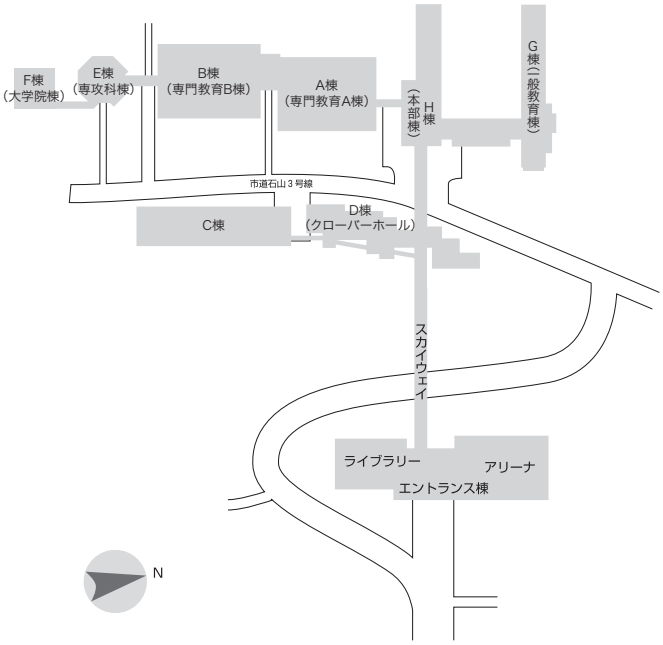
（平成30年3月31日現在）

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積（㎡）	校舎面積（㎡）	総数	面積（㎡）
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,689
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	83	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152

2）芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・COCキャンパス

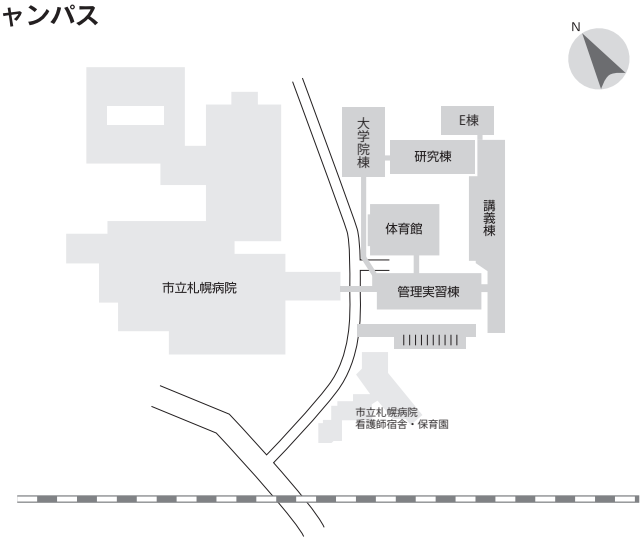
（施設配置図・校舎配置図）

芸術の森キャンパス
〒005-0864
北海道札幌市南区芸術の森1丁目
TEL：011-592-2300（代）
FAX：011-592-2369

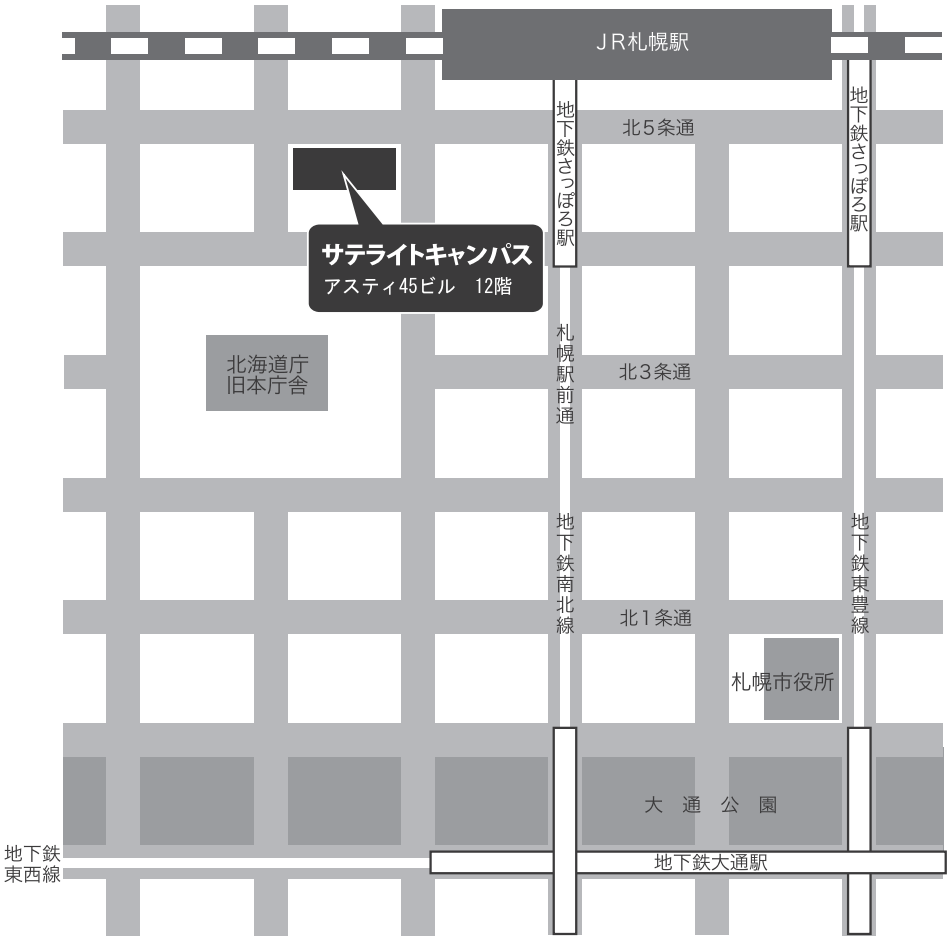


●桑園キャンパス

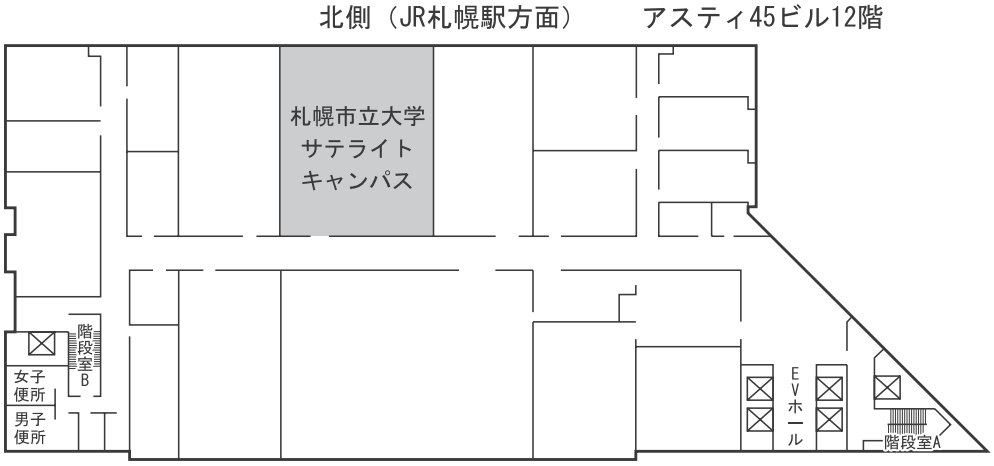
桑園キャンパス
〒060-0001
北海道札幌市中央区北11条西13丁目
TEL：011-726-2500（代）
FAX：011-726-2506



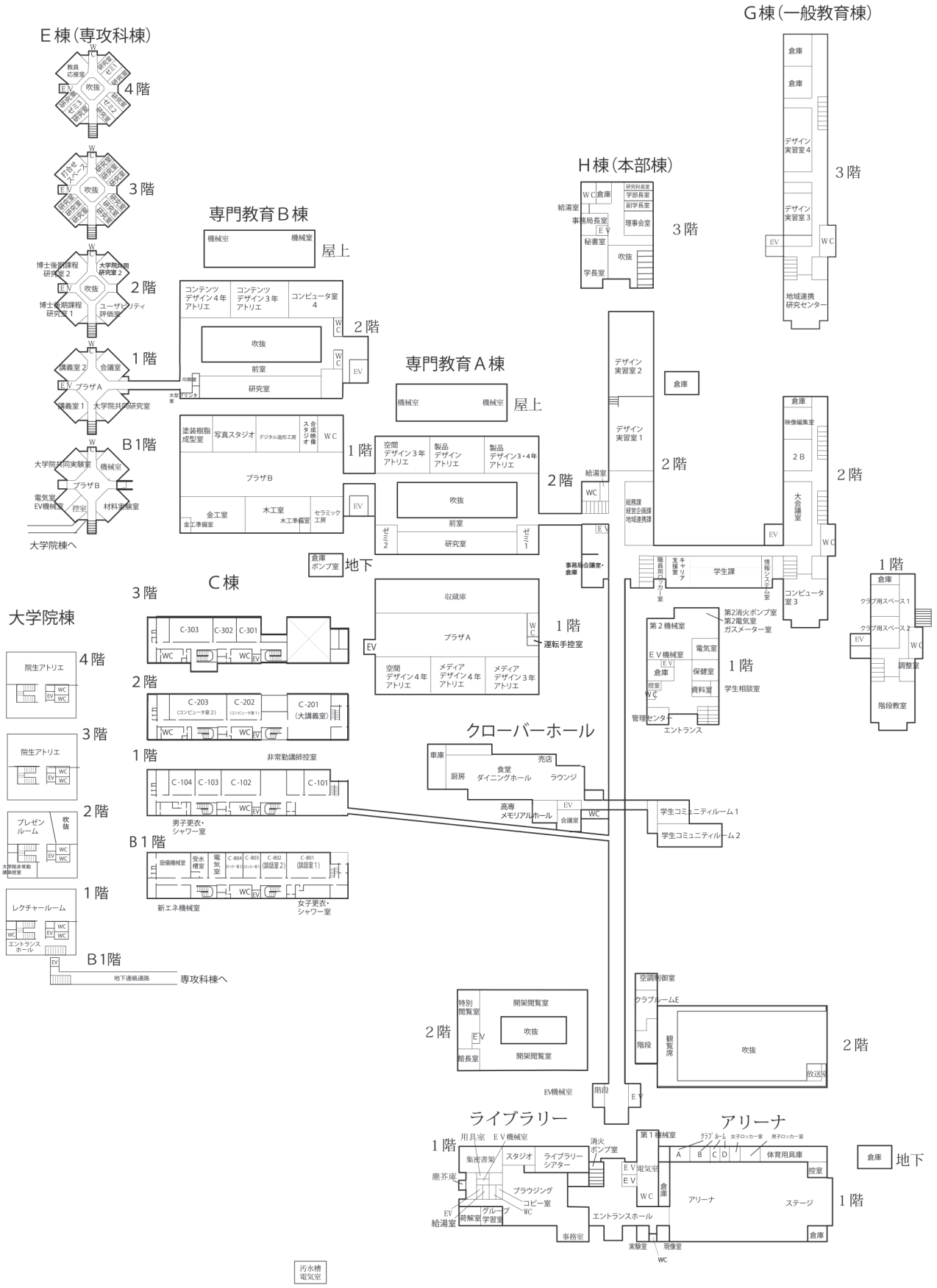
サテライトキャンパス
〒060-0004
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階
TEL：011-218-7500（代）
FAX：011-218-7507



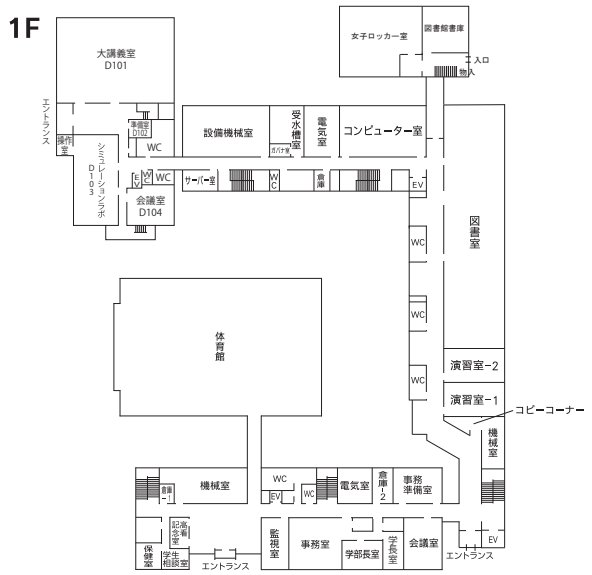
〈施設平面図〉

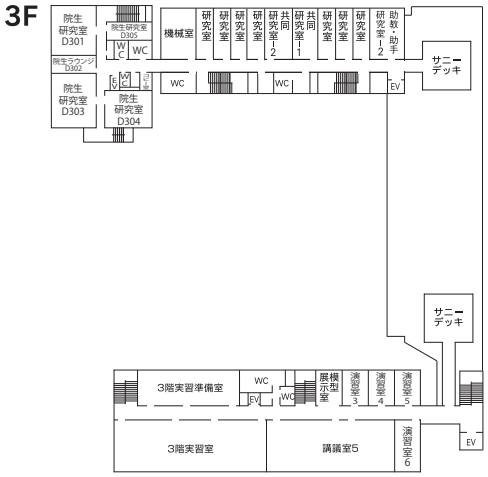


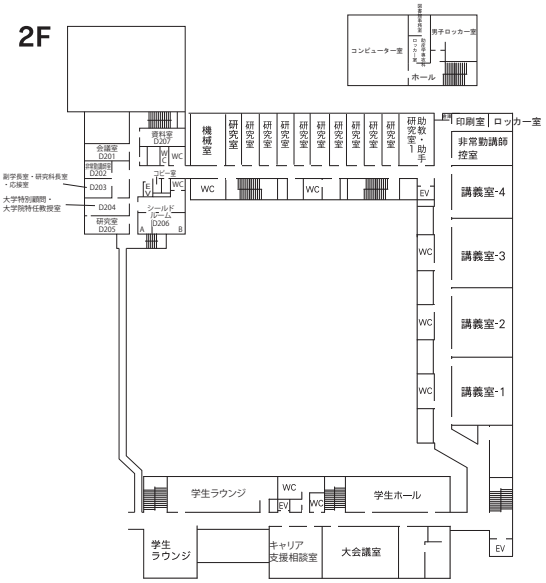
芸術の森キャンパス〈校舎配置図〉

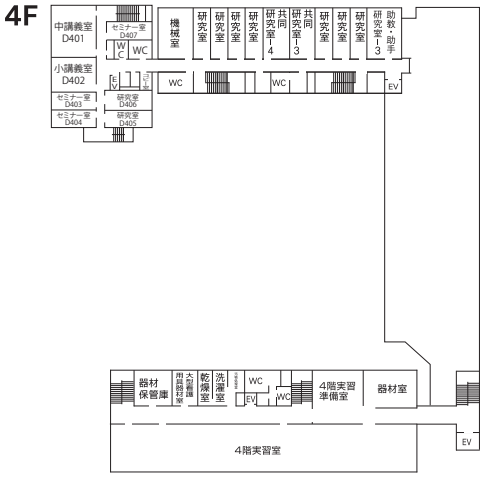


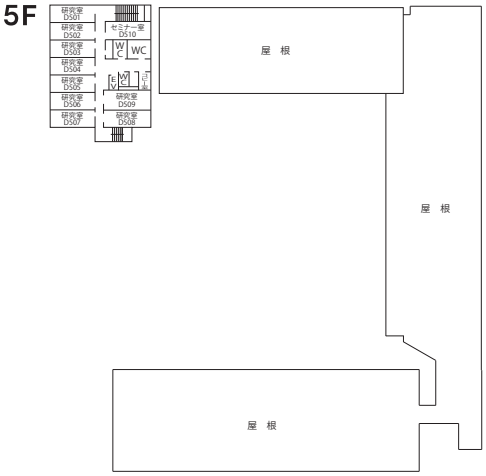
桑園キャンパス〈校舎配置図〉





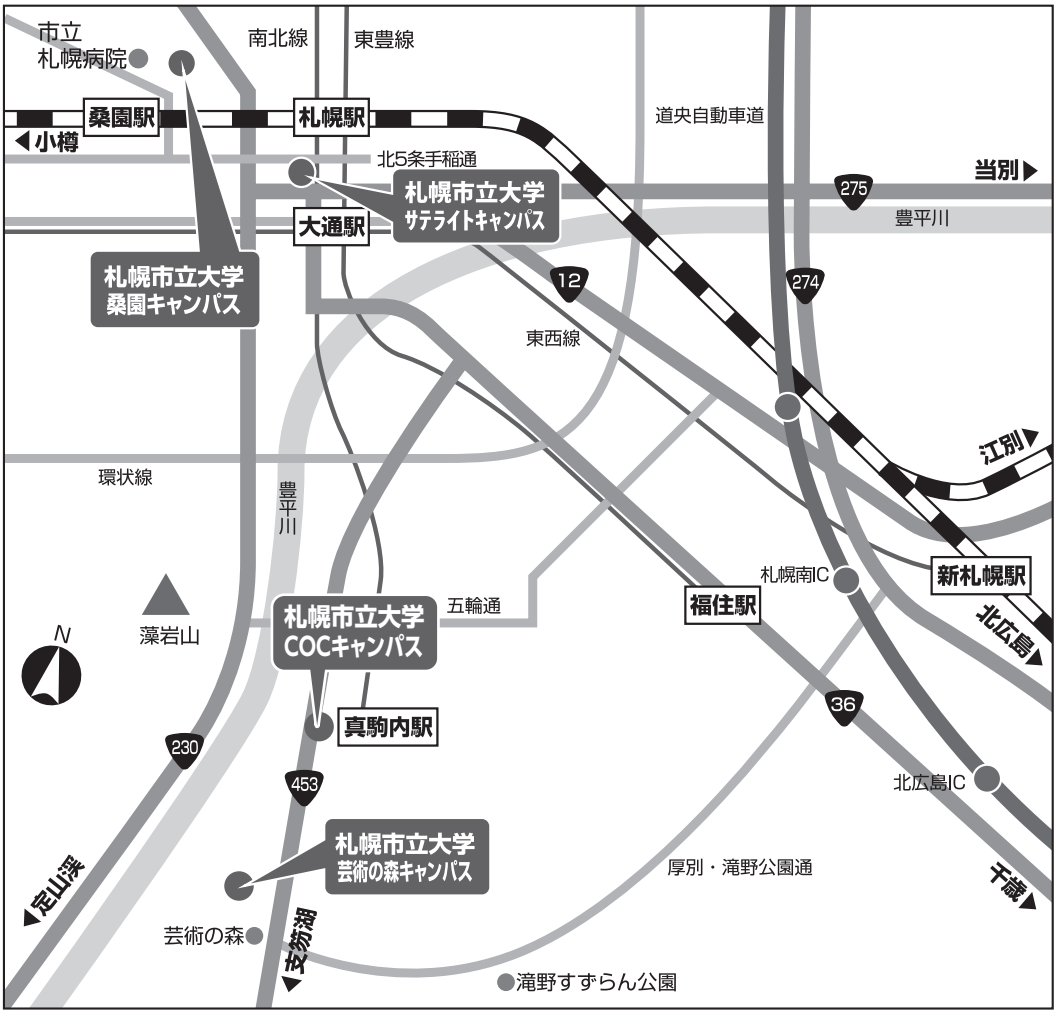




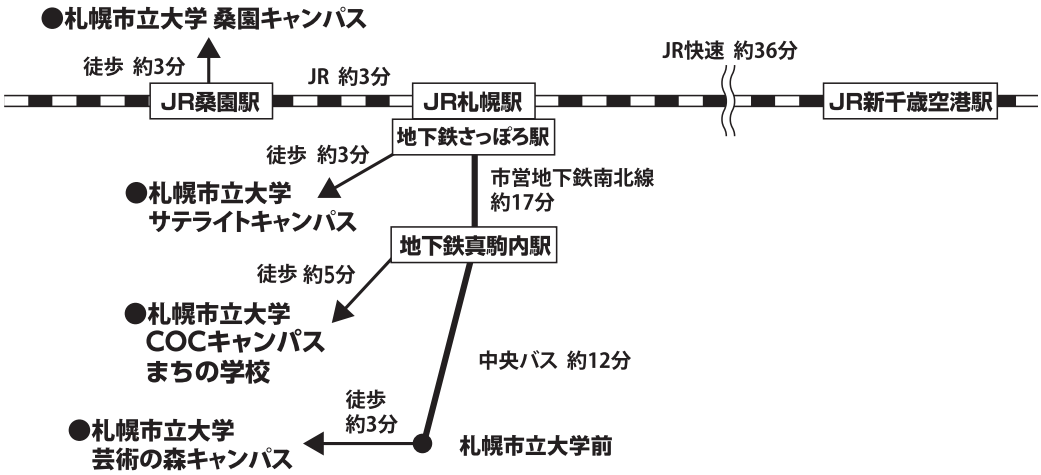


13　大学へのアクセス

1）　アクセスマップ



2）　交通案内



14　札幌市立大学　大学歌『みらいの手』

作詞：後藤優太・首藤翠（デザイン学部 第4期生）
作曲：堀　彩菜（デザイン学部 第3期生）

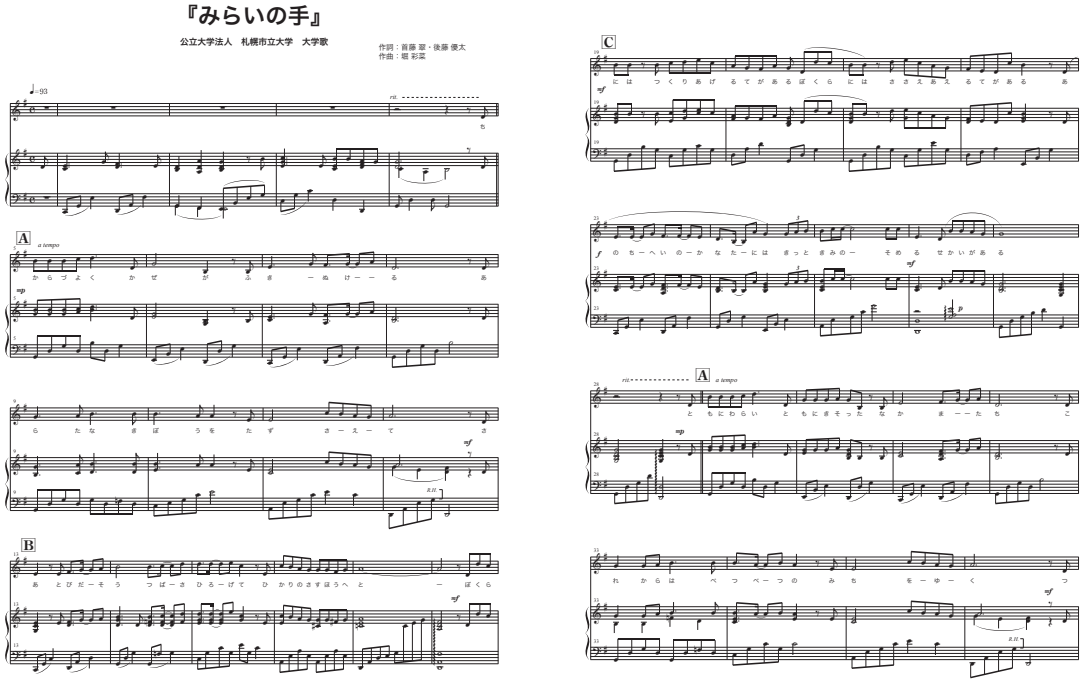
力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

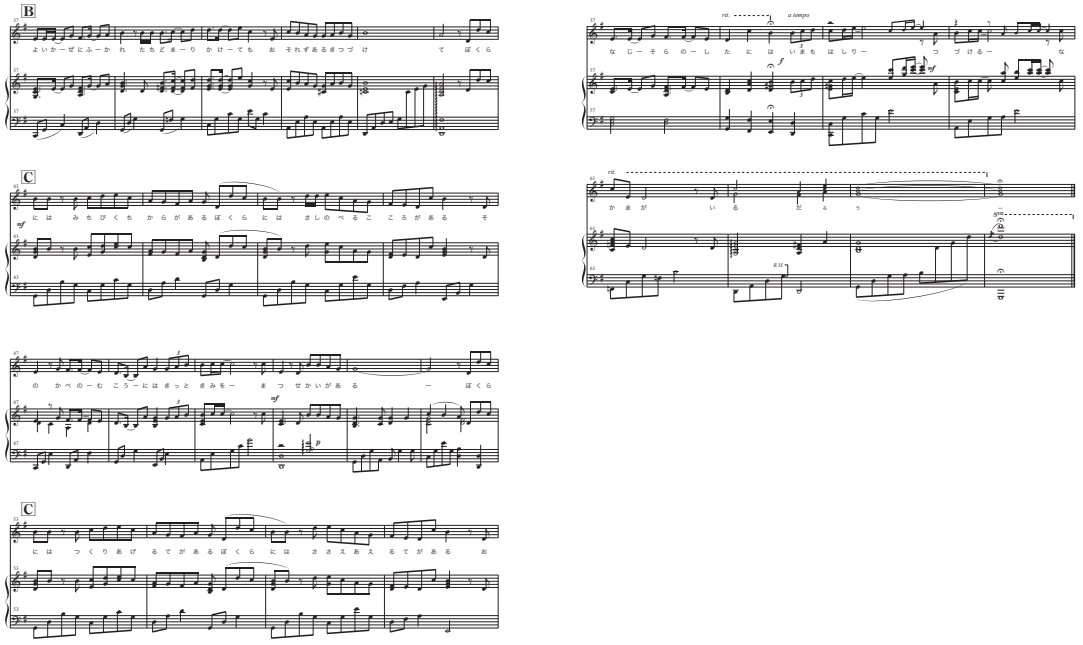
僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには導く能力（ちから）がある
僕らには差し伸べる精神（こころ）がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう





X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部		教育支援プロジェクトセンター	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名	職位・担当	教員名
教授・人間情報	蓮見　孝	教授・基礎	樋之津　淳子	特任助教・COC 事業	籔谷　祐介
教授・人間情報	細谷　多聞	教授・小児	松浦　和代		
教授・人間情報	城間　祥之	教授・母性	宮﨑　みち子		
教授・人間空間	上遠野　敏	特任教授・成人	中村　惠子		
特任教授・人間情報	酒井　正幸	教授・管理	猪股　千代子		
教授・人間情報	安齋　利典	教授・成人	小田　和美		
教授・人間情報	石井　雅博	教授・成人	川村　三希子		
教授・人間空間	斉藤　雅也	教授・在宅	菊地　ひろみ		
教授・人間空間	中原　宏	教授・地域	喜多　歳子		
教授・人間空間	羽深　久夫	教授・基礎	定廣　和香子		
教授・共通教育	原　俊彦	准教授・小児	上村　浩太		
教授・共通教育	町田　佳世子	准教授・基礎	大野　夏代		
教授・人間空間	矢部　和夫	准教授・成人	貝谷　敏子		
教授・人間情報	吉田　和夫	准教授・成人	神島　滋子		
教授・人間情報	若林　尚樹	准教授・成人	菅原　美樹		
准教授・人間情報	柿山　浩一郎	准教授・成人	藤井　瑞恵		
准教授・人間空間	椎野　亜紀夫	准教授・基礎	古都　昌子		
准教授・人間空間	髙井　真希子	准教授・地域	本田　光		
准教授・人間空間	武田　亘明	准教授・老年	村松　真澄		
准教授・人間情報	張　浦華	准教授・精神	守村　洋		
准教授・人間情報	藤木　淳	准教授・母性	渡邉　由加利		
准教授・共通教育	松井　美穂	講師・精神	伊東　健太郎		
准教授・人間情報	三谷　篤史	講師・成人	工藤　京子		
准教授・人間空間	山田　信博	講師・成人	小坂　美智代		
准教授・人間空間	山田　良	講師・地域	櫻井　繭子		
講師・人間空間	石田　勝也	講師・基礎	田中　広美		
講師・人間空間	大島　卓	講師・在宅	髙橋　奈美		
講師・人間情報	大渕　一博	講師・老年	原井　美佳		
講師・人間空間	片山　めぐみ	講師・基礎	檜山　明子		
講師・人間情報	金　秀敬	講師・小児	三上　智子		
講師・人間空間	小宮　加容子	講師・母性	森川　由紀		
講師・人間空間	須之内　元洋	講師・管理	矢野　祐美子		
講師・人間情報	福田　大年	講師・母性	山内　まゆみ		
講師・人間情報	松永　康佑	講師・母性	山本　真由美		
助教・人間空間	金子　晋也	助教・母性	石引　かずみ		
助教・人間情報	矢久保　空遥	助教・成人	柏倉　大作		
		助教・地域	近藤　圭子		
		助教・地域	田仲　里江		
		助教・在宅	御厩　美登里		
		助手・精神	出水　美菜子		
		助手・母性	大友　舞		
		助手・管理	鬼塚　美玲		
		助手・基礎	渋谷　友紀		
		助手・基礎	高橋　葉子		
		助手・老年	中田　亜由美		
		助手・精神	星　幸江		

※教員一覧の記載内容は教員の申告に基づく

2　教員業績一覧

デザイン学部

蓮見　孝
＜講演会・講習会活動＞文化のまちづくりセミナー（NPOたけとよ）／市立札幌病院学術研修会／第1回真駒内タウンミーティング／日本酒で乾杯推進会議茨城大会／渓仁会グループ職員合同研修会／北海道茗渓会新春教育講演会／地方創生フォーラムin茨城／ユニバーサルデザインセミナー（旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）（第1回・第2回）

細谷多聞
＜学会発表＞1.触れることを促す段ボールを用いた造形物の制作研究（共同、平成29年6月、第64回春季研究発表大会、日本デザイン学会）／2.段ボールの特性を活用した折りたたみ椅子の制作研究（共同、平成29年6月、第64回春季研究発表大会、日本デザイン学会）
＜学会シンポジウム＞1.ガクガク連携（共同、平成29年10月、2017年度日本デザイン学会第1支部大会）
＜学術集会運営＞平成29年度日本デザイン学会秋季大会、2017年度日本デザイン学会第1支部大会（平成29年10月、日本デザイン学会）

城間祥之
＜学会発表＞1.ソーシャルメディア・アプリ向き観光コンテンツデザインに関する研究（第3報）－中国人観光客を対象とする北海道観光コンテンツの情報収集に関するアンケート調査－（共同、平成29年9月、第19回日本感性工学会大会）／2.中国人観光客向きPOP広告に関する研究（共同、平成29年9月、第19回日本感性工学会大会）／3.ソーシャルメディア・アプリ向き観光コンテンツデザインに関する研究（第4報）－中国人観光客を対象とする北海道観光コンテンツの情報収集に関するアンケート調査－（共同、平成29年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第5回研究発表会）／4.中国人観光客向きPOP広告に関する研究（共同、平成29年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第5回研究発表会）／5.夢を編む～ケープの制作～（共同、平成29年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第5回研究発表会）／6.和を装うキャラクターの表現（共同、平成29年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第5回研究発表会）／7.ソーシャルメディア・アプリ向き観光コンテンツデザインに関する研究（第5報）（共同、平成30年2月、感性フォーラム札幌2018）／8.中国人観光客向きPOP広告に関する研究（第3報）（共著、平成30年2月、感性フォーラム札幌2018）
＜学会座長就任状況＞1.第19回日本感性工学会大会、一般セッション：デザイン（平成29年9月、日本感性工学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞International Journal of Affective Engineering（2件、Japan Society of Kansei Engineering）
＜学会役員就任状況＞日本感性工学会（第10期・第11期理事）／芸術工学会（理事）／日本感性工学会北海道支部（支部長）
＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2018（平成30年2月開催）／日本感性工学会北海道支部学生会第5回研究発表会／第19回日本感性工学会大会

上遠野　敏
＜著書＞1.札幌アートへの旅（共著、平成29年8月、マガジンハウス、978-4-8387-5214-0、pp134－135）
＜実務関係報告書＞1.バンマスが率いる融通無碍な国際展（単著、平成30年3月、札幌国際芸術祭事務局、pp10－10）
＜作品発表＞1.ニセコアートインスタレーション（単独、平成29年7月、ニセコ倉庫邑2017(ニセコ町委託)）／2.ネオン赤平：再見（単独、平成29年9月、赤平アートプロジェクト）／3.ゆあみの分水嶺 他 全7作品（単独、平成29年9月、赤平アートプロジェクト）／4.札幌と北海道の三至宝インスタレーション（単独、平成29年11月、500m美術館がみた札幌国際芸術祭2017）

＜講演会・講習会活動＞平成29年度美術博物館大学講座「意識をつぐむ現代美術 世界・日本・北海道」（平成29年6月3日、苫小牧市立美術博物館）／アートによるまちづくりの事例紹介「アートによるまちづくり」（平成29年6月4日、シンクスクール）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞地域の魅力発見プロジェクト：キャラクターグッズ開発、ゲーム冊子 アートディレクター（平成29年5月14～15日、三吉神社例大祭を楽しくする会）／札幌と北海道の三至宝と円山公園の企画、運営、展示、展示構成などのアートディレクター「札幌国際芸術祭」（平成29年8月6日～10月1日、札幌国際芸術祭事務局）／毛利悠子　札幌市立大学スカイウエイ作品学内調整、制作支援「札幌国際芸術祭」（平成29年8月6日～10月1日、札幌国際芸術祭事務局）／立体のクマ作品公募と審査「札幌国際芸術祭」（平成29年8月6日～10月1日、札幌国際芸術祭事務局）／赤平アートプロジェクト アートディレクター（平成29年9月15日～10月16日、nop炭鉱の記憶推進事業団）／三大学と産学連携小樽ガラスのワークショップと商品開発（通年、室工大、小樽商大、札幌市大連携企画）

安齋　利典
＜学術論文＞1.Health Education that Breaks Through Language Barriers（共著、平成29年11月、IASDR2017、iasdr2017、pp86－99）
＜学会発表＞1.企業ウェブサイトにおけるデザイン最適化に関する研究－その10（総括）（単独、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／2.現代のあかりづくりの在り方:山越双葉、安齋利典（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／3.クラシックデザインの分析と活用に関する研究:堀田蕗敏、安齋利典（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／4.HCDに基づいたバリアフリー情報案内アプリの提案：姚李蒞、安齋利典（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／5.地域コミュニケーションを利用したプロモーションの提案：倉持歩、安齋利典（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／6.Health Education that Breaks Through Language Barriers（共同、平成29年11月、IASRD2017）／7.食の体験価値の向上に関する研究：倉持歩、安齋利典（共同、平成30年2月、感性フォーラム札幌2018）
＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第64回大会、平成29年7月2日（日）12:50～14:50、口頭8会場、地域振興、地域研究（単独、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季大会）／感性フォーラム札幌2018、平成30年2月18日（日）11:20～12:20、04～06（第2セッション）（単独、平成30年2月、感性フォーラム札幌2018）
＜論文査読・学会抄録査読＞日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）
＜所属学会・研究会＞IASDR2017／日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／道具学会／NPO HCD-Net（人間中心設計推進機構）／HDMF（北海道デザインマネジメントフォーラム）
＜講演会・講習会活動＞HoPE1月例会：「マネジメント・システム・スタンダードーいかに仕事をデザインするかー」（平成29年1月17日、北海道中小企業同友会）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「厚真町企画デザインセミナー」ワークショップ「厚真町デザインセミナー2017」平成29年10月～平成30年3月、厚真町町役場）／「株式会社AIRDO CIマニュアル改訂」WS、改訂案提案（平成29年10月～平成30年3月、株式会社AIRDO）／「ユニバーサル製品開発」WS、コンペ（平成29年12月～平成30年3月、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）

石井　雅博
＜学会発表＞1.Effect of head translation and manual control on depth sign perception from motion parallax（単独、平成29年5月、Vision Sciences Society Annual Meeting）／2.Visual system resists vertical horizontal illusion and Ponzo illusion by math- ematic observation（単独、平成29年10月、Annual Meeting of the International Society for Psychophysics）
＜学会座長就任状況＞ヒューマン情報処理研究会（平成29年7月、電子情報通信学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.電子情報通信学会論文誌（2件、電子情報数伸芽会）／2.感性工学会論文誌（1件、感性工学会）
＜学会役員就任状況＞視覚学会（世話人）／電子情報通信学会（ヒューマン情報処理研究会委員長）／日本バーチャルリアリティ学会（論文誌編集委員）／日本バーチャルリアリティ学会（力触覚研究会委員会）／日本バーチャルリアリティ学会（心理学研究会委員会）／International Journal of

Entertainment Technology and Management
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞視覚科学技術コンソーシアム（視覚科学技術コンソーシアム）

斉藤　雅也
＜学術論文＞1.新得町都市農村交流施設カリンパニ（共著、平成30年3月、日本建築学会作品選集2018、pp.6－7）
＜調査研究報告書＞1.外断熱建築の熱性能評価と住まい手行動の研究（平成30年2月、札幌市立大学）／2.飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究－北方圏ゾーンのグランドデザインと園内施設のサインデザインの監修－（平成30年3月、札幌市立大学）
＜その他の論文＞1.住まい手の能動的な行動・高度な快をひき出す放射環境デザイン（単著、平成29年7月、エネルギー・資源学会、38巻、4号、pp.208－212）
＜学会発表＞1.厳冬期における高齢者の住まいの温熱環境と温熱適応に関する実態調査 北海道幌加内町を対象として（共同、平成29年6月、日本建築学会北海道支部研究報告集No.90）／2.学校建築を含む住宅群を対象としたコミュニティ暖房の検討（共同、平成29年6月、日本建築学会北海道支部研究報告集No.90）／3.学校建築を含む住宅群における木質バイオマスを用いたコミュニティ暖房システムの検討（共同、平成29年9月、日本建築学会大会学術講演会）／4.夏季の適応的快適性をもたらす放射エクセルギーと想像温度（共同、平成29年9月、日本建築学会大会学術講演会）／5.冬季の暖房下におけるヒトの熱環境適応と人体エクセルギー収支（共同、平成29年9月、日本建築学会大会学術講演会）／6.ヒトの熱環境適応と想像温度に関する考察（共同、平成29年9月、日本建築学会大会学術講演会）／7.地域創生デザインの為のGPSロガー開発－試作と試用を通した設計－（共同、平成29年9月、第19回日本感性工学会）／8.老人福祉施設の建物実態調査（共同、平成29年10月、日本公衆衛生学会総会）／9.特別豪雪地帯における高齢者を対象とした健康啓発事業の実践報告（共同、平成29年10月、日本公衆衛生学会総会）／10.北海道の特別豪雪地帯における高齢者の健康と地理的環境による特性について（共同、平成29年10月、日本公衆衛生学会総会）／11.多床室入院患者が病床で受ける照度と明るさ感、明るさの快・不快感の実態調査（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／12.「涼しさ」感を伴う夏の住みこなしプロセスの調査研究（共同、平成30年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部 第52回学術講演会）
＜学会招聘講演＞1.交流集会「北の住まいの安心を支える」北の住まいの温熱環境と高齢者の熱環境適応（単独、平成29年7月、日本在宅ケア学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）
＜学会役員就任状況＞日本建築学会（環境工学本委員会バイオクライマティックデザイン小委員会主査）／日本建築学会（地球環境本委員会環境ライフスタイル普及小委員会委員）／Low Ex Network（LowEX. Net 委員）／日本建築学会北海道支部（環境工学専門委員会委員）／空気調和・衛生工学会北海道支部（運営委員）
＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会主催 第11回環境工学系・卒業論文発表会（平成29年3月）
＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／空気調和・衛生工学会／日本公衆衛生学会
＜講演会・講習会活動＞ニセコエコナイトカフェ～冬のほっこり"温活ライフ"～講座講師「自然のリズムを活かす『住みこなし術』温房・涼房のすすめ」（平成29年12月14日、ニセコエコナイトカフェコンソーシアム（ニセコ町・公益財団法人北海道環境財団））／スーパーサイエンスハイスクールSSH特別実験「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」（平成30年2月16日、北海道旭川西高等学校）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第1回パッシブシステム・市民セミナー「自然エネルギーを利用したパッシブ換気の今、そして未来」「開口部を上手にデザインする?パッシブのヒント・知恵を考える?」（平成29年10月7日、パッシブシステム研究会）／HoPE 11月講座 講師「北海道のポテンシャルを活かす都市・建築の＜すがた・かたち＞」（平成29年11月8日、北海道中小企業家同友会（HoPE）、一般社団法人北海道中小企業家同友会 産学連携研究会）／ジャパンホーム＆ビルディングショー2017 住宅性能のミライ「高性能住宅」（平成29年11月15日、一般社団法人日本能率協会、一般社団法人日本能率協会）／これからの建築は何を設え備えるべきか ～北海道のクリマデザイン～第3回

「これからの建築は何を設け備えるべきか」北海道の環境情報から読み解く（平成29年11月17日、建築ラウンドテーブル、ピーエス（株）北海道支店）／平成29年度BIS試験講習委員会 委員（更新講習会講師）「超高性能住宅の設備の方向　換気・暖房を中心として」（平成29年12月12日、北海道建築技術協会、一般社団法人北海道建築技術協会）／平成29年度BIS養成講習会（養成講習会　講師）「開口部の計画」・「防暑計画」（平成30年1月18日、北海道建築技術協会、一般社団法人北海道建築技術協会）／第1回学びの会講師「快適性」は創ることができるか？省エネ性の次のステージに向けて（平成30年1月24日、北方建築学びの会、北方建築 学びの会実行委員会）／環境配慮型建築の熱性能と住まい方（住みこなし）調査研究の紹介（平成30年1月31日、クリマデザイン研究会、クリマデザイン研究会）／看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援（北のケア環境研究会）／特別会員（学術的支援）（特定非営利活動法人外断熱推進会議（EiPC））／建築環境分野専門委員（北海道トップランナーネットワーク構築会議（HTNC））

羽深　久夫

＜学術論文＞1.札幌市円山動物園でのチンパンジーの樹上行動における空間特性（共著、平成29年7月、日本建築学会計画系論文集、82巻、737号、pp.1661－1671）／2.根室市西和田地区における牛舎の小屋組みの構法的特徴（共著、平成29年7月、札幌市立大学、11巻、1号、pp.85－92）／3.都市における高層建築の形態と構成に関する研究（共著、平成29年7月、札幌市立大学、11巻、1号、pp.93－99）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会技術報告集1（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会委員）

＜講演会・講習会活動＞NHK新さっぽろ文化講座2017春夏講座 全6回 日本の古代建築 平成29年4月～9月「日本の古代建築に迫る－古代仏寺と古代神社の成立－」（平成29年4月～9月、NHK文化センター（新さっぽろ教室））／NHK新さっぽろ文化講座2017秋冬講座 全6回 西洋近代建築の胎動 平成29年4月～9月「西洋における近代建築の胎動－モダン・アーキテクトの成立－」（平成29年4月～9月、NHK文化センター（新さっぽろ教室））／札幌神社から北海道神宮へ「札幌豊平倫理法人会 モーニングセミナー」（平成29年6月8日、札幌豊平倫理法人会）／NHK新さっぽろ文化講座2017秋冬講座 全6回 西洋近代建築の始まり 平成29年10月～平成30年3月「西洋における近代建築運動の始まり－新しい建築表現への挑戦－」（平成29年10月～平成30年3月、NHK文化センター（新さっぽろ教室））／NHK新さっぽろ文化講座2017秋冬講座 全6回 日本の古代建築発展 平成29年10月～平成30年3月「日本の古代建築の発展－平城京から平安京へ－」（平成29年10月～平成30年3月、NHK文化センター（新さっぽろ教室））／アジア招提 神社建築からみた札幌神社と北海道神宮「「神社建築からみた札幌神社と北海道神宮」」（平成30年1月27日、アジア招提）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第64回全国建築審査会長会議運営委員会 委員長「第64回全国建築審査会長会議」（平成29年10月26日～27日、全国建築審査会協議会、第64回全国建築審査会長会協議会）／伝統的建造物群をはじめとする歴史的建造物など地域資源の活用にむけた建築審査会の役割「第64回全国建築審査会長会議」（平成29年10月26日、全国建築審査会協議会、第64回全国建築審査会長会協議会）／「建築学および建築学関連分野」JABEE審査プログラム審査委員（日本技術者認定機構）／北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座 講義（平成29年7月、北海道教育委員会・北海道建築士会）／札幌芸術の森運営協議会委員（札幌市芸術文化財団）／札幌芸術の森美術館専門員会委員（札幌市芸術文化財団）／理事長・事務局（NPO法人北の民家の会）／北海道地区幹事（NPO法人日本民家協会）／君の椅子プロジェクトの推進活動（NPO法人アルテピアッツア美唄）／藻岩このみ会 理事・評議委員（社会福祉法人藻岩このみ会）／保養センター駒岡運営協議会委員（札幌市環境福祉事業団）

原　俊彦

＜学術論文＞1.地域別将来推計人口とGIS（地理情報システム）のリンク：北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応（単著、平成29年6月、札幌市立大学研究論文集、11巻、1号、pp.61－71）／2.人口減少社会に対する政策科学的アプローチ（単著、平成29年8月、計画行政、40巻、3号、pp.3－8）

＜学会発表＞1.人口転換モデルの改良－ポスト人口減少社会への展望－（単著、平成29年6月、日本人口学会第69回研究大会）／2.地域別将来推計人口のGISへの投影：北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応その2（単著、平成29年12月、日本人口学会2017年度第1回東日本地域部会）
＜学会シンポジウム＞1.シンポジウム「東北の人口問題－過去、現在、そして未来？－災害と共に生きてきた人々－」（座長）（共同、平成29年6月、日本人口学会第69回研究大会）
＜学会研究発表＞1.日本・札幌での取組み：少子高齢化に対応した高齢者ボランティアの推進（単独、平成29年8月、ボランティアサービス国際会議（台中科技大学））／2.世界人口の将来動向と国際ボランティア推進の必要性（単独、平成29年8月、ボランティアサービス国際会議（台中科技大学））
＜学会役員就任状況＞日本人口学会（地域部会・人口学事典編纂・英書刊行担当）／日本社会学会（学会奨励賞選考委員）
＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本社会学会／日本家族社会学会／情報考古学会／ISA:INTERNATIONAL SOCIOLOGICAL ASSOCIATION／IUSSP:International Union for the Scientific Study of Population／北海道社会学会／日本人口学会東日本地域部会／札幌GIS研究会

町田　佳世子
＜学術論文＞1.英語の冠詞指導を目的とした冠詞体系の構成要素と構造の検討（単著、平成29年7月、札幌市立大学研究論文集、11巻、1号、pp.73－84）
＜調査研究報告書＞1.「こころの授業」が導く子供の学び－2017年度アンケート調査報告書－（単著、平成30年3月、札幌市立大学）
＜学会発表＞1.企業と大学生それぞれが思い描くコミュニケーション能力の構造（単独、平成29年9月、産業・組織心理学会第33回大会）／2.体験イベントの中での雑談の展開要因：聞き手(参加者）の働きかけに注目して（単独、平成29年9月、日本質的心理学会第14回大会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.獨協大学外国語教育研究所紀要（1件、獨協大学外国語教育研究所）
＜学会役員就任状況＞日本コミュニケーション学会北海道支部（監事）／大学英語教育学会北海道支部（研究企画委員）
＜所属学会・研究会＞日本コミュニケーション学会／International Pragmatics Association／一般社団法人 大学英語教育学会／日本質的心理学会／日本語用論学会／産業・組織心理学会／全日本博物館学会
＜講演会・講習会活動＞株式会社アイティ・コミュニケーションズ フレッシュマンコミュニケーションセミナー「コミュニケーションとは」（平成29年4月3日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ）／札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営み-コミュニケーションについて考える」（平成29年4月10日、札幌医科大学保健医療学部）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞評議員会にて運営・予算・決算について意見を述べる（一般財団法人札幌市水道サービス協会評議員会委員）

矢部　和夫
＜著書＞1.湿地の科学と暮らし、北のウエットランド大全（共著、平成29年4月、北海道大学出版会、9784832982284）／2.図説日本の湿地（共著、平成29年6月、朝倉書店、9784254180527、pp96－99）
＜学会発表＞1.16年間の長期モニタリングと順応的管理による人工湿地の群落種組成の変遷（共同、平成29年9月、湿地学会第9回大会）／2.気象が湿原のミズゴケ小丘の水挙動および水質形成に及ぼす影響（共同、平成29年9月、湿地学会第9回大会）／3.石狩川下流幌向地区における湿原再生に向けた取り組み（共同、平成29年9月、湿地学会第9回大会）／4.湿原内に生育する矮生ハンノキの萌芽動態と養分利用特性（共同、平成29年9月、湿地学会第9回大会）／5.流入負荷の違いがミズゴケ湿原の栄養塩循環機能に与える影響（共同、平成30年3月、65回日本生態学会大会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.Ecological Research（1件、日本生態学会）／2.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）
＜学会役員就任状況＞日本湿地学会（研究担当理事）／日本造園学会北海道支部会（日本造園学会北海道支部会運営委員）
＜学術集会運営＞ウエットランドセミナー運営幹事

＜所属学会・研究会＞日本陸水学会／日本生態学会／日本造園学会／応用生態工学会／日本湿地学会
＜講演会・講習会活動＞シラネアオイ観察会（滝野すずらん公園）「シラネアオイ博士と歩く「シラネアオイ観察会」」（平成29年5月12日、滝野すずらん校）／春の人工湿地観察会（平岡公園）「春の人工湿地観察会」（平成29年6月18日、札幌市公園緑化協会）／宮の森中学校道徳の授業「外来種の話」（平成29年7月3日、宮の森中学校）／2017サマーアートキャンプ体験学習「2017サマーアートキャンプ」（平成29年7月28日～30日、農業法人風の村）

若林　尚樹
＜調査研究報告書＞1.サマースクール「動物園のお仕事体験」報告と分析（共著、平成29年8月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp1－10）／2.主観的評価マップによる動物園体験の把握と分析（共著、平成29年11月、日本動物園水族館教育研究会誌、24巻、pp67－79）／3.金沢動物園「ツノツノ だれのツノ!?」報告書（共著、平成29年12月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp1－12）／4.飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究（共著、平成30年3月、札幌市立大学デザイン学部、pp102－117）
＜受賞等＞1.第64回春季研究発表大会 グッドプレゼンテーション賞（平成29年7月、日本デザイン学会）
＜学会発表＞1.「落書きグラフィック」による体験の共有の分析（共同、平成29年7月、日本デザイン学会）／2.展示施設の観覧ルートに沿った主観的評価マップ（共同、平成29年7月、日本デザイン学会）／3.子どもを対象としたセルフワークショップにおける印象評価の実践3（共同、平成29年7月、日本デザイン学会）／4.付箋紙を用いた主観的印象カラー濃度マップでの分析提案（共同、平成29年7月、日本デザイン学会）
＜学会研究発表＞1.動物園来園者の園内での気持ちの変化の分析（共同、平成29年11月、SCU産学官金研究交流会）
＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第64回春季発表大会ポスターセッションB座長（単独、平成29年7月、日本デザイン学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）／2.デザイン学研究作品集（2件、日本デザイン学会）
＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（評議委員）／アジアデジタルアートアンドデザイン学会日本（理事）
＜学術集会運営＞ADADA JAPAN学術大会／日本デザイン学会第1支部大会
＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／こども環境学会／芸術科学会／アジアデジタルアートアンドデザイン学会日本
＜講演会・講習会活動＞「わくわく動物園マップin金沢動物園」（平成29年6月24日、金沢動物園）／「上野動物園トラ大使ワークショップ1」（平成29年6月25日、上野動物園）／「円山動物園わくわく動物園マップ」（平成29年7月8日、円山動物園）／「上野動物園サマースクール」（平成29年7月21日、22日、上野動物園）／「円山動物園わくわく動物園マップ」（平成29年8月11日、円山動物園）／「上野動物園トラ大使ワークショップ2」（平成29年8月15日、上野動物園）／「円山動物園わくわく動物園マップ」（平成29年10月28日、円山動物園）／「ツノツノだれのツノ」（平成29年11月19日、金沢動物園）／「上野動物園トラ大使ワークショップ3」（平成30年1月20日、上野動物園）／「この耳だれの耳」（平成30年2月10日、円山動物園）／「上野動物園トラ大使ワークショップ4」（平成30年2月17日、上野動物園）／「円山動物園わくわく動物園マップ」（平成30年3月24日、円山動物園）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞AIRDOのCIマニュアルの改定「株式会社AIRDO CIマニュアル改定」（平成29年9月～平成30年6月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／就航20周年記念ステッカーのデザインコンペ「株式会社AIR DO　就航20周年「叶える翼」ステッカー」（平成29年12月～平成30年6月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／Webデザイナー教育推進委員会 委員長（平成29年4月～平成30年3月、画像情報教育振興協会）

柿山　浩一郎
＜調査研究報告書＞1.次世代冷蔵庫の操作部研究と評価（平成30年3月、札幌市立大学）
＜学会発表＞1.地域創生デザインの為のGPSロガー開発－試作と試用を通した設計－（共同、平成29

年9月、日本感性工学会）
＜学会シンポジウム＞1.2017年度 日本デザイン学会第1支部大会「ガクガク連携の成功と失敗」（平成29年10月、日本デザイン学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究（2件、日本デザイン学会）
＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（理事）／日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会委員）／日本デザイン学会（研究推進委員会委員）／日本デザイン学会（評議委員）／日本日本感性工学会（論文編集委員会論文編集委員）
＜学術集会運営＞日本デザイン学会第64回春季研究発表大会／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2018／第22回日本統合医療学会（準備）
＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／日本教育工学会

椎野　亜紀夫
＜学術論文＞1.保育施設利用から見た面積狭小公園再評価の手法に関する検討（単著、平成29年5月、ランドスケープ研究Vol.80 No.5、80巻、5号、pp.489－492）／2.こども環境学会2017年大会報告 分科会A自然と体験活動（単著、平成29年8月、こども環境学研究Vol.13 No.2）／3.講演会「日本一変わっている花園・陽殖園－ランドスケープ遺産・北の造園遺産－（共著、平成30年1月、ランドスケープ研究Vol.81 No.4）
＜学会発表＞1.保育施設利用から見た面積狭小公園再評価の手法に関する検討（単独、平成29年5月、H29年度日本造園学会全国大会（神奈川））
＜学会シンポジウム＞1.分科会「自然と体験活動」コーディネーター担当（共同、平成29年5月、2017年度こども環境学会全国大会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.ランドスケープ研究（2件、日本造園学会）／2.こども環境学研究（1件、こども環境学会）
＜学会役員就任状況＞日本造園学会北海道支部（副支部長）
＜学術集会運営＞2017年度こども環境学会全国大会（北海道）／2017年度日本都市計画学会全国大会（北海道）
＜所属学会・研究会＞日本造園学会／日本都市計画学会／日本建築学会／こども環境学会

武田　亘明
＜その他の論文＞1.地域活性化と市民情報交流の現状（単著、平成29年10月、日本教育工学会、JSET17、4号、pp.77－82）
＜学会研究発表＞1.社会に開かれた教育課程とこれからの学びのデザイン（単独、平成30年3月、日本教育工学協会「教育の情報化」実践セミナー）
＜学会座長就任状況＞日本教育工学会全国大会島根大会（単独、平成29年9月、日本教育工学会）／日本教育工学協会全国大会和歌山大会（単独、平成29年11月、日本教育工学協会）
＜学会役員就任状況＞日本工学協会（理事）／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）
＜所属学会・研究会＞日本教育工学会／日本教育工学協会／情報処理学会／北海道中国哲学会／教育とコンピュータ利用研究会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「地域を見守る住民の集い」講演「情報の安全安心と地域教育力」（2017年7月20日、苫前町・苫前町教育会・苫前町防犯協会・苫前町青少年問題協議会・苫前町地域教育協議会）／全国中学高校Webコンテスト「第二次審査員」（平成29年12月、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会）

張　浦華
＜作品発表＞1.配食サービスのうつわ（単独、平成29年7月、北洋銀行ものづくりテクノフェア（アクセス札幌））／2.Tea bow（単独、平成29年9月、Asia Network Beyond Design 東京2017、東京工芸大学）／3.MAGNOLIA LEAF DISH（単独、平成29年10月、Asia Network Beyond Design WENZHOU 2017, Vison Art Gallery, Wenzhou University college of Fine and Design, China）／4.LIPPED JUG（単独、平成29年10月、Asia Network Beyond Design Yuniln 2017, Art Center,

National Yunlin University of Sience and Technology, Taiwan）／5.花瓶（単独、平成29年10月北星信用金庫　ウィンドウギャラリー）胡桃鉢（単独、平成29年10月、北星信用金庫 ウィンドウギャラリー）／6.大鉢（単独、オオバ皿（平成29年11月、北海道陶芸会展（ギャラリー大通美術館））／7.MAGNOLIA LEAF DISH WITH FLOWER PATTERN（単独、平成29年12月、Asia Network Beyond Design ソウル2017, REAM GALLERY at DREAM FOREST ART CENTER, Seoul, Korea）／8.配食サービスのうつわ（単独、平成30年1月、北海道新聞本社イベントスペース）／9.Tea bowl with colorfull twill weave（単独、平成30年3月、Asia Network Beyond Design 2017ミュンヘン特別展（Museum Fünf Kontinente））

＜学会招聘講演＞1.International Forum on New Concept in Contemporary Asian Design Education（単独、平成29年6月、武漢理工大学）

＜学会研究発表＞1.配食サービスにおける新たな食事スタイルの提案（平成29年6月、北洋銀行ものづくりテクノフェア（アクセス札幌））／2.プチビュッフェスタイル配食システムの提案（平成29年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会役員就任状況＞北海道陶芸作家協会（理事）／アジアネットワークビヨンドデザイン 日本（特任理事）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2018

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／北海道陶芸会／アジアネットワークビヨンドデザイン 日本

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第50回北海道陶芸作家協会展の運営企画（平成29年4月、北海道陶芸会）／第50回北海道陶芸作家協会展印刷物デザイン（平成29年6月、北海道陶芸会）／2017アジアネットワークビヨンドデザイン国際展（平成29年9月、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD））／2017 アジアネットワークビヨンドデザイン国際展記念講演 翻訳（平成29年9月9日、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD））

藤木　淳

＜他大学紀要＞1.Primitive Order－組成される感覚/世界（共著、平成29年12月、AMCJournal vol.2、東京藝術大学芸術情報センター発行、2巻、2017号、pp.34－49）

＜作品発表＞1.OLE Coordinate System（単独、平成29年5月、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳　個展－」）Incompatible BLOCK他（単独、平成29年5月、みやざきアートセンター企画展「不可思議の体験展－藤木淳　個展－」）／2.fairyer（単独、平成29年5月、「花の芸術祭」展覧会企画展示『花の妖精たち』、ハウステンボス美術館）／3.OLE Coordinate System（単独、マテリアライゼーションシリーズ他（単独、平成29年7月、「イリュージョンの科学とアート展」、熊本県立美術館）／4.『ゲームキョウカイ』の修復プロジェクト共著（共同）、平成29年10月、東京都現代美術館企画展 「MOTサテライト 2017秋 むすぶ風景」、東京都現代美術館サテライト会場）／5.ethroid共著（共同）平成29年11月、SIGGRAPH Asia 2008 Art Gallery）／6.非現実的な実写映像生成のための方法論の研究（単独、平成29年12月、東京藝術大学芸術情報センター主催「N/O/W/H/E/R/E － ニューメディアの場所(ユートピア)をめぐって」）in-side-out他（単独、平成29年12月、東京藝術大学芸術情報センター主催「N/O/W/H/E/R/E － ニューメディアの場所(ユートピア)をめぐって」）／7.P055E5510N（単独、cellroid他（単独、平成30年1月、文化庁メディア芸術祭愛知展）／8.作品集映像（単独、平成30年1月、「札幌市立大学のアイデア展－デザインと看護でできることー」、北海道新聞社本社1階イベントスペース「DO-BOX」）

＜特許・意匠登録＞色表示モジュール及び立体構造物（平成29年8月）

＜受賞等＞1.第21回文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品選出（平成30年3月、文化庁／文化庁メディア芸術祭実行委員会）

＜学会招聘講演＞1.ethroid（単独、平成29年11月、siggraph asia）

＜学会役員就任状況＞ADADA Japan 2017（プログラム委員）

＜所属学会・研究会＞日本バーチャルリアリティ学会

＜講演会・講習会活動＞アーティストトーク（平成29年5月27日、みやざきアートセンター）／ワークショップ「プログラミングにチャレンジ！－つくってみよう『POSSESSION』－」（平成29年5月27日、みやざきアートセンター）／講演「脳内空間の設計」（平成29年7月16日、イリュージョンの科

学とアート展実行委員会）／ワークショップ「放課後の学び場／夏休みプログラミングクラス」（平成29年7月28日、8月4日、8月21日、Cocoon Parents Square）／アーティストトーク（平成29年10月14日、東京都現代美術館）／アーティストトーク「第23回学生CGコンテスト 部門別トークイベント（アート部門）」（平成30年2月16日、CGアーツ）／アーティストトーク「第23回学生CGコンテスト パフォーマンス・インタラクティブアート・インスタレーショントーク」（平成30年2月17日、CGアーツ）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞CG-ARTS主催学生CGコンテンスト評価員として作品審査をおこなった（平成29年10月24日～11月8日、CGアーツ）

松井　美穂
＜学会発表＞1.Queer Eyes: Cross-Gendering, Cross-Dressing, and Cross-Racing MissAmelia Amelia（単独、平成29年7月、Carson McCullers in the World:A Centenary Conference）
＜学会シンポジウム＞1.戦争のメンバーー第二次世界大戦とCarson McCullers（単独、平成29年12月、日本アメリカ文学会北海道支部）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.アメリカ文学（4件、日本アメリカ文学会）／2.札幌市立大学紀要（1件）
＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学会北海道支部（幹事）／日本アメリカ文学会（編集委員）
＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本アメリカ文学会／日本カナダ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会北海道支部／アメリカ学会／Carson McCullers Society／Faulkner Society

三谷　篤史
＜作品発表＞1.高齢者の健康を守る，看護基礎技術教育用口腔ケアシミュレータ（共同、平成29年8月、イノベーション・ジャパン2017）
＜特許・意匠登録＞車椅子用肘掛けクッション（平成29年9月）／車椅子用クッション（平成29年9月）
＜学会発表＞1.口腔ケアシミュレータモデルの開発 - 現場が期待することの分析（共同、平成29年4月、第14回口腔ケア学会）／2.Development of Visual Memory Training Tool Based on Mechatronics System Embedded Building Blocks（共同、平成29年7月、IEEE AIM2017）／3.Educational effectiveness of robot contest for students in design education（単独、平成29年9月、E&PDE2017）／4.老年期と青年期の女性における歩行時に 身体に生じる振動の比較（共同、平成29年10月、第4回看護理工学会）／5.Development of Oral Care Simulator for Fundamental Technical Education in Nursing（共同、平成30年3月、WCSM2018）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.IEEE ROBIO2017（3件、IEEE）／2.札幌市立大学紀要（1件）／3.WCICA2018（4件、IEEE）／4.Mercon2018（1件、IEEE）／5.sensor2017（3件、IEEE）
＜学会役員就任状況＞日本機械学会（ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員会幹事）／精密工学会（広報情報専門部会委員）／精密工学会北海道支部（商議員）／日本トライボロジー学会（北海道トライボロジー研究会主査）
＜学術集会運営＞精密工学会2018年度秋季全国大会／第22回日本統合医療学会学術集会／感性フォーラム札幌2018／精密工学会北海道支部学術講演会
＜所属学会・研究会＞日本機械学会／日本ロボット学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／日本感性工学会／アメリカ電気電子学会(IEEE)／看護理工学会／北海道トライボロジー研究会
＜講演会・講習会活動＞もいわ自由学校「走れ！ロボットカー」（平成29年8月4日、もいわ地区センター）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞道内のトライボロジー研究者対象の会社見学会を実施「平成29年第1回研究会」（平成29年6月28日、北海道トライボロジー研究会）／国際福祉機器展2017における展示活動への支援（平成29年9月27日～29日、フィールド・クラブ）／海外観光客向けランプシェードのデザイン協力（平成29年11月7日～12月20日、清水勧業株式会社）／口腔ケアシミュレータに関するレクチャー「アスティ歯科クリニック忘年勉強会」（平成29年12月27日、アスティ歯科クリニック）／口腔ケアシミュレータに関するレクチャー（平成30年3月27日、St George’s University

Hospitals NHS Foundation Trust）／口腔ケアシミュレータに関するレクチャー（平成30年3月29日、Public Health Wales）／サッポロ・ロボットコーナーにおける作品等展示（平成29年4月～平成30年3月、札幌市青少年科学館）

山田　信博

＜著書＞1.福祉転用による建築・地域のリノベーション（共著、平成30年3月、学芸出版社、4761532386、pp52－53）
＜受賞等＞1.大会デザイン研究発表賞（平成29年9月、日本建築学会）
＜学会発表＞1.S歯科医院のデザイン（単独、平成29年9月、日本建築学会）
＜所属学会・研究会＞日本建築学会／北海道都市地域学会／日本居住福祉学会
＜講演会・講習会活動＞低炭素コミュニティ×モビリティシンポジウム（平成29年10月21日）「地域福祉が求めるコミュニティ」（平成29年10月21日、特定非営利活動法人 エコ・モビリティ サッポロ）／モビリティから考える真駒内まちづくりシンポジウム（平成29年10月22日）「真駒内エリアのアクセス」（平成29年10月22日、特定非営利活動法人 エコ・モビリティ サッポロ）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞地域主導型共生兼社会的弱者対策先行モデル開発事業（平成29年10月10日、エコモビリティさっぽろ）／札幌受付センターコンペの取りまとめ、審査委員長（平成29年11月25日、SCSKサービスウェア）／真駒内地域におけるまちづくりの検討に係る協議会

山田　良

＜著書＞1.北欧文化事典（共著、平成29年10月、丸善出版、978-4-621-30171-5、pp107－110、122－123）
＜作品発表＞1.桑園ヴィレッジ（平成29年6月）／2.ポンペツ芸術要塞（平成29年8月）／3.Rovaniemi, Environmental Art Project（平成29年9月）／4.レラ・コタンプロジェクト（平成30年2月）／5.風の家（平成30年3月）
＜受賞等＞1.World Architecture News Awardsグランプリ（平成30年2月、World Architecture News）
＜学会発表＞1.あるはずのない道／富内線（平成29年9月、環境芸術学会）／2.風の家（平成29年9月、アートミーツケア学会）
＜学会座長就任状況＞建築作品発表会（平成29年11月、日本建築学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術（5件、環境芸術学会）
＜学会役員就任状況＞環境芸術学会（北海道支部長）／北海道芸術学会（理事）／日本建築学会（作品選集委員）／日本建築学会（設計競技審査委員会）
＜所属学会・研究会＞環境芸術学会
＜講演会・講習会活動＞景観まちづくり塾／フィンランンド国際ワークショップ／伊達市廃校再利用ワークショップ
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新築病院のデザイン指導（札幌渓仁会病院）／HKデザインアワード企画および審査委員長（北海鋼機㈱）

石田　勝也

＜作品発表＞1. Space Moere（共同、平成29年8月、札幌国際芸術祭（ARTSAT×SIAF Lab））／2.沼紋（共同、平成29年8月、札幌国際芸術祭（大黒淳一×SIAF Lab））
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞HBCアナウンサーによる親子向け絵本朗読会「よみドキッ」（平成30年2月25日、北海道放送株式会社）

大島　卓

＜学術論文＞1.近代化産業遺産としての認識に向けた農畜産業施設の歴史的展開に関する研究（単著、平成29年10月、ランドスケープ研究（オンライン論文集）、10巻、pp168－175）
＜学会発表＞1.福島県岩瀬牧場にみる歴史的農畜産業施設の空間的特性の形成過程（単独、平成29年5月、平成29年度日本造園学会全国大会）／
2.北海道七重官園の空間的特徴に関する研究（単独、平成29年10月、日本造園学会北海道支部大会）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会
＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本造園学会

大渕　一博
＜調査研究報告書＞1.平成29年度 受託研究報告書「ユニバーサルデザイン視点からの円山動物園におけるアプローチデザイン研究」（共著、平成30年2月、札幌市立大学、p20-21を除く全ページ）
＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事：会計担当）
＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2018／日本感性工学会北海道支部 学生発表会
＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本教育工学会／日本感性工学会／日本医療情報学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市長グリーティングカード デザイン審査会「札幌市長グリーティングカード デザイン審査会」（平成29年10月27日、札幌市国際部）／展示パネル制作協力「産学官金連携交流会」（平成29年11月29日、株式会社伊藤塗工部、札幌市立大学）／イベントで使用するパネル制作協力「70（ななまる）マルシェ」（平成30年1月27日～28日、札幌の美しい景観を考える会）／所属メンバーへのソフトウェア利用に関する個別指導等（随時、札幌イメージコーディネート研究会）

片山　めぐみ
＜学術論文＞1.オープンスペースでのククーニングに注目したひとり空間の分析:パーソナルスペースをしつらえる家具の提案に向けて（共著、平成30年2月、日本建築学会技術報告集、24巻、56号、pp.323－328）
＜調査研究報告書＞1.シニアが活躍する地域づくりに関する調査研究報告書（共著、平成29年12月、公益財団法人北海道市町村振興協会）
＜学会発表＞1.拡張キャンパス型地域創生デザインの概念（平成29年6月、日本デザイン学会研究発表大会）／2.コミュニティレストランにおけるソーシャルキャピタルの醸成（平成29年11月、日本世代間交流学会大会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／3.デザイン学研究（3件、日本デザイン学会）
＜学会役員就任状況＞日本建築学会（都市計画委員）
＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究会／JSAI2017（人工知能学会2017年度大会）「仕掛学OS」
＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会研究発表大会／日本デザイン学会
＜講演会・講習会活動＞倫理法人会札幌主催講演会「デザインの視点を地域貢献に～ソーシャルビジネスのススメ」（平成30年2月8日、倫理法人会）

金　秀敬
＜学術論文＞1.Towards Enhanced Affective Design: Rethinking the Notion of Design（共著、平成29年7月、IOP Conference Series: Materials Science and Engineering、234巻、1号、pp.1－6）／2.Design for Transformation by Minding the Gap between Visual and Olfactory Perception（単著、平成29年10月、The Proceedings of World Design Summit）／3.アイデアグッズに着目した好みに影響する評価要素に関する研究（共著、平成30年2月、日本感性工学会集）／4.Designing User Experience Focused on Multimodal Perception（単著、平成30年3月、The Proceedings of Kansei Emmotio & Engineering Research、ISBN:978-91-7685-314-6、pp454－463）／5.拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」（平成30年6月）（共著、平成30年3月、日本デザイン学会集、DOI: https://doi.org/10.11247/jssd.65.0_538）／6.エゴグラムに見るアートプロジェクト型ワークショップの効果（平成30年6月）（共著、平成30年3月、日本デザイン学会集、DOI:https://doi.org/10.11247/jssd.65.0_138）／7.地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価（平成30年6月）（共著、平成30年3月、日本デザイン学会集、DOI: https://doi.org/10.11247/jssd.65.0_144）／8.Enhancing User Experience with Embodied Cognition（平成30年10月）（単著、平成30年3月、The Proceedings of IHSED）
＜調査研究報告書＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の検証

（共著、平成30年3月、札幌市立大学研究論文集）／2.「知覚情報間「干渉構造」に着目した「マルチモーダル評価モデル」提案に関する実証研究」H29年度科学研究実績報告書（平成30年5月）（単著、平成30年3月、独立行政法人日本学術振興会）／3.「「情報干渉」に着目した、複数知覚情報の検証と応用方法に関する研究」平成29年度公立大学法人札幌市立大学（個人研究）成果報告書（平成30年4月）（単著、平成30年3月、公立大学法人札幌市立大学）／4.「「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究」H28年度科学研究実績報告書（平成30年5月）（共著、平成30年3月、独立行政法人日本学術振興会）

＜学会発表＞1.Design for Transformation by Minding the Gap between Visual and Olfactory Perception（単独、平成29年10月、World Design Summit）／2.アイデアグッズに着目した好みに影響する評価要素に関する研究（共同、平成30年2月、日本感性工学会北海支部）／3.Designing User Experience Focused on Multimodal Perception（単独、平成30年3月、KEER）／4.拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」（共同、平成30年3月、日本デザイン学会（平成30年6月））／5.エゴグラムに見るアートプロジェクト型ワークショップの効果（共同、平成30年3月、日本デザイン学会（平成30年6月））／6.地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価（共同、平成30年3月、日本デザイン学会（平成30年6月））／7.Enhancing User Experience with Embodied Cognition（単独、平成30年3月、IHSED（採択すみ））

＜学会研究発表＞1.有資格ボランティアと大学教員の協働による健康支援活動ー「まちの健康応援室」の取り組みー（共同、平成29年8月、学内研究交流会）／2.「情報干渉」に着目したモノコト評価指標の構築（単独、平成29年8月、学内研究交流会）／3.ACP国際WS成果報告（平成30年6月）（共同、平成30年3月、オープンキャンパス）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.The Proceedings of E&PDE（3件、E&PDE）／2.International Journal of Affective Engineering（平成29年1月）（1件、日本感性工学会）／3.日本感性工学会の論文（1件、日本感性工学会）

＜学術集会運営＞日本感性工学会北海道支部／デザイン学会第1支部大会

＜所属学会・研究会＞The Design Society／The Design Principles&Practices Research Network／日本デザイン学会／日本感性学会

小宮　加容子

＜作品発表＞1.かたるべの森プロジェクト紹介（共同、平成29年10月、札幌市立大学・北海道立総合研究機構 知活ゼミナール 研究活動展）

＜受賞等＞1.第10回キッズデザイン賞復興支援デザイン部門 遊びのワークショップ「イロイロカタチ」（平成29年8月、キッズデザイン協議会）

＜学会発表＞1.色と形から想像し発展させる構成遊び「イロイロカタチ」の活動報告（共同、平成29年6月、日本デザイン学会第63回研究発表会）／2.思いやりの気持ちを育む遊び「たいようキラキラ花さかキッズ」の活動報告（共同、平成29年6月、日本デザイン学会第63回研究発表会）

＜学会研究発表＞1.パーツの色や形から見立てたものを組み立てる遊び「イロイロカタチ」の活動報告（共同、平成29年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究（1件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会）

＜所属学会・研究会＞ヒューマンインタフェース学会／日本科学看護学会／日本リハビリテーション工学協会／日本機械学会／日本福祉のまちづくり学会／玩具福祉学会

須之内　元洋

＜作品発表＞1.NMAライブビデオアーカイブ（共同、平成29年8月、札幌国際芸術祭2017）

＜学会発表＞1.Predictive autocomplete tool for orchid’s scientific name using open web API to support horticultural communities and activities（単独、平成29年11月、WOC22）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.DAFx17（1件、DAFx）／2.SCU紀要（1件）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／情報処理学会／芸術科学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（みずのき美術館）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援

（鞆の津ミュージアム）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（はじまりの美術館）／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイヴ構築アドバイス・支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／アートプロジェクト活動のアーカイブ企画・運用支援（NPOアートフル・アクション）／アートとリサーチセンターの運営支援、ボランティア運営システムの構築など（札幌国際芸術祭実行委員会）／アール・ブリュットアーカイブに関するフォーラムの運営・モデレーターなど（日本財団）／天神山アートスタジオのウェブ広報支援（一般社団法人AISプランニング）／ラジオ番組の選曲企画・選評（株式会社QON）

福田　大年

＜調査研究報告書＞1.飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究－北方圏ゾーンのグランドデザインと園内施設のサインデザインの監修－（共著、平成30年3月、札幌市立大学、pp50－69）

＜作品発表＞1.Tap Behavior Toolkit（共同、平成30年2月、Tap Behavior 2018）

＜学会発表＞1.多様な当事者が参加するデザイン活動を活性化させるためのスケッチ活用に関する考察（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季研究発表大会）／2.参加型デザインの実践による当事者とのアイデアの共創（共同、平成29年7月、日本デザイン学会第64回春季研究発表大会）／3.参加型デザインを用いた未来の暮らしの創出とデザイン手法の考察（共同、平成29年10月、2017年度日本デザイン学会秋季企画大会）／4.参加型デザインを用いた未来の暮らしの創出とデザイン手法の考察（共同、平成29年12月、第1回共創学会年次大会）

＜学会研究発表＞1.tap behaviorプロジェクトーアナログ素材とデジタル技術を組み合わせ、地域資源を「発掘、創出、楽しむ」ことを喚起するモノ・コトづくりー（単独、平成29年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会2018年度作品集（2件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（第1支部会平成28・29年度幹事）／日本デザイン学会（平成28・29年度評議員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／日本福祉のまちづくり学会／情報文化学会／共創学会

＜講演会・講習会活動＞第1回円山動物園わくわく動物園マップ（平成29年7月8日、札幌市立大学）／第2回円山動物園わくわく動物園マップ（平成29年8月11日、札幌市立大学）／第3回円山動物園わくわく動物園マップ（平成29年10月28日、札幌市立大学）／この耳だれの耳（平成30年2月10日、札幌市立大学）／第4回円山動物園わくわく動物園マップ（平成30年3月24日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「オーラルケア事業創出プロジェクトにおけるリサーチおよびサービスプロトタイピング業務」にかかるリサーチ分析（平成29年3月～6月、9月～12月、株式会社アイ・エム・ジェイ）／財団施設配布物のフッターデザインの制作（平成29年7月～8月、一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団）／自主事業におけるマーケティング支援（平成29年12月～平成30年3月、一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団）

松永　康佑

＜受賞等＞1.研究奨励賞（平成29年11月、ADADA Japan 2017）／2.研究奨励賞（平成29年11月、ADADA Japan 2017）／3.研究奨励賞（平成29年11月、ADADA Japan 2017）／4.研究奨励賞（平成29年11月、ADADA Japan 2017）

＜学会発表＞1.二次元セルアニメにおける要素を付帯した三次元CG 表現（共同、平成29年11月、ADADA Japan 2017）／2.高齢者のロコモ予防を目的としたトレーニングゲームの開発（共同、平成29年12月、ADADA Japan 2017）／3.物理挙動を付加した巨大な人型ロボットのキャラクターアクション（共同、平成29年12月、ADADA Japan 2017）／4.2.5次元空間（共同、平成29年12月、ADADA Japan 2017）／5.in:darkーインダーク（共同、平成29年12月、ADADA Japan 2017）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ADADA International Journal（4件、ADADA）／2.札幌市立大学紀要（1件）

＜学術集会運営＞ADADA Japan 2017

＜所属学会・研究会＞ADADA学会（アジアデジタルアートアンドデザイン学会）

金子　晋也

＜学術論文＞1.函館市西部地区における町家型戸建住宅の構成（共著、平成29年6月、SCU journal of Design & Nursing、1巻、11号、pp.41－46）／2.根室市西和田地区における畜舎の小屋組みの構法的特徴（共著、平成29年6月、SCU journal of Design & Nursing、1巻、11号、pp.85－92）／3.都市における高層建築の形態と構成に関する研究（共著、平成29年6月、SCU journal of Design & Nursing、1巻、11号、pp.93－99）／4.ARRANGEMENT AND TERMINOLOGY OF THE MAIN STRUCTURAL MEMBERS OF THE UNDERSTRUCTURE IN JAPANESE AND BRITISH VERNACULAR HOUSES（共著、平成29年10月、日本建築学会計画系論文集、740号、pp.2553－2563）

＜調査研究報告書＞1.北海道過疎地域における地域包括ケアからみたまちづくりのあり方に関する基礎研究（共著、平成29年8月、札幌市立大学）／2.生活表象からみた都市住宅地の水環境に配慮した外構のあり方（共著、平成29年12月、住総研、44巻、pp.73－84）／3.地域資源を活用した都市空間におけるストリートファニチャーの研究と計画－西2丁目地下歩道の賑わいを目的としたストリートファニチャー（単著、平成30年2月、札幌市立大学）／4.COC最終成果報告書（共著、平成30年3月、札幌市立大学、pp.54－57）

＜学会発表＞1.羅臼町カモイウンベ地区における漁業小屋の空間構成（共同、平成29年9月、日本建築学会）／2.日英の伝統民家架構における広間・ホールと隣接部分の関係　日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その4（共同、平成29年9月、日本建築学会）／3.北海道の過疎地域に在住する高齢者の生活実態 A市の場合（共同、平成29年10月、北海道公衆衛生学会）

＜学会研究発表＞1.北海道過疎地域における地域包括ケアからみたまちづくりのあり方に関する基礎研究（共同、平成29年8月、札幌市立大学学内研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会論文集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／3.SCU journal of Design & Nursing（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（計画委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会木造建築構法小委員会研究会／日本建築学会建築計画ワーキング比較木造建築研究会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／日本生活学会／在宅ケア学会／NPO木の建築フォラム

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「学童保育所の計画」（平成29年4月～8月、社会福祉法人岳州会 めぐみ保育園）／札幌市立大学デザイン学部休憩施設に関するデザイン監修「休憩施設に関するデザイン監修」（平成29年4月～9月、武部建設）／北の民家の会における講演「民家再生に学ぶ」（平成29年6月17日、北の民家の会）／水環境ワークショップ「水環境ワークショップ」（平成29年8月3日～4日、水環境研究会）／古民家再生計画に関するデザインアドバイス「古民家再生計画に関するアドバイス」（平成29年8月～9月、厚真町）／ねむろ健康保健まつり「ねむろ健康保健まつり」（平成29年9月3日、根室市）／SCSK札幌受付空間コンペ審査委員「SCSK札幌受付空間コンペ」（平成29年11月25日、SCSKサービスウェア）／ストリートファニチャー設置に関するデザイン監修（平成30年3月、札幌市土木課）／「簾舞地区のロゴマーク活用」（平成30年3月22日～30日、簾舞まちづくり協議会）

矢久保　空遥

＜調査研究報告書＞1.次世代冷蔵庫の操作部研究と評価（平成30年3月、札幌市立大学デザイン学部）

＜学会発表＞1.地域創生デザイン為GPSロガー開発 試作と試用を通した設計（共同、平成29年9月、第19回日本感性工学会）／2.拡張キャンパス型地域創生デザインの概念（共同、平成29年6月、日本デザイン学会 第64回春季研究発表大会）

＜学術集会運営＞日本感性工学会　感性フォーラム札幌

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ゴムを用いた北海道土産の企画立案（株式会社ミツウマ）／新たな教育体制に適応した什器デザインの学生コンペ実施に係る諸業務（イチムラ株式会社）／冷蔵庫のユーザインターフェースの評価・デザイン（三菱電気）

看護学部

樋之津　淳子

＜学会発表＞1.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果 第1報 看護過程論初回講義の聴講から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／2.看護基礎教育に中堅看護師が参加したことによる学生の教育効果 第2報 援助的人間関係論演習場面の見学から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／3.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第1報直後のグループディスカッションから（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／4.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第2報 研修後1か月の研修参加者によるグループインタビュー結果から（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／5.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第3報 看護師長へのインタビューから（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／6.同一姿勢保持時の苦痛に対する介入（第1報）－足浴の効果－（共同、平成29年8月、日本看護研究学会第43回学術集会）／7.同一姿勢保持時の苦痛に対する介入（第2報）－温罨法の効果の持続性－（共同、平成29年8月、日本看護研究学会第43回学術集会）／8.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る-大学と医療施設のつながりから看護職を支援するために－（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／9.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果と期待－看護管理者の視点から－（共同、平成29年10月、日本看護学会（看護管理））

＜学会座長就任状況＞看護後術教育とテクノロジー（看護理工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護人間工学研究誌（2件、日本人間工学会看護人間工学部会）／2.日本看護研究学会（2件、日本看護研究学会）／3.日本看護技術学会（1件、日本看護技術学会）／4.第35回日本看護科学学会学術集会講演集（5件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護技術学会（評議員）／看護理工学会（評議員・監事）／日本看護研究学会（北海道地方会役員）／日本看護研究学会（評議員）／日本人間工学会看護人間工学部会（総務）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本人間工学会／日本人間工学会看護人間工学部会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護協会継続教育のあり方検討委員会委員（北海道看護協会）／研究会の運営委員、意見交換（北のケア環境研究会）

松浦　和代

＜学術論文＞1.NICUにおける入院児の親性に対するエキスパート看護師のアセスメントの視点と看護（共著、平成29年4月、日本新生児看護学会誌、23巻、1号、pp.9－15）／2.小児看護OSCEの取組みの実態と研修会ニーズに関する調査（共著、平成30年3月、一般社団法人日本看護学教育学会、27巻、3号、pp.29－37）

＜調査研究報告書＞1.小児用木製病室ユニットに関する感応評価第2報（共著、平成30年2月、札幌市立大学看護学部）

＜その他の論文＞1.病院の木質化に期待できること（単著、平成29年10月、医療福祉建築、197巻、p.9）

＜作品発表＞1.日本看護管理学会企業展示・小児用木製病室ユニット（平成29年10月）

＜学会発表＞1.小児看護OSCE研修会開催後の結果とネットワークの活用にむけた調査（共同、平成29年8月、日本小児看護学会第27回学術集会）／2.広域医療圏における新生児集中ケア認定看護師間の地域ネットワーク構築に関する意識調査 第1報（共同、平成29年10月、第27回日本新生児学会学術集会）／3.広域医療圏における新生児集中ケア認定看護師間の地域ネットワーク構築に関する意識調査 第2報～看護師長への質問紙調査より～（共同、平成29年10月、第27回日本新生児学会学術集会）／4.Health Education that Breaks Through Language Barriers:Prototyping and Evaluation of Childcare-related ICT Self Learning Resource（共同、平成29年10月、IASDR2017conference）

＜学会シンポジウム＞1.10代の生と性を守る教育実践（第52回北海道学校保健学会）

＜学会座長就任状況＞小児看護（平成29年8月、日本小児看護学会第27回学術集会）／小児看護（平成29年12月、日本看護科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児看護学会学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）／2.日本

看護科学学会学術集会講演集（5件、日本看護科学学会）／3.日本糖尿病教育・看護学会学術集会講演集（4件、日本糖尿病教育・看護学会）／4.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会）／5.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）
＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（評議員）／日本看護科学学会（社員（代議員））／全国病弱教育研究会（北海道ブロック世話人）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道学校保健学会（評議員）／北海道小児保健研究会（幹事）
＜学術集会運営＞第96回北海道医学大会 学校保健分科会第52回北海道学校保健学会／第29回日本小児看護学会
＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健協会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本母性衛生学会／日本看護管理学会／日本新生児看護学会／北海道学校保健学会／北海道成育看護研究会／北海道小児保健研究会
＜講演会・講習会活動＞(株)クレオテック ACU学びシェアキッズワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」（平成29年11月23日、株式会社クレオテック）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実地指導者研修講義「実地指導研修」（平成29年6月16日・2日間、札幌医科大学）／2017年度研究会開催への支援「子どもの貧困」（2017年9月1日、北海道成育看護研究会）／病室木質インフィル試作品企業展示「木質化病室」（平成29年10月13日・2日間、渡島地域病院木質化検討委員会）／子どもの権利、倫理的問題、児童虐待の防止策や対応策「小児看護研修」（平成29年10月25日・2日間、手稲渓仁会病院）

宮﨑　みち子
＜学会発表＞1.日本における児童虐待と医療ケアー医療ネグレクトをめぐる法制度の動向ー（共同、平成29年5月、2017国際看護師協会4年毎大会）／2.助産師教育におけるOSCE:分娩介助（共同、平成29年6月、第31回国際助産師協会3年毎大会）／3.性暴力被害者の健康保護と刑法改正の動き（共同、平成29年8月、第23回世界医事法学会）／4.性暴力被害者支援センター北海道SACRACHーセンター開設4.5年間の活動実態ー（共同、平成29年8月、第36回日本思春期学会）／5.「装着型産褥子宮モデル」を活用した子宮復古の観察場面における看護学生の学習効果（共同、平成29年10月、第58回日本母性衛生学会）／6.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題ー5年間の評価ー（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会）／7.酪農王国、別海町母子健康センター活動の課題を探る（共同、平成30年1月、21st East Asian Forum of Nursing Scholars）／8.妊婦としてケアを受けた模擬患者の印象ー助産学OSCEにおいて（共同、平成30年1月、21st East Asian Forum of Nursing Scholars）／9.Correlation between Teacher Evaluation and Stimulated Patient Impressions of Midwifery Student Care during OSCE-from OSCE for Prenatal Checkups（共同、平成30年1月、21st East Asian Forum of Nursing Scholars）／10.助産師教育におけるOSCE：分娩介助（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／11.客観的臨床能力試験（OSCE)における教員評価と学生評価からみた今後の指導内容の検討（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／12.客観的臨床能力試験（OSCE)課題「出生直後の新生児の観察」における助産学生の自己評価の実態（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.母性衛生（1件、日本母性衛生学会）
＜学会役員就任状況＞北海道母性衛生学会（理事）
＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護倫理学会／日本医事法学会／世界医事法学会／日本思春期学会／生命倫理学会

中村　惠子
＜学術論文＞1.Accuracy of fall risk predicting in hospital. Evaluate of fall risk behavior assessment tool by case control study（共著、平成29年10月、Journal of Medical Safety、2017巻、pp51－56）／2.入院患者の転倒リスクが高い行動の分析（共著、平成29年11月、日本看護研究学会雑誌、40巻、4号、pp.657－665）
＜その他の論文＞1.看護教育・継続教育とシミュレーション～技術トレーニングの可能性（単著、平成29年7月、応用心理学研究、43巻、1号、pp.90－100）
＜学会発表＞1.東北・北海道圏にある産科関連施設の助産師への継続教育状況（共同、平成29年8月、

日本看護研究学会第43回学術集会）／2.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果第1報（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／3.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果第2報－研修後1月の研修参加者のグループインタビューから（共同、平成29年8月、同上）／4.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／5.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果第2報－援助的人間関係論演習場面の見学から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／6.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the Fall Risk Behavior Assessment Tool (FRBA-Tool) for prediction of the risk of fall（共同、平成29年9月、6th World Congress of Clinical Safety）／7.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の工科と期待（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会－看護管理）

＜学会座長就任状況＞特別講演－脳科学が導く新たな世界（単独、平成29年10月、第19回日本救急看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第37回日本看護科学学会学術集会（4件、日本看護科学学会）／2.第21回日本看護管理学会学術集会（5件、日本看護管理学会）／3.日本看護学教育学会第28回学術集会（5件、日本看護学教育学会）／4.第29回日本臨床救急医学会総会・学術集会（10件、日本臨床救急医学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（社員）／日本看護管理学会（理事）／日本看護学教育学会（評議員）／札幌がんセミナー（社員）／日本看護協会（専門看護師認定実行委員会委員長）／日本看護協会（専門看護師認定委員会委員）／NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会（地域の包括的な医療に関する研究会理事）

＜所属学会・研究会＞（公社）日本看護科学学会評議員／（一社）日本看護学教育学会評議員／（一社）日本看護救急学会名誉会員／（一社）日本クリティカルケア看護学会／看護コーチング研究会顧問／（公財）札幌がんセミナー評議員／（一社）日本看護管理学会理事／（一社）日本看護研究学会理事／（一社）日本臨床救急医学会名誉会員／NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会理事／北のケア環境研究会会長

＜講演会・講習会活動＞副看護師長研修「看護管理」（9月5日、旭川医科大学病院看護部）

猪股　千代子

＜学術論文＞1.こころ・体・霊性を調え癒すケアの実践・教育・研究体験を通して考察する「統合医療のパワー」論点：統合医療の理念は現代西洋医学を超えることが可能か否か（単著、平成29年5月、日本統合医療学会誌、10巻、1号、pp.77－85）

＜学会発表＞1.母親役割を持つ看護師のワーク・エンゲイジメントとその関連要因（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会）／2.病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修の効果 第1報（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会）／3.病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修の効果 第2報（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会）／4.病棟看護師のケアリング力を育成する看護師長の認識（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会）／5.定年退職後看護師の再就労時の動機づけ要因の実態（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会）／6.病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修プログラムの評価（第1報）－アロマ及びヨーガを用いた研修の効果（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）／7.病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修プログラムの評価（第2報）－アロマ研修に焦点をあてて（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）／8.病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修プログラムの評価（第3報）－ヨーガ研修に焦点をあてて（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）

＜学会シンポジウム＞1.自然の回復過程を調える看護の探求－統合医療における看護の位置づけを求めて（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞日本統合医療学会サマーセミナー座長（共同、平成29年7月、日本統合医療学会）／日本統合医療学会教育セミナー座長（単独、平成29年10月、日本統合医療学会）／私の統合医療体験講演と対談（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本医療マネジメント学会（5件、日本医療マネジメント学会）／2.第48回日本看護学会看護管理学術集会（30件、日本看護学会）／3.日本統合医療学会誌（5件、日本統合医療学会）

＜学会役員就任状況＞日本統合医療学会（理事）／日本医療マネジメント学会（評議員）／日本看護管理学会（評議員）／日本統合医療学会北海道支部会（副支部長）／北海道統合医療研究会（会長）／ハマナス音楽＆看護療法研究会（会長）
＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術大会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本統合医療学会／日本看護教育学会／日本統合医療学会北海道支部会／北海道統合医療研究会／ハマナス・音楽＆看護療法研究会／日本医療マネジメント学会

小田　和美
＜学術論文＞1.看護演習科目へのルーブリック導入の効果 ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討 筆頭共著者以外（共著、札幌市立大学研究論文集、11巻、1号、pp.3－11）
＜著書＞1.慢性看護の患者教育（共著、平成30年1月、メディカ出版、978-4-8404-6484-0）
＜学会発表＞1.「褥瘡ケアの地域連携評価尺度」の信頼性・妥当性の検証（共同、平成29年6月、日本褥瘡学会）／2.COC事業「まちの健康応援室」に参加している有資格ボランティアの活動に対する意識の変化（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）／3.過活動膀胱と診断された女性の泌尿器科を受診するまでの気持ちの変化とその影響要因（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）
＜学会座長就任状況＞第17群 口演17 妊娠・出産1（平成29年9月、日本糖尿病教育・看護学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本糖尿病教育・看護学会誌（4件、日本糖尿病教育・看護学会）／2.札幌市立大学研究論文集（1件）
＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（評議員）
＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会北海道大会（平成30年10月）
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学会／日本心身医学会

川村　三希子
＜学術論文＞1.療養病床においてがんを併せもつ高齢認知症患者への看護ー入院可否判断、ケア状況、ケア困難度に焦点をあててー（共著、平成29年6月、死の臨床、40巻、1号、pp.179－184）／2.看護演習科目へのルーブリック導入の効果・ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討（共著、平成29年7月、札幌市立大学研究論文集、11巻、1号、pp.3－11）
＜著書＞1.家族への緩和ケア 田村恵子編集 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア（共著、平成29年10月、メヂカルフレンド社、9784839233280、pp.264－272）／2.悪心・嘔吐のマネジメント 緩和ケアー尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心（共著、平成29年10月、南江堂、9784524255122、pp.133－137）／3.腹部膨満のマネジメント 緩和ケアー尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心（共著、平成29年10月、南江堂、9784524255123、pp.138－142）／4.便秘のマネジメント 緩和ケアー尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心（共著、平成29年10月、南江堂、9784524255124 、pp.143－147）／5.日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会 がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン（共著、金原出版、978-4-307-10187-5）
＜調査研究報告書＞1.ちえのわ街なかカフェ～がんと暮らしの知恵いろいろ～（共著、平成29年4月、笹川記念保健協力財団 地域啓発活動助成）／2.専門的緩和ケア看護師教育プログラムの有効性の検証ー臨床実践における自己評価と他者評価ー（共著、平成29年10月、公益財団法人木村看護教育振興財団平成28年度看護研究助成）
＜その他の論文＞1.痛みのアセスメントはどうやったらいいの？②高齢者の場合（単著、平成29年5月、南江堂 がん看護、23巻、2号、pp.109－113）
＜実務関係書＞1.専門的緩和ケア看護師教育プログラムモジュール3家族ケア改訂（平成29年5月）／
＜実務関係報告書＞1.国内で国際会議を体験する～第2回がん緩和ケアサミットに参加して（単著、平成29年11月、南江堂 緩和ケア、28巻、1号、pp.71－73）
＜解説文＞1.キャリアデザイン 私たちの目指す道 わたしのキャリアデザイン 看護師 出会いを大切に、今日という1日を大切に生きる（単著、平成29年5月、南江堂 緩和ケア、27巻、3号、pp.179－181）／2.助けないという助け方（単著、平成29年8月、日本緩和医療学会ニューズレター巻頭言）

＜受賞等＞1.2017年度教育・研究助成事業　論文奨励賞（平成29年6月、日本死の臨床研究会）
＜学会発表＞1.長期に化学療法を受ける進行・再発大腸がん患者が治療を受け続けるプロセス（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）
＜学会座長就任状況＞特別講演（単独、平成29年5月、第15回日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部年次大会）／症例ワークショップ４（共同、平成29年6月、第22回日本緩和医療学会）／特別事例検討2（共同、平成29年9月、第41回日本死の臨床研究会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.第23回日本緩和医療学会（13件、日本緩和医療学会）／2.第32回日本がん看護学会（5件、日本がん看護学会）／3.日本看護科学学会誌（3件、日本看護科学学会）／4.日本死の臨床研究会（1件、日本死の臨床研究会）
＜学会役員就任状況＞日本緩和医療学会（理事）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本看護学会（代議員）／日本ホスピス緩和ケア協会（理事）／日本看護科学学会（和文誌専任査読委員）／日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部（役員）／日本死の臨床研究会（編集委員）／日本がん看護学会（査読委員）
＜学術集会運営＞第27回 日本創傷・オストミー・失禁管理学術集会／
第22回日本統合医療学会
＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会／日本緩和医療学会／日本看護科学学会／日本死の臨床研究会／European Associaton for Palliative Care
＜講演会・講習会活動＞緩和ケアを知ろう あなたに伝えたい緩和ケアの今「緩和ケアーがんになっても自分らしく暮らすための工夫」（平成29年5月27日、JORTC）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本ホスピス緩和ケア協会 分科会「臨死期のケア～Last few days of lfe と看護」（平成29年7月15日、日本ホスピス緩和ケア協会）／ELNEC-JG研修会「ELNEC-JG研修会」（平成29年7月29日～30日、北海道看護協会）／ELNEC-J指導者研修 講師「ELNEC-J指導者研修 講師」（平成29年8月4日・5日、日本緩和医療学会）／ELNEC-J研修会「ELNEC-J研修会」（平成29年8月22日～23日、北海道看護協会）／専門的緩和ケア（SPACE-N）看護師教育プログラム講師「専門的緩和ケア（SPACE-N）看護師教育プログラム講師」（平成29年8月25日、26日、9月30日、10月22日、11月19日、日本ホスピス緩和ケア協会）／がん患者の社会生活に向けての看護支援 患者の力を信じエンパワメントしよう「がん患者の社会生活に向けての看護支援 患者の力を信じエンパワメントしよう」（平成30年3月3日、第21回 十勝がん看護研究会）／緩和ケアを目指す人の看護職セミナー「緩和ケアを目指す人の看護職セミナー」（平成30年3月17日・18日、日本緩和医療学会）

菊地　ひろみ
＜調査研究報告書＞1.病院の看護研究支援に対する看護職・教員双方の視点からの効果検証（平成29年12月）
＜学会発表＞1.地域に根ざした活動「まちの健康応援室」利用者の実態把握（共同、平成29年7月、第22回在宅ケア学会学術集会）／2.訪問看護師のニーズに応えるスキルアップ研修の継続的取り組み（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／3.COC事業「まちの健康応援室」に参加している有資格ボランティアの活動に対する意識の変化（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）
＜学会研究発表＞1.SCU「まちの健康応援室」保健師看護師などの市民ボランティア・学生・教員の協働による健康支援活動（共同、平成29年11月、SCU産学官連携交流会）
＜学会座長就任状況＞ラウンドテーブル１「難病」（平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会学術集会）
＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会／日本看護研究学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／訪問看護スキルアップ講座（札幌市立大学）

喜多　歳子
＜学術論文＞1.Effects of low-level prenatal expousure to dioxins on cognitive development in

Japanese children at 42 months.（共著、平成30年3月、the Science of the Total Environment、15巻、618号、pp.1423－1430）／2.A prospective cohort atudy of insomnia and chronic kidney disease in Japanes workers（共著、平成30年3月、Sleep and breathing、22巻、1号、pp.257－265）
＜学会発表＞1.「子どもの貧困による発達と健康への影響を最小限にする海外の介入研究レビュー」（日本公衆衛生看護学会、平成30年1月7日）（共同、平成30年1月、第18回日本公衆衛生看護学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.北海道公衆衛生雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）／2.SCU Journal（1件）
＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（理事）／北海道公衆衛生協会（理事）
＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会
＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／日本疫学会／看護総合科学研究会

定廣　和香子
＜その他の論文＞1.空間的療養効果を重視したArt in Hospital 《風の家/ Breathing House》（共著、平成30年3月、アートミーツケア学会、9巻、pp.44－55）
＜学会発表＞1.Relationship between the Quality of Nursing Faculty activities for the prevention of Nursing Student’s Medical Accidents and their Personal Attributes in Japan.（共同、平成29年7月、STTI Internatiional conferrence）／2.看護師の直観的思考に基づく目標達成課程の経験に関する研究（共同、平成29年8月、日本看護教育学学会）／3.花粉症が職業活動に及ぼす影響への看護師の自己対処（共同、平成29年9月、日本看護技術学会）／4.Art in Hospital 風の家（Breathing House）の療養効果－患者・家族の意見を集めて－（共同、平成29年12月、アートミーツケア学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護教育学研究（1件、日本看護教育学学会）／2.日本看護学教育学会誌（1件、日本看護学教育学会）／3.日本看護科学学会英文ジャーナル（1件、日本看護科学学会）／4.日本看護技術学会（1件、日本看護技術学会）／5.日本看護学教育学会学術集会（3件、日本看護技術学会）
＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（評議員）／日本看護教育学学会（看護社会保険連合 診療報酬のあり方検討会医員）
＜学術集会運営＞日本看護教育学学会第27会学術集会／実習指導者研修会
＜所属学会・研究会＞日本看護教育学学会／日本看護学教育学学会／日本看護科学学会／医療の質と安全学会／sigma theta tau international honor society of nursing／アート・ミーツケア学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専任教員用養成講習会「平成29年度北海道専任教員養成講習会」（平成29年7月、北海道看護協会）

大野　夏代
＜学会発表＞1.病者の心身の苦痛を緩和する看護師のマッサージ（共同、平成29年8月、日本応用心理学会第84回大会）／2.同一姿勢保持時の苦痛に対する介入（第1報）足浴の効果（共同、平成29年8月、日本看護研究学会第43回学術集会）／3.同一姿勢保持時の苦痛に対する介入（第2報）温罨法の効果の持続性（共同、平成29年8月、日本看護研究学会第43回学術集会）／4.触れるケアはイキイキ働く看護師を育てます2017（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／5.海外研修へ学生を引率した看護学部教員の経験、紹介します（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／6.主介護者の生活の変化から考察する回復期リハビリ病棟の退院調整のあり方（共同、平成29年8月、第48回日本看護学会慢性期看護学術集会）／7.新人看護師の呼吸器系フィジカルイグザミネーションの到達度ーシミュレーションシナリオを用いた他者評価（共同、平成29年10月、日本看護技術学会第16回学術集会）／8.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第1報）－アロマおよびヨーガを用いた研修の効果－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）／9.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第2報）－アロマ研修に焦点を当てて－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）／10.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第3報）－ヨーガ研修に焦点を当てて－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会）／11.マッサージによるケア提供者の気持ちの変化（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／12.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第1報）－コーピング特性、

精神健康度、気分状態による評価ー（共同、平成29年12月、日本看護学会看護管理）／13.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第2報）－研修後の語りの内容からー（共同、平成29年12月、日本看護学会看護管理）／14.Promotive and Obstructive Factors of Bedside Massage by Nurses（共同、平成30年1月、21st EAFONS & 11th INC）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本国際看護学会誌（1件、日本国際看護学会）
＜学会役員就任状況＞日本国際看護学会（理事）／日本看護科学学会（国際活動推進委員会委員）
＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本国際看護学会／日本看護学教育学会／日本人間工学会看護人間工学部会／日本国際保健医療学会／日本渡航医学会／日本人間工学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞勤医協札幌病院看護研究指導（平成29年4月～平成30年3月、大学・病院連携プロジェクト）

貝谷　敏子
＜学術論文＞1.看護演習科目へのルーブリック導入の学修効果・ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討（共著、平成29年7月、札幌市立大学紀要、11巻、1号、pp.3－10）／2.皮膚・排泄ケア認定看護師による地域連携に関連する診療報酬算定の実態調査（共著、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、21巻、3号、pp.284－295）
＜学会発表＞1.褥瘡ケアの地域連携尺度の信頼性・妥当性の検証（共同、平成29年9月、日本褥瘡学会）／2.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査 第一報－養育環境の実態－（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）／3.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査 第二報 養育者の活用施設・（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）／4.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査 第三報 養育者のニーズ（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）
＜学会シンポジウム＞1.WOCNが地域に出向くノウハウを教えますー実態調査報告（共同、平成29年6月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.褥瘡対策の今後と診療報酬（単独、平成29年9月、日本褥瘡学会）
＜学会座長就任状況＞WOCNが地域に出向くノウハウを教えます（共同、平成29年6月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／在宅における褥瘡管理（単独、平成29年7月、日本在宅ケア学会）／予防環境整備（共同、平成29年9月、日本褥瘡学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護理工学学会誌（1件、看護理工学学会）／2.Wound Repair and Regeneration（1件、Wound Repair and Regeneration.）
＜学会役員就任状況＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会（副理事長）／日本褥瘡学会（評議員）／看護理工学学会（査読委員）
＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会／第28回日本創傷・オストミー・失禁管理学会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本褥瘡学会／看護理工学学会／日本創傷・オストミー・失禁管理学会／創傷治癒学会／褥瘡学会北海道地方会／日本経済学会／日本ストー・マ排泄リハビリテーション学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞院内褥瘡患者へのケア支援・スタッフ指導「褥瘡回診」（火曜／週、勤医協西区病院）

神島　滋子
＜学術論文＞1.看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題（共著、平成29年5月、国際リハビリテーション看護研究会誌、16巻、1号、pp.1－11）／2.看護演習科目へのルーブリック導入の効果・ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討（共著、平成29年7月、SCU JOURNAL 、11巻、1号、pp.3－12）／3.大学教員の継続的な介入支援によるA病院の看護記録の変化（共著、平成29年7月、SCU JOURNAL、11巻、1号、pp.47－52）
＜著書＞1.サルコペニアを防ぐ！看護師によるリハビリテーション栄養（共著、平成29年11月、医学書院、978-4-260-03225-4、pp.50－56）
＜その他の論文＞1.特集患者の状態・障害に合わせた高次脳機能障害ケア（共著、平成29年6月、日総研（脳の看護実践）、3巻、1号、pp.2－46）

＜学会発表＞1.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第三報）養育者のニーズ（共同、日本看護科学学会学術集会）／2.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第二報）養育者の活用施設・相談ごと（共同、日本看護科学学会学術集会）／3.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第一報）養育環境の実態（共同、日本看護科学学会学術集会）
＜学会シンポジウム＞1.ワークショップ「リハビリテーションにおける栄養アセスメントとプランニングの基本」（共同、平成29年11月、日本リハビリテーション看護学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本脳神経看護研究学会（2件）／2.日本脳神経看護研究学会（6件）
＜学会役員就任状況＞日本脳神経看護研究学会（理事）／日本脳神経看護研究学会（編集委員）／日本脳神経看護研究学会（北海道地方部会会長）／日本看護研究学会（北海道地方会役員）／日本看護研究学会北海道地方会（研究奨励賞選考委員）
＜学術集会運営＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会／日本脳神経看護研究学会北海道地方部会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本脳神経看護研究学会／日本医療情報学会／日本リハビリテーション看護学会／日本高次脳機能障害学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本ニューロサイエンス学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞病棟スタッフの教育支援（平成29年4月～平成30年3月、北海道済生会小樽病院）／看護研究に関する講義（平成29年7月4日、市立札幌病院）

菅原　美樹
＜学術論文＞1.看護におけるフィジカルアセスメント能力を評価するOSCE評価表の評価者間一致率の検証 急性心不全患者の事例を通した評価（共著、平成29年7月、日本救急看護学会雑誌、19巻、2号、pp.9－19）
＜著書＞1.ファーストエイド 改訂第2版（共著、平成29年9月、へるす出版、9784892699313、pp.98－109）／2.疾患別看護過程 PART2（共著、平成29年9月、学研メディカル秀潤社、9784780912968）／3.救急看護学 改訂第6版（共著、平成30年1月、医学書院、9784260032544）
＜学会発表＞1."急性・重症患者看護専門看護師教育課程における外傷医療および外傷看護に関する教育内容のシラバス分析"（共同、平成29年6月、第13回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.Difficulties in Trauma Nursing as Experienced by Expert Nurses Working in the Emergency Care Field in Japan（共同、平成30年1月、the 21st EAFONS）／3.Difficulties in Trauma Nursing Experienced by Expert Nurses Working in the Critical Care Field in Japan（共同、平成30年2月、he 18th Joint Scientific Congress of the JSICM and KSCCM）
＜学会座長就任状況＞診療報酬改定を目指した本学会の取り組みについて（単独、平成29年6月、第13回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／虐待・暴力を受けた患者ケアに直面する救急看護師のメンタルヘルス（共同、平成29年10月、第19回日本救急看護学会学術集会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本救急看護学会雑誌（4件、日本救急看護学会）／2.日本救急看護学会雑誌（1件、日本救急看護学会）／3.札幌医科大学札幌保健科学雑誌（1件）
＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会（医療政策委員会担当理事）／日本クリティカルケア看護学会（将来構想委員会評議委員）／日本循環器看護学会（専任査読委員）／看護系学会等社会保険連合（社員）／北のケア環境研究会（運営委員）
＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／第22回日本統合医療学会北海道大会
＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本臨床救急医学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会／日本看護管理学会
＜講演会・講習会活動＞OSCE実施に向けての取り組みと運営の実際「OSCE実施に向けての取り組みと運営の実際」（平成30年2月16日、九州国際赤十字看護大学）
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞トリアージナース育成研修会（平成29年9月9日～10日（2日間）、日本救急看護学会）

藤井　瑞恵
＜学術論文＞1.Low frequency of toothbrushing practices is an independent risk factor for diabetes

mellitus in male and dyslipidemia in female: A large-scale, 5-year cohort study in Japan.（共著、J.Cardiol、70巻、2号、pp.107－112）／2.歯磨き習慣と心血管リスク因子との関係（共著、日本循環器病予防学会誌、52巻、3号、pp.261－268）
＜解説文＞1.ADLとQOLはどう違うのですか（単著、平成29年11月、メディカ出版、23巻、11号、pp.16－18）
＜学会発表＞1.看護基礎教育に中堅看護師が参加したことによる学生の教育効果 第2報（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会 ）／2.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果 第1報 看護過程論初回講義の聴講から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／3.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第３報 看護師長へのインタビューから（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／4.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第2報 研修後1か月の研修参加者によるグループインタビュー結果から（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／5.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第1報 直後のグループディスカッションから（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／6.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る－大学と医療施設のつながりから看護職を支援するために－（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／7.海外研修へ学生を引率した看護学部教員の経験、紹介します（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／8.「褥瘡ケアの地域連携評価尺度」の信頼性・妥当性の検証（共同、平成29年9月、日本褥瘡学会）／9.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果と期待－看護管理者の視点から－（共同、平成29年10月、日本看護学会看護管理）／10.高齢者のロコモ予防を目的としたトレーニングゲームの開発（共同、平成29年11月、ADADA Japan）
＜学会研究発表＞1.通院支援を行う家族が感じる生活継続への思い～北海道地方都市で片道40分以上の送迎に焦点を当てて～（共同、平成29年7月、サイコネフロロジー研究会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本糖尿病教育・看護学会誌（3件、日本糖尿病教育看護学会）／2.『北海道文教大学研究紀要』（1件）／3.日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌（5件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）
＜学術集会運営＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学科／日本慢性看護学会／日本糖尿病看護・教育学会／日本看護管理学会／日本透析医学会／日本循環器病予防学会／日本疫学会／日本公衆衛生学会／日本糖尿病学会／日本老年医学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞院内研究支援（平成29年6月～30年3月、札幌厚生病院）／中堅看護師研修(札幌市内3回）、道東遠隔講義（1回）（2017年9月～12月、看護コンソーシアム参加表明した医療施設）

古都　昌子
＜学術論文＞1.教員という立場から自ら学んだ「読む、書く、話す」を見直す（単著、平成29年8月、看護教育、58巻、8号、pp.600－605）
＜著書＞1.クエスチョンバンク看護師国家試験問題集必修select第13版（共著、平成29年4月、MEDICMEDIA、978-4-89632-659-8）／2.看護師・看護学生のためのなぜ？どうして？第7版（共著、平成29年4月、MEDICMEDIA、978-4-89632-672-7、pp.4－41）／3.看護師・看護学生のためのレビューブック第18版（共著、平成30年3月、MEDICMEDIA、978-4-89632-641-3）
＜調査研究報告書＞1.平成28年度東京女子医科大学看護学会研究助成報告書（共著、平成29年7月、東京女子医科大学）
＜解説文＞1.クエスチョンバンク看護師国家試験問題＆解説（共著、平成29年4月、MEDICMEDIA）
＜学会発表＞1.子育てをしながら就業した看護職の経験と実践への活用－看護管理者の語りから－（単独、平成29年7月、日本医療マネジメント学会）／2.看護学生の臨床の知から響き合う看護学実習を再考する（交流集会）（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／3.看護学実習における学生の学びを支援する－学生の学びや実習物品に着眼して－（交流集会）（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／4.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る－大学と医療施設のつながりから看護職を支援するために－（インフォメーション・エクスチェンジ）（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／5.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第1報－直後のグループディスカッションから－（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／6.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第

2報－研修後1か月後の研修参加者によるグループインタビューから－（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／7.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第3報－看護師長のインタビューから－（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／8.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果第1報 看護過程論初回講義の聴講から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／9.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参画したことによる学生の教育効果 第２報 援助的人間関係論演習場面の見学から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会）／10.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果と期待－看護管理者の視点から－（共同、平成29年10月、日本看護学会 看護管理）／11.基礎看護学実習における物理的環境の現状と課題－指標設定に向けた検討－（共同、平成29年10月、東京女子医科大学看護学会）／12.子育てをしながら就業し続けたスタッフナースの経験－子育て経験を活用した実践に視点をあてて－（単独、平成29年12月、日本看護科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（7件、札幌市立大学）／2.日本看護学会看護管理学術集会抄録集（20件、日本看護学会）／3.日本看護倫理学会誌（1件、日本看護倫理学会）／4.日本医療大学紀要（1件、日本医療大学学術振興委員会）

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（教育運営委員）／北海道看護教育施設協議会（幹事）

＜学術集会運営＞日本統合医療学会広報渉外委員長／東京女子医科大学看護学会／日本看護学教育学会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護倫理学会／日本看護技術学会／日本医療マネジメント学会／日本医学看護学教育学会／東京女子医科大学看護学会／北海道公衆衛生学会／ポスドク研究会

＜講演会・講習会活動＞帯広看護専門学校卒業記念講演「看護職としての「私」を磨き、たくましく育つ－あなたの葛藤はいつもあなた自身と患者さんの生きる力へと－」（平成30年2月26日、社会事業協会帯広看護専門学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護職員研修「臨床指導者研修Ⅰ」講師「看護基礎教育における実習の意義と指導－「私」らしく臨床指導者としてかかわるには－」（平成29年5月1日、市立札幌病院）／専任教員養成講習会研究方法演習講師「専任教員養成講習会研究方法演習」（平成29年6月～9月、北海道看護協会）／学会企画としての看護ハナマル先生企画の検討「看護ハナマル先生」（平成29年8月18日、日本看護学教育学会）／看護管理者研修Ⅲ「看護師長の倫理的意思決定」講師「看護倫理の基本と臨床における倫理的意思決定」（平成29年9月15日、徳洲会北海道ブロック）／看護部倫理研修講師「看護倫理の基本と臨床における倫理的意思決定」（平成29年10月24日、苫小牧市立病院）／大学と地域をつなぐ中堅看護師研修 看護過程論講師「看護過程とは何か」（平成29年11月14日、札幌市立大学教育実践プロジェクトセンター）／看護職生涯発達学演習Ⅱの講師「看護職生涯発達学における質的研究」（平成29年11月22日、東京女子医科大学大学院）／看護倫理学遠隔授業「看護倫理とインフォームドコンセント」（平成29年12月18日、帯広協会病院ほか3施設）／第3回臨地実習指導研修会企画・運営「今、改めて臨地実習指導とは（基礎編）」（平成30年3月3日、日本看護学教育学会）／第3回臨地実習指導研修会におけるグループファシリテーター「今、改めて臨地実習指導とは（基礎編）」（平成30年3月4日、日本看護学教育学会）

本田　光

＜学術論文＞1.Social Capital in Japan: What Characteristics Do Public Health Nurses See in their Communities?（共著、平成29年7月、Japan Journal of Nursing Science、15巻、2号、pp.135－145）／2.地域保健活動の推進に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発（共著、平成29年8月、日本公衆衛生看護学会誌、6巻、2号、pp.132－140）／3.実習施設との協働による実践能力向上を目指した修士課程における公衆衛生看護学実習構築のプロセス：学士課程をもとに再構築した実習（共著、平成29年12月、日本公衆衛生看護学会誌、6巻、3号、pp.288－296）／4.修士課程における新たな公衆衛生看護学実習：現場との協働による構築（共著、平成30年1月、保健師教育、2巻、1号、pp.78－85）／5.地域保健活動におけるソーシャル・キャピタルの醸成を意図した保健師活動（共著、平成30年3月、北海道公衆衛生雑誌、31巻、2号、pp.93－99）

＜受賞等＞1.優秀演題賞（平成30年1月、第6回公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会発表＞1.乳幼児をもつ母親の「地域とのつながり」と個人属性との関連（共同、平成29年8月、日本地域看護学会第20回学術集会）／2.新人保健師の入職5～8か月期の家庭訪問の実態（第1報）－訪問件数と自己評価－（共同、平成29年8月、日本地域看護学会第20回学術集会）／3.新人保健師の入職

5～8か月期の家庭訪問の実態（第2報）－指導者からの評価－（共同、平成29年8月、日本地域看護学会第20回学術集会）／4.Relationship-building Ability of Mothers Experiencing Parenting Isolation（共同、平成29年9月、7 th International Collaboration for Community Health Nursing Resarch Conference）／5.新人保健師の入職9～12か月期の家庭訪問の実態～訪問件数と自己評価（共同、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会総会）／6.ソーシャルキャピタルと主観的健康観との関連（河原田先生）（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／7.地域の人々との交流がない母親の「地域とのつながり」意識の実態（共同、平成30年1月、日本公衆衛生看護学会第6回学術集会）／8.新任保健師の入職1年間の家庭訪問技術の発達プロセス（第1報）- 自己評価による -（共同、平成30年1月、日本公衆衛生看護学会第6回学術集会）／9.新任保健師の入職1年間の家庭訪問技術の発達プロセス（第2報）- 指導者からの評価 -（共同、平成30年1月、日本公衆衛生看護学会第6回学術集会）／10.入職1年目の保健師を指導するプリセプターの指導に対する思い：縦断調査の結果から（共同、平成30年1月、日本公衆衛生看護学会第6回学術集会）／11.子どもの貧困による発達と健康への影響を最小限にする海外の介入研究レビュー（共同、平成30年1月、日本公衆衛生看護学会第6回学術集会）／12.Continuous Home Visits and self-evaluation among Novice Public Health Nurses（共同、平成30年1月、21st East Asian Forum of Nursing Scholors）／13.Leaders' Evaluation of Interpersonal Support Competency by Novice Public Health Nurses（共同、平成30年1月、21st East Asian Forum of Nursing Scholors）

＜学会研究発表＞1.The correlation between mothers’ skills in developing relationships with people and awareness of contributing to community development through child-rearing（共同、平成29年7月、3th FHS International Conference）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学紀要委員会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「今だから分かる地区診断～考えてみよう事業とのつながり」（平成29年9月1日、札幌市新任保健師学習会）

村松　真澄

＜学術論文＞1.積雪寒冷地在住高齢者の外出頻度と外出に対する自己効力感との関係－非積雪期における調査から（共著、平成29年7月、日本老年看護学会、22巻、1号、pp.107－114）／2.看護演習科目へのルーブリック導入の効果･ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討（原著論文）（共著、平成29年7月、SCU Journal of Design & Nursing（1881－9427）、11巻、1号、pp.3－11）／3.超高齢社会の口腔ケアを考える―超高齢社会へ向けての口腔ケアの実際と教育―（単著、平成30年3月、日本産業歯科学会誌、31巻、2号、pp.3－11）

＜調査研究報告書＞1.平成28年度札幌市立大学共同研究費採択課題北海道過疎地域における地域包括ケアからみた街づくりの在り方に関する基礎研究（平成29年8月、札幌市立大学）／2.平成28年度公衆衛生モニタリング・レポート年次報告書（共著、平成29年10月、公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会、一般社団法人日本公衆衛生学会、pp.36－42）

＜特許・意匠登録＞COTEMALI特許出願中：車椅子用肘掛けクッション（平成29年9月）／COTEMALI特許出願中：車椅子用クッション（平成29年9月）

＜学会発表＞1.口腔ケアシミュレータモデルの開発－現場が期待することの分析（共同、平成29年4月、第14回日本口腔ケア学会）／2.北海道の過疎地域における高齢者の生活実態第一報 離島Aの場合（共同、平成29年6月、第22回日本老年看護学会）／3.北海道の過疎地域における高齢者の生活実態第二報 B町の場合（共同、平成29年6月、第22回日本老年看護学会）／4.Validity of the Japanese Version of the Oral Assessment Guide：A Survey of Community-Dwelling Elderly People（共同、平成29年10月、TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017
Culture）／5.Differences in oral conditions between acute and subacute stroke patients in Japan. An evaluation using the Oral Assessment Guide （OAG）（共同、平成29年10月、TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017
Culture）／6.寒冷な特別豪雪地帯に居住する高齢者の同居の有無と自己評価咀嚼能力との関係（共同、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会）／7.北海道の特別豪雪地帯における高齢者の健康と

地理的環境による特性について（共同、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会）／8.alidity of the Japanese Version of the Oral Assessment Guide：A Survey of Community-Dwelling Elderly People（共同、平成29年10月、TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017 Culture, Co - creation, and Collaboration for Global Health Bangkok, Thailand, ）／9.Differences in oral conditions between acute and subacute stroke patients in Japan. An evaluation using the Oral Assessment Guide （OAG）（共同、平成29年10月、TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017 Culture, Co - creation, and Collaboration for Global Health Bangkok, Thailand）／10.A町で生活する高齢者の主観的健康観に影響を及ぼす要因（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／11.老人福祉センターに通う高齢者の健康習慣と健康に関する情報収集源との関係（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／12.A市運動能力向上トレーニング事業参加者の運動習慣と運動自己効力感の実態（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／13.高齢者の入浴習慣の実態調査A市の場合（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／14.北海道の過疎地域における高齢者の生活実態A市の場合（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／15.サービス付き高齢者向け住宅に関する文献検討（共同、平成29年11月、第69回北海道公衆衛生学会）／16.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第一報）養育環境の実態（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学会）／17.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第二報）養育者の活用施設・相談ごと（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学会）／18.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第三報）養育者のニーズ（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学会）

＜学会シンポジウム＞1.口腔のケア・がん口腔支持療法を推し進めるためにー人材を養成する体制から在り方を問う（単独、平成29年6月、第15回日本臨床腫瘍学会学術大会）

＜学会招聘講演＞1.超高齢社会へ向けての口腔ケアの実際と教育（単独、平成29年7月、第32回日本歯科産業学会）／2.口腔ケアにおける連携ー看護師の立場から再考する（単独、平成29年9月、第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会）／3.討論会「ガクガク連携」（単独、平成29年10月、2017日本デザイン学会第一支部大会）

＜学会研究発表＞1.口腔ケアシミュレータモデルの開発（共同、平成29年11月、SCU産学官金成果発表会）／2.クッションの開発（共同、平成29年11月、SCU産学官金成果発表会）

＜学会座長就任状況＞一般口演第7群「栄養・排泄・皮膚」（単独、平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会）／スキルアップセミナー1座長とコーディネータ（単独、平成29年9月、第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会）／アフタヌーンセミナー（単独、平成29年9月、第27回日本口腔内科学会）／一般口演「高齢者保健・在宅医療（単独、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会雑誌（1件、日本老年看護学会）／2.日本老年看護学会第22回学術集会査読（3件、日本老年看護学会）／3.日本摂食嚥下リハビリテーション学会学会誌査読（1件、日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本公衆衛生学会（モニタリング委員口腔保健）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会／第67回日本口腔衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本看護科学会／日本看護研究学会／日本老年歯科医学会／日本口腔ケア学会／日本摂食・嚥下リハビリテーション学会／日本公衆衛生学会／北海道歯学会／日本がん看護学会／日本看護学教育学会／日本保健福祉学会／日本看護管理学会／日本世代間交流学会／北海道公衆衛生学会／日本地域看護学会／日本認知症ケア学会／日本看護技術学会／日本在宅ケア学会／看護理工学会／日本健康学会（日本民族衛生学会）／日本口腔看護研究会／北海道口腔ケア研究会

＜講演会・講習会活動＞芸術の森地区地区社会福祉協議会の健康講和「「お口の健康を考えてみませんか？」講演会」（平成29年9月21日、芸術の森地区地区社会福祉協議会）／地域の方へ向けての健康講座サンカレッジデイサービスSUNDAY「SUNカレッジ」「「口腔ケアの重要性」誤嚥性肺炎との関連」（平成29年10月3日、愛全会サングレイス）／桑園健康茶話会健康講座「健康を支える口腔ケア」（平成29年11月11日、桑園医療懇話会）／桑園ご近所先生講座「高齢者のお口の健康のために」（平成29年11月14日、桑園交流ネットワーク）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本口腔看護研究会第4回北海道地区セミナー企画「日本口腔看護研究会 第5回北海道地区セミナー」（平成29年2月17日、日本口腔看護研究会）／第16回北海道口

腔ケアセミナー「第16回北海道口腔ケアセミナー」（平成29年5月20日、北海道口腔ケア研究会）／同門会向け研修会「高齢者が幸せに暮らすための口腔管理日本版OAGで多職種連携」（平成29年6月17日、北海道医療大学歯学部口腔機能修復クラウンブリッジインプラント補綴学講座同門会）／看護学部教向け研修会「高齢者がその人らしく生きるための支援と高齢者の口腔看護の2題」（平成29年8月7日、康寧大学）／第44回国際福祉機器展出展「COTEMALI」（平成29年9月27日～28日）／認知症看護対応向上セミナー北海道東北地区セミナー「認知症看護対応向上セミナー北海道東北地区セミナー」（平成29年9月30日、日本老年看護学会）／幹事企画担当「『のみこみ安心ネット・札幌』第10回公開研修会」（平成29年10月9日、のみこみ安心ネット札幌）／高齢者の口腔ケアの基本的理解と実践手段のポイント「高齢者の口腔ケアの基本的理解と実践手段のポイント」（平成29年10月25日、社会福祉法人札幌明啓院特別養護老人ホームフローラルさつなえ）／デンマーク視察報告会（企画運営報告）「世界一幸せな国、デンマークの福祉・看護・介護を知ろう・語ろう！参加者5名で報告」（平成30年1月19日、デンマークの福祉・看護・介護を考える会）／地域専門職へ向けてのセミナー「師っておきたい口腔の知識と口腔ケア」（平成30年3月9日、勤医協中央病院）／口腔ケアの知識と技術のセミナー「口腔ケアの知識と技術」（平成30年3月12日、社会福祉法人愛全会高齢者総合福祉施設サングレイス）／幹事、企画担当（旭川口腔ケア普及研究会）／幹事、企画担当（日本口腔看護研究会）

守村　洋

＜学会発表＞1.ワークショップ29「これからの精神看護学におけるシミュレーション教育の発展と課題」（共同、平成29年6月、第27回日本精神保健看護学会）／2.対話シンポジウム 語り合う当事者・看護者（共同、平成29年6月、第27回日本精神保健看護学会）／3.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果と質の向上－ビデオ視聴を導入した模擬患者教育－（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回大会）／4.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果－自殺念慮のある患者に対する看護の視点から－（共同、平成30年3月、第37回日本社会精神医学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.名寄市立大学紀要第22巻（1件、名寄市立大学）／2.熊本保健科学大学紀要（1件、熊本保健科学大学）

＜学術集会運営＞日本精神保健看護学会第27回

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／日本社会福祉学会／日本精神保健看護学会／日本救急看護学会／日本臨床救急医学会／日本自殺予防学会／日本うつ病学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本社会精神医学会

＜講演会・講習会活動＞精神療養講座「こころの健康を考える～うつなどの病いに負けないために～」（平成29年7月15日、NPO法人 札家連）／生活支援員登録に向けた研修説明会講師（平成29年7月25日、札幌市社会福祉協議会）／市民後見人研修（平成29年9月31日、札幌市社会福祉協議会）／メンタルケア・スペシャリスト養成講座「精神保健」（平成29年11月19日、一般財団法人メンタルケア協会）／厚別区自殺対策事業講演会（平成30年2月16日、札幌市厚別区）

渡邊　由加利

＜学術論文＞1.「装着型産褥子宮モデル」を使用した学習効果（共著、平成29年7月、札幌市立大学研究論文集、11巻、1号、pp.53－60）

＜その他の論文＞1.ナーシングキャンパス 疾患別看護過程 産褥期－（共著、平成30年1月、Gakken、6巻、1号、pp.65－94）

＜実務関係報告書＞1.大学COC事業 ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業（共著、平成30年3月、札幌市立大学、pp.22－13、42－45）

＜学会発表＞1.OSCE in Midwifery Education :Delivery Care Skills（共同、平成29年6月、31st ICM Triennial Congress）／2.性暴力被害者支援センター北海道SACRACH－センター開設4.5年間の活動実態－（共同、平成29年8月、第36回日本思春期学会学術集会）／3.「装着型子宮モデル」を使用した学習効果の検討－看護学生による子宮復古の観察場面－（共同、平成29年10月、第58回日本母性衛生学会学術集会）／4.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題－5年間の評価－（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／5.Exploring the Challenges of Maternal and Child Health Care in the Dairy-farming Town of Betsukai（共同、平成30年1月、21st EAFONS）／6.Impressions of simulated patients receiving prenatal care: a study

based on the objective structured clinical examination for midwifery（共同、平成30年1月、21st EAFONS）／7.Correlation between Teacher Evaluatuins and Stimulated Patient Impression of Midwifery Student Care During OSCE-from OSCE for Prenatal Checkups（共同、平成30年1月、21st EAFONS）／8.助産師教育におけるOSCE：分娩介助（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／9.分娩介助技術の客観的臨床能力試験（OSCE）における教員評価と学生評価から見た今度の指導内容の検討（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／10.客観的臨床能力試験（OSCE）課題「出生直後の新生児観察」における助産学生の自己評価の実態（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／
＜学会座長就任状況＞教育講演「北海道における10代の性被害の実態と課題」（単独、平成29年10月、第52回北海道学校保健学会）
＜論文査読・学会抄録査読＞1.母性衛生（2件、日本母性衛生学会）
＜学会役員就任状況＞日本母性衛生学会（査読委員）／日本母性衛生学会（代議員）／北海道母性衛生学会（理事）
＜所属学会・研究会＞日本思春期学会／日本看護科学学会／日本助産学会／日本看護教育学会／人間工学学会／日本看護研究学会／母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護管理学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究の支援（平成29年4月1日～平成30年3月30日、桶谷式乳房管理法研鑽会）／性暴力被害者支援のための研修講座（平成29年7月1日～12月3日（6回）、NPO法人ゆいネット北海道）／組織強化委員会委員長（平成29年7月24日～2年間、全国助産師教育協議会）／研究の支援（平成29年7月～11月、プリモウィメンズクリニック）／模擬患者養成講座講義「演習における模擬患者役割を理解する。」（平成29年9月28日、札幌市立大学）／「赤ちゃんにやさしい家」インタビューを受ける webで掲載「「びお考」赤ちゃんにやさしい家」（10月1日～8日、町の工務店ネット）／シャトル研修「新人から次のステップへーアサーティブなコミュニケーション」（10月27日、札幌市立大学）

伊東　健太郎
＜学会発表＞1.これからの精神看護学におけるシミュレーション教育の発展と課題（共同、平成29年6月、日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会）／2.OSCE運営方法改善におけるOSCE評価得点の比較（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／3.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果と質の向上～ビデオ視聴を導入した模擬患者教育～（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／4.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果～自殺念慮のある患者に対する看護の視点から～（共同、第37回日本社会精神医学会）
＜学術集会運営＞日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会
＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護学会

工藤　京子
＜学会発表＞1.呼吸器疾患患者の吸入薬の自己管理状況について（単独、平成29年11月、第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会）
＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会
＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会

小坂　美智代
＜著書＞1.看護学テキストNiCE 緩和ケア（改訂第2版）（平成30年1月、南江堂、9784524255122、pp.133－137）
＜学会発表＞1.地域に根ざした活動「まちの健康応援室」利用者の実態把握（共同、平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会学術集会）／2.COC事業「まちの健康応援室」に参加している有資格ボランティアの活動に対する意識の変化（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）
＜学会研究発表＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアの活動に関する意向調査（共同、平成29

年11月、平成29年度SCU産学官研究交流会）
＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／千葉看護学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「中堅看護師ステップアップ研修」講師「OSCE体験コース」（平成29年8月～平成30年2月、手稲渓仁会病院看護部）

櫻井　繭子
＜学術論文＞1.産業看護職の労働者への支援における連携の研究動向（単著、平成30年3月、北海道公衆衛生学雑誌、31巻、2号、pp.25－32）
＜学会発表＞1.札幌市立大学における保健師コース選択学生の産業保健実習の現状と課題（共同、平成29年10月、平成29年度日本産業衛生学会北海道地方会総会（第97回北海道医学大会産業衛生分科会））／2.産後4か月の母親の育児レジリエンスに関連する要因（共同、平成30年1月、第6回日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.子どもの貧困による発達と健康への影響を最小限にする海外の介入研究レビュー（共同、平成30年1月、第6回日本公衆衛生看護学会学術集会）
＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会（看護部会幹事）／日本産業衛生学会北海道地方会（看護部会幹事）／北海道公衆衛生学会（評議員）
＜学術集会運営＞平成29年度日本産業衛生学会北海道地方会総会（第97回北海道医学大会 産業衛生分科会）
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本産業看護学会／日本産業精神保健学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本精神保健看護学会／日本フォレンジック看護学会／日本地域看護学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道産業看護研修会企画・運営（平成29年11月18日、日本産業衛生学会北海道地方会）

高橋　奈美
＜学術論文＞1.筋萎縮性側索硬化症患者の看護に関するエビデンス（単著、平成29年5月、日本慢性看護学会誌、11巻、1号、pp.40－45）
＜学会役員就任状況＞日本専門看護師協議会（編集委員）
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本慢性看護学会／日本難病看護学会／慢性疾患看護専門看護師研究会／日本専門看護師協議会

原井　美佳
＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 第2回いきいき健康塾報告書（共著、平成30年2月、札幌市立大学、pp.1－38）
＜実務関係報告書＞1.平成29年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書（共著、平成30年3月、札幌市立大学、pp.1－61）
＜学会発表＞1.地域に根ざした活動「まちの健康応援室」利用者の実態把握（共同、平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会学術集会）／2.寒冷地に居住する中年期女性の尿失禁の有訴率と関連要因の検討（共同、平成29年9月、第24回日本排尿機能学会）／3.特別豪雪地帯における高齢者を対象とした健康啓発事業の実践報告（共同、平成29年11月、第76回日本公衆衛生学会総会）／4.寒冷な特別豪雪地帯に居住する高齢者の同居の有無と自己評価咀嚼能力との関係（共同、平成29年11月、第76回日本公衆衛生学会総会）／5.北海道の特別豪雪地帯における高齢者の健康と地理的環境による特性について（共同、平成29年11月、第76回日本公衆衛生学会総会）／6.COC事業「まちの健康応援室」に参加している有資格ボランティアの活動に対する意識の変化（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）
＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）
＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本産業カウンセラー協会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／福祉住環境コーディネーター協会／日本コンチネンス協会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本認知症ケア学会

檜山　明子

＜学術論文＞1.Accuracy of fall risk predicting in hospital. Evaluate of fall risk behavior assessment tool by case control study（単著、平成29年10月、Journal of Medical Safety、2017巻、pp.51－56）／2.入院患者の転倒リスクが高い行動の分析（共著、平成29年11月、日本看護研究学会雑誌、40巻、4号、pp.657－665）／3.Relationship between Ethical Issues in Fall Prevention Care and Nurses' Characteristics（単著、平成29年12月、International Journal of Nursing、4巻、2号、pp.22－28）

＜学会発表＞1.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the Fall Risk Behavior Assessment Tool （FRBA-Tool） for prediction of the risk of fall（共同、平成29年9月、6th World Congress of Clinical Safety）／2.Falling in Hospitalized Patients Under the Influence of a Soporific – Analysis of Public Adverse Event Reports on the Web（共同、平成29年9月、6th World Congress of Clinical Safety）／3.「看護師としての自分」と「一人の人としての自分」－患者－看護師関係における看護師の感情コントロール方法－（共同、平成29年10月、日本看護技術学会第16回学術集会）／4.OSCEにおけるタブレット型端末を用いた評価システムの継続的活用の検討（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／5.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第一報）養育環境の実態（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／6.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第二報）養育者の活用施設・相談ごと（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／7.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査（第三報）養育者のニーズ（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞転倒予防について（平成29年12月1日、12月22日、札幌徳洲会病院）／シェル分析について（平成30年2月2日、いとう整形外科病院）／運営委員（事務局）（北のケア環境研究会）

三上　智子

＜学術論文＞1.小児看護OSCEの取組みの実態と研修会ニーズに関する調査（共著、平成30年3月、一般社団法人日本看護学教育学会、27巻、3号、pp.29－37）

＜調査研究報告書＞1.小児用木製病室ユニットに関する感応評価第2報（共著、平成30年2月、札幌市立大学看護学部）

＜学会発表＞1.小児看護OSCE研修会開催後の結果とネットワークの活用にむけた調査（共同、平成29年8月、日本小児看護学会第27回学術集会）／2.広域医療圏における新生児集中ケア認定看護師間の地域ネットワーク構築に関する意識調査 第1報（共同、平成29年10月、第27回日本新生児学会学術集会）／3.広域医療圏における新生児集中ケア認定看護師間の地域ネットワーク構築に関する意識調査 第2報 ～看護師長への質問紙調査より～（共同、平成29年10月、第27回日本新生児学会学術集会）／4.Health Education that Breaks Through Language Barriers:Prototyping and Evaluation of Childcare-related ICT Self Learning Resource（共同、平成29年10月、IASDR2017conference）／5.病院の木質化に関する感応評価調査（共同、平成29年11月、平成29年度日本看護管理学会）

＜学会シンポジウム＞1.小学校高学年における 「生命と性」教育の実践（単独、平成29年10月、第96回北海道医学大会学校保健分科会 第52回北海道学校保健学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学術集会運営＞第96回北海道医学大会 学校保健分科会第52回 北海道学校保健学会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健協会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本母性衛生学会／日本看護管理学会／日本育療学会／日本新生児看護学会／北海道成育看護研究会／北海道小児保健研究会

＜講演会・講習会活動＞（株）クレオテックACU学びシェアキッズワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」（平成29年11月23日、株式会社クレオテック）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会開催への支援（2019年3月4日、北海道成育看護研究会）

森川　由紀

＜学会発表＞1.Correlation between teacher evaluations and stimulated patient impressions of midwifery student care during OSCE–from OSCE for prenatal checkups（共同、平成29年10月、31st ICM Triennial Congress）／2.OSCE in Midwifery Education: Delivery Care Skills（共同、平成29年10月、32nd ICM Triennial Congress）／3.「装着型産褥子宮モデル」を使用した学習効果の検討－看護学生による子宮復古の観察場面－（共同、平成29年10月、日本母性衛生学会）／4.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題 - 5年間の評価－（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）／5.Impressions of simulated patients receiving prenatal care: a study based on the objective structured clinical examination for midwifery（共同、平成30年1月、21st EAFONS & 11ST INC）／6.Exploring the Challenges of Maternal and Child Health Care in the Dairy-farming Town of Betsukai（共同、平成30年1月、22nd EAFONS & 11ST INC）／7.Correlation between Teacher Evaluations and Stimulated Patient Impressions of Midwifery Student Care during OSCE–from OSCE for Prenatal Checkups（共同、平成30年1月、23rd EAFONS & 11ST INC）／8.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「出生直後の新生児の観察」技術修得状況と課題 - 5年間の評価 -（共同、平成30年3月、日本助産学会）／9.OSCE課題「分娩介助技術」の教員評価と学生評価の実態（共同、平成30年3月、日本助産学会）／10.助産師教育におけるOSCE：分娩介助（共同、平成30年3月、日本助産学会）

＜所属学会・研究会＞EAFONS／日本母性衛生学会／日本助産学会／日本看護科学学会／日本生殖看護学会

矢野　祐美子

＜学会発表＞1.看護基礎教育の講義に中堅看護師が参加したことによる学生の教育効果 第1報看護過程論初回講義の聴講から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／2.看護基礎教育に中堅看護師が参加したことによる学生の教育効果 第2報援助的人間関係論演習場面の見学から（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会第27回学術集会）／3.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第1報 直後のグループディスカッションから（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／4.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第2報 研修後1か月の研修参加者によるグループインタビュー結果から（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／5.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果 第3報 看護師長へのインタビューから（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／6.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る－大学と医療施設のつながりから看護職を支援するために－（共同、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／7.大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の効果と期待－看護管理者の視点から－（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会（看護管理））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学会論文集：看護管理48号（第48回日本看護学会：看護管理）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本医療・病院管理学会／日本看護評価学会／日本看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究指導（4B病：術後せん妄患者に対する看護の現状把握）「平成29年度看護研究発表会」（平成30年3月9月、札幌厚生病院）

山本　真由美

＜学術論文＞1.「装着型産褥子宮モデル」を使用した学習効果－看護学生による子宮復古の観察から－（共著、平成29年7月、札幌市立大学紀要、11巻、1号、pp.53－60）／2.子育てにおける父親ストレス要因に関する文献研究（共著、平成29年8月、北海道母性衛生学会誌、46巻、1号、pp.23－29）／3.乳児期にある親子の「抱っ子」に関する文献検討と効果的支援の考察（共著、平成29年8月、北海道母性衛生学会誌、46巻、1号、pp.38－43）

＜学会発表＞1.Correlation between teacher evaluations and stimulated patient impressions of midwifery student care during OSCE–from OSCE for prenatal checkups（共同、平成29年6月、31st ICM Triennial Congress）／2.OSCE in Midwifery Education: Delivery Care Skills（共同、平成29

年6月、31st ICM Triennial Congress）／3.小児混合病棟の看護に関する管理的視点からの検討－20年間の文献検討から－（共同、平成29年8月、日本看護管理学会）／4.「装着型産褥子宮モデル」を使用した学習効果の検討－看護学生による子宮復古の観察場面－（共同、平成29年10月、日本母性衛生学会）／5.次子出産意欲に影響を与えた要因－夫の育児支援行動に着目して－（共同、平成29年10月、日本母性衛生学会）／6.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題－5年間の評価－（共同、平成29年12月、日本看護科学学会）／7.Impressions of simulated patients receiving prenatal care: a study based on the objective structured clinical examination for midwifery（共同、平成30年1月、21st EAFONS & 11ST INC）／8.Exploring the Challenges of Maternal and Child Health Care in the Dairy-farming Town of Betsukai（共同、平成30年1月、21st EAFONS & 11ST INC）／9.Correlation between Teacher Evaluations and Stimulated Patient Impressions of Midwifery Student Care during OSCE－from OSCE for Prenatal Checkups（共同、平成30年1月、21st EAFONS & 11ST INC）／10.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「出生直後の新生児の観察」技術修得状況と課題 - 5年間の評価－（共同、平成30年3月、日本助産学会）／11.OSCE課題「分娩介助技術」の教員評価と学生評価の実態（共同、平成30年3月、日本助産学会）／12.助産師教育におけるOSCE：分娩介助（共同、平成30年3月、日本助産学会）
＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本看護理工学会／北海道母性衛生学会

石引　かずみ
＜学会発表＞1.Correlation between teacher evaluations and stimulated patient impressions of midwifery student care during OSCE – from OSCE for prenatal checkups.（共同、平成29年6月、31st ICM Triennial Congress）／2.OSCE in Midwifery Education: Delivery Care Skills.（共同、平成29年6月、31st ICM Triennial Congress）／3.「装着型産褥子宮モデル」を使用した学習効果の検討－看護学生による子宮復古の観察場面－（共同、平成29年10月、第58回日本母性衛生学会総会）／4.客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた「子宮復古の観察」技術修得状況と課題 - 5年間の評価 -（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／5.Exploring the Challenges of Maternal and Child Health Care in the Dairy-farming Town of Betsukai（共同、平成30年1月、11th East Asian Forum of Nursing Scholars）／6.Impressions of Simulated Patients Receiving Prenatal Care: A Study Based on The Objective Structured Clinical Examination for Midwifery（共同、平成30年1月、11th East Asian Forum of Nursing Scholars ）／7.Correlation between Teacher Evaluations and Stimulated Patient Impressions of Midwifery Student Care during OSCE–from OSCE for Prenatal Checkups（共同、平成30年1月、11th East Asian Forum of Nursing Scholars ）／8.OSCE課題「出生直後の新生児観察」に関する学生自己評価の実習前後の変化（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／9.助産師教育におけるOSCE：分娩介助（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）／10.OSCE課題「分娩介助技術」の教員評価と学生評価の実態（共同、平成30年3月、第32回日本助産学会学術集会）
＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本フォレンジック看護学会／北海道母性衛生学会

柏倉　大作
＜学術論文＞1.看護演習科目へのルーブリック導入の効果・ルーブリック評価の信頼性と妥当性の検討（共著、平成29年7月、札幌市立大学紀要、11巻、1号、pp.3－10）
＜学会発表＞1.OSCEにおけるタブレット型端末を用いた評価システムの継続的活用の検討（共同、平成29年12月、日本看護科学学会第37回学術集会）
＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護教育学会／日本看護理工学学会

近藤　圭子
＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発　第2回いきいき健康塾報告書（共著、平成30年3月）
＜学会発表＞1.地域に根ざした活動「まちの健康応援室」利用者の実態把握（共同、平成29年7月、

第22回日本在宅ケア学会学術集会）／2.A study on self-efficacy and health-related QOL of elderly living in rural areas（単独、平成29年9月、International collaboration for community health nursing research）／3.北海道の特別豪雪地帯における高齢者の健康と地理的環境による特性について（共同、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会総会）／4.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした健康啓発事業「いきいき健康塾」の実践報告（共同、平成29年10月、第76回日本公衆衛生学会総会）／5.「まちの健康応援室」有資格ボランティアの活動に関する意向調査（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／6.産後4か月の母親の育児レジリエンスに関連する要因（共同、平成30年1月、第6回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会

田仲　里江

＜学術論文＞1.地域保健活動の推進に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発（共著、平成29年4月、日本公衆衛生看護学会誌、6巻、2号、pp.132－140）／2.Social Capital in Japan: What Characteristics Do Public Health Nurses See in their Communities?（共著、平成29年7月、Japan Journal of Nursing Science、15巻、2号、pp.135－145）

＜学会発表＞1.子どもの貧困による発達と健康への影響を最小限にする海外の介入研究レビュー（共同、平成30年1月、第6回日本公衆衛生看護学会）／2.産後4か月の母親の育児レジリエンスに関連する要因（共同、平成30年1月、第7回日本公衆衛生看護学会）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術集会 平成30年10月7-8日開催 実行委員／第27回日本褥瘡・オストミー・失禁管理学会学術集会 平成30年5月18日～20日 実行委員

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会

御厩　美登里

＜調査研究報告書＞1.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情－乳児健診を受診した世帯の実態調査－、ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業 平成28年度COC共同研究費研究成果報告書（共著、平成29年7月、pp.6－14）／2.訪問看護業務中の交通事故の実態 研究報告書（単著、平成29年9月、株式会社メディアワン）

＜学会発表＞1.在宅での終末期ケアと看取りに対する意識 住民が抱く在宅での看取りのイメージと望む終末期療養の場（共同、平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会学術集会）／2.北海道内での訪問看護業務中の交通事故の実態 第1報－S市・S市以外の市・町村の比較から（単独、平成29年7月、第22回日本在宅ケア学会学術集会）／3.訪問看護師のニーズに応えるスキルアップ研修の継続的取り組み（共同、平成29年8月、日本看護学教育学会学術集会第27回学術集会）／4.北海道内での訪問看護業務中の交通事故の実態 第2報－交通事故経験の分析から－（単独、平成29年8月、第21回日本看護管理学会学術集会）／5.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査 第一報－養育環境の実態－（共同、平成29年12月、第37回日本看護科学学会学術集会）／6.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査 第二報－養育者の活用施設・相談ごと－（共同、平成29年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.札幌市B区における子育て世帯の子育てに関する調査第三報 養育者のニーズ（共同、平成29年12月、第39回日本看護科学学会学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本在宅ケア学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護管理学会／北海道公衆衛生学会／北海道医療大学看護福祉学部学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護スキルアップ講座2017「訪問看護におけるフィジカルアセスメント ～エビデンスを看護ケアに結びつける～」（平成29年6月3日、訪問看護師、札幌市立大学）

出水　美菜子

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護学教育学会

大友　舞
＜学会発表＞1.妊婦としてケアを受けた模擬患者の印象－助産学OSCEにおいて－（共同、平成30年1月、第21回東アジア看護学研究者フォーラム）
＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会

鬼塚　美玲
＜学術論文＞1.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第1報）－コーピング特性、精神健康度、気分状態による評価－（共著、平成30年1月、第48回日本看護学会論文集看護管理、48巻、pp.165－168）／2.母親役割を持つ看護師のワーク・エンゲイジメントとその関連要因（共著、平成30年1月、第48回日本看護学会論文集看護管理、48巻、pp.181－184）／3.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第2報）－研修後の語りから－（共著、平成30年1月、第48回日本看護学会論文集看護管理、48巻、pp.169－172）
＜学会発表＞1.母親役割を持つ看護師のワーク・エンゲイジメントとその関連要因（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会学術集会（看護管理））／2.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第1報）－コーピング特性、精神健康度、気分状態による評価－（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会学術集会（看護管理））／3.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第2報）－研修後の語りから－（共同、平成29年10月、第48回日本看護学会学術集会（看護管理））／4.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第2報）－アロマ研修に焦点を当てて－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会学術大会）／5.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第1報）－アロマおよびヨーガを用いた研修の効果－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会学術大会）／6.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第3報）－ヨーガ研修に焦点を当てて－（共同、平成29年11月、第21回日本統合医療学会学術大会）
＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術大会（平成30年度開催）
＜所属学会・研究会＞日本防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本統合医療学会／日本医療マネジメント学会
＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞介護職のユニットリーダーを対象にリーダー研修を実施（全5回）「介護職のリーダー研修（5回シリーズ）」（平成29年10月～平成30年3月、社会福祉法人 へいわの郷）／院内研究の指導1件（自衛隊札幌病院）

渋谷　友紀
＜学術論文＞1.3年課程の看護師養成所における看護研究の教育の現状と教員の意識（単著、平成30年3月、札幌市立大学）
＜学会研究発表＞1.デザインと看護の協働によるお薬手帳の提案（ポスター）（共同、平成29年11月）
＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会

高橋　葉子
＜所属学会・研究会＞日本看護技術学会／日本新生児看護学会

中田　亜由美
＜学会発表＞1.北海道の過疎地域に在住する高齢者の生活実態 第一報 離島Aの場合（共同、平成29年6月、日本老年看護学会第22回学術集会）／2.北海道の過疎地域における高齢者の生活実態 第二報 B町の場合（共同、平成29年6月、日本老年看護学会第22回学術集会）／3.北海道の過疎地域に在住する高齢者の生活実態 A市の場合（共同、平成29年10月、第69回北海道公衆衛生学会）
＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本公衆衛生学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会／日本老年看護学会

教育支援プロジェクトセンター

籔谷　祐介

＜学術論文＞1.まちづくり市民活動団体への参加動機と活動タイプとの関連性－「プレーヤー型」と「エリアマネージャー型」に分類して－（共著、平成29年10月、日本建築学会計画系論文集、第82巻、第740号、pp.2661－2671）

＜受賞等＞第64回日本デザイン学会春季研究発表大会 グットプレゼンテーション賞（日本デザイン学会）

＜学会発表＞1.まちづくり市民活動団体への参加動機と活動タイプとの関連性－「エリアマネージャー型」と「プレーヤー型」に分類して（共同、平成29年6月、日本建築学会北海道支部研究報告会）／2.色と形から想像し発展させる構成遊び「イロイロカタチ」の活動報告（共同、平成29年7月、日本デザイン学会誌 デザイン学研究第64回研究発表大会）／3.まちづくり市民活動団体への参加動機の分析 その1－まちづくりへの参加動機要因の抽出（共同、平成29年8月、平成29年度大会日本建築学会大会学術講演梗概集）／4.まちづくり市民活動団体への参加動機の分析 その2−参加動機による類型化と活動タイプとの関連性（共同、平成29年8月、平成29年度大会日本建築学会大会学術講演梗概集）

＜学会役員就任状況＞日本都市計画学会（研究交流分科会A「エリアマネジメント人材育成研究会」WG委員）

＜学術集会運営＞日本都市計画学会研究交流分科会A エリアマネジメント人材育成研究会エリアマネジメント人材開発セッション第1弾「これからのエリアマネジメントに必要な人材とは」／日本都市計画学会研究交流分科会A エリアマネジメント人材育成研究会エリアマネジメント人材開発セッション第2弾「行政が支えるエリアマネジメントとは」

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／芸術工学会／アートミーツケア学会／日本在宅ケア学会

「札幌市立大学のシンボルマークについて」
札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウイッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。（登録商標）

札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報　平成29年度　第12号

編　　集　広報室
担当事務　経営企画課
発行日　平成30年12月1日
発　　行　札幌市立大学
〒005-0864　北海道札幌市南区芸術の森1丁目
TEL：011-592-2300　FAX：011-592-2369
URL　http://www.scu.ac.jp